キッズケータイ F-05A

ISSUE DATE: '10.07

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「キッズケータイ F-05A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション品機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。

F-05Aは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータは保存することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P10
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P37
3. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→P42、44
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P26
5. 画面に表示されるマーク（アイコン）の意味を確認しましょう→P28
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P32
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P46、55

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

- この『F-05A取扱説明書』の本文中においては、「F-05A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせてあらかじめ設定されています。
  本書では、主にコーディネイト／きせかえの設定が「ドット」の場合で説明しています。→P89
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。ただし、操作方法については、キッズモードを「OFF」にしている状態で説明しています。キッズモードを「ON」にすると、認証操作が必要となる機能や操作ができなくなる機能があります。詳しくは「メニュー一覧」を参照してください。→P290
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作を表しています。
  端末暗証番号→P105
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「伝言メモ」を例に記載ページを探す方法を説明します。

かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、目的別にわかりやすい言葉で分類されています。

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。

表紙インデックスから探すとき

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の説明ページという順で、表紙右端のインデックスを頼りに探すことができます。章扉には詳しい目次も掲載されています。

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

操作手順とキーの表記

- 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。また、ひかりキーとちょこっと通知キーの区別ができるように、ちょこっと通知キーは[・]と表記しています。なお、キーイラストは次のように省略して表記しています。

実際のキー	本書での表記
1 あ.@	1

本書で使用しているキーのイラスト→P26「各部の名称と機能」

- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
MENU（1秒以上）	MENUを1秒以上押し続ける。
MENU▶8 1 7▶設定する項目を選択▶1～5	待受画面でMENUを押した後、8 1 7を順番に押す。続けて、設定する項目にカーソルを合わせて●を押し、設定したい番号に対応する1から5のいずれかのダイヤルキーを押す。

- 本書では（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、●（決定キー）を押す操作を「選択」と表記しています。また、入力欄に文字を入力する操作においては、最後に●［確定］を押す操作を省略しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・ランプ色・振動を変える

画面表示を変える

メールを使いこなす

カメラを使いこなす

安心して使うために

こんなこともできます

※１ 有料サービスです。
※２ お申し込みが必要な有料サービスです。

- **その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1**
- **よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P348**

目　次

F-05Aの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応のインターネットホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

F-05Aの主な特徴

iモードメール、デコメ絵文字®

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトまたは最大10個のファイル（画像など）を添付することができます。→P169
また、デコメール®やデコメ絵文字®にも対応しているので、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入することができます。→P165
ただし、お買い上げ時にはロックがかかっています。ご使用になるには、ロックを解除する必要があります。→P105

メガiアプリ、iアプリDX

iアプリをサイトからダウンロードすると、ゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできるようになります。大容量のメガiアプリ対応なので、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどFOMA端末内の情報と連動することで、iアプリの楽しみかたが広がります。→P200
ただし、お買い上げ時にはロックがかかっています。ご使用になるには、ロックを解除する必要があります。→P105

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。
お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

直デン

よく連絡する相手を直デンに登録しておくと、電話の発信やメールの送信を簡単な操作で行うことができます。また、相手の居場所を確認（イマドコかんたんサーチ）したり、位置情報URLを貼り付けたメールを送信したり、登録した相手との電話やメールの履歴を一覧表示で確認したりできます。→P75

ビデオクリップ

圧縮効率の高いH.264フォーマットを使った10Mバイトまでのiモーションに対応しているので、1曲まるごとのミュージッククリップや映画、アニメなどの高画質なビデオクリップを楽しむことができます。→P230

GPS

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です（「地図アプリ for Kids'」が登録されています）。→P212

きせかえツール

画面を統一感のあるデザインに変更できるきせかえツールでは、あらかじめ登録されている5種類に加え、オリジナルのコーディネイトを登録できます。サイトからきせかえツールのコンテンツをダウンロードすれば、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などをまとめて変更できます。→P89

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

F-05Aの多彩な機能

キッズモード

異なる2つの暗証番号（端末暗証番号とパスワード）を保護者と子供で使い分けることにより、機能や設定の変更などに制限をかけることができます。
端末暗証番号（保護者用の暗証番号）で設定できるセキュリティ機能などは、パスワード（子供用の暗証番号）ではできません。
お子さまがご使用になる際には、キッズモードに設定することをおすすめします。→P96

防犯ブザー

緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らし、自分の居場所を周囲に知らせることができます。
また、防犯ブザーを鳴らしたとき、自動的に音声電話を発信したり、GPS機能を利用して居場所を知らせたりすることができます。→P97

おまもリモコンとはなれたよアラーム

おまもリモコンとFOMA端末との距離が有効範囲を超えると、アラームが鳴ったり、FOMA端末にロックをかけたりすることができます（はなれたよアラーム）。
置き忘れを防止し、また、万が一、置き忘れてしまったときにもロックがかかるので、個人情報を守ることができます。→P100

防水性能

外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しております。→P18
雨の中で通話やメールを送受信したり、お風呂場やプールサイドで使用したりできます。汚れた場合には、水道水で手洗いすることができます。

ぴかっとライトとあんしんぴかぴかライト

FOMA端末を閉じた状態でランプや背面表示部を点灯させることで、FOMA端末を小型ライトとして使うことができる機能です。
ぴかっとライトは30秒間ランプが点灯し、あんしんぴかぴかライトはランプと背面表示部が15分間点滅します。→P103

赤外線通信

赤外線通信では、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。→P240

あんしん設定

大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防いだりする各種のロック機能を備えています。→P105

おまかせロック※

おまかせロックは、ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。→P109

※ 有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。また、ケータイあんしんパックをご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。おまかせロック中も位置提供可否設定をONにしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）※

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メールを、お預かりセンターに保存し、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元することができます。また、メールアドレスを変更した場合に一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。→P121

※ お申し込みが必要な有料サービスです。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）→P278
- キャッチホン（有料）→P279
- 転送でんわサービス（無料）→P279
- 迷惑電話ストップサービス（無料）→P280
- デュアルネットワークサービス（有料）→P280
- マルチナンバー（有料）→P282

※ 迷惑電話ストップサービス以外は、すべてお申し込みが必要なサービスです。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の7項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、おまもりリモコン、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

 ⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P18

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱いについて

 警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ハンズフリーに設定して通話する際や着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

防犯ブザーを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

使用箇所	材　質	表面処理
ストラップ取付口の金属部分	SUS304	塗装

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタの取り扱いについて

警告
アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

◆FOMAカードの取り扱いについて

 注意

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

◆おまもりリモコンの取り扱いについて

 警告

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される所におまもりリモコンを置かないでください。

エアバッグが展開した場合、おまもりリモコンが本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

おまもりリモコンを医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、おまもりリモコンの電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、おまもりリモコンの電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

注意

禁止

ストラップなどを持っておもリモコンを振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

おもリモコンに磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作を引き起こす可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

◆医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

  警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

取り扱い上の注意について

◆共通のお願い

- F-05Aおよびおもりモコンは防水性能を有していますが、FOMA端末やおもりモコンの内部に浸水させないでください。また、おもりモコン以外の付属品、オプション品に水をかけないでください。
  - FOMA端末は、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を、おもりモコンはしっかりと閉じた状態でIPX5の防水性能を有していますが、どちらも完全防水ではありません。雨の中や水滴がついたままでの電池パックおよびリチウム電池の取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。また、おもりモコン以外の付属品、オプション品は防水性能を有していません。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
    また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、おもりモコン、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

◆FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
  - 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

◆FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆おまもりリモコンについてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた所でご使用ください。
- 近くにある電波を発生する電子機器や無線局からの影響により、おまもりリモコンが有効範囲内にあってもはなれたよアラームが動作する場合があります。その場合には、すみやかに場所を移動して使用してください。
- おまもりリモコンは、はなれたよアラームのためにFOMA端末との間で電波をやりとりしています。FOMA端末やおまもりリモコンが金属製の家具や硬貨の近くにある場合は、有効範囲が極端に狭くなったり、電波が遮断されたりして、はなれたよアラームが動作する場合があります。

◆注意

- 改造されたFOMA端末およびおまもりリモコンは絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末およびおまもりリモコンは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末およびおまもりリモコンの銘版シールに表示されております。
  FOMA端末およびおまもりリモコンのネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- おまもりリモコンは日本国内で使用してください。
  FOMA端末のおまもりリモコンは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能について

F-05Aは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2の防水性能を有しています。
また、おまもりリモコンはしっかりと閉じた状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機およびおまもりリモコンとしての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所にF-05Aを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

❖具体的には

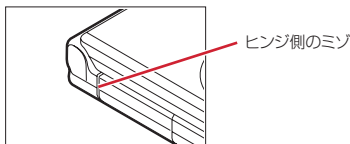
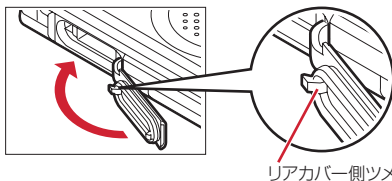
- 雨の中で傘をささずに通話できます（1時間の雨量が20mm程度）。
  ※ 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- お風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  ※ 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水には浸けないでください。
  ※ FOMA端末にプールの水がかかった場合は、下記の方法で洗い流してください。
  ※ おまもりリモコンにプールの水がかかった場合は、乾いた布で拭いてください。
  ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
  ※ 洗うときはリアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

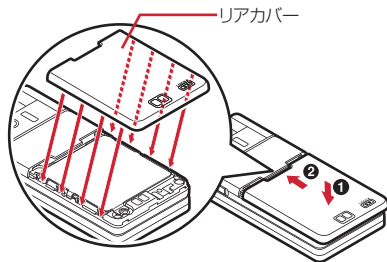
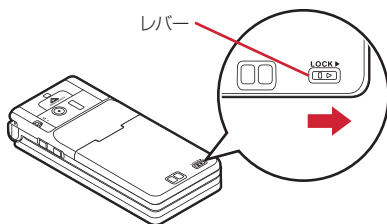
◆ご使用にあたっての重要事項

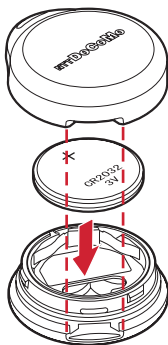
防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

■ FOMA端末について

- 外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかりと閉じてください。
- キャップやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- リアカバーのレバーがLOCK位置にあることを確認してから使用してください。

外部接続端子キャップの開けかた
ヒンジ側のミゾに指を掛けて、開けてください。

外部接続端子キャップの閉じかた
キャップ裏面リアカバー側のツメを、本体のミゾへ掛けた状態で閉じてください。

リアカバーの取り付けかた

① リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

② リアカバーのレバーを矢印方向にスライドさせて、ロックします。

■ **おまもりリモコンについて**

上下ケースのミゾが合うように取り付け、しっかりと閉じます。

- 水中でFOMA端末およびおまもりリモコンを使用（FOMA端末の開閉キー操作、おまもりリモコンのボタン操作を含む）しないでください。
- 常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

〈例〉

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモショップなどの窓口にお持ちください。

◆注意事項

■ **FOMA端末、おまもりリモコンについて（共通）**

- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-05AおよびおまもりリモコンはIPX5の防水性能を有していますが、不具合の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- F-05Aおよびおまもりリモコン以外の付属品やオプション品は防水性能を有していません。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 絶対に濡れている状態で充電したり、電池交換を行ったりしないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートするおそれがあります。
- FOMA端末およびおまもりリモコンは水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。

■ FOMA端末について

- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、リアカバープレートのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。

■ おまもりリモコンについて

- ケースはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ケースが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、リチウム電池を外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ケースのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。
調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

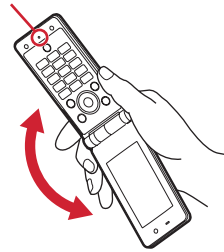
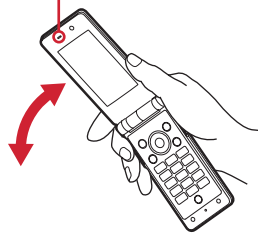
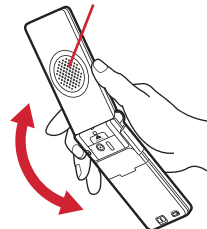
◆水に濡れたときの水抜きについて

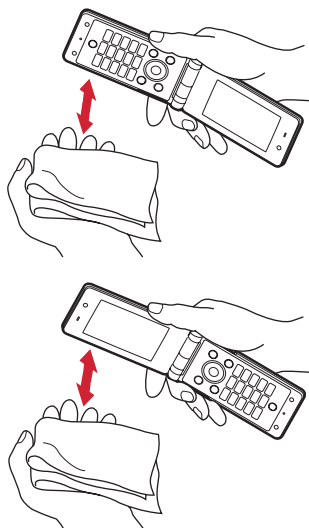
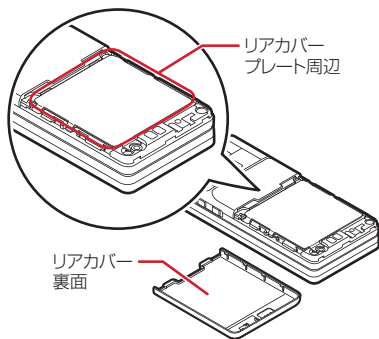
■ FOMA端末の場合

FOMA端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

①FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

②FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、約20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

送話口の水抜きのために送話口を上にして振る

受話口の水抜きのために受話口を上にして振る

スピーカーの水抜きのためにスピーカーを上にして振る

※ リアカバー周りの水抜きを行う際には、リアカバー側を上にして振ってください。

③ 送話口、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取ってください。

④ リアカバーを取り外して、リアカバープレート周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取ってください。拭き取った後にリアカバーを取り付けてロックしてください。
リアカバーの取り外しかた→P37「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」■取り付けかた①
※ リアカバープレートは絶対に開かないでください。

⑤ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取ってください。
※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
※ 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ おまもりリモコンの場合

おまもりリモコンを水に濡らした場合、必ず乾いた布で水を拭き取ってください。

◆充電のときには

付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合はよく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

※ FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
※ 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

知的財産権について

◆著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「着モーション」「デコメ®」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「ビジュアルネット」「ｉエリア」「キャラ電」「ｉアプリDX」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「セキュリティスキャン」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「ケータイデータお預かりサービス」「着もじ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「きせかえツール」「ファミリーワイドリミット」「おまもりモコン」「キッズケータイ」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「キッズケータイ」ロゴ「直デン」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。NetFront
  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2008 Aplix Corporation. All rights reserved. JBlend
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd © 1998-2008よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbian OS およびSymbian OS はSymbian Ltd.の商標です。
- 「ゴシック」、「丸ゴシック」は株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- ©Kashiwa Sato
- ©NTT DOCOMO

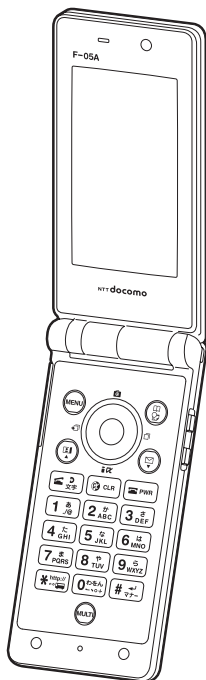
◆その他

- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 「明鏡モバイル国語辞典」「Gモバイル英和辞典」「Gモバイル和英辞典」は大修館書店編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

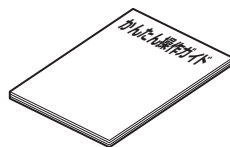
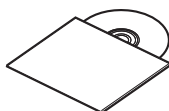
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

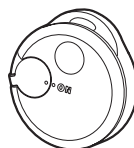
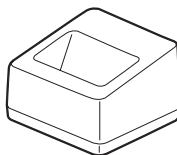
本体付属品および主なオプション品について

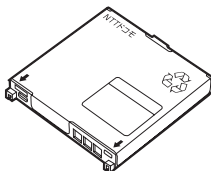
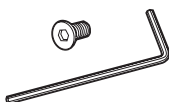
〈本体付属品〉

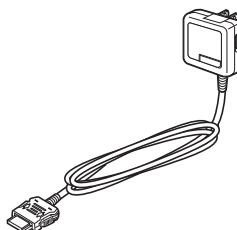
F-05A
（リアカバー F37、
保証書含む）

取扱説明書（本書）

※ P348にクイックマニュアル
を記載しています。

かんたん操作ガイド

F-05A用CD-ROM

※ PDF版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

おまもりモコン F01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F21
（取扱説明書付き）

ブザー用ストラップ（試供品）

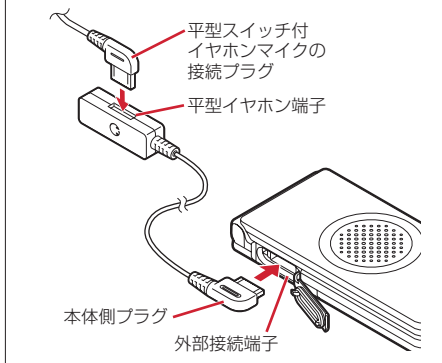
電池パック F17

リアカバープレート止めネジ（試供品）／
リアカバープレート止め工具（試供品）

〈主なオプション品〉

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

その他のオプション品→P318

ご使用前の確認

各部の名称と機能

〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

① **受話口**
相手の声をここから聞く

② **インカメラ**
自分の映像の撮影、テレビ電話で自分の映像の送信

③ **ディスプレイ→P28**

④ **MENUキー**
メニューの表示、ガイド表示領域左上に表示される操作の実行
1秒以上押す：HOLDの起動／解除

⑤ **テレビ電話開始／▲（スクロール）キー**
テレビ電話をかける／受ける、メール画面やサイト、ホームページ表示中の上方向への1画面スクロール、大文字／小文字切り替え、ガイド表示領域左下に表示される操作の実行
1秒以上押す：スピーカーホン機能でテレビ電話をかける

⑥ **CLR α／クリアキー**
iアプリ待受画面とiアプリ起動の切り替え、文字の消去や1つ前の画面に戻る
1秒以上押す：セルフモードの起動／解除

⑦ **音声電話開始／直デン／文字／スピーカーホンキー**
音声電話をかける／受ける、直デンの起動、文字入力モードの切り替え、スピーカーホン機能の通話切り替え
1秒以上押す：スピーカーホン機能で音声電話をかける

⑧ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行
1～9を1秒以上押す：セレクトメニューに登録されている機能の実行
0を1秒以上押す：国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定の利用

⑨ ＊ ＊／公共モード（ドライブモード）キー
「＊」や「゛」「゜」などの入力
1秒以上押す：公共モードの起動／解除

⑩ **送話口**／**マイク**
自分の声をここから送る
※ 通話中や録音中に指でふさがないでください。

⑪ **マルチカーソルキー**
決定キー
操作の実行、フォーカスモードの実行
1秒以上押す：ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリの起動
カメラ／↑キー
静止画撮影の起動、音量調整、上方向へのカーソル移動
1秒以上押す：動画撮影の起動
ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、音量調整、下方向へのカーソル移動
1秒以上押す：ｉアプリフォルダ一覧の表示
着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
1秒以上押す：プライバシーモード設定中にプライバシーモードの起動／解除
リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
※ のように表記する場合があります。

⑫ **電話帳／スケジュールキー**
電話帳の表示、ガイド表示領域右上に表示される操作の実行
1秒以上押す：スケジュール帳の表示

⑬ **メール／▼（スクロール）キー**
メールメニューの表示、メール画面やサイト、ホームページ表示中の下方向への1画面スクロール、ガイド表示領域右下に表示される操作の実行
1秒以上押す：メール作成画面の表示

⑭ **電源／終了キー**
応答保留、通話／操作中の機能の終了、待受カスタマイズの表示／非表示に使います。
2秒以上押す：電源を入れる／切る

⑮ ＃ **＃／改行／マナーモードキー**
「＃」の入力、文字入力時の改行
1秒以上押す：マナーモードの起動／解除

⑯ **マルチタスクキー**
通話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）

⑰ **背面表示部→P30**

⑱ **ランプ→P62、91、103、133**
開閉ロック起動時、静止画や動画の撮影時などに点灯または点滅
不在着信お知らせやイルミパターン設定に従って動作、ライトとして動作
※ ランプの上下左右4箇所は色が変化します。それ以外は白色で点灯／点滅し、色は変化しません。

⑲ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声などをここから聞く

⑳ **ストラップ取付口**

㉑ **接写切り替えスイッチ→P62、133**
アウトカメラで近い距離の被写体を撮影するときに、側に切り替える

㉒ **充電端子**

㉓ **FOMAアンテナ**
※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉔ **防犯ブザー用ストラップ取付口→P97**

㉕ **防犯ブザースイッチ→P98**

㉖ **赤外線ポート→P240**
赤外線通信、赤外線リモコン

㉗ **アウトカメラ**
静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

㉘ **リアカバー**

㉙ **リアカバーのレバー→P37**

㉚ **外部接続端子**
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続できます。

㉛ **ひかりキー**
着信音やアラーム音、バイブレータの停止、FOMA端末を閉じているときの背面表示部の照明点灯や表示切り替え、ひかりルーレットの操作※1
1秒以上押す：着信中にクイック伝言メモを起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止、FOMA端末を閉じているときはマナーモードの起動／解除※2、FOMA端末を開いているときは待受画面表示中に伝言メモ／音声メモの起動
※1 ルーレット準備中にを押すとひかりルーレットが終了します。
※2 ひかりキー長押し設定で「マナーモード設定／解除」を設定したときの動作です。→P103

㉜ ※**ちょこっと通知キー**
1秒以上押す：イマドコサーチで現在地を通知→P99
※ 本書では（ひかりキー）と区別するためにと表記しています。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。

※1
① : あんしん電池機能ロック中→P104
　: 電池アイコン→P41
② : アンテナアイコン→P42
　圏外 : 圏外表示→P42
　Self : セルフモード中→P110
　: データ転送モード中→P115、240
③ : iモードロック中→P105
　／ : iモード中（iモード接続中）／（パケット通信中）→P142
④ : カメラロック中→P105
⑤ : スピーカーホン機能利用中→P47

※1
⑥ : GPSで測位中→P212
　／（グレー）：GPSで位置提供設定中／許可期間外→P218
⑦ : 電話帳データ、スケジュールデータがシークレット属性→P74、255
　: 赤外線通信中→P241
　赤外線リモコン使用中→P243
　¥ : 積算通話料金が上限を超過→P261

※1
⑧ メールロック、未読メール、メッセージR/F状態表示→P105、155、171、194
　: メールロック中
　: 未読iモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
　: 未読iモードメール、SMS満杯
　: FOMAカードにSMS満杯
　: 未読iモードメールとSMSあり
　: 未読iモードメールあり
　: 未読SMSあり
　（赤）／（青）：未読メッセージR満杯／あり
　（赤）／（黄緑）：未読メッセージF満杯／あり

※1
⑨ iモードセンター蓄積状態表示→P155、171
　: センターにiモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
　／／ : センターにiモードメールまたはメッセージR/F満杯
　: センターに未受信のiモードメールとメッセージR/Fあり
　／／ : センターに未受信のiモードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり

※1
⑩ : SSLページ表示中／iアプリでSSL通信中、SSLページからダウンロードしたiアプリを使用中→P143
　: 圏内自動送信失敗メールあり→P170
　: 圏内自動送信メールあり→P170
⑪ iアプリ／iアプリDX状態表示→P105、201、208
　: iアプリロック中
　: iアプリ動作中
　（αがグレー）：iアプリ待受画面表示中
　（αがオレンジ）：iアプリ待受画面からiアプリ起動中
　: iアプリDX動作中
　（αがグレー）：iアプリDX待受画面表示中
　（αがオレンジ）：iアプリDX待受画面からiアプリ起動中
　: iアプリ自動起動失敗→P207

※2
⑫ : キッズモード中→P96

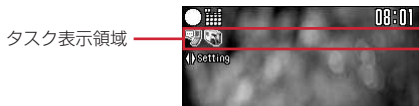
※2
⑬ はなれたよアラーム機能→P100
　: おまもりリモコンが有効範囲内にあり
　: おまもりリモコンが有効範囲外にあり、または電池が切れている
　: おまもりリモコンの電池残量が少ない
⑭ 直デン新着情報→P35
⑮ 新着情報→P35
⑯ : マナーモード中→P82
　: オリジナルマナーモード中→P83
　: スクールマナーモード中→P82
⑰ S : 電話着信音量消音設定中→P79
　V : 音声電話着信のバイブレータ設定中→P80
　SV : 電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P80
⑱ : 公共モード（ドライブモード）中→P58
⑲ ／ : 伝言メモ設定中／満杯→P60

※1
⑳ ：ダイヤル発信制限中→P111
：HOLD中→P117
㉑ ：パーソナルデータロック中→P110
㉒ ：FOMAカード読み込み中→P35、42
㉓ ／ ：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P35
：開閉ロック中→P117
㉔ ：目覚まし設定中→P249
：スケジュールアラーム設定中→P252
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中→P249、252
㉕ ／ ／ ：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
㉖ ：USBケーブルで外部機器と接続中→P64
※1
㉗ ：ソフトウェア更新予約中→P331
：更新お知らせアイコン→P329
／ ：最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P332

※1 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2 待受画面以外のとき、時刻が表示されます。

◆タスク表示領域の見かた

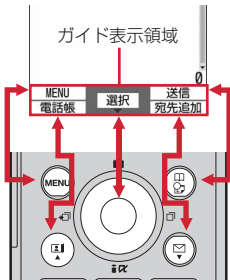
タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

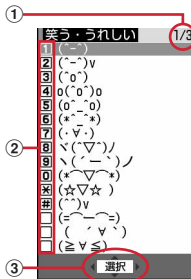
〈例〉音声電話中に静止画撮影を起動したとき

タスク表示領域

❖タスク表示領域に表示されるアイコン一覧

：音声電話
：リダイヤル
：着信履歴
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：電話帳
：直デン
：プライバシーモードのシークレット反映
：防犯ブザー
：はなれたよアラーム／おまもりモコンのケータイサーチ
：きせかえツール
：静止画撮影
：動画撮影
：バーコードリーダー
：ｉモード
：Bookmark／Internet／ラストURL／画面メモ
：メッセージR/F
：メール
：ｉモードメール受信中
：ｉモード／SMS問合せ中
／ ：メール送信履歴／受信履歴
：チャットメール
：SMS受信中
：ｉアプリ
：GPSの現在地確認
：GPSの位置提供
：GPSの現在地通知
：GPSの位置履歴
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：キャラ電
：メロディ
：サウンドレコーダー
：マルチタスクで音量設定中
：お知らせタイマー
：目覚まし
：スケジュール帳
：スケジュールアラーム鳴動中
：プロフィール情報
：電卓
：メモ帳
：辞典
：演奏中
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中
：ネットワークサービス設定中
／ ：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
：64Kデータ通信中
：外部データ連携中
／ ：ソフトウェア更新中／更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中／自動更新設定中
（青）／ （グレー）：各機能の設定中／保留中

◆ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、Ⓜ、Ⓘ、◉、Ⓑ、Ⓔを押して実行できる操作が表示されます。
表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド表示領域に表示される操作の説明を、対応するキー（ⓂⒾ◉ⒷⒺ）を使って説明しています。
ガイド表示領域に表示される操作は画面によって異なります。

- ガイド表示領域の◆は、マルチカーソルキーの◎に対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆一覧画面の見かた

①一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
②表示されている数字や記号に対応するキー（1～9、0、＊、＃）を押すと、項目を選択できます。数字や記号が表示されていない項目は、カーソルを移動して◉を押して選択してください。
③ ◆ は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。◎を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で◎を押すと次ページが、先頭の項目で◎を押すと前ページが表示されます。◂ ▸は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。◎を押してページを切り替えます。アイコンの選択画面など、画面によっては切り替えできません。

背面表示部の見かた

FOMA端末を閉じていても、時間やロック状態、新着情報があるかどうかなどをパターンの表示で確認できます。

- パターンが表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。

❖表示されるパターン一覧

パターンの意味は次のとおりです。なお、掲載している画面はパターンの一部です。

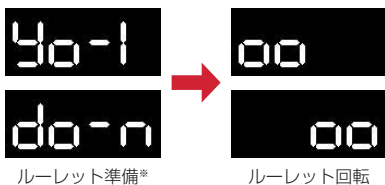
■ 電話／テレビ電話がかかってきたとき

■ メール／メッセージを受信したとき

受信中　　受信完了

■ 時計を表示するとき

- FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を閉じた状態で□を押したときに表示します。ただし、開閉ロックが起動したときは「ON」と表示し、時計は表示しません。
- 新着情報がある場合に□を押すと、時計を表示すると同時にバイブレータが振動します。
- 毎時0分に時計を表示するように設定できます。→P92
- 開閉パターンが「OFF」の場合は表示しません。

- 開閉パターンが「時計＋ひかりルーレット」の場合にFOMA端末を閉じると、時計が表示された後にひかりルーレットが動作します。ひかりルーレットの操作は次のとおりです。
  ※ ルーレット準備中に□を押すとひかりルーレットが終了します。

- オールロック中、おまかせロック中、HOLD中に□を押したときは、次のパターンを表示した後に時計を表示します。

■ マナーモードを起動／解除したとき

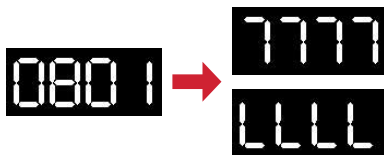
- マナーモードを起動※するとランプが赤色で1回点灯し、バイブレータが1回振動します。解除するとランプが青色で2回点滅し、バイブレータが2回振動します。

※ ひかりキー長押し設定で「マナーモード設定／解除」を設定した場合は、FOMA端末を閉じた状態で□を1秒以上押す操作で、マナーモードの起動／解除ができます。

起動

解除

■ 目覚まし／スケジュールアラーム鳴動中

- 指定した時刻とパターンの表示を繰り返します。

■ 防犯ブザー動作中

■ はなれたよアラーム鳴動中

はなれたよアラームが「ON」で、おまもりリモコンがFOMA端末から離れた場合に表示されます。

■ お知らせタイマーカウントダウン中

残り時間を表示します。

- 残り時間が3分以上あるときは、10秒ごとに表示します。

■ iモード問合せ／SMS問合せをしたとき

問合せ中のパターンを表示した後に、メールやSMSがあるかどうかを示します。

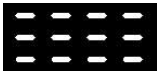
- ひかりキー長押し設定で「iモード問合せ」を設定した場合は、FOMA端末を閉じた状態で□を1秒以上押す操作で、iモード問合せができます。

問合せ中

あり

なし※

※ SMSがなかったときは表示されません。

■ 各種通信中

電話発信中／呼出中／通話中

パソコンとつないだパケット通信中

64Kデータ通信中

■ GPS利用中

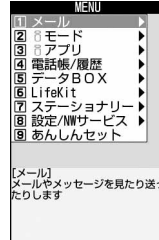
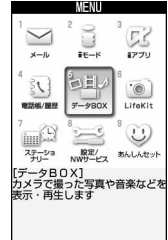
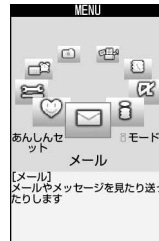
現在地確認中、現在地通知中、位置提供中（電源OFF通知、ちょこっと通知を含む）に表示します。
現在地通知の場合は次のパターンを表示します。

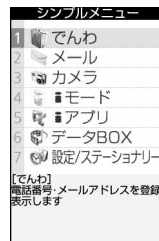
現在地通知

- この他にも、あんしんぴかぴかライト点灯中や動画／iモーションのプレイリスト再生時などにもパターンを表示します。

メニューから機能を選択する

メニューには、お買い上げ時に表示されるノーマルメニューと、メニュー項目を自由に登録できるセレクトメニューがあります。

- メニューの表示形式は、待受画面でMENUを押すと表示されるメニュー設定で、ノーマル欄またはセレクト欄を選択して表示される次の種類から選択できます。→P88

1リスト

2タイルアイコン

33Dアイコン

4アニメーション※1、2
（お買い上げ時）

5シンプル※2

※1 メニュー設定やコーディネイト／きせかえの設定により、アニメーションデザインは異なります。

※2 セレクトメニューでは選択できません。

◆機能を選択する

待受中にⓂを押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。
機能を実行するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押す方法と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字の色が変わったりして選択できません。ただし、アニメーションメニューの場合、表示は変わりません。機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。
- カーソル位置のメニュー項目の機能説明が表示されます。また、メニュー項目によっては設定内容も表示されます。

❖ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

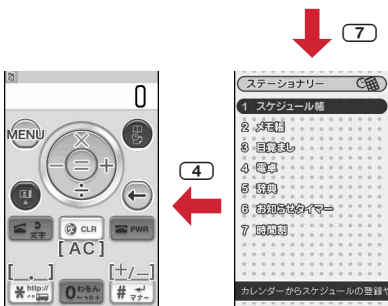
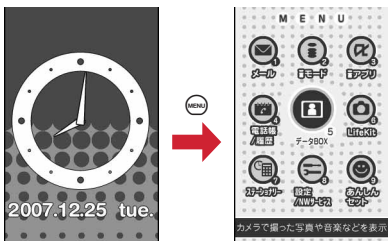
メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられています（項目番号）。対応するダイヤルキー（0～9）を押してメニュー項目を選択できます。

- メニューの項目番号→P290「メニュー一覧」

〈例〉「電卓」を選択する

1

7

4

❖マルチカーソルキーでメニューを選択する

〈例〉「電卓」を選択する

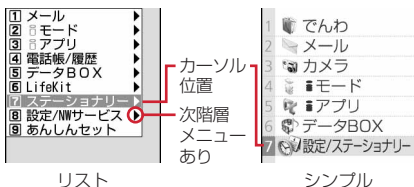
1 Ⓜ▶「ステーショナリー」または「設定／ステーショナリー」にカーソルを合わせて◉

アニメーションまたはタイルアイコンのとき

アニメーション　　タイルアイコン

- ✣で移動します。ただし、アニメーションのデザインによっては◂▸での移動はできません。

リストまたはシンプルのとき

リスト　　シンプル

- ▴▾で移動します。カーソルを合わせて▸を押しても次の階層のメニューを表示できます。

3Dアイコンのとき

- ✣でメニュー項目を中央最前面に移動します。操作するキーとメニュー項目の移動は次のようになります。

▸：時計回りで回転し、カーソルの右のアイコンがカーソル位置に移動
◂：反時計回りで回転し、カーソルの左のアイコンがカーソル位置に移動
▴：反時計回りで回転し、奥のアイコンがカーソル位置に移動
▾：時計回りで回転し、奥のアイコンがカーソル位置に移動

2「電卓」にカーソルを合わせて◉

- リストまたはシンプルの場合は、カーソルを合わせて◎を押してもメニューが選択できます。

❖待受画面や1つ前のメニューに戻すには

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

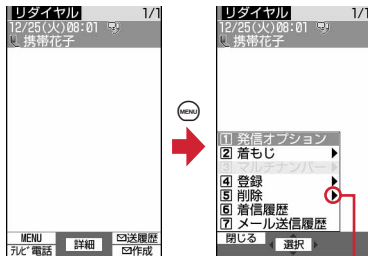
(終話)：待受画面に戻ります。

CLR：1つ前のメニューに戻ります。リストまたはシンプルの場合は、◎を押しても戻ります。

◆サブメニューの選択方法

ガイド表示領域の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

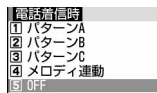
〈例〉リダイヤルのサブメニューを表示する

1 リダイヤル一覧画面でMENU▶サブメニューの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

次階層メニューあり

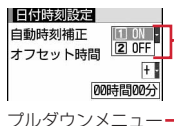
- 項目にカーソルを合わせて◉または◎を押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面によって異なる場合があります。
- MENUまたはCLRを押すと、サブメニューが閉じます。

◆画面の各項目の操作方法

❖項目の選択

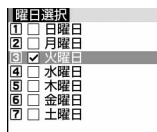
1 項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて◉を押しても選択できます。
- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーションの色や点灯パターン、スクリーン設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。

❖プルダウンメニューの操作方法

1 設定する項目にカーソルを合わせて◉▶プルダウンメニューの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

プルダウンメニュー

- 項目にカーソルを合わせて◉を押しても選択できます。

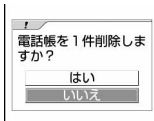
❖チェックボックスの操作方法

1 項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて◉を押しても選択できます。
- ダイヤルキーまたはカーソル位置で◉を押すたびに、チェックボックスが☑（選択）と□（解除）に切り替わります。
- 機能によってはMENUを押すと、すべての項目を選択または解除できます。

❖確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

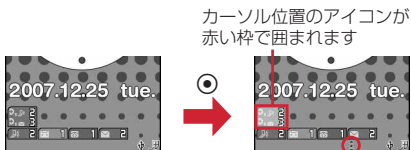
〈例〉電話帳データを1件削除する

1 「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて◉

- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

◆情報をすばやく表示する〈フォーカスモード〉

待受画面で新着情報（直デン新着情報を含む）が表示されているときや、カレンダー／待受カスタマイズを設定して表示しているときは、待受画面で◉を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

〈例〉新着情報を表示する

1 ◉▶アイコンにカーソルを合わせて◉

カーソル位置のアイコンが赤い枠で囲まれます

マルチカーソルキーで移動可能な方向を示します

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

（不在着信）：着信履歴一覧が表示されます。

（伝言メモ）：伝言メモ一覧が表示されます。

（留守番電話サービスの伝言メッセージ）：メッセージ再生確認画面が表示されます。

（未読メール）：受信メールのフォルダー覧が表示されます。

（直デン不在着信のみ）／（直デンの不在着信と未読メール）：直デン着信履歴一覧が表示されます。

（直デン未読メールのみ）：直デン受信メール一覧が表示されます。

- やのときはカーソルを合わせてを、やのときはカーソルを合わせて✉を押しても対応する画面を表示できます。
- 次のアイコン表示中も同様に操作できます。
  - ：ソフトウェア更新のお知らせ
  - ／：最新パターンデータの自動更新失敗／成功
  - ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了

フォーカスモードを解除する：CLRまたは

✔お知らせ

- 新着情報のアイコンにカーソルを合わせてCLRを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示を消去するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると表示されなくなります。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- フォーカスモード中は、MENUを押してもメニューを表示できません。
- iアプリ待受画面が設定されている場合は、直デン新着情報があってもアイコンを表示しません。表示する場合はiアプリ待受画面を解除してください。

FOMAカードを使う

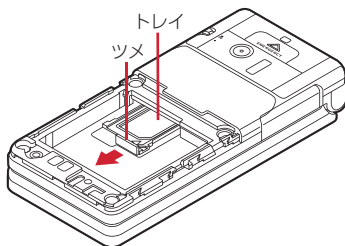
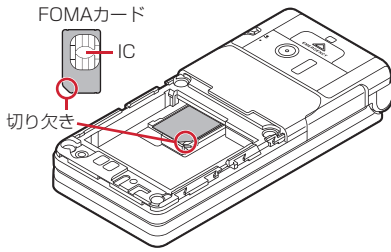
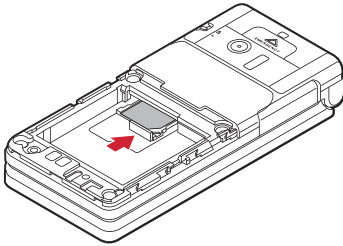
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。

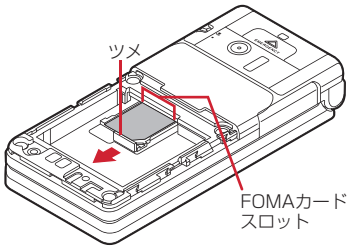
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

◆取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P37

■取り付けかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す

②IC面を下にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せる

③トレイを奥まで押し込む

■ **取り外しかた**

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外す

✔お知らせ

- FOMAカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、FOMAカードは取り外した状態で、トレイをFOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

◆暗証番号

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。
暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P107

◆FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカードのセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカードのセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信ができません。
- FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル、デコメール®や署名に挿入されている画像、メッセージR/F、動作制限の対象となるデータが含まれたメールテンプレート
  - 画面メモ
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、メロディ、キャラ電
  - きせかえツール

✔お知らせ

- FOMAカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。
データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データのFOMAカードのセキュリティ機能は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信やドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、FOMAカードのセキュリティ機能は設定されません。
- 次の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定内容が有効になります。
  - 自局電話番号
  - SMS設定（「送達通知」以外）
  - 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
  - バイリンガル、FOMAカード（UIM）

◆FOMAカードの種類

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P68
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P158
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P37
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P281

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

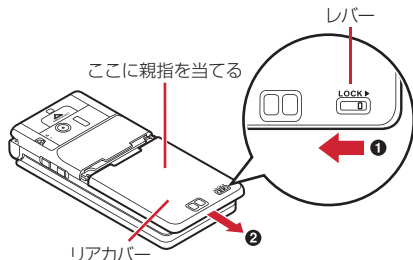
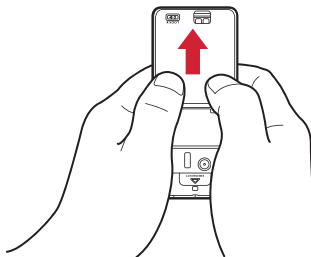
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

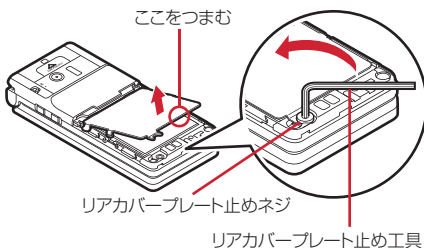
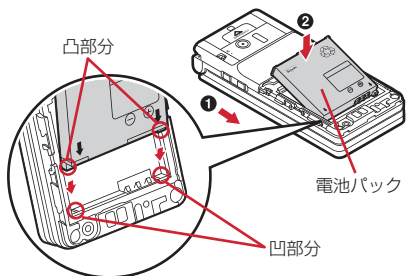
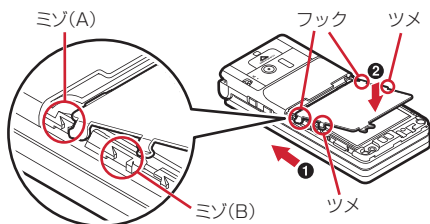
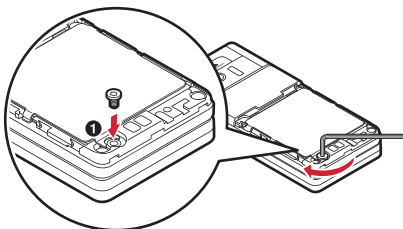
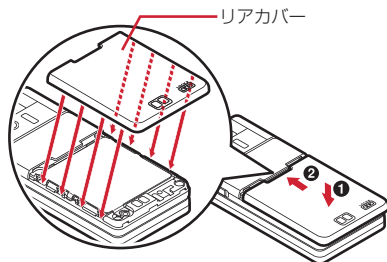
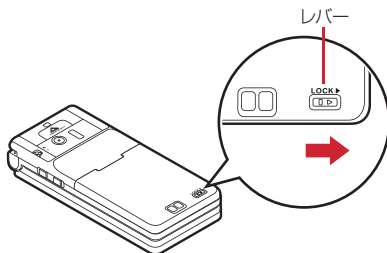
※ 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

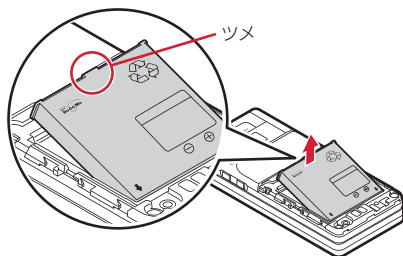
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。

■取り付けかた

①リアカバーのレバーを❶の方向にスライドさせてロックを外した後、親指でリアカバーを押しながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外す

※ リアカバーがスライドしにくい場合は、下図のようにFOMA端末を持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

②リアカバープレート止めネジの穴に、付属のリアカバープレート止め工具を差し込んで、ネジを外し、リアカバープレートの端をつまんで矢印方向に持ち上げて開く

- お買い上げ時には、ネジは取り付けられていません。

③ 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む

④ リアカバープレートのフックを左右のミゾ（A）に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、ツメを左右のミゾ（B）に合わせて❷方向に押し付けて、カチッと音がするまではめ込む

⑤ リアカバープレートの止めネジを❶にセットし、付属のリアカバープレート止め工具を差し込んで、ネジを取り付ける
- 無理な力をかけて、強く締め過ぎないでください。

⑥ リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら❷の方向にスライドさせて取り付ける

⑦ リアカバーのレバーを矢印方向にスライドさせてロックする

■ **取り外しかた**

① 取り付けかたの操作①～②を行う
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す

✔お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 浸水を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- リアカバープレートのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

携帯電話を充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-05Aの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F17をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F-05Aの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約140分
DCアダプタ	約140分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	静止時：約570時間 移動時：約400時間
連続通話時間	音声電話時：約185分 テレビ電話時：約110分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間はF-05Aを閉じて電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。iモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、電源OFF通知設定を「ON」にして利用したり、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリの起動やiアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／iモーションの再生、防犯ブザーの設定や起動などを行うことによっても、通話や通信、待受の時間は短くなります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらiアプリやテレビ電話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

✔**お知らせ**

- ｉアプリによっては、FOMA端末を閉じても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、動画／ｉモーション再生中やｉアプリの動作中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明設定の点灯時間設定で通常時を「常時」に設定した状態でFOMA端末を開いたまま充電するなど、照明設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。充電を完了させるには、FOMA端末を閉じて充電することをおすすめします。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

◆充電する

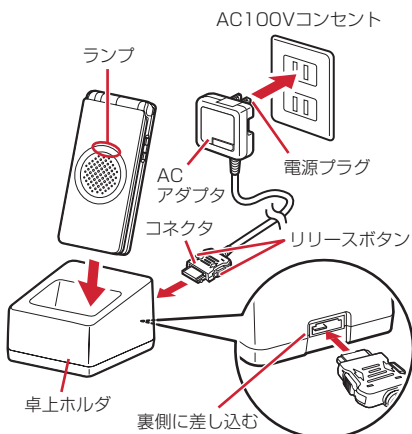
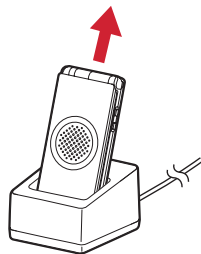
別売りのACアダプタやDCアダプタ、卓上ホルダを利用するときは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。

- 電池パック単体での充電はできません。FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

■卓上ホルダとACアダプタを使って充電する

①ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ差し込む

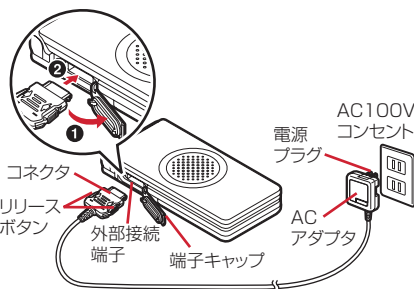
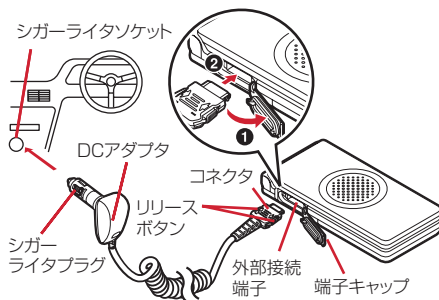
②ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

③FOMA端末を閉じて、図のようにランプを手前にして卓上ホルダに差し込む

④充電が終わったら、卓上ホルダを押さえてFOMA端末を取り外す

■ACアダプタまたはDCアダプタで充電する

①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）

②ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込む

③充電が終わったら、ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから、DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

〈ACアダプタ〉

〈DCアダプタ〉

✔お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

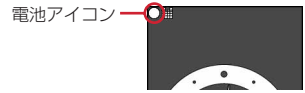
❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にメールを受信したり、撮影をしたりするとランプは一時的に異なる色で点灯しますが、しばらくたつと赤色に点灯します。
  これらの理由以外で充電中にランプが点滅する場合→P319「故障かな？と思ったら、まずチェック」
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「OFF」に設定しているときは、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

（電池残量3）：十分残っています。
（電池残量2）：少なくなっています。
（電池残量1）：ほとんどありません。充電してください。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。→P299
- あんしん電池機能ロック中になると、電池アイコンは🔒に変わります。

❖電池が切れそうになると

電池がない旨のメッセージが表示されます。◉、CLR、📞のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくするとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合は📞を押します。

- 通話中は、メッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。約20秒後に通話が切れ、スピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。

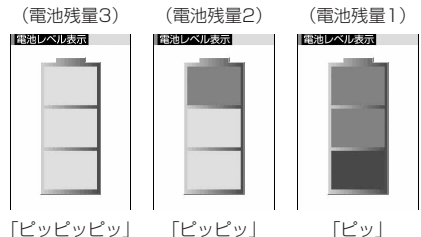
◆電池残量を音と表示で確認する〈電池レベル表示〉

1 MENU▶8 7 6 5

電池残量が表示され、残量に応じてキー操作音が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

（電池残量3）
「ピッピッピッ」

（電池残量2）
「ピッピッ」

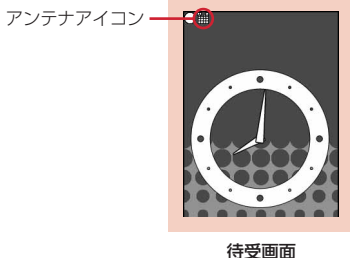
（電池残量1）
「ピッ」

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 （2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。FOMAカードの読み込み中はディスプレイ下部にが表示され、読み込みが終了すると消えます。

- ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

待受画面

アイコン		圏外
受信レベル	強 ←→ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。→P299

❖電源を切る

1 （2秒以上）

- 電源OFF通知設定を「ON」に設定しているときは、本操作で電源を切ると、位置提供が行われます。

❖完全に電源を切る〈完全電源OFF〉

電源OFF通知設定を「ON」に設定しているときでも、電源OFF通知による位置提供を行わずに電源を切ります。

1 端末暗証番号を入力▶（2秒以上）

- キッズモード中はパスワードでも認証されます。

2 「はい」

✔お知らせ

- 次の設定や動作を行ったときは、電源を切っていても、自動的に電源が入る場合があります。
  - 電源OFF通知設定※（完全電源OFF時以外）→P103
  - 自動電源ON／OFF設定→P249
  - 防犯ブザー→P97
  - ちょこっと通知→P99

  ※ 一時的に電源が入り、位置提供を行い、電源を切る動作を繰り返します。

◆初めて電源を入れたときに行う操作

初めて電源を入れたときは、初期設定を行ってください。設定した内容は後から変更できます。

❖初期設定

MENU8768

1 初期設定画面で各項目を設定▶

日付時刻：日付・時刻を設定します。→P43

暗証番号：認証操作を行った後、端末暗証番号を変更します。→P107

キー確認音：キーを押したときの確認音を設定します。→P80

位置提供可否：認証操作を行った後、位置情報を提供するかどうかを設定します。指定した期間だけ位置提供を許可するように設定する場合は、位置提供可否設定の許可期間設定で設定してください。→P217

キッズモード：キッズモードを設定します。→P96

パスワード（子供用）：認証操作を行った後、キッズモード時にお子さまが入力するパスワードを設定します。→P96

- 設定が完了した項目は、✔（グレー）が✔（青）に変わります。
- 設定が完了していない項目が残っている状態で、、CLR、のいずれかを押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。
- 再び初期設定画面が表示された場合、あんしんセットの各種利用制限のｉモードロックとｉアプリロックが「OFF」で、地図アプリの自宅登録がされていないと、初期設定画面の後に地図アプリが起動します。画面の指示に従って操作すると自宅登録ができます。
- メニュー操作で初期設定画面を表示した場合は、操作2の操作は行いません。

2 あんしんセットの紹介画面で1または2

- 「続けて設定」を選択し、認証操作を行うと、あんしんセットのメニュー画面（→P96）が表示されます。
- 「後で設定」を選択すると、待受画面が表示されます。

❖Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「はじめまして」のメールが保存されています。待受画面にはワンポイントアニメーションと 1が表示され、FOMA端末を閉じるとランプが水色で点滅し、未読メールがあることをお知らせします。

1 ●▶●

以降の操作→P177「受信／送信メールBOXのメールを表示する」操作2以降

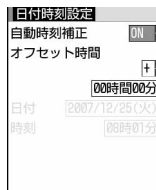
✔お知らせ

- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れた後認証操作を行う必要があります。正しく認証されると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作しないでいると、ディスプレイが自動的に表示されなくなります（省電力）。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。自動で補正するように設定すると、ドコモのネットワークからの時刻情報を受信した場合に補正します。

1 MENU▶8 7 1 1▶各項目を設定▶📖

自動時刻補正：時刻の補正を自動で行うかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、オフセット時間が設定できます。
- 「OFF」に設定したときは、日付と時刻を設定します。

オフセット時間：「＋」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間進めて表示されます。「－」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間遅らせて表示されます。

日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

✔お知らせ

- 自動時刻補正を「ON」に設定した場合は、電源を入れたときに時刻の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。
  ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 自動時刻補正を「ON」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 自動時刻補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、充電した後にもう一度日付・時刻の設定を行ってください。
- 一度も補正が行われず、日付・時刻が「--」や「？」などで表示されているときは、日付・時刻情報を利用する時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は利用できません。
  - ユーザ証明書の操作
  - メール検索（カレンダーでメール検索）
  - ｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 時報イルミネーション
  - GPSの位置提供可否設定の許可期間設定
  - 目覚まし、スケジュール帳（データ送受信やスケジュールデータの表示含む）
  - あんしんスケジュール設定、パターンデータ更新、自動電源ON設定、自動電源OFF設定、ソフトウェア更新
- 一度も補正が行われず、日付・時刻が「--」や「？」などで表示されていると、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。
  - 送信メール、未送信メール、メール送信履歴の日時、作成したメールテンプレートの保存日時
  - ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
  - ｉアプリのダウンロード日時
  - 着信履歴、リダイヤル、伝言メモ／音声メモ
  - 静止画や動画、音声ファイル、バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時
  - GPSの位置履歴

発信者番号通知設定

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話またはテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 圏外では設定の操作はできません。

1 MENU ▶ 8 8 4 1 1

- 設定内容を確認するときは MENU 8 8 4 1 2 を押し、「はい」を選択します。

2 **ネットワーク暗証番号を入力 ▶ 1 または 2**

❖発信者番号通知の優先順位について

自分の電話番号を相手に通知／非通知にするには、次の方法もあります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。このとき、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P52
②相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P51
③電話帳データの発番号設定→P73
④発信者番号通知設定

✔お知らせ

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

プロフィール情報

自分の電話番号を確認する

MENU48

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。

1 MENU ▶ 0

通話中などに確認する：MULTI ▶ 0

✔お知らせ

- ｉモードのメールアドレスの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、カメラ映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

◆テレビ電話中の画面の見かた

① **親画面**
相手側の映像を表示
② **テレビ電話アイコン**
③ **スピーカーホン機能**
[アイコン]: ON　表示なし：OFF
④ **子画面**
自分側の映像を表示
⑤ **ズーム**
[*1]: 標準～[*2]: 2倍（インカメラ）
[*1]: 標準～[*12]: 12倍（アウトカメラ）
⑥ **状態**
[アイコン]: カメラ映像送信中
[アイコン]: カメラオフ画像送信中　[アイコン]: キャラ電中
[アイコン]: フレーム送信中　[アイコン]: 静止画送信中
[アイコン]: 通話保留中　[アイコン]: 応答保留中
[アイコン]: 伝言メモ録画中　[アイコン]: 動画メモ録画中
アクションモード
[Action]: 全体アクション
[Parts]: パーツアクション
⑦ **撮影モード**
[STD]: 標準　[アイコン]: 逆光　[アイコン]: モノトーン
[アイコン]: セピア
⑧ **ライト**
表示なし：OFF　[アイコン]: ON（アウトカメラ）
⑨ **送信画質**
表示なし：標準　[アイコン]: 動き優先　[HQ]: 画質優先
⑩ **音声・映像の送受信状態**
[A]: 音声送受信中　[V]: 映像送受信中
[AV]: 音声・映像送受信中
スピーカーホン音量／受話音量
[1]～[6]: スピーカーホン音量／受話音量調整中
⑪ **テレビ電話切替機能**
表示なし：切り替え不可　[アイコン]: 切り替え可
⑫ **通話時間**
時:分:秒の形式で表示

電話／テレビ電話をかける

1 電話番号を入力

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 80桁以内で入力します。

CLR：1桁削除
CLR（1秒以上）：全桁削除

2 発信方法を選択

音声電話をかける：[発信キー]

テレビ電話をかける：[テレビ電話キー]
テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

- マナーモード中は、スピーカーへの切り替え確認画面が表示されます。
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。

3 通話が終わったら[終話キー]

✔**お知らせ**

〈音声電話・テレビ電話共通〉
- 相手が話し中のときは「ツーツー」という話中音が聞こえます。[終話]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

〈テレビ電話のみ〉
- カメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中※
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知（ビジュアルネットなどへの発信時）
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
パケット通信中です	相手がパケット通信中
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プランの上限額を超過している
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

- 音声自動再発信が「ON」のときに着もじを付加してテレビ電話を発信した場合は、再発信時も着もじが付加されます。
- 音声自動再発信が「ON」のときにFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

◆通話中に保留にする〈通話中保留〉

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
- 保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 通話中に[●]

通話が保留になり、ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。
- 音声電話の保留を解除するときは、[●]または[通話]を押します。
- テレビ電話の保留を解除するときは、次のいずれかの操作を行います。
  [●]：保留前に送信していた画像に戻る
  [テレビ電話]／[通話]：カメラ映像が送信される
  [メール]：代替画像が送信される

◆スピーカーホン機能を利用する

スピーカーホン機能を利用せずにテレビ電話をかけたり受けたりするには、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を変更します。

1 電話番号を入力▶[通話]（1秒以上）または[テレビ電話]

ディスプレイ上部に[スピーカー]が表示されます。
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。
- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定が「OFF」のときに、スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかける場合は、[テレビ電話]を1秒以上押します。
- 発信中、呼出中、通話中は、[通話]を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

✔**お知らせ**

- スピーカーに切り替えると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。

◆通話中に受話音量を調整する〈受話音量〉

- 通話中に調整した受話音量は、音量設定の「受話音量」に反映されます。

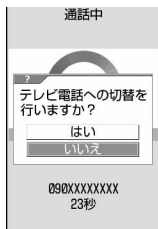
1 通話中に[上下]

音声電話／テレビ電話を切り替える

音声電話やテレビ電話をかけた側の端末からのみ、切り替え操作ができます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。→P64

〈例〉音声電話中にテレビ電話へ切り替える

1 音声電話中に ▶「はい」

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わると、スピーカーホン機能を利用した通話になります。

テレビ電話中に音声電話へ切り替える：テレビ電話中にMENU▶1▶「はい」

- 音声電話に切り替わるとスピーカーホン機能は解除されます。

✔お知らせ

- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 電波状態によっては切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- キャッチホンでの音声電話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は、テレビ電話に切り替えられません。
- カメラの切り替えやフレーム選択、代替画像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P62

リダイヤル／着信履歴

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

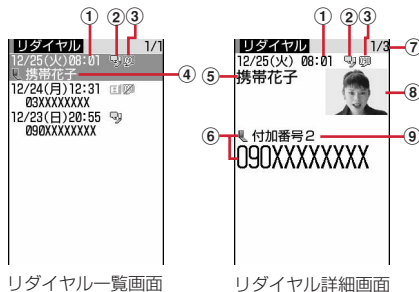
MENU45
MENU44

音声電話、テレビ電話の発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 同じ電話番号にかけた場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件がリダイヤルに記録されます。

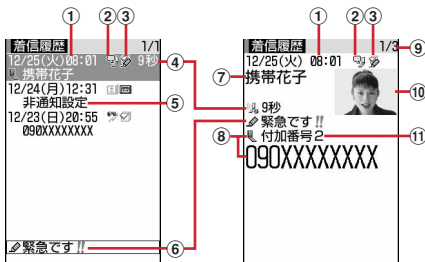
1 （リダイヤル）または（着信履歴）▶かけ直す相手にカーソルを合わせる

- かけ直す相手を選択すると詳細画面が表示されます。

リダイヤル画面の見かた

リダイヤル一覧画面　　リダイヤル詳細画面

① **発信日時**
② **発信の種類**
　：音声電話　：国際音声電話
　：テレビ電話　：国際テレビ電話
③ **発信者番号の通知／非通知**
　：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で番号通知に設定した場合
　：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で番号非通知に設定した場合
④ **電話番号※1／電話帳の電話番号アイコン、名前（電話帳に登録している場合）**
⑤ **名前（電話帳に登録している場合）**
⑥ **電話帳の電話番号アイコン（電話帳に登録している場合）、電話番号※1**
⑦ **リダイヤル番号／件数**
⑧ **画像（電話帳に登録している場合）※2**
⑨ **発信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）**

※1 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。
※2 画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

着信履歴画面の見かた

着信履歴一覧画面　　着信履歴詳細画面

① **着信日時**
② **着信の種類**
　：音声電話　：国際音声電話
　：テレビ電話　：国際テレビ電話
　：64Kデータ通信
　：国際64Kデータ通信
③ **状態マーク**
　：不在着信（未確認）
　：不在着信（確認済み）
　：伝言メモ
　：伝言メモ（削除済み）
　：着もじ
　：着もじ付きの不在着信（未確認）
　：着もじ付きの不在着信（確認済み）
　：着もじ付きの伝言メモ
　：着もじ付きの伝言メモ（削除済み）
④ **不在着信の呼出時間マーク（詳細画面のみ）、不在着信の呼出時間（一覧画面では100秒以上の場合「99超」と表示されます）**
⑤ **電話番号※1／電話帳の電話番号アイコン、名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**
⑥ **着もじマーク、着もじ**
⑦ **名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**
⑧ **電話帳の電話番号アイコン（電話帳に登録している場合）、電話番号※1**
⑨ **着信履歴番号／件数**
⑩ **画像（電話帳に登録している場合）※2**
⑪ **着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）**

※1　国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。
※2　画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

2 **［発信］または［テレビ電話］**

- 詳細画面で◉を押すと、選択しているリダイヤル／着信履歴の発着信方法と同じ方法で発信されます。
- ［MENU］［1］を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

❖リダイヤル／着信履歴を利用する

電話帳に登録する：
① **相手にカーソルを合わせて［MENU］▶［4］▶［1］または［2］▶［1］または［2］**
- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

② **名前やメールアドレスなどを登録**
電話帳登録→P67、68

iモードメールを作成する：相手にカーソルを合わせて［✉］

SMSを作成する：相手にカーソルを合わせて［✉］（1秒以上）

リダイヤル一覧と着信履歴一覧を切り替える：［MENU］▶［6］

メール送信履歴／受信履歴を表示する：［📖］

❖詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

1 **詳細画面で［MENU］▶［8］▶［1］～［3］**

各設定項目→P71「詳細画面の表示を切り替える」

❖かかってきた電話に出られなかったとき〈不在着信〉

待受画面に［ 2］（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

✔お知らせ
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 通話中に音声電話とテレビ電話が切り替わった場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。
- 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴一覧で［MENU］［8］［1］を押します。元の着信履歴に戻す場合は、［MENU］［8］［2］を押します。
- 音声電話中に◎を押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。
- 「010」を直接入力したり、「010」を電話帳に登録して発信したりした場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。

◆リダイヤル／着信履歴を削除する〈リダイヤル／着信履歴削除〉

〈例〉1件削除する

1 （リダイヤル）または（着信履歴）▶相手にカーソルを合わせて MENU ▶ 5 1

複数削除する：（リダイヤル）または（着信履歴）▶ MENU ▶ 5 2 ▶相手を選択▶

全件削除する：（リダイヤル）または（着信履歴）▶ MENU ▶ 5 3 ▶認証操作

2 「はい」

✔お知らせ

- 詳細画面から操作する場合は MENU を押し「削除」→「1件削除」または「全件削除」を選択します。

着もじ

着もじを利用する

音声電話やテレビ電話をかける際、呼出中に相手側へメッセージを送ることで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。

◆メッセージを登録する

- 最大10件登録できます。

1 MENU ▶ 8 8 3 1

2 「〈新しいメッセージ〉」

- 登録済みの着もじを選択すると修正できます。

送信した着もじを引用して作成する：MENU ▶ 1 ▶着もじを選択

着もじを削除する：着もじにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 または 3 ▶「はい」

3 着もじを入力

- 10文字以内で入力します。絵文字・記号も入力できます。

4

登録済みの着もじを修正したときは、登録確認画面が表示されます。

◆着信時の表示を設定する〈メッセージ表示設定〉

1 MENU ▶ 8 8 3 2 ▶ 1 ～ 4

- 「表示しない」にすると着もじを受信しません。

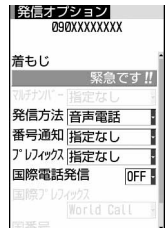
◆メッセージをつけて電話をかける

着もじは相手の着信画面に表示されます。

- 送信した着もじは送信メッセージ履歴に最大10件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

〈例〉着もじを作成する

1 電話番号を入力▶ MENU ▶ 3

2 1 ▶メッセージ内容の入力欄に着もじを入力▶

発信オプション画面

- 10文字以内で入力します。絵文字・記号も入力できます。

登録した着もじから選択する：2 ▶着もじを選択

送信メッセージ履歴から選択する：3 ▶着もじを選択

着もじを送信しない：発信オプション画面で着もじ欄を選択▶ 1

3 MENU

呼出中画面に「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
相手が非対応端末の場合やメッセージ表示設定などにより届かなかった場合、または海外に滞在している場合は、呼出中画面に「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。

✔お知らせ

- 着信側が次の場合は着もじは送信できず、着信履歴にも記録されません。発信側には送信結果は表示されず、送信料金はかかりません。
  - 圏外にいるときや電源が切れている場合
  - 伝言メモ応答時間設定が「0秒」の場合
  - 公共モード（ドライブモード）中　など
- リダイヤル、着信履歴から操作する場合は、MENUを押し「着もじ」を選択します。
- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション」を選択します。
- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択し、電話番号の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「着もじ／マルチナンバー」→「着もじ」を選択します。
- 相手が呼出動作開始時間設定を設定している場合、呼出開始時間内でも着もじは送信され、送信料金がかかります。
- 電波状態によって、相手の端末に着もじが届いても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合でも送信料金はかかります。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中は、着もじは受信できますが着信画面には表示されません。ロックを解除すると着信履歴に表示されます。

186／184

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 番号通知方法の優先順位→P44

発信者番号を通知する：1 8 6 ▶ **電話番号を入力** ▶ 発信 **または** テレビ電話

発信者番号を通知しない：1 8 4 ▶ **電話番号を入力** ▶ 発信 **または** テレビ電話

✔お知らせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

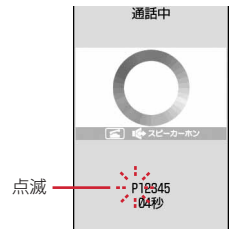
FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送出して、ご自宅の留守番電話の操作や各種のプッシュホンサービスなどを利用できます。また、音声電話をかけるときにポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力することにより、番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出できます。

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

❖ポーズ「P」を入力する

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。ポーズ（「P」）が入力された箇所で電話番号を区切ってプッシュ信号が送出されます。

1 **電話番号を入力** ▶ ＊（1秒以上） ▶ **送出する番号を入力** ▶ 発信

電話がつながった後に●を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

❖タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **電話番号を入力** ▶ #（1秒以上） ▶ **内線番号を入力** ▶ 発信

- タイマー（「T」）は連続して入力できます。
- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。

❖テレビ電話中にプッシュ信号を送出する

1 通話中にMENU▶9▶送出する番号を入力

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

CLR：送出解除

- カメラ映像送信中やカメラオフ画像送信中はMENU 9を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号が送出できます。
- カメラ映像に設定したフレームや代替画像に設定した静止画は解除されます。
- プッシュ信号はダイヤルキーで送出するため、キャラ電中はダイヤルキーによるアクションは操作はできません。

✔お知らせ

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

発信オプション

条件を設定して電話をかける

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、発信時の条件を設定します。

- 番号通知方法の優先順位→P44

1 電話番号を入力▶MENU▶2▶各項目を設定

着もじ：相手に送信するメッセージを作成したり選択したりします。→P50

マルチナンバー：発信番号を選択します。→P282

発信方法：「音声電話」または「テレビ電話」を選択します。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」に設定すると、発信者番号通知設定に従って動作します。

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。

国際電話発信：国際電話をかけるかどうかを設定します。→P53

国際プレフィックス：国際電話をかけるときに、国際アクセス番号を選択します。

国番号：国際電話をかけるときに、国番号を選択します。

2 MENU

設定した内容で電話がかかります。

- 「発信方法」で「テレビ電話」を選択した場合は、📷を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

✔お知らせ

- 受信／送信メール詳細画面から操作する場合、またはPhone To（AV Phone To）機能を利用する場合は、各項目を設定しMENUを押すと発信確認画面が表示されます。「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。
- 発信者番号通知を設定して発着信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合着信履歴から発信できません。

WORLD CALL

国際電話を利用する

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 「WORLD CALL」についての詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

1 0 1 0 ▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります）。
- 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
- 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号でもかけられます。

❖「+」を入力して国際電話をかける

「+」を入力すると国際アクセス番号「009130010（WORLD CALL）」に変換されます。

- 「+」の後に日本の国番号「81」を入力して発信した場合は、国際アクセス番号は変換されません。

1 0（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶

- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります）。

2 「はい」

- 「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。

❖国際アクセス番号と国番号を選んで国際電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定に登録している国際アクセス番号や国番号を選択します。

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶MENU▶2▶国際電話発信欄を選択▶2▶国際プレフィックス欄を選択▶国際アクセス番号の名称を選択▶国番号欄を選択▶国番号を選択▶MENU

2 「はい」

- 「元の番号で発信」を選択すると発信されません。

国際ダイヤルアシスト設定

国際ダイヤルアシスト設定を変更する

◆自動変換機能を設定する〈自動変換機能設定〉

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかどうかを設定します。

1 MENU▶8 9 1▶国際プレフィックス変換欄を選択▶1または2

- 「ON」を選択し、「+」を自動変換させる国際アクセス番号を選択します。

2

◆国番号を編集する〈国番号設定〉

国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 MENU▶8 9 2

2 編集する国番号を選択

国番号を削除する：国番号にカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」

3 各項目を設定▶

国名称：国名称を入力します。
- 全角8（半角16）文字以内で入力します。

国番号：国番号を入力します。
- 5桁以内で入力します。

◆国際アクセス番号を登録する〈国際プレフィックス設定〉

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 MENU▶8 9 3

2 「〈未登録〉」

自動変換させる国際アクセス番号を選択する：国際アクセス番号にカーソルを合わせて
選択した名称の前に✓が表示されます。

国際アクセス番号を削除する：国際アクセス番号にカーソルを合わせてMENU▶3▶「はい」

3 各項目を設定▶

名称：名称を入力します。
- 全角8（半角16）文字以内で入力します。

国際アクセス番号：国際アクセス番号を入力します。
- 10桁以内で入力します。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加するプレフィックスを設定する

国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。

- 最大3件登録できます。
- プレフィックスを選択して電話をかける→P52

1 MENU▶8 5 6 2▶入力欄に番号を入力▶📖

- 10桁以内で入力します。
- 番号（プレフィックス）にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 MENU▶8 5 6 3▶1または2

❖サブアドレスを指定して電話をかける

1 電話番号を入力▶＊▶サブアドレスを入力▶📞または📹

✔**お知らせ**

- サブアドレス設定を「ON」にしていても、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号として送出されます。

ノイズキャンセラ設定

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を設定することにより、自分の声と相手の声を明瞭にして通話できます。

- 通常は、「ON」にした状態で使用することをおすすめします。

1 MENU▶8 5 7 1▶1または2

電話／テレビ電話を受ける

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けられません。

1 **電話がかかってくる**

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。
Ⓧ：着信音量調整
□：着信音、バイブレータの動作を止める

- 着もじを受信した場合は、着もじが表示されます。電話に出ると、着もじは消えます。着もじは着信履歴に記録されます。→P50

相手の電話番号が通知されたとき
相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、着信／受信時動作設定に従って名前や電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは、電話帳に設定している画像や動画／ｉモーションが表示されます。

相手の電話番号が通知されなかったとき
発信者番号非通知理由が表示されます。
非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話：公衆電話などから発信した場合
通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

2 **着信方法を選択**

音声電話を受ける： [発信キー]
- ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。

テレビ電話を受ける： [発信キー]または[テレビ電話キー]
テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

- エニーキーアンサーは無効です。
- マナーモード中は、スピーカーへの切り替え確認画面が表示されます。
- [発信キー]または[テレビ電話キー]の代わりに[メールキー]を押すと、代替画像でテレビ電話を受けます。テレビ電話がつながったときから、相手に代替画像が送信されます。

3 **通話が終わったら** [終話キー]

✔お知らせ
- 電話帳に登録していない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P120
- 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P118
- FOMA端末から転送された電話を着信したとき、転送元の電話番号を電話帳に登録していない場合は電話番号が、登録している場合は名前が、着信画面に表示されます。ただし、転送元によっては、電話番号や名前が表示されない場合があります。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「＊」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。

◆着信中のサブメニューからの操作

音声電話またはテレビ電話の着信中に、サブメニューから次の操作ができます。
通話中着信動作選択が「通常着信」の場合、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	動　作
1着信拒否	電話を受けずに切断
2留守番電話	留守番電話サービスセンターに接続
3転送でんわ	転送先へ転送

◆音声電話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にし、かかってきた音声電話に応答
転送でんわサービス※	転送先へ転送

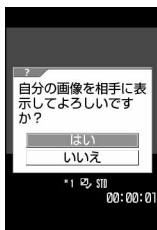
※ 通話中着信動作選択が「通常着信」のときのみサブメニューから選択できます。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときや、テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

- 切り替えは、発信側の端末からのみ操作できます。
- テレビ電話や音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。→P64

〈例〉テレビ電話への切り替えに応じる

1 **音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける**

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 **「はい」**

テレビ電話に切り替わり、相手にカメラ映像が送信されます。

- 「いいえ」を選択すると代替画像設定の標準画像が送信されます。
- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定が「ON」の場合は、テレビ電話に切り替わると、スピーカーホン機能を利用した通話になります。

音声電話への切り替えに応じる：テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受ける

- 音声電話に切り替わるとスピーカーホン機能は解除されます。

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

電話がかかってきたとき、[発信]以外に[0]～[9]、[＊]、[＃]を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。

- 音声電話に有効です。ただし、通話中の着信に対しては無効です。

1 [MENU]▶[8][5][3]▶[1]または[2]

通話中クローズ設定

FOMA端末を閉じて通話を切断／保留／継続するように設定する

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は動作しません。

1 [MENU]▶[8][5][7][2]▶[1]～[3]

切断：通話を終了します。
保留：通話を保留にします。
通話継続（マイクミュート）：通話を終了せず、音声をミュート（消音）にします。ただし、スピーカーホン機能を利用している場合は、自分の声は相手には聞こえませんが、相手の声がスピーカーから聞こえます。

✔お知らせ

- 次の場合は、FOMA端末を閉じても本設定に関わらず通話は継続されます。
  - イヤホンマイク（別売）を接続中
  - 伝言メモ録音または録画中
- 「通話継続（マイクミュート）」にしてテレビ電話中にFOMA端末を閉じたときは、相手には代替画像が送信されます。送信していたフレームは解除されます。
- 通話中音声メモ録音中または動画メモ録画中にFOMA端末を閉じた場合も、本設定に従って動作します。「保留」の場合、保留直前までに録音または録画していた内容が保存されます。
- 音声電話中に設定する場合は、[MENU]を押し「通話中クローズ設定」を選択します。

優先通信モード設定

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

音声電話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったときや、iモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。
- 音声電話中にiモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、本設定に関わらず、音声電話中の画面が優先して表示されます。

1 MENU▶8561▶1～3

設定なし：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。ただし、音声電話中にパケット通信を着信したときは、音声電話中の画面を表示します。

音声通話表示優先：音声電話中の画面を表示します。

パケット通信表示優先：音声電話中はパケット通信中の画面を、iモード中はiモード中の画面※を表示します。

※ MULTIを押すと画面切替メニューが表示され、電話を受けられます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中でも発信側には通話料金がかかります。

1 着信中に

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

- 通話中イルミネーションが「ON」の場合、イルミネーションカラーの設定に従ってランプが点滅します。

2 電話に出られる状態になったら

- テレビ電話の場合は を押しても電話に出ることができます。 を押すと、相手には代替画像が送信されます。
- 応答保留中に を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

応答保留ガイダンス設定

応答保留ガイダンスを設定する

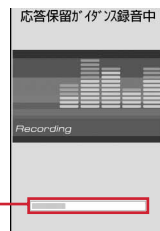
自分の声を応答保留ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 内蔵音には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」と登録されています。

1 MENU▶81171▶**保留音欄を選択**▶2

- 内蔵音のガイダンスに戻すときは1を押し、操作3に進みます。

2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音の後に応答保留ガイダンスを録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは●を押します。
- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音のガイダンスに戻ります。
- 録音したガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

3

公共モードを利用する

◆公共モード（ドライブモード）を起動する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。
- キッズモード中は公共モードを起動できません。

1 **[＊]（1秒以上）**

公共モードが設定され、待受画面に🚗が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

解除する：[＊]（1秒以上）

❖公共モード（ドライブモード）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、通話を終了します。どちらの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には[2]（数字は件数）が表示され、不在着信として記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話の着信音
  - メールやメッセージR/Fなどの着信音
  - 時報イルミネーション、お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールアラームの音
  - ｉアプリのサウンド
  - 通話料金上限通知※
  - 電池アラーム音
  - 充電開始／完了音
  - GPS測位中の音

  ※ 通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません。
- GPSの位置提供の要求があっても、サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合は、位置情報を送信しません。
- セキュリティランプ設定が「ON」で、はなれたよロックまたは開閉ロックが「ON」でも、ランプは動作しません。

◆公共モード（電源OFF）を設定する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 ＊ 2 5 2 5 1 ▶ 発信

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

解除する： ＊ 2 5 2 5 0 ▶ 発信

設定を確認する：
＊ 2 5 2 5 9 ▶ 発信

❖公共モード（電源OFF）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、通話を終了します。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

◆ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、留守番電話サービスセンターに接続される※	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続される
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、転送先に転送される※ 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従う	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、転送先に転送される 転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断される
迷惑電話ストップサービス	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れ切断される	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され切断される
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れ切断される • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れ切断される	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示され切断される • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され切断される

※ 呼出時間が「0秒」の場合は公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音または録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音または録画できます。

◆伝言メモを起動する

MENU461

伝言メモを起動するかどうかを設定します。

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 □（1秒以上）▶1▶1または2

伝言メモを起動すると、待受画面に▣が表示されます。

❖クイック伝言メモで対応する〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを起動していなくても、着信中に□を1秒以上押すと、その着信に限り伝言メモを1回だけ動作させられます。この操作は、伝言メモを開始に設定する操作ではありません。

◆伝言メモの起動中に電話がかかってくると

1 **電話がかかってくる**

伝言メモ応答時間設定で設定した応答時間が経過すると、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。相手には伝言メモ応答ガイダンス設定に従って応答ガイダンスが流れます。

2 **相手のメッセージが録音または録画される**

- 開始時と終了時に相手には確認音（ピーッ）が鳴ります。また、開始時から約25秒後に終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 **録音または録画が終了すると、電話が切れる**

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音または録画中でも[発信]を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は[i]を押しても出られます。[メール]を押すと、相手には代替画像が送信されます。このとき、電話を受けるまでの録音内容や録画内容は記録されません。
- FOMA端末が圏外にいるときや電源が切れているときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面に▣が表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。伝言メモが動作しないときに留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は各サービスが動作します。
- 電波の状態により、伝言メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。

◆応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する〈伝言メモ応答時間設定〉

MENU4613

- お買い上げ時は、「13秒」に設定されています。

1 □（1秒以上）▶1 3▶**応答時間を入力**

- 0～120秒の範囲で設定します。

◆応答ガイダンスを設定する〈伝言メモ応答ガイダンス設定〉

MENU4614

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 内蔵音には「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。」と登録されています。

1 □（1秒以上）▶1 4▶**伝言メモ応答ガイダンス欄を選択**▶2

- 内蔵音の応答ガイダンスに戻すときは1を押し、操作3に進みます。

2 **ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音の後に応答ガイダンスを録音する**

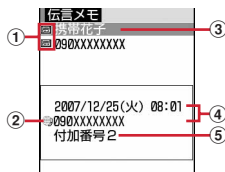
メッセージが表示された後、録音が開始されます。
録音操作の補足説明→P57「応答保留ガイダンスを設定する」操作2

3 [完了]

伝言メモを再生／削除する

MENU462

◆伝言メモを再生する

1 □（1秒以上）▶ 2

①状態マーク
：音声電話伝言メモ（未再生）
：音声電話伝言メモ（再生済み）
：テレビ電話伝言メモ（未再生）
：テレビ電話伝言メモ（再生済み）
②国際電話の着信
③電話番号※／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由
④カーソル位置の相手の録音または録画の日時、電話番号※／発信者番号非通知理由
⑤着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）
※ 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。

2 再生する伝言メモを選択

時間経過の目安

音声電話伝言メモ再生中　　テレビ電話伝言メモ再生中

- 再生中は次の操作ができます。
  ：音量調整
  ：停止
  ：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え（音声電話伝言メモ再生中のみ）
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能がONに設定されて再生されます。スピーカーホン機能の切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、消音で再生されます。

電話をかける：相手にカーソルを合わせて または
- MENU 3 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

電話帳に登録する：
①相手にカーソルを合わせて MENU ▶ 4 または 5 ▶ 1 または 2
- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

②名前やメールアドレスなどを登録
電話帳登録→P67、68

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択

◆伝言メモを削除する

1 □（1秒以上）▶ 2 ▶ 伝言メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、カメラ映像の代わりにキャラクタを送信します。
- キャラ電の表示→P235

1 通話中に MENU ▶ 4 2 1 ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択

- 通話中に次の操作ができます。
  1 ～ 9 、 # ：アクション
  ：アクション一覧の表示
  0 ：アクションの中止

通話中に相手側に送信する映像／画像を設定する

1 通話中に目的に応じた操作を行う

自画像／代替画像を切り替える：[i]
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できず標準画像が送信されることがあります。

インカメラ／アウトカメラを切り替える※1：[✉]
- お買い上げ時は、「インカメラ」に設定されています。
- カメラを切り替えても、フレーム、撮影モード、画像の明るさ／ちらつき調整の設定は保持されます。

ライトを点灯／消灯する※2：[✉]**（1秒以上）**
ライトを点灯すると、ランプが白色で点灯します。
- 通話中の設定操作などによって、一時的にランプが消える場合があります。

表示倍率を切り替える〈ズーム〉※1：[◎]
- [◎]を押すたびに以下の順で、[◎]を押すと逆の順で切り替わります。
  インカメラ：標準→2倍
  アウトカメラ：標準→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍
- インカメラとアウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

映像に特殊な効果をかける〈撮影モード〉※1：
[MENU]▶[2]▶[1]～[4]
標準：標準的な映像
逆光：逆光になる被写体を撮影する
モノトーン：白黒にする
セピア：セピア調にする

映像の明るさを調整する※1、3：
[MENU]▶[3][1]▶[◎]**で調整**▶[□]
- お買い上げ時は、「3段階目」に設定されています。
- 5段階で調整できます。

ちらつきを調整する※1、3：
[MENU]▶[3][2]▶[1]～[3]
お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。
- お買い上げ時は、「自動」に設定されています。
- カメラ、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

映像にフレームを重ねる※1：[MENU]▶[4][1]▶**フレームを選択**
- 画像サイズが176×144以下のフレームのみ選択できます。
- 解除するときは[●]を押します。

カメラオフ画像を送信する：[MENU]▶[4][3]
代替画像設定で設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像にキャラ電を設定している場合は、標準画像が送信されます。

静止画を送信する：[MENU]▶[4][4]▶**フォルダを選択**▶**静止画を選択**
- 画像サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力ができる静止画のみ設定できます。FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P238「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」
- 解除するときは[●]を押します。

接写撮影に切り替える※2：接写切り替えスイッチを[🌷]**側に切り替える**
約6～11cmのごく近い距離の映像を送信するときに映像のピントを合わせられます。
- 解除するときは、接写切り替えスイッチを●側に切り替えます。

送信／受信画像の品質を設定する：
[MENU]▶[7]▶[1]**または**[2]▶[1]～[3]
標準：標準的な品質
動き優先：映像の動きがなめらかになり、画質がやや粗くなる
画質優先：映像は細やかになり、動きがやや鈍くなる

※1 カメラ映像送信中のみ設定できます。
※2 アウトカメラ使用時のみ設定できます。
※3 通話終了後も設定内容は保持されます。

テレビ電話中の画面表示を設定する

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に目的に応じた操作を行う

親子画面の表示を切り替える：[□]
- お買い上げ時は、親画面が「相手画像」に、子画面が「自画像」に設定されています。

親画面のサイズを変更する：[□]**（1秒以上）**
- お買い上げ時は、「大」に設定されています。
- 押すたびに大→中→小→大→…の順に切り替わります。

画面表示を設定する：[MENU]▶[8]▶**各項目を設定**▶[□]
各項目設定→P63「テレビ電話の設定を変更する」

テレビ電話動作設定

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話中の画面、スピーカーホンについて設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2010年7月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 MENU▶8 6 3▶各項目を設定▶(本)

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定：通話中に「自画像」または「相手画像」のどちらか一方を表示するか、「両方」を表示するかを設定します。

- 「自画像」または「相手画像」にすると、子画面表示は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に「自画像」と「相手画像」のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

受信画質設定：相手から受信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。

- 「端末設定に従う」にすると、ディスプレイの照明設定の明るさ調整に従います。

スピーカーホン設定：テレビ電話がつながると同時に、スピーカーホン機能を利用するかどうかを設定します。

✔お知らせ

- 音声自動再発信が「ON」でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信を「ON」にし、パソコンとつないだパケット通信中にテレビ電話を発信すると、再発信が行われ音声電話に接続されます。音声電話中や64Kデータ通信中は、音声自動再発信が「ON」でも、テレビ電話を発信できません。
- 音声自動再発信が「ON」の場合、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

テレビ電話画像選択

テレビ電話の代替画像や保留画像などを設定する

MENU8244

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。

- 次の画像は設定できません。
  - サイズが176×144より大きい静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P238「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

◆代替画像を設定する

〈例〉標準キャラ電を設定する

1 MENU▶8 6 5▶1▶イメージ表示欄を選択

2 1

標準画像を設定する：2

その他のキャラ電を設定する：3▶イメージ一覧欄を選択▶フォルダを選択▶キャラ電を選択

その他の静止画を設定する：4▶イメージ一覧欄を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択

- 相手には、選択した静止画に文字メッセージが重なって表示されます。

3 (本)

◆伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

1 MENU▶8 6 5▶2〜5

2 イメージ表示欄を選択▶1または2▶(本)

- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 相手には、選択した静止画に文字メッセージが重なって表示されます。

✔お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えを設定する

音声電話とテレビ電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。テレビ電話切替機能通知とは、自分の端末が音声電話とテレビ電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替機能通知の設定を変更できません。
- 圏外では設定の操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU▶8 6 7

2 1または2▶「はい」

- 設定内容を確認するときは3を押し、「はい」を選択します。

パケット通信中着信設定

パケット通信中着信設定を設定する

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応対方法を設定します。

1 MENU▶8 6 4▶1～4

テレビ電話優先：テレビ電話の着信画面が表示され、電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

パケット通信優先：ｉモード通信が継続されます。テレビ電話の着信画面は表示されずに切断され、着信履歴に記録されます。

留守番電話：留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ：転送先へ転送します。

✔お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は、「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作します。着信履歴には記録されません。

テレビ電話使用機器設定

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

1 MENU▶8 6 6▶1または2

✔お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

F-05Aでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。これらの電話帳からは、音声電話やテレビ電話の発信や、メール、SMSの送信などが行えます。

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の登録内容は次のとおりです。

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	○	×
	名前	全角16（半角32）文字	全角10（半角21）文字
	フリガナ	半角32文字	全角12（半角25）文字
	画像・動画	1人につき1件	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話番号	1人につき5番号、電話帳全体で最大3005番号※1	1人につき1番号
	電話番号アイコン	○	×
	メールアドレス	1人につき5アドレス、電話帳全体で最大3005アドレス※1	1人につき1アドレス
	メールアドレスアイコン	○	×
	その他の設定※2	○	×

※1　実際に登録できる件数は、各電話帳データの登録内容により少なくなる場合があります。

※2　設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、学校名、クラス名、URLです。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

◆名前の表示

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手に電話発信を行うと、電話帳に登録している名前と電話番号が発信中、呼出中、通話中の画面に表示されます。着信した場合は、着信／受信時動作設定に従います。

電話帳に登録している名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号やメールアドレスを直接入力した場合、伝言メモ、通話中音声メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、セレクトメニューの人物などにも表示されます。

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、直デンに登録していても最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳に登録している名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても、電話帳に登録している名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録している電話番号が一致した場合は電話帳に登録している名前が表示されます。
- GPSの位置提供の要求を受けた場合、要求者IDが電話帳に登録している電話番号またはメールアドレスと一致した場合は、要求者名に電話帳に登録している名前が表示されます。

FOMA端末電話帳に登録する

電話番号やメールアドレスなどをFOMA端末電話帳に登録します。

- ドコモショップなど窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 発着信動作の優先順位→P86、87
- 最大登録件数→P66

1 MENU ▶ 4 2

2 **名前を入力▶**(田)
- 全角16（半角32）文字以内で入力します。

3 **各項目を設定▶**(田)

メモリ番号（No.000〜999）：最も小さい空きメモリ番号が割り当てられます。
- メモリ番号に登録済みの番号を指定すると、登録時に上書き確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択し、他のメモリ番号を指定してください。
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

フリガナ：入力した名前のフリガナが入力されています。
- 半角32文字以内で入力します。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：発着信時または電話帳データ確認時に表示する画像や動画／iモーションを設定します。着信時は、登録相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

画像を設定する：1 ▶ **フォルダを選択▶画像を選択**

画像のフォルダや一覧の見かた→P224
- 縦横（横縦）のサイズが640×480より大きい画像を選択すると、画像の縮小確認画面が表示されます。
- パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

カメラで静止画を撮影して設定する：2 ▶ **静止画を撮影▶**◉
- 撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に設定されます。

動画／iモーションを設定する：3 ▶ **フォルダを選択▶動画／iモーションを選択**

動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P230
- 映像のみの動画／iモーションが設定できます。
- 電話発信時は最初のコマが表示されます。

カメラで動画を撮影して設定する：4 ▶ **動画を撮影▶**◉
- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に設定されます。音声は録音されません。

グループ：新規登録時は「グループなし」に設定されています。(田)を押すとグループを追加できます。
グループの追加→P69

電話番号：26桁以内で入力し、アイコンを選択します。
- 1人につき最大5番号登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、国際電話発着信時に利用する「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。
- 「186」または「184」を付けて登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力し、アイコンを選択します。
- 1人につき最大5アドレス登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。

シークレットコード設定→P74

誕生日：誕生日設定を「ON」にして誕生日を入力します。

テキストメモ：全角100（半角200）文字以内で入力します。

郵便番号／住所：郵便番号は7桁、住所は全角100（半角200）文字以内で入力します。

位置情報：現在地や位置履歴などから位置情報を付加します。→P213

学校名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

クラス名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

URL：半角256文字以内で入力します。

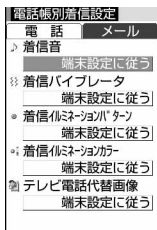
電話帳別着信設定

電話帳データごとに着信動作を設定する

FOMA端末電話帳の電話帳データごとに音声電話とテレビ電話、またはメールの着信音やイルミネーションなどを設定できます。

- 着信動作の優先順位→P79、80、91

1 ▶電話帳検索▶設定する電話帳データにカーソルを合わせて ▶ 3 2 ▶各項目を設定▶

：電話とメールの着信設定画面の切り替え

電話着信設定画面

- 「グループなし」で登録すると、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。

／**着信音**：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択した場合は、着信音を選択します。
- 動画／ｉモーションは詳細情報の着信音設定が「可」の場合のみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」にすると、電話着信音、テレビ電話着信音、またはメール着信音に従います。

／**着信バイブレータ**：振動を設定します。
- 「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従います。

／**着信イルミネーションパターン**：ランプの点灯パターンを設定します。
- 「端末設定に従う」にすると、イルミパターン設定に従います。
- 「メロディ連動」にすると、着信イルミネーションカラーは「レインボー」で動作します。

／**着信イルミネーションカラー**：ランプの点灯色を設定します。
- 「端末設定に従う」にすると、イルミパターン設定に従います。

テレビ電話代替画像（電話着信設定画面のみ）：通話中に表示するキャラ電を設定します。
- 「端末設定に従う」にすると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

✔お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、 を押し「編集／設定」→「電話帳別着信設定」を選択します。

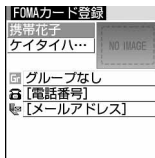
FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

- 最大登録件数→P66

1 ▶ 4 3

2 名前を入力▶
- 全角10（半角21）文字以内で入力します。全角と半角が混在、または半角カタカナを含む場合は、10文字以内で入力します。

3 各項目を設定▶

フリガナ：入力した名前のフリガナが入力されています。
- 全角12（半角25）文字以内で入力します。全角と半角が混在している場合は、12文字以内で入力します。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

グループ：新規登録時は「グループなし」に設定されています。

電話番号：26桁以内で入力します。→P37
- 1番号のみ登録できます。アイコンの設定はできません。
- ポーズ（「P」）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力します。
- 1アドレスのみ登録できます。アイコンの設定はできません。

グループ設定

グループの設定をする

FOMA端末電話帳ではグループの追加や削除、グループごとの発着信動作の設定、並び順の変更ができます。FOMAカード電話帳ではグループ名のみ変更できます。

- 「グループなし」の名前の変更や発着信動作の設定、削除はできません。

〈例〉グループを追加する

1 MENU▶4 1 2

FOMAカード電話帳のグループ名を変更する：MENU▶4 1 8▶2▶グループにカーソルを合わせてMENU▶2▶操作3に進む

2 MENU▶2

グループを削除する：グループにカーソルを合わせてMENU▶3▶認証操作▶「はい」

グループとその中の電話帳データが削除されます。直デンからも解除されます。

- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でも、シークレット属性を設定している電話帳データは削除されます。
- 「グループなし」ではグループ内の電話帳データのみ削除されます。

グループ名を変更する：グループにカーソルを合わせてMENU▶4

グループの発着信動作を設定する：グループにカーソルを合わせてMENU▶5▶各項目を設定▶📖

発着信画像の設定操作→P67「FOMA端末電話帳に登録する」操作3

その他の項目の設定操作→P68「電話帳データごとに着信動作を設定する」

グループの並び順を変更する：グループにカーソルを合わせてMENU▶6または7

3 グループ名を入力▶📖

- 全角10（半角20）文字以内で入力します。
- FOMAカード電話帳の場合は、全角10（半角21）文字以内で入力します。全角と半角が混在、または半角カタカナを含む場合は、10文字以内で入力します。

電話帳検索

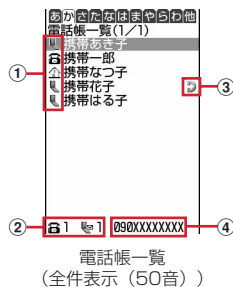
電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。

- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している電話帳データまたはグループは検索できません。また、クイックダイヤル、クイックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索も同様です。

1 📖▶電話帳検索

前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）が表示されます。

- お買い上げ時は全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。よく利用する検索方法の画面が表示されるように設定を変更できます。→P71

電話帳一覧
（全件表示（50音））

①1件目の電話番号に設定しているアイコン
②カーソル位置の相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数
③直デンのマーク
④カーソル位置の相手の1件目の電話番号

2 電話をかける相手にカーソルを合わせて📞

- テレビ電話をかけるときは、相手にカーソルを合わせてMENU 1 1を押し、「発信方法」で「テレビ電話」を選択し、MENUを押します。
- 詳細画面から操作する場合は、電話番号を表示して📞または📇を押します。
- MENU 1 1を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

❖電話帳を利用する

iモードメールを作成する：相手にカーソルを合わせて[郵]
- 詳細画面から操作する場合は、メールアドレスを表示して[✉]または[●]を押します。

iモードメールの作成・送信方法→P164

SMSを作成する：相手にカーソルを合わせて[郵]（1秒以上）
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録している場合は、[郵]を押してもSMSを作成できます。
- 詳細画面から操作する場合は、電話番号を表示して[✉]を押します。

SMSの作成・送信方法→P193

サイトを表示する：相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[1][5]

位置情報を利用する：相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[0]

以降の操作→P213「■位置情報利用メニュー」

電話帳データをメールに添付する：相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[1][3]

iモードメールの作成・送信方法→P164

送受信したメールを検索する：相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[1][6]▶[1]または[2]
- FOMAカード電話帳の場合は、相手にカーソルを合わせて[MENU][1][5]を押し、[1]または[2]を押します。

◆検索方法を指定して検索する

- FOMAカード電話帳一覧では、名前の前に[■]が表示されます。
- 電話帳一覧が複数ページあるときは、[i]と[✉]でページを切り替えられます。全件表示（50音）以外の検索方法では、[◎]でも切り替えられます。
- 全件表示（50音）、グループ検索、フリガナ検索の電話帳一覧で、ダイヤルキー[0]～[9]、[#]、[＊]を押すと、それぞれのキーに割り当てられている行が表示されます。
  [1]：あ行　[2]：か行　[3]：さ行　[4]：た行　[5]：な行　[6]：は行　[7]：ま行　[8]：や行　[9]：ら行　[0]：わ行　[＊]／[#]：アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順

1 [MENU]▶[4][1]

2 検索方法を指定する

全件表示（50音）：[1]▶[◎]で表示する行を選択
- 50音順（あ行→か行→…→わ行）→他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）の順に表示されます。

グループ検索：[2]▶グループを選択
- 同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし

フリガナ検索：[3]▶フリガナを入力▶[郵]
- フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。
- 何も入力せずに[郵]を押すと、全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

ランキング検索※：[4]▶[1]または[2]

通話回数またはiモードメール送受信回数が多い順に表示されます。
- 通話回数、メール回数は最大9999回カウントされます。
- 通話回数、メール回数をリセットするときは、相手にカーソルを合わせて[MENU][9][3]を押し、「はい」を選択します。

メモリ番号検索※：[5]▶メモリ番号を入力▶[郵]
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 何も入力せずに[郵]を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話番号検索：[6]▶電話番号の一部を入力▶[郵]

入力した数字を含む電話番号を検索し、FOMA端末電話帳はメモリ番号順に、FOMAカード電話帳はフリガナ順に電話帳一覧が表示されます。
- 何も入力せずに[郵]を押すと、メモリ番号順またはフリガナ順の電話帳一覧が表示されます。

シークレット検索※：[7]

シークレット属性を設定した電話帳データがメモリ番号順に表示されます。

FOMAカード電話帳の検索方法に切り替える：[8]
- FOMA端末電話帳の検索方法に切り替えるときは、FOMAカード電話帳の検索方法選択画面で[5]を押します。

※ FOMAカード電話帳では利用できません。

❖ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー[0]～[9]に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

〈例〉「携帯花子」を検索する

1 [2]（か行）▶[郵]

全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆優先する検索方法を設定する〈電話帳検索優先設定〉

待受画面で⊕を押して表示される検索方法を設定します。

1 MENU▶ 4 1 ▶優先する検索方法にカーソルを合わせてMENU

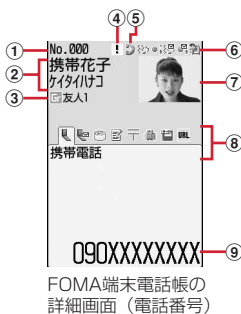
- 設定した検索方法に✔が表示されます。

✔お知らせ

- ランキング検索またはメモリ番号検索を優先設定していても、前回FOMAカード電話帳を検索した場合には、待受画面で⊕を押したときにFOMAカード電話帳の全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆電話帳の詳細を確認する

1 ⊕▶電話帳検索▶詳細表示する電話帳データを選択

FOMA端末電話帳の詳細画面（電話番号）

①メモリ番号
②名前、フリガナ
③グループマーク、グループ名
④着信許可／拒否設定、発番号設定、シークレットコードのいずれかを設定
⑤直デンのマーク
⑥着信音などの設定状態（電話／メール）※1
　♪／♪✉：着信音
　⁑／⁑✉：着信バイブレータ
　⁑♪／⁑✉：着信音と着信バイブレータ
　☀／☀✉：着信イルミネーションパターン
　☀｜／☀✉：着信イルミネーションカラー
　☀｜／☀✉：着信イルミネーションパターンとカラー
　📷：テレビ電話代替画像（電話のみ）
⑦画像※2
⑧登録したアイコン、アイコン種別
⑨各登録項目

※1　電話帳別着信設定で設定しているとアイコンが色付きで表示されます。

※2　画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

◎：前後の電話帳データの詳細画面の表示

◎：登録したその他の各項目の表示

- 電話番号やメールアドレスを複数登録している場合でも、◎を押して各項目を表示できます。

累積情報を確認する：電話番号またはメールアドレスの詳細画面で⊕

累積回数と最終日時が表示されます。

- 累積情報画面で⊕を押すと、通話とメールの累積をまとめてリセットできます。

基本情報を確認する：MENU▶ 9 1

電話帳に登録した画像、メモリ番号（FOMA端末電話帳のみ）、名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号（アイコン種別と電話番号）、1件目のメールアドレス（アイコン種別とメールアドレス）が表示されます。
名前やフリガナは省略されずにすべて表示されます。

◆詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

- お買い上げ時は、「画像登録時のみ表示」に設定されています。
- 設定内容はすべての電話帳データの詳細画面に反映されます。
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴、プロフィール情報の画像／名前表示切替設定はそれぞれに反映されます。

1 ⊕▶電話帳検索▶電話帳データを選択▶MENU▶ 9 4 ▶ 1 〜 3

- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENU 9 3 を押し 1 〜 3 を押します。

画像表示優先：画像が表示されます。名前は全角5（半角11）文字まで、フリガナは半角11文字まで表示されます。

名前表示優先：画像が表示されません。名前は全角9（半角19）文字まで、フリガナは半角19文字まで表示されます。

画像登録時のみ表示：画像を登録しているときは「画像表示優先」、登録していないときは「名前表示優先」の設定で表示されます。

電話帳修正

電話帳を修正する

- 直デンに登録している同電話帳データも修正されます。

◆登録内容を修正する

1 ⓜ▶電話帳検索▶修正する電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

2 電話帳データを修正

各設定項目→P67「FOMA端末電話帳に登録する」操作2～3、P68「FOMAカード電話帳に登録する」操作2～3

3 ⓜ

登録方法の選択確認画面が表示されます。上書き登録か新規登録を選択します。

- 上書き登録すると以前登録されていた電話帳データは破棄されます。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「編集／設定」→「編集」を選択します。
- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENU を押し「編集」を選択します。
- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は、上書き登録ができないことがあります。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目に登録している電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

◆登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 ⓜ▶電話帳検索▶コピー元の電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 ▶ 1 ～ 8

該当項目のデータが一時的に記録されます。

- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENU 6 を押し 1 ～ 3 を押します。
- 電話番号とメールアドレスは、1件目に登録している内容がコピーされます。
- 2件目以降に登録している電話番号、メールアドレスをコピーするときは、詳細画面でコピーする電話番号またはメールアドレスを表示して、MENU 6 を押し 2 または 3 を押します。

2 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P273

◆電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

FOMA端末電話帳の電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合に、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

〈例〉電話番号の順番を入れ替える

1 ⓜ▶電話帳検索▶目的の電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 4 1

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは MENU 3 4 2 を押します。

2 1件目にする電話番号を選択

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「編集／設定」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択します。

◆メモリ番号を入れ替える

FOMA端末電話帳の2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 ⓜ▶電話帳検索▶目的の電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 4 3 ▶メモリ番号を入れ替える電話帳データを選択

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「編集／設定」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーしたりします。

- コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループがコピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。
- コピーされる電話帳データの項目と登録内容は次のとおりです。

項目	FOMA端末電話帳→FOMAカード電話帳	FOMAカード電話帳→FOMA端末電話帳
名前	全角10（半角21）文字以内。全角と半角が混在、または半角カタカナを含む場合は10文字以内	登録内容がそのままコピーされる
フリガナ	12文字以内。半角カタカナは全角カタカナに置き換えられる	全角カタカナは半角カタカナに置き換えられる
電話番号	1件目の電話番号（26桁以内→P37）。タイマー（「T」）を登録している場合は、タイマー（「T」）のみ削除される。アイコンはすべて☎に置き換えられる	アイコンはすべて☎に設定される
メールアドレス	1件目のメールアドレス（半角50文字以内）。アイコンはすべて✉に置き換えられる	アイコンはすべて✉に設定される

- FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

◆FOMA端末とFOMAカードの間で電話帳をコピーする

〈例〉FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピーする

1 Ⓜ▶電話帳検索▶MENU▶7 1▶コピー元の電話帳データを選択▶Ⓜ

- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする場合は、MENU 7を押して電話帳データを選択し、Ⓜを押します。

電話帳削除

電話帳を削除する

- 全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
- 直デンに登録している同電話帳データは解除されます。
- FOMAカード電話帳の電話帳データは全件削除できません。

〈例〉FOMA端末電話帳の電話帳データを削除する

1 Ⓜ▶電話帳検索

2 削除する電話帳データにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

FOMAカード電話帳から削除する：相手にカーソルを合わせてMENU▶4▶「はい」

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「電話帳削除」を選択します。

電話帳に各種機能を設定する

- FOMAカード電話帳の電話帳データには設定できません。

◆電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する〈発番号設定〉

- お買い上げ時は、「設定なし」に設定されています。
- 番号通知方法の優先順位→P44

1 Ⓜ▶電話帳検索▶設定する電話帳データにカーソルを合わせてMENU▶3 5 2▶認証操作▶電話番号を選択▶1～3

- 「設定なし」にすると、発信者番号通知設定に従って動作します。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「編集／設定」→「詳細設定」→「発番号設定」を選択します。

◆ メールアドレスにシークレットコードを設定する〈シークレットコード設定〉

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 ▶電話帳検索▶設定する電話帳データにカーソルを合わせて MENU▶3 5 4▶認証操作▶メールアドレスを選択

2 4桁のシークレットコードを入力

解除する：シークレットコードを削除▶⦿

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメールの送信ができません。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

電話帳データまたはグループにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定した電話帳データまたはグループは表示されません。

- 直デンに登録している電話帳データや、FOMAカード電話帳の電話帳データまたはグループには設定できません。
- シークレット属性を変更すると、電話帳を終了し待受画面に戻ったときに、シークレット反映の実行確認画面が表示されます。
- プライバシーモードの設定→P112

◆ 電話帳データにシークレット属性を設定する

1 ▶電話帳検索▶設定する電話帳データにカーソルを合わせて MENU▶3 5 1

- カーソル位置の電話帳データにシークレット属性を設定していると が点滅します。

解除する：▶電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて MENU▶3 5 1

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレット属性設定」を選択します。

◆ グループにシークレット属性を設定する

- シークレット属性を設定したグループ内の電話帳データにはシークレット属性は設定されません。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データと同様の動作をします。
- 「グループなし」には設定できません。

1 MENU▶4 1 2▶設定するグループにカーソルを合わせて MENU▶8

- カーソル位置のグループにシークレット属性を設定していると が点滅します。

解除する：MENU▶4 1 2▶グループにカーソルを合わせて MENU▶8

登録件数確認

電話帳の登録件数を確認する

- シークレット属性を設定している電話帳データの件数も表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定しているFOMA端末電話帳の電話帳データの件数は表示されません。

1 ▶電話帳検索▶MENU▶9 2

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。

- 電話帳データに複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号が電話をかける対象になります。

〈例〉メモリ番号2の電話番号に電話をかける

1 メモリ番号（2）を入力▶ またはテレビ電話キー

直デン

特定の相手との連絡を簡単に行う

よく連絡する相手を直デンに登録しておくと、電話の発信やメールの送信を簡単な操作で行うことができます。また、相手の居場所を確認（イマドコかんたんサーチ）したり、位置情報URLを貼り付けたメールを送信したり、登録した相手との電話やメールの履歴を一覧表示で確認したりできます。

◆直デンに登録する

直デンに登録するには、あらかじめFOMA端末電話帳に登録しておく必要があります。→P67

- 最大5件登録できます。
- シークレット属性を設定した電話帳データ、またはFOMAカード電話帳の電話帳データは登録できません。

1 ▶で登録する直デン番号を選択▶電話帳検索▶相手を選択▶「はい」

FOMA端末電話帳から登録する：▶電話帳検索▶相手にカーソルを合わせて MENU▶3 3▶「はい」

◆直デンを利用する

1

①登録している相手
②カーソル位置の相手
③アイコン種別
- ：音声電話　：テレビ電話
- ：メール
- ：イマドコかんたんサーチ
- ：位置情報メール
- ：電話発着信履歴　：メール送受信一覧

2 で相手にカーソルを合わせる

3 でアイコンを選択して目的に応じた操作を行う

- 電話番号やメールアドレスを複数登録しているときは、アイコンを選択すると、登録しているすべての電話番号またはメールアドレスが表示されます。発信先または宛先を選択します。

音声電話をかける：を選択

テレビ電話をかける：を選択

ｉモードメールを作成する：を選択
ｉモードメールの作成・送信方法→P164

相手の居場所を確認する：を選択
電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。「イマドコかんたんサーチ」を使うと、相手の居場所を地図で確認することができます。

- イマドコかんたんサーチについての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
- ｉモードロック中は、イマドコかんたんサーチを利用できません。

位置情報URLを貼り付けたメールを送る：
① を選択▶1～4
以降の操作→P213「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」
② ｉモードメールを作成して送信
ｉモードメールの作成・送信方法→P164

電話の発着信履歴を表示する：を選択
着信履歴が表示されます。を押すとリダイヤルが表示されます。
リダイヤル／着信履歴→P48

メールの送受信一覧を表示する：を選択
受信メール一覧が表示されます。を押すと送信メール一覧が表示されます。
受信／送信メール一覧の操作→P177

相手の詳細を確認する：
FOMA端末電話帳の詳細画面→P71

◆相手を解除／編集／変更する

〈例〉解除する

1 [キー]▶解除する相手にカーソルを合わせる

2 [MENU]▶[3]▶「はい」

編集する：[MENU]▶[1]▶電話帳データを編集
電話帳修正→P72

変更する：[MENU]▶[2]▶「はい」▶電話帳検索▶相手を選択▶「はい」

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳から解除する場合は、[電話帳]を押し電話帳検索して、相手にカーソルを合わせて[MENU]を押し「編集／設定」→「直デン解除」を選択し「はい」を選択します。

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）

電話帳をお預かりセンターに保存（更新・復元）する

FOMA端末電話帳の電話帳データをお預かりセンターに保存します。保存した電話帳データは、お預かりセンターに接続してFOMA端末に更新・復元できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 電話帳の復元や自動更新設定などは、ｉモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。
  ｉMenu→マイページ→ケータイデータお預かり
- 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳に登録している電話帳データは保存できません。

◆電話帳を保存／更新する

1 [MENU]▶[6][5][1]▶「はい」▶認証操作

[●]：保存を中止

FOMA端末電話帳から操作する：[電話帳]▶電話帳検索▶[MENU]▶[7][2]▶「はい」▶認証操作

2 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の電話帳データを削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳データも同様に削除されます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能が起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源を切ったときやFOMAサービスエリア外にいるとき、FOMAカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- FOMA端末電話帳の電話帳データを削除した場合は、ｉモードのケータイデータお預かりサイトから電話帳をダウンロードすると復元できます。
  ｉMenu→マイページ→ケータイデータお預かり→お預かりデータ確認→ｉモードパスワードを入力→ケータイへダウンロードの電話帳→OK→待受画面に戻す
- 電話帳の自動更新に失敗したときは、待受画面にマークなどは表示されません。電話帳通信履歴表示で確認できます。
- お預かりセンターに接続中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときの動作は次のとおりです。
  - 電話帳に登録している相手からの着信の場合でも、相手の名前や画像は表示されず電話番号のみ表示されます。また、電話帳に設定している着信音やバイブレータなどは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
  - メモリ別着信拒否／許可設定、メモリ登録外着信拒否、呼出動作開始時間設定は動作しません。
  - 着もじは受信しません。
- 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。
- お預かりセンターに接続中に防犯ブザーを動作させた場合は接続を中止します。

◆お預かりセンターを利用した履歴を確認する〈電話帳通信履歴表示〉

- 通信履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [MENU]▶[6][5][2]▶確認する履歴を選択

◆電話帳に登録した画像を送信するかどうかを設定する〈送信設定〉

1 [MENU]▶[6][5][3]▶電話帳内画像送信欄を選択▶[1]または[2]▶[電話帳]

音／画面／照明設定

着信時の動作を設定する

- 本設定は、電話着信音、メール・メッセージ着信音、電話発着信画像設定の電話着信設定／テレビ電話着信設定、バイブレータ設定、イルミパターン設定にも反映されます。

◆電話着信時の動作を変更する〈電話着信設定／テレビ電話着信設定〉

1 MENU▶8 5 1 2▶各項目を設定▶📖

テレビ電話着信時の動作を変更する：
MENU▶8 6 2▶各項目を設定▶📖

着信音：着信音を設定します。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択した場合は着信音を選択します。

イメージ表示：表示画像を設定します。
- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 「ｉモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

バイブレータ：バイブレータの動作パターンを設定します。

イルミネーション：ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると、着信音に合わせて「レインボー」で点滅します。

◆メッセージR/F着信時の動作を変更する〈メッセージR着信設定／メッセージF着信設定〉

MENU2734
MENU2735

1 ⓘ▶7 3▶4または5▶各項目を設定▶📖

着信音選択：着信音を設定します。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択した場合は着信音を選択します。

着信イルミネーション設定／バイブレータ設定：
各設定項目→P78「電話着信時の動作を変更する」

鳴動時間（秒）：着信音が鳴ったり、バイブレータが動作したりする時間を1～30秒の範囲で設定します。

◆メール着信時の動作を変更する〈メール着信設定〉

MENU191

1 ✉▶9 1▶各項目を設定▶📖

各設定項目→P78「メッセージR/F着信時の動作を変更する」

◆チャットメール着信時の動作を変更する〈チャットメール着信設定〉

MENU192

1 ✉▶9 2▶各項目を設定▶📖

着信動作設定：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」にすると、次の項目を設定できます。

着信音選択／着信イルミネーション設定／バイブレータ設定／鳴動時間（秒）：
各設定項目→P78「電話着信時の動作を変更する」

❖電話／テレビ電話／メールの着信音と着信画像について

- 着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。
- 次のような場合、イメージ表示は「標準画像」になります。ただし、設定は変更できます。
  - イメージ表示にFlash画像または映像のみの動画／ｉモーションを設定している状態で、着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定したとき
  - 着信音を音声と映像のある動画／ｉモーションからメロディまたは音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）に変更したとき
- 次のような場合、着信音はお買い上げ時の設定になります。ただし、設定は変更できます。
  - 着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定している状態で、イメージ表示にFlash画像や映像のみの動画／ｉモーションを設定したとき
  - イメージ表示を「着信音連動」から「着信音連動」以外に変更したとき

※ メールのイメージ表示はメール着信結果画像設定で設定できます。

✔お知らせ

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 動画／ｉモーションによっては、電話着信設定、イメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
- バイブレータ（バイブレータ設定）、イルミネーション（着信イルミネーション設定）を「メロディ連動」に設定しても、メロディによっては連動しない場合があります。

電話着信音／メール・メッセージ着信音

電話やメール・メッセージの着信音を変える

- 着信音に動画／iモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 本設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定にも反映されます。
- お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P300
- 着信音と着信画像について→P78

〈例〉電話着信時の音を設定する

1 MENU▶8 1 1

2 1 1

テレビ電話着信時の音を設定する：1 2

メール、チャットメール、メッセージの着信音を設定する：2▶1～4

3 電話欄※を選択▶1～4▶📖

- 「メロディ」または「着モーション」を選択した場合は着信音を選択します。
- チャットメール着信音では「メール連動」が選択できます。「メール連動」を選択するとメールの設定で動作します。

※ 操作2で選択した各機能名が表示されます。

❖着信音の優先順位

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。

① マルチナンバーの着信設定
② FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④ 電話着信音／テレビ電話着信音／メール着信音／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定の設定に従います。

アラーム音

目覚まし音とスケジュール音を設定する

〈例〉目覚まし音を設定する

1 MENU▶8 1 1 4

2 1▶目覚まし音欄を選択▶1～3

- 「メロディ」または「iモーション」を選択した場合はアラーム音を選択します。「iモーション」に音声と映像のある動画／iモーションを設定すると、表示される画像は動画／iモーションの映像になります。

スケジュール音を設定する：2▶アラーム欄または予告アラーム欄を選択▶1または2

3 📖

音量設定

着信音やアラーム音などの各種の音量を設定する

- 各設定で変更できる音量は次のとおりです。

電話着信音量：音声電話、テレビ電話の着信音の音量を設定します。通話料金上限通知のアラーム音量にも反映されます。

メール・メッセージ着信音量：メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音の音量を設定します。

GPS測位鳴動音量：GPS測位（現在地確認、現在地通知、位置提供での測位）鳴動音の音量を設定します。

受話音量：音声電話、テレビ電話の受話音量を設定します。伝言メモ、音声メモの再生音、画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音の音量はこの設定に従います。

- 通話中の受話音量調整について→P47

目覚まし音量：目覚ましの音設定画面で音量を「端末設定に従う」に設定したときの音量を設定します。お知らせタイマーの音量はこの設定に従います。

スケジュール音量：スケジュールのアラーム音や予告アラーム音の音量を設定します。

iアプリ音量：iアプリから鳴る音の音量を設定します。

キー／開閉操作音量：キー操作音、端末の開閉操作音、ひかりルーレットの音量を設定します。

メロディ音量：メロディの音量を設定します。この設定は、メロディの動作設定の音量にも反映されます。メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音量はこの設定に従います。

1 MENU▶8 1 2▶1～8

- アラーム音量を選択したときは、さらに1または2を選択します。

2 ✣▶●

- 受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。iアプリ音量、キー／開閉操作音量、メロディ音量は、「Steptone」を設定できません。

- 電話着信音量を「Silent」に設定すると、待受画面に S が表示されます。また、同時に電話着信時のバイブレータを「OFF」以外に設定しているときは SV が表示されます。

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

- 64Kデータ通信着信時のバイブレータの動作は、音声電話着信時の設定に従います。
- 本設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定、測位動作設定、ｉアプリ設定のバイブレータ設定にも反映されます。
- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。

〈例〉音声電話、テレビ電話着信時のバイブレータを設定する

1 MENU ▶ 8 1 3

2 1 ▶ 1 または 2

メール、チャットメール、メッセージR/F着信時のバイブレータを設定する： 2 ▶ 1 ～ 4

- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信時の設定ができない旨のメッセージが表示されます。

GPS測位時のバイブレータを設定する： 3 ▶ 1 ～ 4

目覚まし、スケジュールのアラーム鳴動時のバイブレータを設定する： 4 ▶ 1 または 2

ｉアプリ利用時のバイブレータを設定する： 5

3 1 ～ 5

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時にFOMA端末が振動します。

- 「パターンA」「パターンB」「パターンC」にカーソルを合わせると、カーソル位置のパターンで振動します。
- 「メロディ連動」に設定すると着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。メロディによっては連動しない場合があります。
- ｉアプリのバイブレータを設定するときは、「ON」または「OFF」を設定します。
- 電話着信時のバイブレータを「OFF」以外に設定すると、電話着信音量が「Level 1」以上のときは待受画面に V が表示されます。電話着信音量が「Silent」のときは SV が表示されます。

❖バイブレータの優先順位

複数の機能でバイブレータを設定している場合は、次の優先順位でFOMA端末が振動します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③バイブレータ設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

✔お知らせ

- 通話中に着信があった場合は振動しません。
- 「OFF」のときでも、Flash画像の動作時に振動する場合があります。

GPS測位鳴動音

GPS利用時の音を設定する

- 本設定は、現在地確認設定、現在地通知、位置提供設定の測位動作設定にも反映されます。

1 MENU ▶ 8 1 1 3 ▶ 1 ～ 4 ▶ 鳴動音選択欄を選択 ▶ 1 または 2 ▶ 📖

- 「メロディ」を選択したときは、鳴動音を選択します。

キー／開閉操作音

キー／開閉操作音を設定する

キーを押したとき（□、□を除く）やFOMA端末を開閉したときに鳴る音を変更します。音が鳴らないように設定することもできます。

- 設定した音の種類によって、キー操作音、端末の開閉操作音はそれぞれ異なる音の組み合わせで鳴ります。
- キー／開閉操作音を変更すると、電池レベル表示時の確認音（キー操作音と同じ音）も変更されます。
- 音を鳴らさないようにすると、次の音も鳴らなくなります。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - データ送受信時の通信終了音

1 MENU ▶ 8 1 1 5 1 ▶ 1 ～ 5

✔お知らせ

- キー／開閉操作音が鳴るように設定しても、ｉアプリの起動中はキー操作音が鳴りません（MULTI を除く）。

静止画撮影シャッター音／動画撮影シャッター音

シャッター音を設定する

静止画撮影時や動画撮影時（サウンドレコーダー録音時も含む）のシャッター音を設定します。

- 本設定は、静止画詳細設定と動画／録音詳細設定のシャッター音にも反映されます。

1 MENU▶8 1 1 5▶2または3▶1～5

充電確認音

充電時の確認音を設定する

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU▶8 1 1 6▶1または2

✔お知らせ

- 「ON」に設定しても、次の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、音声電話中、テレビ電話中、64Kデータ通信中、ｉモード中、パケット通信中

通話保留音

通話保留音を設定する

1 MENU▶8 1 1 7 2▶1～3

通話品質アラーム音

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

音声電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れてしまう可能性のある場合、直前にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU▶8 1 1 7 3▶1～3

✔お知らせ

- 音声電話中に設定する場合は、MENUを押し「通話品質アラーム音」を選択します。

再接続アラーム音

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話、テレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続する際のアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1

MENU▶8 1 1 7 4▶1～3

✔お知らせ

- 音声電話中に設定する場合は、MENUを押し「再接続アラーム音」を選択します。

電池アラーム音

電池アラーム音を設定する

電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU▶8 1 1 7 5▶1または2

✔お知らせ

- 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても受話口からアラームが鳴ります。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。また、授業中などに着信があっても、音やランプが動作しないスクールマナーモードも設定できます。

◆マナーモードを起動する

1 **#（1秒以上）**

マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に（通常マナーモード中）、（オリジナルマナーモード中）、（スクールマナーモード中）が表示されます。

- ひかりキー長押し設定で「マナーモード設定／解除」に設定すると、FOMA端末を閉じたまま□を1秒以上押しても、マナーモードを起動／解除できます。起動するとランプが赤色で1回点灯し、バイブレータが1回振動します。解除するとランプが青色で2回点滅し、バイブレータが2回振動します。

解除する：**#（1秒以上）**

❖通常マナーモードを起動すると

着信音、キー操作音、端末の開閉操作音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

- 次の場合は、バイブレータの動作は「パターンA」になります。
  - 音声電話着信時、テレビ電話着信時、メール受信時、64Kデータ通信着信時
  - GPSの測位動作設定で、鳴動音選択が「メロディ」、バイブレータ設定が「OFF」に設定されている場合の測位中
  - お知らせタイマーで設定した時間が経過したとき
  - スケジュールで指定した日時になったとき
- 目覚ましで指定した時刻になると、バイブレータは目覚ましの設定に従って動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声の再生確認画面が表示されます。「はい」を選択すると音声と映像が再生されます。映像がある動画／ｉモーションの場合は「いいえ」を選択すると映像のみが再生されます。
- メロディの再生時には、再生確認画面が表示されます。
- 演奏機能を起動すると、演奏確認画面が表示されます。

❖スクールマナーモードを起動すると

着信音、キー操作音、端末の開閉操作音、アラームなどFOMA端末から出る音を消します。自分で操作した場合を除き、バイブレータやランプは動作しません。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

- セキュリティランプ設定が「ON」で、はなれたよロックまたは開閉ロックが「ON」でも、ランプは動作しません。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声の再生確認画面が表示されます。「はい」を選択すると音声と映像が再生されます。映像がある動画／ｉモーションの場合は「いいえ」を選択すると映像のみが再生されます。
- メロディの再生時には、再生確認画面が表示されます。
- 演奏機能を起動すると、演奏確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 通常マナーモード中とスクールマナーモード中、通話料金上限通知のアラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中、通話料金上限通知のアラーム音量はオリジナルマナーモードの「電話着信音量」の設定に従います。

◆マナーモードを設定する〈マナーモード選択〉

〈例〉オリジナルマナーモードのとき

1 MENU ▶ 8 1 4

2 2

通常マナーモードを設定する：1

スクールマナーモードを設定する：3

- 通常マナーモードとスクールマナーモードの設定の場合、操作3の操作は不要です。

3 各項目を設定 ▶ 📖

バイブレータ：電話の着信中やメール受信中にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定が「OFF」の場合は、「パターンA」で振動します。

キー／開閉操作音：キー操作音、端末の開閉操作音を設定します。

電話着信音量：音声電話、テレビ電話の着信音量を設定します。

メール着信音量：メールの着信音量を設定します。

メロディ音量：メロディの音量を設定します。

- メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音量にも反映されます。

GPS測位動作音量：GPS測位鳴動音の音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

目覚まし音：お知らせタイマーの音や目覚まし音を鳴らすかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、目覚まし音は目覚ましの設定に従って鳴ります。

スケジュール音：スケジュールアラームの音を鳴らすかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、スケジュールアラームの設定とスケジュール音量の設定に従って鳴ります。

ｉアプリ音：ｉアプリの音を鳴らすかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、ｉアプリ音量の設定に従って鳴ります。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

コーディネイト／きせかえ

FOMA端末の画面をコーディネイトする

ディスプレイの待受画面やメニュー、時計、電池アイコン、アンテナアイコンなどの画面のデザインは、FOMA端末のカラーに合わせてコーディネイトされています。他のカラーに対応したコーディネイトにも変更できます。

◆コーディネイトを設定する

1 MENU ▶ 8 3

2 1 〜 9

- ◎を押すとカーソル位置のコーディネイトを確認できます。

きせかえツールを設定する：6 ▶ フォルダを選択 ▶ 設定するきせかえツールにカーソルを合わせて 📖 ▶ 「はい」

- きせかえツール内のデータが一括で設定されます。

きせかえツールの利用→P89

◆オリジナルのコーディネイトを作成する

各設定項目をカスタマイズして、3種類のオリジナルのコーディネイトを作成できます。

1 MENU ▶ 8 3

2 7 〜 9 のいずれかにカーソルを合わせて 📖 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

タイトル：コーディネイトのタイトルを入力します。

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

スクリーン設定：ディスプレイの表示色の配色を設定します。

待受画像設定：待受画面に表示する画像を設定します。静止画、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定できます。

待受時計／形式／表示位置／曜日：待受画面に時計を表示するかどうか、表示する時計のデザイン、形式、表示位置、曜日の表示の種類を設定します。

時計表示設定の項目→P94「時計の表示を設定する」操作1

電池アイコン：電池アイコンの種類を設定します。

メニューデザイン：ノーマルメニュー使用時のアイコンのデザインを設定します。

- 待受画面で MENU を押したときに表示される1階層目のメニューと次の2階層目のメニューのデザインが設定されます。

アンテナアイコン：アンテナアイコンの種類を設定します。

新着アニメ：新着通知があるときのワンポイントアニメーションを設定します。

待受画面設定

待受画面の表示を変更する

待受画面に、画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定したり、フォルダ内の画像をランダムに表示するように設定したりできます。また、新着情報やカレンダー、スケジュールなどを表示するように画面をカスタマイズできます。時計の表示（→P94）、電池アイコンやアンテナアイコンの表示（→P91）も設定できます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと待受画面設定が無効になります（FOMAカードのセキュリティ機能）。
- 「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定した待受画面が表示されます。

◆画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから取得した画像、動画／ｉモーション、キャラ電、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガなども設定できます。

1 MENU▶8211

2 1または3～4

3 **フォルダを選択▶画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択**

キャラ電のアクションを設定する：キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせてMENU▶待受アクション設定画面で各項目を設定▶(Ⓜ)
各設定項目→P235「待受画面に設定する」操作①

4 **「はい」**

- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像が拡大されて待受画面に表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

✔お知らせ

- 新着アニメのワンポイントアニメーションが表示されているときに動画／ｉモーションまたはキャラ電を待受画面に設定した場合、待受画面は変更されません。次の場合は、設定した待受画面に変更されます。
  - 新着情報を確認した場合
  - 新着アニメの設定を削除した場合

❖待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーション、キャラ電を再生するには

- 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
  (☎)／FOMA端末を開く：再生
  CLR／(☎)：停止
  ▯：ミュート（消音）／ミュート解除
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
  FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
  (☎)：一時停止／再生
- キャラ電の場合は次の操作ができます。
  CLR／FOMA端末を開く：再生
  CLR／(☎)：停止
- オールロック中などには再生されません。

✔お知らせ

- 動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は設定できません。
- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まったときは、Flash画像の再生を行うと再開できます。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れることがあります。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。

◆画像をランダムに表示する〈ランダムイメージ設定〉

指定したフォルダのすべての静止画を、待受画面にランダムに表示します。

1 MENU▶81112▶**各項目を設定**

フォルダ：画像が保存されているフォルダを選択します。

切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。

- 「30分ごと」を選択すると毎時0分と30分に、「60分ごと」を選択すると毎時0分に、画像が切り替わります。

2 ▶「はい」

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

✔**お知らせ**

- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動または削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がないときは、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。ただし、待受画面に表示されている静止画を移動したりパラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。

◆ｉアプリ待受画面を設定する

- ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリのみ設定できます。
- 他の待受画面設定よりも、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。
- ｉアプリの操作・設定・待受画面の解除→P208

1 MENU▶8 2 1 1 5

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

2 ｉアプリを選択▶「はい」

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面にまたはが表示されます。

◆待受画面の表示をカスタマイズする〈カレンダー／待受カスタマイズ〉

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容を表示するように設定します。

- 設定した情報は、待受画面に画像が設定されている場合、画像に重ねて表示されます。待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電、ｉアプリ待受画面が設定されている場合は表示されません。

1 MENU▶8 2 1 5

2 1

カレンダー／待受カスタマイズを解除する：2

3 でパターンを切り替え▶エリアを選択▶1〜6

- MENUを押して「はい」を選択すると、すべてのエリアの設定を解除できます。

新着情報を設定する：2▶情報を選択▶

- 「未読メール一覧」を選択すると、未読メールの受信日時と題名を表示します。
- 「メッセージR」／「メッセージF」を選択すると、メッセージR/Fの受信日時とタイトルを表示します。
- 「不在着信一覧」を選択すると、着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）を表示します。
- 「伝言メモ一覧」を選択すると、録音日時または録画日時と、相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）を表示します。

メモ内容を設定する：6▶メモを選択

4 ▶「はい」

❖待受画面で情報を確認する

1

エリアが赤いカーソル枠で囲まれます。

- 情報が表示されていないときは、を繰り返し押して表示させてからを押します。

2 でカーソル枠を移動▶

✔**お知らせ**

- 待受画面でを押すたびに、情報の表示と非表示を切り替えることができます。
- 待受画面にGIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定していた場合、再生が停止または一時停止した後にを押すと情報が表示されます。

❖各情報の表示内容

カレンダー／待受カスタマイズで設定した各情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数や行数は、エリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ **新着情報**

情報が新しいものから順に表示されます。エリアを選択すると、先頭の情報を確認できます。

- 未読メールの題名などがすべて表示されない場合があります。

：未読メール
／：メッセージR／メッセージF
：不在着信
：伝言メモ

■スケジュール

開始日時になっていないスケジュールの早いものから順に、アイコン、開始日時、内容が表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールが確認できます。

- 内容がすべて表示されない場合があります。
- 開始日時と終了日時が同じ日でない場合は、表示されるアイコンは になります。
- 終日をONにしたスケジュールが当日の場合は、「終日」と表示されます。

■カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリア内のカレンダーを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

- 当日は黄、休日と祝日は赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日は、スケジュール帳の設定に従います。ただし、スケジュール帳の休日設定で休日にした日は、パーソナルデータロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。パーソナルデータロック中は表示されません。

■メモ一覧

メモ帳に登録されているメモの一覧が表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。

■メモ内容

メモ内容に設定したメモの先頭部分が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。

✔お知らせ

- パーソナルデータロック中の場合、新着情報は不在着信一覧の設定のみ変更できます。また、スケジュール、メモ一覧、メモ内容は選択できません。

電話発信画像設定

音声電話やテレビ電話の発信時の画像を変更する

MENU8511
MENU861

〈例〉音声電話のとき

1 MENU▶8 2 4 2 1▶イメージ表示欄を選択▶1〜3

テレビ電話の発信時の画像を変更する：
MENU▶8 2 4 2 3▶イメージ表示欄を選択▶1〜3

- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。

2 (□)

✔お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

❖発信画像の優先順位

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

①FOMA端末電話帳に登録した画像※
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③電話発信設定／テレビ電話発信設定
※ 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

電話着信画像設定

音声電話やテレビ電話の着信時の画像を変更する

- 本設定は、発着信・通話機能の電話着信設定、テレビ電話のテレビ電話着信設定にも反映されます。
- 着信音と着信画像について→P78

〈例〉音声電話のとき

1 MENU▶8 2 4 2 2▶イメージ表示欄を選択▶1〜5

テレビ電話の着信時の画像を変更する：
MENU▶8 2 4 2 4▶イメージ表示欄を選択▶1〜5

- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 「iモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／iモーションを選択します。

2 (□)

✔お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 動画／iモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／iモーションは設定できません。

❖着信画像の優先順位

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① マルチナンバーの着信設定
② FOMA端末電話帳に登録した画像※1
③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④ 電話着信音※2／テレビ電話着信音※2／電話着信設定／テレビ電話着信設定

※1 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。
※2「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定したときに有効です。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像はテレビ電話着信設定に従います。
- 電話帳別着信設定の着信音に動画／ｉモーションを設定しているとき（「端末設定に従う」に設定し、電話着信設定などで動画／ｉモーションを設定している場合も含む）は、電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションは表示されず、着信音に設定した動画／ｉモーションが表示されます。ただし、電話着信設定などで音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定しているときは、次のように動作します。
  - 電話帳に静止画を設定した場合は静止画が表示されます。
  - Flash画像や動画／ｉモーションを設定した場合は、電話帳の画像は表示されず、グループ別発着信設定や電話着信設定などに設定した画像が表示されます。
- 電話帳のグループ別発着信設定で着信音を「端末設定に従う」に設定し、電話着信設定などで動画／ｉモーションを設定しているときは、グループ別電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションは表示されず、着信音に設定した動画／ｉモーションが表示されます。ただし、電話着信設定などで音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定しているときは、次のように動作します。
  - グループ別発着信設定に静止画を設定した場合は静止画が表示されます。
  - グループ別発着信設定にFlash画像や動画／ｉモーションを設定した場合は、電話着信設定などに設定した画像が表示されます。

人物画像表示設定

発着信時の電話帳の人物表示を設定する

音声電話やテレビ電話の発着信時に、FOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。

- 電話帳に登録されている画像は、相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

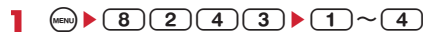
1 MENU▶8 2 4 2 5▶1または2

メール送受信・着信結果・問合せ画像設定

メール送受信時や問合せ時の画面を変更する

メールの送信、メール（メッセージR/Fを含む）の受信や着信結果、ｉモード問合せ時に表示する画像を設定します。

- メール着信設定の着信音とメール着信結果画像設定の着信画像について→P78

1 MENU▶8 2 4 3▶1～4

2 イメージ表示欄を選択▶1～3

- 「標準画像」を選択すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。

メール着信結果画像を設定する：イメージ表示欄を選択▶1～5

- 「ｉモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

3 📖

✔お知らせ

- イメージ表示にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

照明設定

ディスプレイとキーの照明を設定する

◆照明時間を設定する〈点灯時間設定〉

ディスプレイの照明の点灯時間を設定します。照明を点灯すると、ディスプレイがより明るくなり、キー部分が点灯します。

- 通常時のほかにACアダプタ接続時（DCアダプタ接続時も含む）、ｉモード中、静止画や動画の撮影中、ｉモーション再生中、ｉアプリ動作中の点灯時間も設定できます。
- 本設定は、ｉモード設定、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定、ｉモーションの動作設定、ｉアプリ設定の照明設定にも反映されます。

〈例〉通常時の点灯時間を設定する

1 MENU ▶ 8 2 5 1

2 1 ▶ 1 ～ 7

- 「常時」に設定した場合、省電力の状態になりません。

ACアダプタ接続時、ｉモード中、静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション、ｉアプリの点灯時間を設定する： 2 ～ 7 ▶ 1 または 2

- 「端末設定に従う」に設定すると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- 「常灯」に設定すると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯し、省電力の状態になりません。ただし、ACアダプタ接続時は、明るさ調整の設定に関わらず、「明るさ5」で点灯します。
- ｉアプリの場合は「ソフトに従う」に設定すると、ｉアプリの設定に従って点灯します。常に照明を点灯するｉアプリの場合は省電力の状態になりません。

◆照明設定範囲を設定する〈照明設定範囲〉

1 MENU ▶ 8 2 5 2 ▶ 1 または 2

◆照明の明るさを設定する〈明るさ調整〉

1 MENU ▶ 8 2 5 3 ▶ 1 ～ 5

スクリーン設定

画面のカラー配色を変更する

1 MENU ▶ 8 2 4 1 ▶ 配色を選択

メニュー設定

メニューのデザインを変更する

MENU8231

メニューの表示形式やアイコンのデザインを変更したり、オリジナルのメニューを作成したりできます。

- 設定項目のノーマルを「シンプル」に設定すると、バイリンガルの設定は利用できなくなります。また、本書の操作の説明と項目番号が異なりますのでご注意ください。
  「シンプル」に設定した場合の項目番号→P299

1 MENU ▶ (i) ▶ 各項目を設定 ▶ (□)

ノーマル：ノーマルメニュー使用時の表示形式を設定します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールのメニューが表示されます。
- 既に「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択して(□)を押すと、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- バイリンガルの設定が英語のときは、「シンプル」は設定できません。

セレクト：セレクトメニュー使用時の表示形式を設定します。

アイコンデザイン：ノーマルメニューの表示形式で「タイルアイコン」を選択したときのデザインを設定します。
- アイコンデザインで設定するのは、待受画面でMENUを押したとき最初に表示される1階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム1」「カスタム2」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するときに設定します。

アニメーションデザイン：ノーマルメニューの表示形式で「アニメーション」を選択したときのデザインを設定します。

アイコン拡大表示：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー：待受画面でMENUを押したときにノーマルメニューとセレクトメニューのどちらを表示させるかを設定します。

セレクトメニューショートカット：セレクトメニュー使用時のショートカット操作を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、起動メニューを「セレクト」にした場合でもノーマルメニューの項目番号でショートカット操作ができます。→P33

◆オリジナルメニューを作成する

ノーマルメニュー使用時のメニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、2種類のオリジナルメニューを作成できます。
- アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

1 MENU▶[i]▶ノーマル欄を選択▶2▶アイコンデザイン欄を選択▶2または3

2 カスタマイズを選択▶機能を選択▶画像フォルダ一覧で画像を選択

他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。
- メニューアイコンを解除するときは、解除するアイコンにカーソルを合わせてMENU1を押し、「はい」を選択します。
- メニューアイコンを全件解除するときはMENU2を押し、「はい」を選択します。

3 ✉▶画像フォルダ一覧でメニュー画面の背景画像を選択

背景を解除する：MENU▶4▶「はい」

4 📖▶📖

✔お知らせ
- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、GIFアニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、アイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」の設定内容を変更できません。

きせかえツールを利用する

きせかえツールを利用すると、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などを一括で設定できます。
- きせかえツールでは、次の項目が設定できます。きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります。
  - 待受画面、アニメーションメニュー※1、メニューアイコン、メニューアイコン（背景）、音声電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話発信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信中画面、メール着信結果画面、センター問合せ画面、電池アイコン、アンテナアイコン、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、チャットメール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、目覚まし音、カラーテーマ※2

  ※1 きせかえツールによっては、待受画面で◎や✉を押したときの動作が通常と異なる場合や、ショートカット操作ができない場合があります。

  ※2 スクリーン設定の配色が設定できます。
- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

◆きせかえツールを変更する

1 MENU▶55

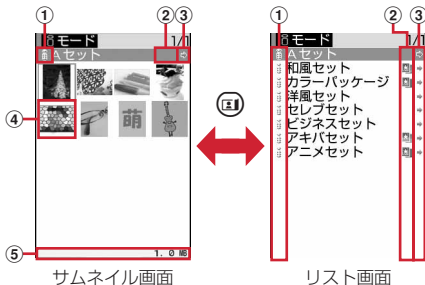
きせかえツールの各フォルダには次のようなきせかえツールが保存されています。

iモード：サイトからダウンロードしたきせかえツール

マイフォルダ：他のフォルダから移動したきせかえツール
- フォルダを追加すると表示されます。→P237

2 フォルダを選択▶きせかえツールにカーソルを合わせる

カーソル位置のファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル画面　　リスト画面

① 取得元
　：iモード
② ファイルの種類
　（後ろのカードが赤）：最後に設定されたきせかえツール
　（後ろのカードがグレー）：現在設定されているきせかえツール
　表示なし：設定されていないきせかえツール
　（下半分がグレー）：部分的に保存されているきせかえツール
③ ファイル制限
　（グレー）：ファイル制限あり
④ サムネイル画像
　：プレビュー画像なし
　：FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているきせかえツール
　：部分的にダウンロードしたきせかえツール
⑤ ファイルサイズ（実メモリサイズ）

設定をリセットする：MENU▶5▶認証操作▶「すべてリセット」または「メニュー画面のみ」
- 「すべてリセット」を選択すると、きせかえツールの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- 「メニュー画面のみ」を選択すると、「アニメーションメニュー」「メニューアイコン」「メニューアイコン（背景）」の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

一覧画面の動作設定をする：フォルダを選択▶MENU▶7▶1または2
- 「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。
- フォルダ一覧画面から操作する場合は、MENUを押し「動作設定」を選択します。

3 ▶「はい」

きせかえツールのデータが一括で設定されます。

- 部分的にダウンロードしたきせかえツールにカーソルを合わせて、●、、を押した場合は、残りデータのダウンロード確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- ダウンロードできないときは、部分保存したきせかえツールは削除される場合があります。

詳細情報を表示／変更する：きせかえツールにカーソルを合わせてMENU▶2▶1または2
詳細情報について→P238

設定を解除する：きせかえツールにカーソルを合わせてMENU▶3▶「はい」

データを移動する／戻す：きせかえツールにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2
移動／戻しについて→P237

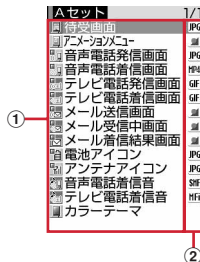
データを削除する：きせかえツールにカーソルを合わせてMENU▶5▶1〜3
削除について→P239

データをソートする：MENU▶6▶各項目を設定▶
ソートについて→P240

◆ きせかえツールの内容を確認する

1 MENU▶5 5▶フォルダを選択

2 きせかえツールにカーソルを合わせて

きせかえツールに登録されている項目の一覧が表示されます。

① 項目
　項目のアイコンと項目名が表示されます。
② ファイル形式
　JPG：JPEG形式の画像
　GIF：GIF形式の画像
　：SWF（Flash画像）
　MP4：MP4形式の動画
　MFi：MFi形式のメロディ
　SMF：SMF形式のメロディ
　表示なし：ファイルなし
- MENUを押し、「内容表示」を選択しても内容を確認できます。
- を押すと、きせかえツールを設定できます。

きせかえツールのプレビューイメージを表示する：きせかえツールにカーソルを合わせて⦿
- プレビュー画面で(田)を押してもきせかえツールを設定できます。

3 項目を選択

項目のデータや情報が表示または再生されます。
- カラーテーマにカーソルを合わせると、その配色とフォントで画面が表示されます。

✔お知らせ
- きせかえツールによって変更された機能は、「きせかえツールに従う」に設定されます。複数のきせかえツールを設定した場合で重複する項目があるときは、最後に設定したきせかえツールの項目のデータが設定されます。きせかえツールを設定後、各設定画面で「きせかえツールに従う」以外を選択すると、きせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、該当項目のみ解除されます。きせかえツールの設定に戻すには、再度きせかえツールを設定してください。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。
- 着信音または着信画像のいずれかが含まれるきせかえツールを設定した場合、設定中の着信画像または着信音との組み合わせによっては、そのデータのみ設定されません。また、「きせかえツールに従う」に設定されても、お買い上げ時の設定で着信音が鳴ったり「標準画像」が表示されたりする場合があります。

電池アイコン設定／アンテナアイコン設定

電池やアンテナのアイコンを変更する

1 (MENU)▶8 2 1▶3または4▶1～6

不在着信お知らせ

不在着信や未読メールなどの新着情報をランプで知らせる

FOMA端末を閉じているときに未確認の不在着信（音声電話／テレビ電話）や未読情報（メール／チャットメール／SMS）があるときにランプを点滅させて知らせるかどうかを設定します。

1 (MENU)▶8 2 7▶1または2
- 「ON」にした場合、未確認の不在着信があるときは、着信イルミネーションの電話着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。未読情報があるときは、着信イルミネーションのメール着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。

✔お知らせ
- 新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従ってランプが点滅します。
  ① 不在着信（音声電話／テレビ電話）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／SMS）
- 「ON」に設定した場合、最後の新着情報から約6時間経過したときや、待受画面の[不在着信アイコン 2] [メールアイコン 2]（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくてもランプの点滅は停止します。

イルミパターン設定

着信時や通話中などの点灯パターンと点灯色を設定する

- 本設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定のイルミネーション設定にも反映されます。

◆電話／メールの着信の点灯パターンと点灯色を設定する〈着信イルミネーション〉

1 (MENU)▶8 2 6 2

2 イルミネーションパターン欄を選択▶点灯パターンを選択
- 「メロディ連動」にすると、着信音に合わせて「レインボー」で点滅します。ただし、メロディによっては連動しない場合があります。
- 「メロディ連動」に設定して不在着信お知らせを「ON」にしている場合で、新着情報があるときのイルミネーションカラーは、電話着信のイルミネーションカラーおよびメール着信のイルミネーションカラーに従います。
- 「メロディ連動」または「OFF」を選択したときは、操作4に進みます。

3 イルミネーションカラー欄を選択▶イルミネーションカラーを選択

4 (田)

✔お知らせ
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信は選択不可を示す画面が表示されます。

❖着信イルミネーションの優先順位

複数の機能で着信イルミネーションのイルミネーションパターン、イルミネーションカラーを設定している場合は、次の優先順位でランプが点灯します。
① FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ 着信イルミネーション／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

◆電話中の点灯と点灯色を設定する〈通話中イルミネーション〉

1 MENU▶8 2 6 3▶イルミネーション欄を選択▶1または2

- 「ON」に設定するとイルミネーションカラーを設定できます。

2 イルミネーションカラー欄を選択▶イルミネーションカラーを選択▶📖

◆GPSの点灯パターンと点灯色を設定する〈GPS測位イルミネーション〉

1 MENU▶8 2 6 5▶イルミネーションパターン欄を選択▶点灯パターンを選択

- 「メロディ連動」は選択できません。位置提供／許可、位置提供／毎回確認では「OFF」も選択できません。

2 イルミネーションカラー欄を選択▶イルミネーションカラーを選択▶📖

◆FOMA端末を閉じたときの点灯を設定する〈開閉パターン〉

1 MENU▶8 2 6 1▶開閉パターンを選択

時計+ひかりルーレット：背面表示部に時計が表示された後に、ひかりルーレットの動作に従ってランプが点灯します。→P31「■時計を表示するとき」
時計+ランダムパターン：背面表示部に時計が表示された後に、ランプがランダムに点灯します。
時計+カスタムパターン1〜10：背面表示部に時計が表示された後に、ひかりクリエーターで作成、取得したひかりデータの点灯パターンでランプが点灯します。
時計のみ：背面表示部に時計が表示されます。
OFF：開閉パターンを解除します。

✔お知らせ

- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- ランプの点灯時は、次の現象が起きることがあります。これはランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
  - FOMA端末の塗装色により、ランプの色が点灯色名とは異なる色に見えることがあります。

◆毎時0分にランプを点灯させる〈時報イルミネーション〉

1 MENU▶8 2 6 4

2 各項目を選択▶📖

設定：「時間指定」を選択すると「開始時刻（時）」と「終了時刻（時）」を設定できます。「OFF」以外を選択すると、「時報イルミネーション音」を設定できます。
時報イルミネーション音：「OFF」以外を選択すると、「音量」が選択できます。

■ 時報イルミネーションを設定すると

設定した時刻の毎時0分にランプが約3秒間点滅し、時計が表示されます。時報イルミネーションを設定していると、時報イルミネーション音が鳴ります。

- 背面表示部に時計やその他の情報が表示されている場合、時報イルミネーションは動作しません。
- 時刻によりランプの色が変わります。

新着アニメ

新着情報があるときにワンポイントアニメーションを表示する

新着情報（未確認の不在着信、未読メール、未確認の伝言メモ）がある場合、待受画面にワンポイントアニメーションを表示します。すべての着信または電話帳に登録している相手や電話帳グループごとに設定できます。

- 最大16件設定できます。

〈例〉「電話帳指定」を選択したとき

1 MENU▶8 2 2

2 📖▶1〜3

- 「すべての着信」を選択したときは操作4に進みます。

設定を削除する：削除する設定にカーソルを合わせてMENU▶3または4▶「はい」

- 全件削除の場合は認証操作を行います。

設定内容を変更する：変更する設定を選択▶操作4に進む

- （アイコン）：電話帳指定（本体）
- （アイコン）：電話帳指定（FOMAカード）
- （アイコン）：電話帳グループ（本体）
- （アイコン）：電話帳グループ（FOMAカード）
- （アイコン）：設定したときのFOMAカードが挿入されていない電話帳指定
- （アイコン）：設定したときのFOMAカードが挿入されていない電話帳グループ
- （アイコン）：すべての着信
- （アイコン）：新着時のアクションがOFF

3 電話帳を検索▶設定する電話帳データを選択▶◉

- 「電話帳グループ」を選択したときは、「本体」または「FOMAカード」を選択して、グループを選択します。

4 新着時のアクション欄を選択▶1▶ワンポイントアニメーションを選択▶📖

✔お知らせ

- 新着情報がチャットメールの場合は、チャットメンバーに登録している相手からの新着時のアクションは動作しません。
- 各ワンポイントアニメーションには3つの表示パターンがあります。新着情報が更新されたり、待受画面が表示されたりすると、表示パターンはランダムに切り替わります。
- ｉアプリ待受画面を設定している間は、本機能は動作しません。
- 同じ電話帳データを「電話帳指定」と「電話帳グループ」に登録した場合は、「電話帳指定」の設定が優先されます。
- 新着アニメを複数設定しているときに複数の相手から新着情報があった場合は、最新の相手からの新着情報のアクションが表示されます。
- 次の場合、新着アニメの設定は削除されます。
  - 設定した電話帳データや電話帳グループを削除した場合
  - FOMAカードの電話帳データを設定し、FOMAカードを差し替えた場合
- 待受画面にワンポイントアニメーションが表示されている状態で、その相手の新着アニメの設定を変更すると、待受画面には変更したワンポイントアニメーションが表示されます。

フォント選択

フォントを変える

メニュー画面やｉモードサイト、文字入力画面などに表示される文字の種類を変更できます。

- ひらがな／カタカナはお買い上げ時に登録されている「プリティー桃」のほかに、ダウンロードしたフォントを利用できます。

1 MENU▶8 2 8 2▶漢字／英数字欄を選択▶1または2

2 ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントを選択

ダウンロードしたフォントを削除する：ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントにカーソルを合わせてMENU▶「はい」

- お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

3 📖

✔お知らせ

- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなど、一部の機能には本設定は反映されません。

文字サイズ設定

文字の大きさを変更する

MENU873

メモ帳、メール本文入力などの全画面入力や画面メモ、ｉモードサイト、メールを表示したりするときの文字サイズを変更できます。

〈例〉一括で設定する

1 MENU▶8 2 8 1

2 1▶1～5

ｉモード、メール閲覧を設定する：2または3▶1～3

メール編集／文字入力を設定する：4▶1～5

- ◎を押すとカーソル位置の文字サイズの例が表示されます。

✔お知らせ

- 「一括」で設定を行った場合は、電話帳一覧、電話帳検索、電話帳検索結果を表示するときの文字サイズにも反映されます。
- 「一括」で設定を行った場合は、ｉモード、メール閲覧、メール編集／文字入力がすべて同じ設定になります。ただし、「最大」「最小」に設定したときには、ｉモード、メール閲覧の設定はそれぞれ「大」「小」になります。
- メール詳細画面からも文字サイズを変更できます。設定内容は本設定のメール閲覧にも反映されます。→P189

時計表示設定

時計の表示を設定する

MENU8212

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、表示位置を設定できます。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式も設定できます。

1 MENU▶8 7 1 4▶各項目を設定▶📖

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。「ON」に設定した場合は時計のデザインを「アナログ1～2」「デジタル1～4」から選択します。

形式：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。

曜日：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。

- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

✔お知らせ

- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式で設定した時計の表示形式に従って「24時間表示」または「12時間表示」に変更されます。
- 待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電、ｉアプリが表示されている場合は、タスク表示領域に時計が表示されます。形式は24時間表示で、曜日は英語で表示されます。

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

1 MENU▶8 2 8 3▶1または2

✔お知らせ

- バイリンガルの設定は、FOMAカードにも保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定に切り替わります。

あんしん設定

あんしんセットを使う

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

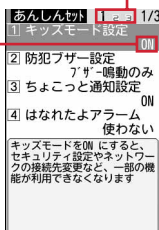
その他の「あんしん設定」

あんしんセットとは

お子さまが使う機能の制限や、防犯ブザー、おまもリモコンの設定ができます。

- あんしんセットのメニュー画面は3画面あります。 で画面を切り替えて設定してください。

現在のページを大きい数字で表示

一部の機能では現在の設定を表示

あんしんセットで設定できる機能は次のとおりです。

機能名		内　容
キッズモード設定		お子さまに安心してご利用いただくために機能を制限します。→P96
防犯ブザー設定		防犯ブザーを鳴らします。→P97
ちょこっと通知設定		ワンタッチで現在地を知らせます。→P99
はなれたよアラーム		おまもリモコンを使って、置き忘れを防ぎます。→P101
電源OFF通知		電源を切ったときに現在地を知らせます。→P103
ひかりキー長押し設定		ひかりキーを1秒以上押したときの機能を設定します。→P103
あんしん電池		電池残量が少なくなったときに機能を制限します。→P104
発着信・送受信制限		電話の発着信やメールの送受信に制限をかけます。
	ダイヤル発信制限	→P111
	発番号なし動作設定	→P119
	メモリ別着信拒否／許可	→P119
	メモリ登録外着信拒否	→P120
	ネットワーク設定	→P104
あんしんスケジュール		時間ごとに機能をロックしたり、スクールマナーモードに設定したりします。→P104
各種利用制限		メール、iモード、iアプリ、カメラ機能のロックを設定／解除します。→P105
セキュリティ設定		端末暗証番号を変更します。→P107
イマドコサーチ設定		イマドコサーチを設定するサイトに接続します。→P105

キッズモード設定

キッズモードを設定する

キッズモード中は、保護者用の暗証番号（端末暗証番号→P105）に加えて、子供用の暗証番号（パスワード→P106）を利用できます。通常の暗証番号の制限に加え、安全管理に関わる機能などを新たに制限します。また、子供に必要で、プライバシー保護が必要な機能は子供用の暗証番号でも利用できるので、安心して持たせられます。お子さまがご利用の際には、キッズモードを「ON」にして利用することをおすすめします。

- キッズモード中は、公共モード（ドライブモード）が起動できません。
- キッズモード中に制限されるメニュー→P290
- キッズモードを設定するときはPIN1コードON／OFFを「OFF」にしてください。

1 MENU▶9▶認証操作▶1ページ目で1▶1または2

- 設定すると待受画面にが表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）、プライバシーモード、セルフモードは無効になります。公共モード（ドライブモード）、プライバシーモードはキッズモードを「OFF」にするとキッズモードを「ON」にする前の設定に戻ります。
- 「ON」に設定するときに位置提供可否設定が「位置提供OFF」に設定されていると、「位置提供ON」設定の確認画面が表示されます。

パスワード変更

パスワード（子供用）を変更する

キッズモード中に使用するパスワードを変更します。

- 端末暗証番号と同じ番号は設定できません。

1 MENU▶8 4 6 2▶認証操作▶新しいパスワードを入力

2 新しいパスワード（確認）欄に操作1で入力したパスワードを入力▶

✔お知らせ

- パスワードの入力が必要なときは、端末暗証番号を入力しても認証されます。
- パスワードは、お子さまが覚えやすい番号を設定してください。

防犯ブザー

防犯ブザーを鳴らす

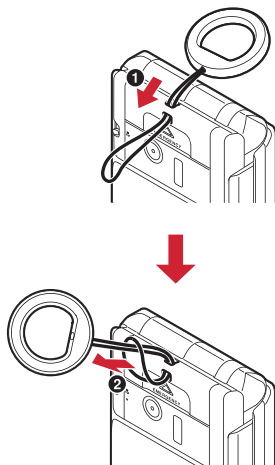
緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。また、防犯ブザーを鳴らしたとき、自動的に音声電話を発信したり、GPS機能を利用して居場所を知らせたりできます。

❖防犯ブザーをご利用の前に

- 電池が切れているときは防犯ブザーは動作しません。
- 電源を切っているときにスイッチを入れると、電源が入り防犯ブザーが動作します。
- 防犯ブザーの音量は変更できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- 取り付けたブザー用ストラップをかばんやポケットに引っかけてしまうなど、誤ってブザーが鳴ってしまう場合があります。ご注意ください。
- 音声電話を発信する場合は、あらかじめ防犯ブザー設定で発信する相手の電話番号（緊急連絡先）を登録する必要があります。緊急連絡先は、最大3件登録できます。また、発信者番号通知や着もじも設定できます。
- GPS機能を利用して居場所を通知する場合は、あらかじめ位置提供可否設定を「位置提供ON」にする必要があります。また、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
  アクセス方法（2010年7月現在）
  i Menu → お客様サポート → 各種設定（確認・変更・利用）→ イマドコサーチ
  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

◆ブザー用ストラップの取り付けかた

防犯ブザー用ストラップ取付口にストラップのひもを通し（❶）、ひもの輪にリングをくぐらせます（❷）。
- ストラップを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

◆音声電話を発信するように設定する〈防犯ブザー設定〉

〈例〉緊急連絡先を直接入力して設定する

1 MENU ▶ 9 ▶ 認証操作 ▶ 1ページ目で 2 ▶ 防犯ブザー欄を選択

2 1 ▶ 緊急連絡先欄を選択

ブザー音のみ鳴らすようにする：2 ▶ 操作7に進む

3 1〜3

緊急連絡先を変更する：緊急連絡先にカーソルを合わせて MENU ▶ 1 ▶ 操作5に進む
- 緊急連絡先を選択すると、入力方法を選択できます。操作4に進みます。

緊急連絡先を削除する：緊急連絡先にカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶「はい」▶ 📖 ▶ 操作6または7に進む

4 「直接入力」

電話帳から入力する：「電話帳参照」▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳データを選択 ▶ 📖 ▶ 📖 ▶ 操作6に進む
- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳データを選択した後に電話番号を選択します。

5 名前欄に名前を入力▶電話番号欄に電話番号を入力▶(メニュー)▶(メニュー)

- 名前は全角16（半角32）文字以内、電話番号は市外局番から26桁以内で入力します。

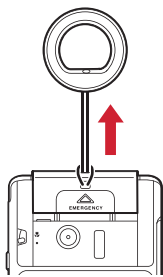
6 発信者番号通知欄を選択▶1または2▶着もじ欄を選択▶1または2

7 (メニュー)

✔お知らせ

- 緊急連絡先には、緊急通報（110番、119番、118番）や登録済みの電話番号を登録できません。
- 電話帳で緊急連絡先に設定した電話番号を修正して上書き登録したり、削除したりしても、緊急連絡先は変更されません。

◆防犯ブザーを鳴らす

1 防犯ブザースイッチを入れる

ブザー音が鳴り、ランプが点滅し、次の画面が表示されます。

- スイッチを元に戻すとブザー音が停止します。このとき、音声電話発信や位置提供の動作は継続します。
- 画面は、音声電話発信画面→防犯ブザー画面の優先順位で表示されます。音声電話発信が待機中の場合は、防犯ブザー画面が表示されます。

■「ブザー鳴動＋音声発信」を設定している場合

防犯ブザーが動作すると、緊急連絡先に自動的に音声電話を発信します。

- 登録した緊急連絡先のすべての相手が電話を受けるまで、順次発信を繰り返します。
- 相手が音声電話を受けると、次のように動作します。
  - 電話を受けた相手には「緊急通話です」とガイダンスが流れます。着もじを設定した場合は「⚠防犯ブザー利用⚠」と送信されます。
  - ガイダンスが3回流れた後、スピーカーホン機能を利用した通話に切り替わります。

音声電話発信／通話を中断する：(メニュー)▶認証操作

- キッズモード中はパスワードでも認証されます。

■ 位置提供が行われている場合

防犯ブザーが動作すると、位置提供要求が送信されます。位置提供の要求があると、測位を行い位置情報を送信します。

位置提供を中断する：(メニュー)▶認証操作

- キッズモード中はパスワードでも認証されます。

✔お知らせ

- おまかせロック中、電源を入れたときのPIN1コード入力中、PINコードがロックされているとき、FOMAカードを取り付けていないときは、ブザー音は鳴りますが緊急連絡先への音声電話発信や位置提供は行われません。
- 圏外でスイッチを入れた場合は、圏内になったときに音声電話発信や位置提供を行います。
- 電話の発着信（呼出）中、通話中にスイッチを入れると、次のようになります。
  - 「ブザー鳴動＋音声発信」を設定していて電話の相手が緊急連絡先の場合は、発着信や通話は継続したまま、ステップトーン（音量が次第に大きくなる）でブザー音が鳴ります。このとき、音声電話着信の場合のみ自動的に応答します。発着信や通話を終了すると、他の緊急連絡先がある場合は音声電話を発信します。
  - 「ブザー鳴動＋音声発信」を設定していて電話の相手が緊急連絡先以外の場合は、発着信や通話を切断し、ステップトーンでブザー音が鳴り、緊急連絡先へ音声電話を発信します。
  - 「ブザー鳴動のみ」を設定している場合は、発着信や通話を継続したままステップトーンでブザー音が鳴ります。
  - 電話の相手が緊急通報（110番、119番、118番）の場合は、ブザー音は鳴らず発信や通話を継続します。発信や通話を終了するとブザー音が鳴り、「ブザー鳴動＋音声発信」を設定している場合は緊急連絡先へ音声電話を発信します。
- 他の機能を実行中にスイッチを入れると、実行中の機能は終了します（編集、操作中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- 公共モード中、マナーモード中、オールロック中、開閉ロック中、パーソナルデータロック中も防犯ブザーは動作します。
- セルフモード中はセルフモードが解除され、音声電話が発信されたり位置提供が行われたりします。

- 防犯ブザー動作中の電話やデータ通信の着信は次のようになります。
  - 「ブザー鳴動＋音声発信」を設定していて緊急連絡先からの電話着信の場合は、着信を継続し、音声電話着信の場合のみ自動的に応答します。ただし、緊急連絡先への音声電話発信が呼出中や通話中に移行すると、着信は切断されます。
  - 「ブザー鳴動＋音声発信」を設定していて緊急連絡先以外からの電話着信の場合は、着信は切断されます。
  - 「ブザー鳴動のみ」を設定しているときは、電話着信を継続します（自動的に応答しません）。
  - データ通信の着信は拒否されます。
- 防犯ブザー動作中に通話できる状態になっても、ブザー音は鳴り続けます。そのままでも通話できますが、必要に応じてブザーのスイッチを元に戻してください。
- 緊急連絡先を複数登録した場合は、呼出中から約30秒経過しても相手の応答がないと発信を中断し、登録番号順に次の緊急連絡先に音声電話を発信します。
- すべての緊急連絡先に音声電話を発信し、いずれかの緊急連絡先から応答がない場合は、約1分間待機した後に再び音声電話を発信します。このとき、位置提供要求が送信されている場合は、測位が開始するまで発信を待機します。
- 緊急連絡先の相手が、応答保留や伝言メモ応答にした場合は、相手が応答したことになりガイダンスが流れます。また、着信拒否、公共モード（ドライブモード）中、留守番電話サービスや転送でんわサービスの利用中は、相手が応答したことにはならず次の緊急連絡先へ発信しますが、相手の状態によっては相手が応答したことになる場合があります。
- キャッチホンを利用している場合は、次のようになります。
  - 通話中にかかってきた音声電話に応答できます。ただし、「ブザー鳴動＋音声発信」を設定している場合は、緊急連絡先に登録している電話番号からの音声電話のみ応答でき、他の電話は不在着信として記録されます。
  - ガイダンスが流れているときにかかってきた電話は、不在着信として記録されます。
- 防犯ブザー動作に関連する通話は、通話相手に必ずガイダンスが流れます。
- 防犯ブザー動作中の通話は音声メモに録音できません。
- 防犯ブザー動作中にソフトウェア更新の予約日時になったときは、ソフトウェア更新は始まりません。
- 位置提供要求を送信できても、位置提供を行えない場合があります。
- 電池が切れそうになると、ブザー音は鳴り続けますが音声電話発信や位置提供は終了します。
- 長期間にわたって使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。
- 防犯ブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ちょこっと通知

現在地をワンタッチで知らせる

⊡を1秒以上押すと、現在地をイマドコサーチの契約者に通知します。

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- ちょこっと通知を使う側の電話番号が、イマドコサーチの契約者の検索対象に登録されている必要があります。ちょこっと通知を使う側には、イマドコサーチの利用料はかかりません。
- あらかじめ位置提供可否設定を「位置提供ON」に設定しておく必要があります。→P218
- 電源が入っていなくても動作します。

◆ちょこっと通知の設定をする

1 MENU▶9▶認証操作▶1ページ目で3▶1または2

- 位置提供可否設定が「位置提供OFF」に設定されていると、設定できません。「位置提供ON」に設定してから、再度ちょこっと通知を設定してください。

◆ちょこっと通知を起動する

1 ⊡（1秒以上）

バイブレータが振動し、測位が始まり、測位結果が送信されます。

- 電源が入っていないときは、バイブレータが振動するまで⊡を押し続けてください。

ちょこっと通知を中断する：測位中画面で(□)▶**認証操作**

- キッズモード中はパスワードでも認証されます。

✔お知らせ

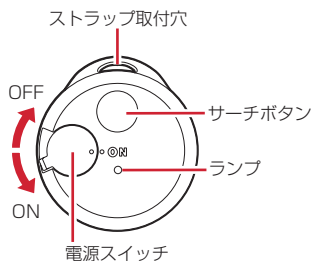
- 電源を入れてすぐに⊡を押したときなどはバイブレータが振動しても、測位できない場合があります。
- 次の場合はちょこっと通知は起動できません。
  - おまかせロック中
  - PIN1コードがロック状態、またはPIN1ロックが完全にロックされているとき
  - 防犯ブザー動作中
  - FOMAカードを取り付けていないとき
- セルフモード中はセルフモードが解除され、ちょこっと通知が起動します。
- PIN1コードON／OFFを「ON」に設定していて電源が入っていないときには、ちょこっと通知はPIN1コードを入力してから起動します。

おまもリモコンを使う

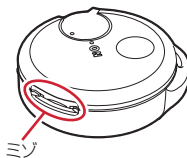
おまもリモコンからFOMA端末までの距離が有効範囲を超えた場合に、アラームを鳴らしたり、ロックをかけたりすることができます（はなれたよアラーム）。また、FOMA端末を置き忘れた場合などに、位置提供（イマドコサーチ）を行うこともできます。

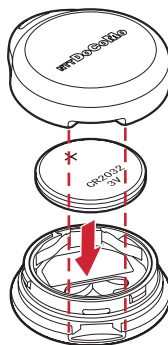
- おまもリモコン F01の取扱説明書もご覧ください。
- おまもリモコンとFOMA端末の距離が有効範囲よりも離れると、設定によりアラームが鳴ったり、FOMA端末がロックされたりします。

- おまもリモコンが有効範囲に戻ると、アラーム音が停止したり、ロックが解除されたりします。おまもリモコンが有効範囲にない場合は、いずれかのキーを押すとアラーム音が停止し、認証操作を行うとロックが解除されます。

■ **おまもリモコンの各部の名称**

■ **おまもリモコンの電池の交換方法**

- 電池はCR2032を使用してください。

① ミゾにコインなどを合わせてひねり、ケースを開けます。

② コイン電池を交換し、ケースを閉じます。

- 上下ケースのミゾが合うように取り付けてください。

※ 電池交換は、おまもリモコンや手が濡れている状態では絶対に行わないでください。

◆おまもリモコンご使用の前に

- おまもリモコンは、はなれたよアラームのためにFOMA端末との間で電波をやりとりしています。おまもリモコンの有効範囲（はなれたよエリア）の設定に関わらず、FOMA端末とおまもリモコンの間に遮断するものがないなど電波の状態によっては有効範囲が広くなる場合があります。
  また次のような条件下では、有効範囲が極端に狭くなって、はなれたよアラームが動作する場合があります。
  - FOMA端末とおまもリモコンの間に金属物等があって電波が遮断された場合
  - FOMA端末とおまもリモコンの周りに金属物等があり、電波が反射した場合
  - FOMA端末とおまもリモコンを身に付けていることにより、人体に電波が遮断された場合
- 航空機内や病院など使用を禁止された区域では、FOMA端末とおまもリモコン両方の電源を切ってください。

✔お知らせ

- おまもリモコンの電池残量が少なくなると、はなれたよアラームが動作する場合があります。→P102

◆おまもリモコンを登録する

- おまもリモコンは同時に複数登録できません。
- おまもリモコンの電源が入っている場合は、おまもリモコンの電源を一度切ってください。
- おまもリモコンとFOMA端末を近づけて操作してください。

1 MENU▶9▶認証操作▶1ページ目で4 1▶おまもリモコンの電源を「ON」にする▶登録完了画面で●

- おまもリモコンの電源を「ON」にすると、おまもリモコンのランプが1回点灯します。
- 登録完了画面で表示されるIDは登録したおまもリモコン固有の番号です。

✔お知らせ

- 他の機能が起動している場合は、おまもリモコンを登録できません。
- セルフモード中は、おまもリモコンを利用できません。
- 海外に滞在している場合はおまもリモコンを利用しないでください。→P18
- おまもリモコンの登録中は圏外と同じ状態になります。

◆はなれたよアラームの設定をする〈はなれたよアラーム〉

- はなれたよアラームを設定する前におまもリモコンの登録が必要です。

1 MENU▶9▶認証操作▶1ページ目で4 2▶各項目を設定▶📖

おまもリモコン：「使う」にすると、はなれたよアラームの各種設定ができます。

はなれたよエリア：おまもリモコンの有効範囲を設定します。

- 「狭い」にしたときの有効範囲の目安は約1～6m（静止時）、「広い」にしたときは「狭い」の約2～3倍です。
  ただし、使用条件によって有効範囲が変わることがあります（→P101「おまもリモコンご使用の前に」）。ご使用になる前に有効範囲を確認し、設定してください。

はなれたよアラーム：「ON」にすると、おまもリモコンが有効範囲から離れたときにアラームを鳴らします。

- 「ON」にすると「アラーム音」「音量」「鳴動時間」「マナーモード中鳴動」が設定できます。「鳴動時間」は3秒から60秒の間で設定できます。「マナーモード中鳴動」を「ON」にするとマナーモード中でもアラームが鳴ります。
- 「マナーモード中鳴動」を「ON」にしていても、公共モード（ドライブモード）中やスクールマナーモード中はアラーム音が鳴りません。

はなれたよロック：「ON」にすると、有効範囲を超えたときにFOMA端末にロックをかけます。

- 開閉ロックを「ON」にしていると、開閉ロック解除の確認画面が表示されます。

イマドコサーチ：「ON」にすると、イマドコサーチを使って現在地を通知します。

- 位置提供可否設定が「位置提供OFF」に設定されていると、イマドコサーチを「ON」にできません。「位置提供ON」に設定してから、再度はなれたよアラームを設定してください。
- イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。

◆はなれたよアラームを設定すると

- おまもリモコンを「使う」に設定すると待受画面に次のアイコンが表示されます。
  ：おまもリモコンが有効範囲内にあるとき
  （点滅）：おまもリモコンが有効範囲内にあるかどうか確認しているとき
  ：おまもリモコンが有効範囲から離れたとき
- おまもリモコンからFOMA端末までの距離が有効範囲よりも離れると、設定によりアラームが鳴ったり、FOMA端末がロックされたりします。
- はなれたよアラームでイマドコサーチが設定されている場合、おまもリモコンからFOMA端末までの距離が有効範囲よりも離れて5分経過するとイマドコサーチで現在地を通知します。
- FOMA端末が次の状態の場合は、各機能が終了した後にはなれたよロックがかかります。
  - 音声／テレビ電話着信、通話中
  - 赤外線通信中
  - GPSの位置提供中
  - 目覚まし、スケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中（スヌーズ中、停止中、カウントダウンを含む）
  - 防犯ブザー動作中
  - ちょこっと通知起動中
  - ソフトウェア更新中
  - メロディ再生中
- おまもリモコンとFOMA端末が数分間有効範囲よりも離れていた場合、有効範囲内に戻ってきてもおまもリモコンが検知されない場合があります。その場合は、FOMA端末を開閉するか、おまもリモコンの電源を入れ直してください。また、おまもリモコンのサーチボタンを押しても解除できます。

❖おまもリモコンの電池残量が少なくなると

おまもリモコンの電池が切れるとおまもリモコンは動作しません。速やかに電池を交換してください。
→P100
おまもリモコンの電池残量はおまもリモコンが有効範囲内にあるときに待受画面に表示されるアイコンで確認できます。おまもリモコンの電池残量が十分なときは、電池残量が少なくなると、電池が切れるとが表示されます。

- おまもリモコンの電池の使用期間は約4か月です。使用期間は、使用環境や使用条件により異なります。

❖FOMA端末を探す

おまもリモコンのサーチボタンを押して、FOMA端末のアラームを鳴らすことができます（ケータイサーチ）。

- おまもリモコンが「使う」に設定され、かつ検索可能距離内にあるときに利用できます。
- アラーム音や音量は変更できません。

1 おまもリモコンのサーチボタンを押す

おまもリモコンからの電波が届くと、FOMA端末からアラームが約30秒間鳴ります。

- おまもリモコンのサーチボタンを押している間は、おまもリモコンのランプが点滅します。

❖はなれたよロック中の動作について

- ロック中でも次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る
  - 音声電話やテレビ電話を受ける
  - 緊急通報（110番、119番、118番）
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - おまかせロックの起動
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作
  - 防犯ブザー
  - ちょこっと通知
  - 電源OFF通知
  - おまもリモコンのケータイサーチ

  ※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

■おまもリモコンを使わずにはなれたよロックを一時解除する

認証操作（キッズモード中はパスワードでも認証可能）を行うと、はなれたよロックが解除されます。ただし、はなれたよロックの設定は解除されていませんので、一度おまもリモコンを有効範囲内に戻してから有効範囲外へ離すと、再びはなれたよロックがかかります。

電源OFF通知設定

電源を切ったときに位置情報を送信する

電源を切っている間、設定した通知間隔で電源が入り、位置提供を行うよう設定します。

- あらかじめ位置提供可否設定を「位置提供ON」に設定しておく必要があります（→P218）。また、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- 完全電源OFF（→P42）時は、位置情報を送信できません。

1 MENU▶9▶認証操作▶2ページ目で1▶各項目を設定▶📖

電源OFF通知：「ON」にすると、位置提供を行います。

通知間隔：位置提供を行う間隔を設定します。

- 位置提供可否設定が「位置提供OFF」に設定されていると、設定できません。「位置提供ON」に設定してから、再度電源OFF通知を設定してください。

◆電源OFF通知設定をONに設定すると

電源が切れる直前に位置提供を行います。以降電源が切れている間、設定した通知間隔で一時的に電源が入り、位置提供を繰り返します。

位置提供を中断する：測位中画面で📖▶認証操作

- キッズモード中はパスワードでも認証されます。

✔お知らせ

- 次の場合、電源を切ったときの位置提供は行われません。
  - PIN1コードがロック状態、またはPIN1ロックが完全にロックされている
  - FOMAカードを挿入していない
  - 電池残量がない、または少ない状態
- 位置提供を中断しても、設定した通知間隔の時間が経過するたびに位置提供が起動します。
- 次の場合、電源が切れてからの位置提供は中断されます。
  - 防犯ブザー動作時の位置提供が行われた場合
  - ちょこっと通知機能の位置提供が行われた場合
- オールロック中、開閉ロック中、パーソナルデータロック中、セルフモード中も動作します。
- PIN1コードON／OFFを「ON」に設定していて電源が入っていないときは、電源OFF通知設定による位置提供はPIN1コードを入力してから起動します。

ひかりキー長押し設定

ひかりキーを長押しして起動する機能を設定する

MENU877

FOMA端末を閉じた状態で▯を1秒以上押したときに起動する機能を設定できます。

1 MENU▶9▶認証操作▶2ページ目で2▶1～5

ぴかっとライト：ランプを小型ライトとして点灯します。

あんしんぴかぴかライト：背面表示部とランプが点滅します。

- ｉモード問合せ、マナーモード設定／解除も設定できます。
- 「設定なし」に設定すると、機能は起動しません。

✔お知らせ

- 認証操作を行わずに設定するときはMENU877を押します。

❖ぴかっとライトを設定すると

FOMA端末を閉じた状態で、▯を1秒以上押すとランプが30秒間点灯します。

- FOMA端末を開いたり、▯を押したりすると、ランプは消灯します。
- ランプの点灯中に▯を1秒以上押すと、点灯時間が約30秒間延長します。

❖あんしんぴかぴかライトを設定すると

FOMA端末を閉じた状態で、▯を1秒以上押すと背面表示部とランプが点滅します。点滅は15分間続きます。途中で終了させるには、FOMA端末を開くか、▯を押します。

- ランプの点灯中に▯を1秒以上押すと、動作時間が約15分間延長します。

✔お知らせ

- 次の機能が起動した場合、ぴかっとライトやあんしんぴかぴかライトは終了します。
  - 電話、メール・メッセージの着信
  - 目覚まし、スケジュールのアラーム
  - ちょこっと通知
  - 防犯ブザー

あんしん電池

電池残量が少なくなったときに音と光で知らせる

電池残量が1になったときに、アラームやバイブレータ、ランプでお知らせし、充電をうながします。また、最小限の機能以外にロックをかけて、電池の消耗を抑えます。

1 MENU▶9▶認証操作▶2ページ目で3▶各項目を設定▶(皿)

あんしん電池：「ON」に設定すると、電池残量が2から1になったときにお知らせします。
機能ロック：「ON」に設定すると、最小限の機能以外の起動を制限します。

❖機能ロックを設定すると

電池残量が1になると、ディスプレイ上部に🔒が表示され機能が制限されます。

- あんしん電池機能ロック中は次の機能が利用できます。
  - 電話発着信
  - 直デン
  - メール送受信、一覧の表示、メールの設定
  - ｉモード問合せ、メッセージR/Fの表示／設定
  - 電話帳検索、電話帳登録、FOMAカード（UIM）登録、着信履歴、リダイヤル、伝言メモ一覧、メール送受信履歴、プロフィール情報
  - GPS（位置提供）
  - マナーモード設定／解除
  - 防犯ブザー
  - ちょこっと通知
  - はなれたよアラーム

✔お知らせ

- FOMA端末の状態によって、次のように動作します。
  - 通常マナーモード：バイブレータのみ振動します。
  - オリジナルマナーモード：設定に従って、バイブレータなどが動作します。アラーム音は「電池アラーム音」に従います。
  - スクールマナーモード、公共モード（ドライブモード）：画面にメッセージだけが表示されます。
- あんしん電池機能ロック中に指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。

ネットワーク設定

サイトに接続し、ｉモードパスワード変更、メールアドレス設定、メール受信／拒否設定を行います。

1 MENU▶9▶認証操作▶2ページ目で4 5

設定サイトが表示されます。以降の操作はサイトの指示に従ってください。

あんしんスケジュール

時間に応じて機能ロックなどを切り替える

指定した時間にはなれたよアラームを使ったり、マナーモードや機能ロックを起動したりするように設定します。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、毎週同じ曜日に行うかを選択できます。

- 最大12件登録できます。

1 MENU▶9▶認証操作▶3ページ目で1▶タイトルを選択

設定中のあんしんスケジュールには、タイトルの左に🕒が表示されます。
動作中のあんしんスケジュールには、タイトルの左に🕒が表示されます。

あんしんスケジュールを設定／解除する：タイトルにカーソルを合わせてMENU

2 各項目を設定▶(皿)

時刻：切り替えを行う時刻を24時間制で入力します。
繰り返し：切り替えの繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択した場合は、「曜日選択」で切り替えを行う曜日を選択して(皿)を押します。

タイトル：あんしんスケジュールのタイトルを全角10（半角20）文字以内で入力します。
マナーモード：マナーモードを選択します。
はなれたよアラーム：はなれたよアラームを使うかどうかを設定します。
ダイヤル発信制限：ダイヤル発信制限を起動するかどうかを設定します。
機能ロック設定：メールロック、ｉモードロック、ｉアプリロック、カメラロックを設定できます。

✔お知らせ

- 「変更しない」に設定している項目は前の設定を引き継ぎます。
- あんしんスケジュールとアラームを同じ時刻に設定した場合は、アラームが動作した後にあんしんスケジュールが動作します。
- 実行中のあんしんスケジュールを変更しても、次回の実行時まで反映されません。ただし、時間の変更はすぐに反映されます。
- あんしんスケジュールは待受画面に戻らないと開始／終了しません。
- あんしんスケジュール実行中でも、あんしんスケジュール以外でのマナーモード、はなれたよアラーム、ダイヤル発信制限、各種利用制限の変更は有効です。

機能の制限を設定／解除する

メール、ｉモード、ｉアプリ、カメラの各機能の制限を個別に設定／解除できます。

- お買い上げ時は、すべて「ON」に設定されています。

1 **MENU▶9▶認証操作▶3ページ目で2▶制限する機能欄を選択▶1または2▶📖**

「ON」に設定した機能が利用できなくなり、ディスプレイ上部に次のアイコンが表示されます。

：メールロック　：ｉモードロック
：ｉアプリロック　：カメラロック

- 利用できない機能は次のとおりです。

メールロック：ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、メール設定

ｉモードロック：ｉモード

- イマドコサーチの探される側の設定には接続できます。→P105
- ｉアプリによる通信も制限されます。ただし、ｉアプリごとに制限を解除できます。→P105

ｉアプリロック：ｉアプリ

カメラロック：静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダー、バーコードリーダー

◆ｉモードロック中のｉアプリによる通信の許可／禁止を設定する

ｉアプリごとに設定できます。

- 通信が可能なｉアプリのみ設定できます。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選択▶設定するｉアプリにカーソルを合わせてMENU▶0▶認証操作▶「はい」**

✔お知らせ

- ソフト動作設定の通信設定を「通信しない」に設定した場合は「禁止」に設定され、変更できません。

イマドコサーチを設定する

イマドコサーチの探される側の設定を行うサイトへ接続され、設定ができます。

- イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- ｉモードロック設定中でも、設定ができます。
- 設定をする際のパケット通信料はかかりません。

1 **MENU▶9▶認証操作▶3ページ目で4▶「はい」**

- 画面の指示に従って設定してください。

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P107

- 誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

❖パスワード（子供用）

キッズモード時に使用する暗証番号です。パスワードは、セキュリティ機能など設定を変更できない機能がありますので、お子さま用の暗証番号としてご利用ください。お買い上げ時には「1111」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。また、パスワードは万が一お忘れになっても、パスワード変更で端末暗証番号を入力することで再設定できます。→P96

- パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号を入力しても認証されます。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

❖ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P146
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

❖PIN1コード／PIN2コード

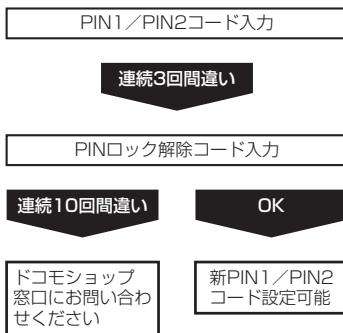
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P107
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力すると、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセット、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

❖PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。ご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力
↓ 連続3回間違い
PINロック解除コード入力
↓ 連続10回間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください
↓ OK → 新PIN1／PIN2コード設定可能

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

MENU9認証操作3ページ目で3

1 MENU▶8 4 6 1▶認証操作▶新しい端末暗証番号を入力

- パスワードと同じ番号は設定できません。

2 新しい暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶📖

PINコードを設定する

◆電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうかを設定する〈PIN1コードON／OFF〉

PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。◉を押してPINロック解除コードを入力してください。

- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

1 MENU▶8 4 5 3▶1または2▶PIN1コードを入力

❖PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されますが、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

✔お知らせ

- アラーム自動電源ON設定が「ON」の場合、目覚ましやスケジュールで指定日時になると電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。☎を押してアラームを停止させるとPIN1コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーションを設定していても、お買い上げ時の設定で動作します。

◆PIN1／PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 MENU▶8 4 5▶1または2▶認証操作

2 現在のPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶📖

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証の失敗を示す画面が表示されます。◉を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。◉を押してPINロック解除コードを入力してください。

✔お知らせ

- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードの入力を連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 PINコードロックの確認画面で「OK」▶8桁のPINロック解除コードを入力

2 新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶📖

各種ロック機能について

FOMA端末には、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

ロック機能	説　明	参照先
はなれたよロック	FOMA端末とおまもりリモコンの距離が有効範囲を超えたとき、他人が不正に使用するのを防ぐ	P101
あんしん電池機能ロック	電池残量が1になったとき、最小限必要な機能以外にロックをかける	P104
各種利用制限	メール、iモード、iアプリ、カメラ機能にロックをかける	P105
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぐ	P108
おまかせロック	紛失した場合などに第三者に不正に使用されないようロックをかける	P109
セルフモード設定	電話、iモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにする	P110
パーソナルデータロック	iモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限する	P110
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにする	P111
プライバシーモード	個人情報を利用・表示するときの動作を設定する	P112
着信／受信時動作設定	電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定する	P115
HOLD	FOMA端末を閉じているときの□の操作を無効にし、誤動作を防ぐ	P117
開閉ロック	FOMA端末を閉じるたびに□、□以外のキー操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぐ	P117

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- おまかせロック以外のロック機能を設定していても、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- FOMAカードにはロックはかかりません。

1 [MENU]▶[8][4][1][2]▶認証操作

待受画面に「オールロック中」と表示されます。

解除する：待受画面で端末暗証番号を入力

✔お知らせ

- おまもりリモコンを使う設定にしていても、使用できなくなります。オールロックを解除すると、再びおまもりリモコンを使えるようになります。
- メモリ別着信拒否／許可、メモリ登録外着信拒否の設定に関わらず着信します。
- 待受画面を設定していてもお買い上げ時の画像が表示されます。
- オールロックを解除し、待受画面に新着情報が表示されていても、新着アニメは動作しません。
- FOMA端末を閉じているときに□を押すと、背面表示部にオールロック中であることを示すパターンが表示された後に時計が表示されます。
- 開閉ロックを「ON」に設定していても、オールロックが優先されます。
- 指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。
- 次の機能は利用できます。
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の自動更新
  - iモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - 防犯ブザー（位置提供中、音声発信中）
  - ちょこっと通知
  - 電源OFF通知
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※3

※1　電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ）になります。

※2　受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

※3　位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいFOMAカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）おまかせロック中も位置提供可否設定を「位置提供ON」に設定している場合は、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
受付時間　24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

❖おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作、電源OFF通知による位置提供の中断操作以外のキー操作ができなくなります。また、防犯ブザーのブザー音の鳴動のみ動作します。ただし、FOMAカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ）になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまもりリモコンを使う設定にしていても、使用できなくなります。おまかせロックが解除されると、再びおまもりリモコンを使えるようになります。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- FOMA端末を閉じているときに□を押すと、背面表示部におまかせロック中であることを示すパターンが表示された後に時計が表示されます。
- 他の機能が起動中の場合は、起動中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能を設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末に電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、ロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックおよびロック解除ができない場合があります。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード設定

発信や着信ができないようにする

MENU858

電話やｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

- 緊急通報（110番、119番、118番）すると、発信後にセルフモードは解除されます。

1 CLR（1秒以上）▶「はい」

ディスプレイ上部にSelfが表示されます。

解除する：CLR（1秒以上）▶「はい」

✔お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - 電話の発着信
  - 直デン（電話の発着信、イマドコかんたんサーチ、現在地確認からの位置情報URL付きメール作成を含む）
  - ｉモード、メールの送受信
  - GPS（現在地通知一覧への通知先の登録や編集、削除含む）
  - 赤外線通信や赤外線リモコン
  - おまもリモコン
  - パソコンとつないだパケット通信や64Kデータ通信、データ転送
- 電話がかかってきたときは、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中に電話の着信があっても、セルフモード解除後、ディスプレイに（不在着信）は表示されず、着信履歴にも記録されません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、セルフモードを解除しても、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR/FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管され、セルフモード解除後のｉモード問合せ、SMS問合せによって受信します。

パーソナルデータロック

個人情報などを利用できないようにする

ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限します。

- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合、本機能は起動できません。
- パーソナルデータロック中の発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からの発信はできます。

1 MENU▶8 4 1 3▶認証操作▶1または2

- 「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

❖パーソナルデータロックを起動すると

次の操作（すべて、または一部の設定）が制限されます。

- メール※1、チャットメール※1、SMS※1
- ｉモード、ｉモード問合せ、メッセージR/F※1
- ｉアプリ
- 電話帳、直デン、伝言メモ／音声メモ（動画メモ）、メール送受信履歴※2
- データBOX（すべての機能）
- バーコードリーダー、赤外線・PC連携※3、カメラ、サウンドレコーダー、電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）、GPS※4
- スケジュール帳、メモ帳、目覚まし、時間割
- コーディネイト／きせかえ、電話着信音、メール・メッセージ着信音、GPS測位鳴動音、アラーム音、待受画面選択、新着アニメ、電話発着信画像設定（人物画像表示設定を除く）、メール送受信画像設定、スキャン機能、電話発着信設定、発番号なし動作設定、イヤホンスイッチ設定（イヤホンスイッチ発信）、メモリ着信拒否／許可、テレビ電話発信設定、テレビ電話着信設定、テレビ電話画像選択※5、ソフトウェア更新、通話料金上限通知のアラーム音の設定、各種設定リセット、データ一括削除、初期設定、件数増加鳴動設定、着もじ、マルチナンバーの電話番号設定、着信設定
- プロフィール情報

※1　自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール送受信履歴からのメール作成はできません。
※2　電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、メールアドレスのみ表示されます。
※3　赤外線通信、USB接続によるデータの送受信はできません。
※4　位置提供の要求を受けたときの操作はできます。
※5　テレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ）になります。
- FOMAカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ

- 電話帳に登録している相手の電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ起動中でも、待受画面にはは表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（メニュー設定のノーマルが「きせかえツールに従う」に設定されている場合は、タイルアイコンになります）。解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。
- セレクトメニューでは、起動が制限されている機能や人物のアイコンがに変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

MENU9認証操作2ページ目で41

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。

1 MENU▶8 4 1 4▶認証操作▶1または2

- 「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

❖ダイヤル発信制限を起動すると

次の操作ができなくなります。
- リダイヤルや着信履歴からの発信※1
- 電話帳（直デンを含む）の修正、登録、削除、グループ設定
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データやプロフィール情報の送受信
- メールやチャットメール※1、SMSの送信※1、メール送受信履歴からの送信※1
- メール作成画面でのテンプレート読み込み、メールテンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成※2
- GPSの現在地通知※3
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1　電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。
※2　電話帳に登録しているメールアドレスが宛先に入力しているテンプレートからのメール作成はできます。
※3　登録した通知先への通知はできますが、通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

プライバシーモード

個人情報を利用・表示するときの動作を設定する

電話帳などの個人情報を利用するたびに認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やスケジュール、シークレット属性を設定した相手からの着信や送受信メールなどを表示しないように設定したりできます。

- プライバシーモードの項目と設定内容は次のとおりです。

○：設定あり　－：設定なし

項　目	設定内容		
	表示する	認証後に表示	指定電話帳非表示・指定フォルダを非表示・指定スケジュール非表示
電話帳・履歴	○	○	○※
メール・履歴	○	○	○※
マイピクチャ	○	○	－
ｉモーション	○	○	－
スケジュール	○	○	○※
ｉアプリ	○	○	－
位置履歴（GPS）	○	○	－

※ シークレット属性の設定が必要です。
電話帳→P74、メール→P180、スケジュール→P255

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。自動的に起動するようにも設定できます。
- 電話帳データのシークレット属性の変更や電話帳データを編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データのメールやSMSは非表示になりません。非表示にするにはシークレット反映を実行してください。→P115

◆ プライバシーモードの動作を設定する

1 MENU▶8 4 2 1▶認証操作▶各項目を設定▶📖▶●

電話帳・履歴：電話帳などを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定電話帳非表示」に設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやグループ（グループ内の電話帳データを含む）、シークレット属性を設定した相手が対象のリダイヤル、着信履歴、メールやSMSなどの表示をしません。また、シークレット属性を設定した相手からのメールやSMSの受信はしますが、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシー新着通知を設定すると、電池アイコンで新着情報があることを確認できます。

メール・履歴：メールやメール送受信履歴などを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを受信した場合、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシー新着通知を設定すると、電池アイコンで新着情報があることを確認できます。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

ｉモーション：ｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

スケジュール：スケジュールを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定スケジュール非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したスケジュールを表示しません。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

位置履歴（GPS）：GPSの位置履歴を利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

プライバシー新着通知：シークレット属性を設定した電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信したときに電池アイコンの種類を変えて新着情報があることをお知らせするかどうかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

◆プライバシーモードを起動する

1 ◎（1秒以上）

解除する：◎（1秒以上）▶認証操作

- プライバシーモード設定で自動起動が「OFF」以外のときは、待受画面表示中に設定時間が経過するとプライバシーモードが起動します。

❖プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードの項目によって設定した内容により次のような制限があります。

〈iアプリ以外：「認証後に表示」〉

- 利用できないiアプリ（メール・履歴を「認証後に表示」に設定した場合を除く）またはiアプリDXがあります。

〈電話帳・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉

- メールグループの表示やメール振り分け、チャットメールの起動をするには、認証操作が必要です。

〈電話帳・履歴：「認証後に表示」〉

- リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを利用するには、認証操作が必要です。
- ダイヤル入力による電話発信をした場合は、電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。メールアドレスを直接入力してメール送信をした場合は、電話番号またはメールアドレスが表示されます。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- メールやメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。
- 通話中に撮影した静止画をメール送信するときに、通話相手のメールアドレスを電話帳に登録していても、相手のメールアドレスは宛先に入力されません。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。また、測位した履歴は位置履歴に表示されますが、位置履歴詳細画面に要求者名は表示されません。
- スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、メンバーの名前が表示されません。
- セレクトメニューで人物を登録している場合は、人物の選択ができません。アイコンが🔒に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号を設定していても、イヤホンスイッチ発信はできません。

〈電話帳・履歴：「指定電話帳非表示」〉

- シークレット属性を設定した相手が対象の新着情報は表示しません。また、リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、受信／送信／未送信メール一覧、メール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定した相手が対象の未読メール一覧、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- 新着アニメの設定一覧に、シークレット属性を設定した電話帳データは表示されません。
- シークレット属性を設定した電話帳データに登録した画像または動画／iモーション、バイブレータなどの着信時の動作は、FOMA端末の設定に従います。また、着信画面には名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDがシークレット属性を設定した電話帳データと一致した場合は、要求者名は表示されません。また、測位した履歴が位置履歴に表示されません。
- スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、シークレット属性を設定した電話帳データのメンバーの名前が表示されません。
- セレクトメニューで、シークレット属性を設定した電話帳データの人物が表示されません。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号に、シークレット属性を設定した電話帳データを設定している場合、イヤホンスイッチ発信はできません。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。
- 電話帳やスケジュール帳からメールを検索したり、メール送受信履歴の表示やメール連動型iアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを送受信した場合、新着情報やメール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを未読メール一覧に表示しません。
- シークレット属性を設定したフォルダにメール連動型iアプリに対応した受信メールが保存されていた場合に、メール連動型iアプリをダウンロードしてもメール連動型iアプリ用のフォルダに自動的に振り分けられません。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「認証後に表示」〉

- 着信音や発着信画像に「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションや画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。ただし、「プリインストール」フォルダの動画／ｉモーションや画像を設定している機能がある場合は、着信音や発着信画像の優先順位に従って動作します。
- 待受画面に設定した画像や動画／ｉモーションは表示されます。
- 各機能の設定でマイピクチャまたはｉモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映されることを示す画面が表示されます。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉

- スケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。
- 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
- メール作成中や署名編集中に、デコメ®ピクチャ一覧やデコメ®絵文字一覧を表示しても、お買い上げ時に登録されている画像以外のデータは表示されません（デコメール®装飾選択画面から表示した場合を除く）。

〈ｉモーション：「認証後に表示」〉

- 目覚ましやスケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定している場合は、アラーム音の目覚まし音やスケジュール音の設定で動作します。ただし、アラーム音の目覚まし音やスケジュール音に「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。

〈スケジュール：「表示する」以外〉

- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていることを示す日付の右上の赤いマークは表示されません。

〈スケジュール：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズのスケジュールエリアは表示されません。
- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールの休日設定で休日にした日は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- 設定した日時になってもスケジュールアラームは鳴りません。

〈スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉

- 設定した日時になっても、シークレット属性のスケジュールのアラームは鳴りません。
- 待受カスタマイズのスケジュールエリアに、シークレット属性のスケジュールは表示されません。また、登録件数確認で表示される件数に含まれません。

〈ｉアプリ：「認証後に表示」〉

- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
- 待受画面設定でｉアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

✔お知らせ

- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」のとき、プライバシーモードは起動しません。既に起動していると解除されます。
- データ一括削除を行ったり、次の機能で「全件削除」したりした場合、プライバシーモード中で非表示になっているデータも削除されます。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ
  - 電話帳データ
  - 新着アニメの設定
  - メール※
  - メール送受信履歴
  - スケジュール
  - 音声メモ

  ※「1件削除」「複数削除」以外の削除操作をした場合も非表示のメールは削除されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」またはメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、プライバシーモードを解除し、待受画面に新着情報が表示されていても、新着アニメは動作しません。
- プライバシーモード中に、プライバシーモード設定の電話帳・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映を行うよううながす旨のメッセージが表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュールを利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。

  〈例〉プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャが「認証後に表示」のとき）にマイピクチャに保存している画像をメールで送信する場合、マイピクチャを表示するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を表示するときは、認証操作は不要です。

◆プライバシーモードを一時解除する

非表示のデータがある一覧画面などで、一時的にプライバシー状態を解除して非表示のデータを表示できます。

- 待受画面に戻るまで一時解除は有効です。ただし、画面によっては一時解除できない場合があります。

1 一時解除する画面でCLR（1秒以上）▶認証操作

◆宛先、発信元がシークレット属性の電話帳データのメールを非表示にする〈シークレット反映〉

電話帳データのシークレット属性を変更したときや、データ通信などで本FOMA端末にメールを保存した場合などにシークレット反映を実行すると、シークレット属性が設定された電話帳データの電話番号またはメールアドレスと、宛先または発信元が一致したメールやSMSに、シークレット属性が設定できます。

- シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に非表示となります。

1 MENU▶8 4 2 2▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- 電話帳データのシークレット属性の変更や電話帳データを編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データのメールやSMSは非表示になりません。
- シークレット属性に設定されるメールやSMSは次のとおりです。
  - 宛先（TO、CC、BCC）に登録されている電話帳データにシークレット属性が設定されている送信／未送信メールやSMS
  - シークレット属性が設定されている電話帳データが発信元である受信メールやSMS
- シークレット反映中はディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード中（圏外と同じ状態）になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。
- シークレット属性が設定されている電話帳データを外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモードの設定をうながす旨のメッセージが表示されます。
- 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
  - 電話帳データのシークレット属性の解除をしたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳データを変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
  - シークレット属性を設定した電話帳データを削除したとき（電話帳データの電話番号またはメールアドレスの削除含む）

着信／受信時動作設定

電話やメールの着信時に名前などを表示しないようにする

電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定します。

- パーソナルデータロックの設定よりも本設定が優先されます。
- 「プライバシーモードに従う」以外に設定した場合、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）の着信時や受信時の動作は、本設定が優先されます。
- プライバシーモードと着信／受信時動作設定を設定したときの着信動作は次のとおりです。
  ○：着信音設定の優先順位に従って動作→P79
  ●：複数の着信設定に関わらずFOMA端末の設定で動作
  ×：着信動作しない

プライバシーモード中※1		着信／受信時動作設定（電話着信時動作）			
		プライバシーモードに従う	電話番号のみ	名前のみ	名前＋電話番号
電話帳・履歴	表示する	○	○	○	○
	認証後に表示	●	○	○	○
	指定電話帳非表示※2	●	○	○	○
iモーション	表示する	○	○	○	○
	認証後に表示※4	●	●	●	●

プライバシーモード中※1		着信／受信時動作設定（メール受信時動作）				
		プライバシーモードに従う	メールアドレス＋題名	名前＋題名	受信通知のみ	テロップなし
電話帳・履歴	表示する	○	○	○	○	○
	認証後に表示	●	●	○	●	●
	指定電話帳非表示※2	×	○	○	○	×
メール・履歴	表示する	○	○	○	○	○
	認証後に表示	○	○	○	○	○
	指定フォルダ非表示※3	×	○	○	○	×
ｉモーション	表示する	○	○	○	○	○
	認証後に表示※4	●	●	●	●	●

※1 複数の機能を同時に設定していないことを前提としています。
※2 シークレット属性を設定した電話帳データのみが対象です。
※3 シークレット属性を設定したフォルダに振り分けしたときのみが対象です。
※4 電話帳別着信設定または電話帳グループ別着信設定で着信音に「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定しているときのみが対象です。

◆着信／受信時の動作を設定する

1 MENU▶8 4 4▶認証操作▶各項目を設定▶□

電話着信時動作：音声電話やテレビ電話着信時に名前と電話番号を表示するかどうかを設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」のとき）に名前は表示されません。
- 「名前＋電話番号」に設定すると、音声電話やテレビ電話の着信時は、電話番号と名前を表示します。

メール受信時動作：メール受信時の受信結果の表示方法を設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」のとき）に名前は表示されません。また、プライバシーモード中（メール・履歴が「認証後に表示」のとき）は受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「受信通知のみ」に設定すると、受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「テロップなし」に設定すると、受信結果テロップは表示されません。

HOLD

ひかりキーの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときの□の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

1 MENU（1秒以上）

待受画面に が表示されます。

解除する：MENU（1秒以上）

✔お知らせ

- クイック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。
- FOMA端末を閉じているときに□を押すと、背面表示部にHOLD中であることを示すパターンが表示された後に時計が表示されます。

開閉ロック

FOMA端末を閉じるたびにキーをロックする

開閉ロックを「ON」にすると、FOMA端末を閉じるたびに□、⊡以外のキーがロックされます。解除しても開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- FOMA端末が次の状態の場合は、開閉ロックがかかりません。
  - 通話中※
  - メロディ再生中※
  - GPSで位置提供中※
  - 赤外線通信での受信
  - スケジュールアラーム、目覚まし、お知らせタイマー鳴動中（スヌーズ中、停止中、カウントダウン中を含む）
  - ソフトウェア更新中
  - USB接続によるデータ送受信

  ※ FOMA端末を閉じている状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

◆開閉ロックを「ON」に設定する

1 MENU▶8 4 1 1▶認証操作▶各項目を設定▶ⓘ

開閉ロック：開閉ロックを自動起動するかどうかを設定します。

ロック起動時間：FOMA端末を閉じてから自動起動するまでの時間を設定します。

- はなれたよアラーム設定ではなれたよロックを「ON」に設定しているときは、はなれたよロックを解除する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、開閉ロックが「ON」になります。

❖開閉ロックが起動すると

FOMA端末を閉じるたびに、ロック起動時間で設定した時間に従って開閉ロックが起動し、□、⊡以外のキーがロックされます。ただし、□を押しても伝言メモ、音声メモ、動画メモは動作しません。

- 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、MENUまたはMULTIを押して認証操作を行います。

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

✔お知らせ

- 開閉ロック中でも、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話をかけられます。
- 開閉ロックが「ON」の場合に電源を入れ直すと、開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の自動更新
  - 待受カスタマイズの表示と非表示の切り替え操作
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - おまかせロックの起動
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作
  - 防犯ブザー
  - ちょこっと通知
  - 電源OFF通知
  - おまもりモコンのケータイサーチ

  ※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

◆ロックの状態をランプで知らせる〈セキュリティランプ設定〉

はなれたよロックまたは開閉ロックの状態を、背面表示部とランプでお知らせするかどうかを設定します。

1 MENU▶8 4 3▶認証操作▶1または2

❖セキュリティランプを設定すると

- 開閉ロックが「ON」の場合に、FOMA端末を閉じると、背面表示部に「ON」が表示され、ランプが青色で約3秒間点滅します。また、ランプが赤色で約3秒間点滅したときは、開閉ロックが起動しなかったことを示します。ロック起動時間によっては、FOMA端末を閉じるとランプが赤色で約3秒間点滅し、設定した時間になると、背面表示部に「ON」が表示され、ランプが青色で約3秒間点滅して、開閉ロックが起動したことをお知らせします。
- はなれたよロックが「ON」の場合に、はなれたよロックが起動すると、背面表示部に「ON」が表示され、ランプが青色で約3秒間点滅しFOMA端末をロックします。

指定した電話番号からの着信を許可／拒否する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信許可／拒否の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設　定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」の場合、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

◆着信を許可／拒否する電話番号を指定する〈着信許可／拒否設定〉

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信許可／拒否を設定します。

1 (電話帳)▶電話帳検索▶設定する電話帳データにカーソルを合わせて (MENU)▶[3][5][3]▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]

- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けてメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。

✔お知らせ

- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

◆着信許可／拒否設定を有効にする〈メモリ別着信拒否／許可〉

MENU9認証操作2ページ目で43

- 本設定は着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。
- 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

1
(MENU)▶[8][5][5][1]▶認証操作▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳データがない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

MENU81113
MENU82426
MENU9認証操作2ページ目で42

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本設定が優先されます。

1 (MENU)▶[8][5][2]▶認証操作▶[1]～[3]▶各項目を設定▶(電話帳)

〈着信動作〉：発信者番号が通知されない電話の着信があったときの動作を設定します。
- 「設定解除」にすると、それぞれの着信音の設定に従って着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」にすると、相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」にすると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」にしたときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「着モーション」にしたときは、動画／ｉモーションを選択します。

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「ｉモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

イメージ一覧：イメージ表示で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択して画像を設定します。

✔お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、それぞれの着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合、本機能は設定できません。

1 MENU▶8 1 5▶**各項目を設定**▶

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1〜99秒の範囲で設定します。
時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」のとき）は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、電話帳にシークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたときも、本機能が動作します。

✔お知らせ

- 本設定に関わらず、次の機能やサービスは動作します。
  - 公共モード
  - 伝言メモ
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない番号からの着信を拒否する

MENU9認証操作2ページ目で44

- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は発番号なし動作設定に従って動作します。番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が「ON」の場合、本機能は設定できません。

1 MENU▶8 5 5 2▶**認証操作**▶1**または**2

❖メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やテレビ電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）はお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- 電話帳・メール・画像をお預かりセンターに保存／復元する操作方法については、各ページを参照してください。
  電話帳→P76、メール→P179、画像→P229

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

機能・サービス名称	目　的	参照先
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	P280
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P280
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	P143 P158
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	P328
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	P332
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	P187
「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたん設定） （ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラをご使用になる前に

- お買い上げ時、本機能は制限されています。ご利用の際には制限を解除してください。→P105

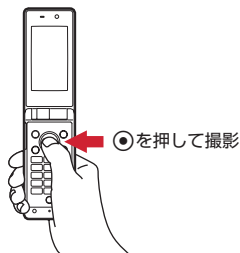
◆カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

◆撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。手ぶれ補正やセルフタイマー機能は、静止画撮影時のみ利用できます。
- ⦿を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。⦿を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、⦿を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- インカメラで撮影するとき、表示は鏡像でされますが、保存は正像でされます。ただし、静止画の場合、鏡像でも保存できます。→P127
- ｉアプリからカメラ撮影した画像はｉアプリ内（ｉアプリによっては、「ｉモード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは、利用できない機能や変更できない設定があります。

◆撮影方法について

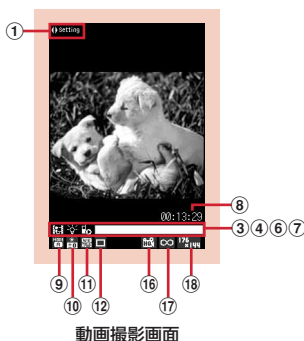
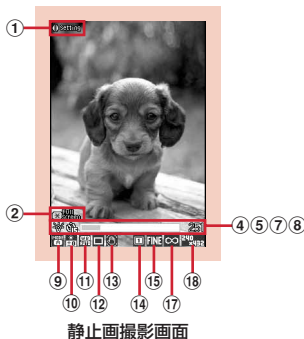
FOMA端末が動かないように、しっかり持って撮影してください。

- 手ぶれのない画像を撮影するには手ぶれ補正機能を利用しての撮影をおすすめします。→P135
- 撮影待機中に約3分間キー操作をしないと、カメラは終了します。

◆撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズや撮影モードで撮影できます。撮影した静止画や動画は、iモードメールに添付して送信できます。

❖撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

①撮影時設定操作ガイド
　[キー]を押して撮影時の設定ができることを示します。

②全画面表示／標準画面表示操作ガイド
　[＊]を押して全画面表示と標準画面表示を切り替えられることを示します。

③撮影種別→P131
　[アイコン]: 画像＋音声　[アイコン]: 画像のみ　[アイコン]: 音声のみ

④ライト→P133

⑤セルフタイマー→P132

⑥共通再生モード→P133

⑦インジケータ（撮影待機中）
　保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
　インジケータ（動画撮影中／一時停止中）
　サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合を示します。

⑧カウンタ（静止画撮影時）
　撮影できる最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。連続撮影手動中、4コマ撮影手動中、連続パノラマ撮影中は現在の撮影枚数と最大撮影枚数を示します。
　カウンタ（動画撮影時）
　撮影待機中は、撮影できる最大時間（目安）を示します。撮影中は経過時間と設定したサイズ制限の残り撮影時間（目安）を表示します。

⑨撮影モード→P134

⑩明るさ→P134

⑪ホワイトバランス→P134

⑫フレーム→P134

⑬手ぶれ補正→P135

⑭連続撮影→P128、129

⑮画質→P135

⑯品質→P135

⑰サイズ制限→P135

⑱画像サイズ→P135

動画撮影の横撮影時（→P133）には、撮影状態を示す□STANDBY（撮影待機中）、●REC（撮影中）、II PAUSE（一時停止中）と、カウンタが表示されます。カウンタは、撮影待機中は撮影できる最大時間（目安）を示し、撮影中は設定したサイズ制限の残り撮影時間（目安）をカウントダウンします。

❖静止画ファイル／動画ファイルについて

静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※1対応）	jpg

動画ファイル

ファイル形式	符号化方式	拡張子
MP4（MobileMP4）	映像：MPEG4 音声：AMR	3gp
ASF※2	映像：MPEG4 音声：G.726	asf

※1　撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」の場合には対応していません。
※2　品質が「XQ」のときのファイル形式です。

- 表示名／タイトル／ファイル名には、撮影した日時が自動的に付けられます。
  - FOMA端末では表示されませんが、ファイル名には拡張子が付けられます。
  - 撮影後、ファイル名を変更できます。→P238
- 静止画ファイル、動画ファイルは、メールに添付※したり、赤外線通信※やドコモケータイdatalink※を利用したりしてパソコンや他の端末に送ったりできます。
  ※ ファイル形式がASFの動画ファイルでは利用できません。

❖静止画の保存枚数

保存できる静止画の枚数は、画像サイズやサイズ制限、画質、撮影状況によって変わります。

- 画像サイズ、サイズ制限、画質の設定→P131
- 次の表は、削除可能なプリインストールデータを削除した場合の枚数を記載しています。

■F-05Aに保存できる静止画の枚数（目安）

画像サイズ	画　質		
	エコノミー	スタンダード	ファイン
電話帳用（96×72）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
Sub-QCIF（128×96）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QCIF（176×144）	約1000枚	約990枚	約743枚
QVGA（240×320）	約675枚	約495枚	約309枚
待受用（240×432）	約646枚	約464枚	約280枚
横長VGA（640×480）	約270枚	約206枚	約113枚
縦長VGA（480×640）	約270枚	約206枚	約113枚
SXGA（960×1280）	約124枚	約76枚	約43枚

❖動画の撮影時間

動画の撮影時間はサイズ制限や品質、画像サイズ、撮影種別の設定や、撮影状況によって変わります。

- サイズ制限、品質、画像サイズ、撮影種別の設定→P131

■サイズ制限がある場合の1回あたり撮影時間（目安）

- メール添付用（大／小）の制限サイズ→P135
- 保存先に関わらず1回あたりの撮影時間は同じです。
- サイズ制限を「制限なし」に設定すると、1回あたりの撮影時間は合計撮影時間と同じになります。

サイズ制限：メール添付用（小）

画像サイズ	撮影種別	品　質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	画像＋音声	約83秒	約52秒	約37秒	約19秒
	画像のみ	約100秒	約63秒	約42秒	約20秒
QCIF（176×144）	画像＋音声	約56秒	約29秒	約20秒	約10秒
	画像のみ	約63秒	約32秒	約21秒	約10秒
QVGA（320×240）	画像＋音声	約30秒	約15秒	約10秒	約4秒
	画像のみ	約32秒	約16秒	約11秒	約4秒

サイズ制限：メール添付用（大）

画像サイズ	撮影種別	品　質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	画像＋音声	約340秒	約214秒	約152秒	約80秒
	画像のみ	約411秒	約257秒	約172秒	約84秒
QCIF（176×144）	画像＋音声	約228秒	約118秒	約81秒	約41秒
	画像のみ	約258秒	約129秒	約86秒	約42秒
QVGA（320×240）	画像＋音声	約121秒	約62秒	約42秒	約16秒
	画像のみ	約129秒	約65秒	約43秒	約16秒

■F-05Aに保存できる動画の合計撮影時間（目安）

サイズ制限を「制限なし」に設定した数値です。サイズ制限を設定した場合、保存可能な合計撮影時間が変わることがあります。

画像サイズ	撮影種別	品　質			
		LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	画像＋音声	約56分	約35分	約25分	約13分
	画像のみ	約68分	約42分	約28分	約14分
QCIF（176×144）	画像＋音声	約38分	約19分	約13分	約415秒
	画像のみ	約43分	約21分	約14分	約426秒
QVGA（320×240）	画像＋音声	約20分	約10分	約418秒	約163秒
	画像のみ	約21分	約10分	約433秒	約165秒

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する

MENU631

連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな方法で静止画を撮影できます。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P132
- 撮影時の設定を変更できます。→P134
- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P334

1

静止画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 被写体にカメラを向けて

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

3 撮影した静止画を確認

すぐに保存する：操作4に進む

保存しないで撮影し直す：CLR

等倍表示に切り替える：

- を押すと、画面をスクロールして確認できます。
- 解除するときはCLR、MENU、、、のいずれかを押します。
- 等倍表示できるのは、横長／縦長VGA（640×480、480×640）以上のサイズのみです。

静止画を添付したメールを作成する：

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると保存され、メール作成画面が表示されます。

- 画像サイズやファイルサイズによっては、横長／縦長QVGA（320×240、240×320）への変換の確認画面が表示されます。→P169
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズで保存されます。
- ファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文内への貼り付けの確認画面が表示されます。

待受画面に設定する：MENU▶2 1▶「はい」

静止画が保存され、待受画面に設定されます。

- 画像サイズがQCIF（176×144）以下のときは、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

電話帳の画像に登録する（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）：
MENU▶2▶2または3▶「はい」

静止画が保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは登録する相手を選択します。

タイトルを変更する：MENU▶3 1▶タイトルを変更して

- 31文字以内で入力します（連続撮影した画像は30文字以内）。

回転させる：

① MENU▶3 3

アウトカメラ撮影時は左に、インカメラ撮影時は右に90度回転した画像が表示されます。

- MENUまたはを押すとさらに90度ずつ回転します。

② ▶「はい」

静止画が回転した状態で保存されます。

- 次の場合は回転させられません。
  - フレームを設定している場合
  - 連続撮影自動／手動時
  - 連続パノラマ撮影時

明るさや色のバランスを補正する：

編集画面が表示されます。→P228

- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズが横長／縦長VGA（640×480、480×640）以上の場合
  - 4コマ撮影でフレームを設定している場合
  - 連続パノラマ撮影時
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」の場合

正像表示／鏡像表示を切り替える（インカメラ撮影時のみ）：MENU▶4 2

鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：
MENU▶5 3

- 撮影した静止画にフレームを設定している場合は、鏡像で保存できません。

保存されている画像を一覧表示する：
MENU▶8

4

撮影した静止画がマイピクチャの「撮影した写真」フォルダに保存されます。

保存した静止画を確認する：▶静止画を選択

画像の表示方法→P224「画像を表示する」操作2～3

- 確認後、CLRを2回押すと静止画撮影画面に戻ります。

✔お知らせ

- 画像サイズ、画質によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 画像サイズが横長／縦長VGA（640×480、480×640）以上の場合に手ぶれ補正オートで撮影すると、次の操作を行えるまでに時間がかかります。
  - Ⓘを押しての等倍表示
  - ✉を押してのメール作成
  - MENUを押してから操作できる機能（MENU 3 1によるタイトル編集とMENU 8による保存先一覧表示を除く）
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除するか、画像サイズや画質を低い値に変更してから撮影してください。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。

◆連続撮影する〈連続撮影〉

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には次の4種類があります。

連続撮影自動：設定した枚数分（最大9枚）を自動で連写

連続撮影手動：設定した枚数分（最大9枚）を手動で連写

4コマ撮影自動：4コマを自動で連写して1枚の静止画にする

4コマ撮影手動：4コマを手動で連写して1枚の静止画にする

- 連続撮影自動と4コマ撮影自動は、約0.4秒間隔で撮影されます。
- 静止画詳細設定の連続撮影枚数で連続撮影する枚数を設定できます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影できるのは、画像サイズが次の場合です。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - QVGA（240×320）
  - 待受用（240×432）
- 4コマ撮影自動、4コマ撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合です。
  - QVGA（240×320）
  - 待受用（240×432）

1 Ⓢ▶Ⓞで連続撮影のマークにカーソルを合わせる▶Ⓢで連続撮影の種類を切り替えて◉

連続撮影のマークの位置→P125

[A]：連続撮影自動　[M]：連続撮影手動

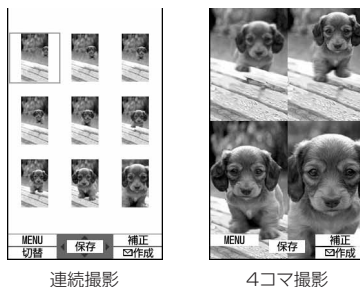
[4A]：4コマ撮影自動　[4M]：4コマ撮影手動

[1]：OFF（1枚撮影）

2 被写体にカメラを向けて◉

1枚撮影されるごとにシャッター音が鳴り、ランプが赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に繰り返して点滅します。

- 連続撮影手動、4コマ撮影手動では◉を押すたびに1枚撮影されます。
- 連続撮影自動、4コマ撮影自動を始めると、FOMA端末を閉じても撮影は継続されます。
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動の撮影中にFOMA端末を閉じたりⓂを押したりすると、撮影は中断され操作3に進みます。4コマ撮影手動の場合は静止画撮影画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。

3 連続撮影した静止画を確認

連続撮影

4コマ撮影

連続撮影自動、連続撮影手動のとき

- Ⓘを押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時にⓄを押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

4 ◉

連続撮影や4コマ撮影した画像がマイピクチャの「撮影した写真」フォルダに1つの画像データとして保存されます。なお、連続撮影した画像はパラパラマンガの形式で保存されます。

静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P127「カメラで静止画を撮影する」操作3～4

表示されている静止画1枚だけを保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でアウトカメラ撮影時）：◉（1秒以上）▶「はい」
- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

表示されている静止画1枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：◉（1秒以上）▶「正像保存」または「鏡像保存」
- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：

① MENU ▶ 5 2 ▶ 保存する静止画を選択
- すべての静止画が選択された状態で表示されます。保存しない静止画を、◉を押して選択状態から解除してください。
- ✉を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。◉または CLR を押すとサムネイル表示に戻ります。

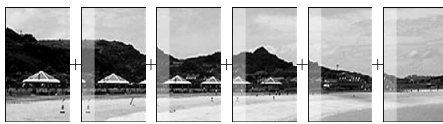
② 📖 ▶「はい」

選択した静止画が保存されます。
- インカメラ撮影時は、正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。

連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：MENU ▶ 5 3

✔お知らせ
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- パラパラマンガ形式の画像は、解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、静止画のファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。→P226
静止画のファイル名→P125
- 撮影中に電話がかかってきたり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりすると、それぞれ次のように動作します。
  - 連続撮影自動、4コマ撮影自動時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。
  - 連続撮影手動時は撮影が中止され、確認画面が表示されます。
  - 4コマ撮影手動時は撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
  - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- セルフタイマーを設定しているときには、連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影はできません。
- 連続撮影はインカメラ／アウトカメラで個別の設定となります。

◆連続パノラマ撮影する〈連続パノラマ撮影〉

被写体に合わせてFOMA端末の方向を変えて連続撮影した2～8枚の静止画を、1枚の静止画につなぎ合わせることができます。

1つ前の撮影画像の約5分の1が撮影画面の左または上に透過表示されます。

- 画像サイズ、最大画像サイズ、最大撮影枚数は次のとおりです。

画像サイズ	最大画像サイズ		最大撮影枚数
QVGA (240×320)	▶▶横	1584×320	8
	▼縦	2112×240	
待受用 (240×432)	▶▶横	1200×432	6
	▼縦	2160×240	
横長VGA (640×480)	▶▶横	2176×480	4
	▼縦	1632×640	
縦長VGA (480×640)	▶▶横	1632×640	
	▼縦	2176×480	

※ ▶▶、▼はガイド表示領域左下に表示されます。緑色の矢印は次に静止画を撮影する方向を示します。
- 次の場合は連続パノラマ撮影できません。
  - 電話帳、iアプリから静止画撮影を起動した場合
  - インカメラ撮影時
  - フレーム使用中
  - iアプリ動作中
  - サイズ制限を「メール添付用（小）」または「メール添付用（大）」に設定している場合
  - セルフタイマーを設定している場合
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」の場合

1 📷 ▶ MENU ▶ 6 5

連続撮影のマークが🅘からPに変わります。
- 🅘を押して連続パノラマ撮影する方向を切り替えられます。

解除する：MENU ▶ 6 6

2 被写体にカメラを向けて◉

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。続けてFOMA端末を右または下にずらし、撮影を行います。◉を押すたびに、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に点滅します。

- 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
- ガイドラインを表示していると、次の撮影時の透過部分を確認できます。
  ガイドラインを表示する→P133

合成する：2枚以上撮影してⓂ

- 最大撮影枚数を撮影すると、自動的に合成されます。
- 1枚だけ撮影してⓂを押すと撮影が中断され、撮影した画像は破棄されます。

中断する：CLR

撮影した画像は破棄されます。

3 連続パノラマ撮影した静止画を確認

等倍表示に切り替える：

- ✣を押すと、画面をスクロールできます。
- 解除するときはCLR、MENU、、Ⓜ、✉のいずれかを押します。

自動スクロールする：Ⓜ

- ◉を押すと、スクロールの一時停止／再開ができます。
- 中断するときはCLR、MENU、、Ⓜ、✉のいずれかを押します。

4 ◉

静止画が1枚に合成され、マイピクチャの「撮影した写真」フォルダに保存されます。
静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P127「カメラで静止画を撮影する」操作3～4

✔お知らせ

- 被写体や撮影のしかたによっては、きれいに合成されない場合があります。
- 連続パノラマ撮影中に電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールの指定日時になったりすると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。

動画撮影

カメラで動画を撮影する

MENU632

音声付きの動画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P132
- 撮影時の設定を変更できます。→P134
- 各種の音量設定が「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中でもシャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P334

1 （1秒以上）

動画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 被写体にカメラを向けて◉

シャッター音が鳴り、ディスプレイに●が表示され、動画の撮影が始まります。ランプが赤色で点滅します。

- 一時停止するときは◉を押します。❚❚が表示され、ランプが緑色で点灯します。もう一度◉を押すと、撮影を再開します。一時停止するときと再開するときは、録音確認音（シャッター音）が鳴ります。

3 Ⓜ

シャッター音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- ファイルサイズが制限値に達すると、撮影は終了します。
- 一時停止中でも撮影は終了します。

4 撮影した動画を確認

- Ⓜを押すと撮影した動画が再生されます。

すぐに保存する：操作5に進む

保存しないで撮影し直す：CLR

撮影した動画をメールに添付する：✉

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると保存され、メール作成画面が表示されます。

- 次の場合はメールに添付できません。
  - 動画のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合
  - 品質が「XQ（最高品質）」の場合

待受画面（待受ｉモーション）に設定する：MENU▶21▶「はい」

動画が保存され、待受画面に設定されます。

- 動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのままで、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

・品質が「XQ（最高品質）」の場合は待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する：MENU▶2▶2または3▶「はい」

動画が保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
・撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
・品質が「XQ（最高品質）」の場合は電話帳の画像に登録できません。
・更新登録するときは登録する相手を選択します。

タイトルを変更する：MENU▶3▶タイトルを変更して◎

・31文字以内で入力します。
・品質が「XQ（最高品質）」の場合は、タイトルを変更できません。

保存されている動画を一覧表示する：MENU▶5

5 ●

撮影した動画がｉモーションの「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。

保存した動画を確認する：◎▶動画を選択

動画の表示方法→P230「動画／ｉモーションを再生する」操作2～3
・確認後CLRを2回押すと、動画撮影画面に戻ります。

✔お知らせ

・撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が停止します。もう一度FOMA端末を開くと確認画面が表示されます。
・撮影や録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
・撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
・保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除したり、サイズ制限の設定を変更したりしてから撮影してください。
・撮影中や録音中に電話がかかってきたり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりした場合は、その時点で撮影や録音が中止され、確認画面が表示されます。
・撮影中や録音中に電池が切れそうになると、撮影や録音は中止されます。
・撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームなどが録音されることがあります。

静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

画像サイズ、画質、品質、撮影種別、サイズ制限など、撮影時の条件を設定できます。

・静止画と動画で、設定できる機能は異なります。
・お買い上げ時の設定
画像サイズ：静止画撮影時（アウトカメラ）「待受用（240×432）」、（インカメラ）「QCIF（176×144）」、動画撮影時「QCIF（176×144）」 サイズ制限：「制限なし」 画質：「ファイン」 品質：「HQ（高品質）」 撮影種別：「画像＋音声」 連続撮影枚数：9枚 自動保存：「しない」 シャッター音：「標準」 キーカスタマイズ：「カメラ切替」 照明設定：「常灯」

〈例〉静止画詳細設定を変更する

1 ◎▶MENU▶9

動画／録音詳細設定を変更する：◎（1秒以上）▶MENU▶7

2 各項目を設定▶◎

画像サイズ：静止画撮影の場合、設定画面が表示され、使用できる機能が確認できます（→P135）。インカメラ・アウトカメラで設定は個別です。
サイズ制限：保存するファイルのサイズ制限値を設定します（→P135）。静止画ではインカメラ・アウトカメラで設定は個別です。
画質：静止画撮影でのみ設定可能です。→P135
品質：静止画撮影では設定できません。動画、サウンドレコーダーで設定は個別です。→P135
撮影種別：静止画撮影では設定できません。「音声のみ」だとサウンドレコーダーになります。→P244
連続撮影枚数：静止画撮影でのみ設定可能です。連続撮影自動、連続撮影手動で撮影する枚数を設定します。→P128
自動保存：「する」に設定すると、撮影や録音後の確認画面を表示せずにそのまま保存します。
シャッター音：撮影や録音をする際に鳴る音を選択します。各シャッター音にカーソルを合わせると、音が鳴ります。
キーカスタマイズ：◎に割り当てる機能を設定します。「カメラ切替」ではインカメラとアウトカメラの切り替え（→P133）に、「動画撮影」「静止画撮影」では動画撮影と静止画撮影の切り替え（→P133）に設定されます。
照明設定：「端末設定に従う」に設定すると点灯時間設定の「通常時」に従い（→P88）、「常灯」に設定すると常に点灯します。

✔お知らせ

- 静止画詳細設定画面で(MENU)を押すと、撮影可能枚数が表示されます。「画像サイズ（インカメラ）」または「サイズ制限（インカメラ）」にカーソルを合わせているときはインカメラでの撮影可能枚数が表示され、それ以外にカーソルを合わせているときはアウトカメラでの撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。
- 動画／録音詳細設定画面で(MENU)を押すと、撮影／録音可能時間が表示されます。ここで表示される撮影／録音時間は目安です。
- 静止画の画像サイズのSXGA（960×1280）とサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- シャッター音の設定は、操作確認音の静止画撮影シャッター音、動画撮影シャッター音の設定にも反映されます。→P81

撮影前に撮影方法を設定する

ズーム機能やセルフタイマー、接写撮影、ライトなどを使用して、さまざまな方法で撮影できます。

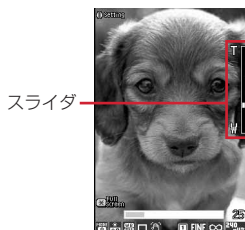
- 設定後の撮影→P127「カメラで静止画を撮影する」、130「カメラで動画を撮影する」

◆ズームする

撮影倍率を変更し、被写体を拡大して撮影します。

- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

カメラの種類	画像サイズ	最大倍率表示	
		静止画撮影時	動画撮影時
アウトカメラ	電話帳用（96×72）	約16.0倍（32段階）	―
	Sub-QCIF（128×96）		約16.0倍（8段階）
	QCIF（176×144）	約12.0倍（32段階）	約12.0倍（7段階）
	横長QVGA（320×240）（縦撮影）	―	約4.0倍（3段階）
	横長QVGA（320×240）（横撮影）	―	約8.0倍（5段階）
	QVGA（240×320）	約8.0倍（32段階）	―
	待受用（240×432）		―
	横長VGA（640×480）	約3.0倍（32段階）	―
	縦長VGA（480×640）	約4.0倍（32段階）	―
	SXGA（960×1280）	約2.0倍（6段階）	―
インカメラ	電話帳用（96×72）	約2.0倍（2段階）	―
	Sub-QCIF（128×96）		約2.0倍（2段階）
	QCIF（176×144）		
	横長VGA（640×480）		―

1 撮影画面で(ナビ)

押すたびにスライダの目盛が移動し、表示倍率が変わります。

静止画撮影のとき

アウトカメラではW（標準）からT（最大ズーム）まで、インカメラでは1倍（標準）と2倍に変更できます。

動画撮影のとき

1倍（標準）、2倍、4倍、6倍、8倍、10倍、12倍、16倍に変更できます。

◆セルフタイマーを使う〈セルフタイマー〉

設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりできます。

1 静止画撮影画面で(MENU)▶(5)▶(1)～(4)

シャッターが切れるまでの秒数に応じて(アイコン)～(アイコン)が表示されます。

解除する：(MENU)▶(5)(5)

2 被写体にカメラを向けて(●)

カウントダウン音に合わせて、ランプが緑色で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。
カウントダウンが終わると、シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して撮影されます。
セルフタイマーのマークの位置→P125

中止する：(アイコン)

✔お知らせ

- 次の場合はカウントダウンが中止されます。
  - FOMA端末を閉じたとき
  - 電話がかかってきたとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
  - (MULTI)を押したとき
- 次の場合はセルフタイマーを使用できません。
  - 連続撮影手動のとき
  - 4コマ撮影手動のとき
  - 連続パノラマ撮影のとき

◆ライトを点灯／消灯する

- インカメラ撮影時は点灯できません。

1 撮影画面で(✉)

点灯すると、が表示されランプが白色で点灯します。

◆近くのものを撮影する〈接写撮影〉

カメラから約6〜10cm離れた被写体にピントを合わせられます。

- インカメラ撮影時は接写撮影を使用できません。

1 撮影画面で接写切り替えスイッチを側へ切り替える

- 解除するときは接写切り替えスイッチを ● 側へ切り替えます。

◆共通再生モードに切り替える

FOMA端末の機種に関わらず再生可能な動画を撮影できます。

- サイズ制限が「メール添付用（小）」、品質が「HQ（高品質）」以下、画像サイズが「QCIF（176×144）」以下に制限されます。

1 動画撮影画面で(MENU)▶(6)

共通再生モードに切り替わり、が表示されます。

解除する：動画撮影画面で(MENU)▶(6)

◆全画面モードと標準画面モードを切り替える

全画面モードにすると設定アイコンやガイド表示領域が消え、被写体を確認しやすくなります。

1 静止画撮影画面で(*)

◆縦撮影と横撮影を切り替える

- 撮影待機中のみ切り替えられます。

1 動画撮影画面で(*)

- アウトカメラ撮影時で画像サイズがQVGA（320×240）の場合のみ切り替えられます。

◆インカメラとアウトカメラを切り替える

1 撮影画面で(📷)

- カメラを切り替えても、撮影モードなどの設定は保持されます。
- 動画撮影の一時停止中でもインカメラとアウトカメラの画像サイズが同じであれば切り替えられます。

✔お知らせ

- 動画撮影中、品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合は、インカメラに切り替えられません。
- キーカスタマイズ（→P131）が動画撮影／静止画撮影の場合は、(📷)を1秒以上押して切り替えます。

◆静止画撮影と動画撮影を切り替える

1 撮影画面で(📷)（1秒以上）

✔お知らせ

- キーカスタマイズ（→P131）が動画撮影／静止画撮影の場合は、(📷)（1秒以上）では切り替えられず、(📷)で切り替えます。

◆ガイドラインを表示する

1 静止画撮影画面で(#)

ガイドラインが表示されます。

- (#)を押すたびに、ガイドラインの表示／非表示が切り替わります。
- フレームを設定しているときは、ガイドラインは表示できません。

ガイドライン表示

撮影時の設定を変更する

撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、フレーム、手ぶれ補正、画質、品質、サイズ制限、画像サイズ、ちらつき調整の設定を変更できます。

- 動画撮影で、撮影種別が「音声のみ」のときに設定できるのは、品質、サイズ制限のみです。

◆画面のマークを使って設定する

撮影画面の下に表示されているマークにカーソルを合わせて、撮影時の設定を変更できます。

〈例〉フレーム設定をする

1 撮影画面で ▶ フレームのマークにカーソルを合わせる

- 撮影待機中に 4 を押してもフレームのマークを選択できます。

2 でフレームを切り替える

解除する：4（1秒以上）

- カーソルをフレームのマークに合わせているときは、「フレームなし」を選択すると解除されます。

3

❖撮影モードを設定する

撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

: オート　: 人物※1　: 風景
: 夜景※1　: 逆光　: スポーツ
: 文字※1　: モノトーン　: セピア
: モノクロスケッチ※1、2、3
: カラースケッチ※1、2、4

※1 動画撮影時は設定できません。
※2 ｉアプリから起動した場合には設定できません。
※3 えんぴつでスケッチした感じになります。
※4 えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけた感じになります。

✔お知らせ

- 撮影画面で 1 を押すと、撮影モードを一覧から設定できます。撮影モードの一覧の下には、現在のカーソル位置の撮影モードの説明が表示されます。
- 静止画撮影で「夜景」に設定している場合、自動での連続撮影／4コマ撮影はできません。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」に設定できるのは、待受用（240×432）以下のサイズのみです。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」に設定している場合、連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影はできません。
- 「オート」以外に設定している場合、「ホワイトバランス」の設定を変更できません。「明るさ」の設定は、「オート」に切り替えるまで保持されます。

❖明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを－2～+2の5段階で調整します。

✔お知らせ

- 撮影する静止画や動画によっては、明るさを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

❖ホワイトバランスを調整する

自然光や照明光のある場所で撮影するとき、場に適した色合いに調整できます。

: オート　: 太陽光　: くもり　: 蛍光灯
: 電球

✔お知らせ

- 撮影モードが「オート」の場合のみ設定できます。

❖フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

: フレーム　: フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、待受用（240×432）の画像サイズに対応しています。
- フレームを使用できるのは、画像サイズが次の場合です。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - QVGA（240×320）※
  - 待受用（240×432）※

  ※ 静止画撮影のみ
- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。

✔お知らせ

- 撮影画面でMENU 3 1を押すと、フレームの一覧からフレームを選択できます。
- 選択したフレームのサイズが表示画像サイズと縦横反対のとき、フレームは右に90度回転して表示されます。その後、MENU 3 3を押すと、フレームは180度回転します。
- 撮影中にダウンロードして保存したフレームは、撮影画面に戻ってMENU 3 4を押して更新しないと、使用できない場合があります。

❖手ぶれを補正する

静止画撮影時に、手持ち撮影で起きやすい手ぶれを補正します。

オート：手ぶれを自動補正します。
OFF：設定を解除します。

✔お知らせ

- 次の場合、設定はOFFになります。
  - 連続撮影自動／手動時
  - 4コマ撮影自動／手動時
  - 連続パノラマ撮影時
  - インカメラ撮影時
  - ｉアプリから静止画撮影を起動した場合
  - ｉアプリ動作中
- 手ぶれ補正機能を使っても、完全に手ぶれを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。手ぶれが大きかったり、被写体の動きが激しかったりする場合は効果が薄くなることがあります。

❖静止画の画質／動画の品質を設定する

- 画質／品質によって、保存できる撮影枚数と撮影時間は変わります。→P126

静止画撮影のとき

FINE: ファイン　ST: スタンダード　ECO: エコノミー

動画撮影のとき

XQ: XQ（最高品質）　HQ: HQ（高品質）
STD: STD（標準）　LP: LP（長時間）

❖ファイルサイズを制限する

- 撮影または録音したファイルをｉモードメールに添付して送信する場合は「制限なし」以外に設定してください。

静止画撮影のとき

ファイルサイズが制限値より大きくなると、ファイルサイズを小さくして保存します。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。
メール添付用（大）：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。
メール添付用（小）：ファイルサイズを90Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

動画撮影のとき

ファイルサイズが制限値に達すると、撮影が終了します。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。
メール添付用（大）：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。
メール添付用（小）：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

❖画像のサイズを設定する

- 設定できる画像サイズは次のとおりです。

静止画撮影のとき

96×72: 電話帳用　128×96: Sub-QCIF
176×144: QCIF　240×320: QVGA※1
240×432: 待受用※1、2　640×480: 横長VGA※2、3
480×640: 縦長VGA※1、2、3　960×1280: SXGA※1、2、3

動画撮影のとき

128×96: Sub-QCIF　176×144: QCIF　320×240: QVGA※1

※1　アウトカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。
※2　ｉモードメールに添付するとき、QVGAサイズ変換の確認画面が表示されます。
※3　撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」に設定されている場合は選択できません。

- ｉモード端末に最大2Mバイトの画像を送信できます。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 静止画撮影画面でMENU 9を押して静止画詳細設定画面から設定を行う場合、画像サイズの選択画面で次のアイコンが表示されます。それぞれのアイコンはカーソルを合わせた画像サイズで使用できる機能を示します。使用できない機能のアイコンはグレーで表示されます。

画像サイズ設定画面で表示されるアイコン

① 手ぶれ補正
② 連続撮影
③ 連続パノラマ撮影
④ フレーム
⑤ アウトカメラ／インカメラ
IN/OUT: アウトカメラ、インカメラで撮影可能
OUT: アウトカメラでのみ撮影可能

- 画像サイズの選択画面でMENUを押すと、撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。

◆ちらつきを調整する

撮影する静止画や動画のちらつきを調整すると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

- テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。
- カメラを終了しても、設定は保持されます。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面でMENU▶2 3▶1～3

自動：ちらつきを消すように自動的に調整します。通常はこちらに設定してください。
50Hz（東日本）：東日本の電源周波数に合わせて調整します。
60Hz（西日本）：西日本の電源周波数に合わせて調整します。
- 「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて設定してください。

✔お知らせ

- ちらつき調整を「自動」以外に設定していても、蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

◆撮影時の設定を初期値に戻す

- 撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定が初期値に戻ります。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面でMENU▶2 4▶「はい」

通話中に撮影した静止画を送信する

音声電話中に撮影した静止画をｉモードメールに添付して、通話相手に送信します。

1 通話中に✉▶静止画を撮影

撮影のしかた→P127「カメラで静止画を撮影する」
- 連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。✣を押し、送信する静止画にカーソルを合わせてください。

2 ✉▶「はい」

撮影した静止画が保存され、メール作成画面が表示されます。
- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、横長／縦長QVGA（320×240、240×320）への変換確認画面が表示されます。→P169
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで保存されます。「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影や保存した静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文貼り付けの確認画面が表示されます。
- 通話相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときはCLRを押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面でCLRを押します。

3 ｉモードメールを編集▶📖

ｉモードメールを送信すると、撮影画面に戻ります。CLRまたは☎を押すと撮影を終了し、通話中の画面に戻ります。

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toに利用したりできます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- NW7コード、CODE39コードは横幅が長いため、全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。→P272

❖JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

❖QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

❖NW7コードとは

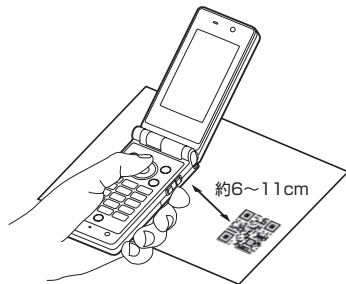
幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。
上のNW7コードでは「A123456789012A」という文字情報を読み取れます。

❖CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。
上のCODE39コードでは「*123456ABC*」という文字情報を読み取れます。

◆コードを読み取る

1 MENU▶6 1

バーコードリーダーが起動し、コード読み取り中を表す が表示されます。
- 読み取るコードとカメラの距離が近いときは、接写切り替えスイッチを 側に切り替えて接写モードにし、カメラをコードから約6～11cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  ：ズームON　：ズームOFF
  ：ライトON（）とライトOFF（表示なし）の切り替え
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写切り替えスイッチを ● 側へ切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。

通常の静止画撮影または動画撮影に切り替える：MENU▶3▶1または2
- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

ちらつきを調整する： MENU ▶ 1 ▶ 1～3
お使いの地域の電源周波数を選択してください。「自動」を選択すると電源周波数は自動的に調整されます。
- バーコードリーダーを終了しても、設定は保持されます。
- テレビ電話、カメラのちらつき調整の設定にも反映されます。

2 カメラをコードに合わせる

自動的にコードを読み取ります。読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

コードを読み取り直す： 📖

3 MENU ▶ 4

読み取ったデータが保存されます。
- 既にデータを5件保存しているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータの削除の確認画面が表示されます。

読み取ったデータの文字情報をコピーする：
MENU ▶ 1 ▶ コピーする範囲を選択
コピー／貼り付け情報→P273

✔お知らせ
- コード読み取り待機中は🔍のアイコンは🔍になります。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとアウトカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
- 音量設定の電話着信音量とメール・メッセージ着信音量がどちらも「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。

❖分割されたQRコードを読み取るとき

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

QRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取っていないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

- 読み取りを中止するには、CLRを押して「はい」を選択します。

◆保存した読み取りデータを利用する

〈例〉情報をFOMA端末またはFOMAカードの電話帳に登録する

1 MENU ▶ 6 1 ▶ 📖 ▶ 読み取りデータを選択

読み取りデータを削除する： 読み取りデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

2 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶ 1 または 2

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」▶ 1 または 2
名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、URLが入力されている電話帳登録画面が表示されます。

iモードメールを送信する： メールアドレスまたは「メール作成」
宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。
- 「メール作成」を選択した場合は、宛先、題名、本文が入力されています。

サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」

URLをブックマークに登録する：
① URLにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 3
- 「ブックマーク登録」を選択しても登録できます。

② 登録先フォルダを選択
以降の操作→P147「ブックマークに登録する」操作2
- 「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名がタイトルとして入力されています。

ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」

音声電話、テレビ電話をかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶ MENU ▶「はい」
条件を設定して電話をかける→P52

静止画ファイルを保存する：静止画ファイルを選択▶「保存」
以降の操作→P150「画像をダウンロードする」操作2以降
ただし、保存先はマイピクチャの「デコメピクチャ」または「データ交換」フォルダを選択します。
- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

メロディデータを保存する：メロディデータを選択▶「保存」
以降の操作→P151「メロディをダウンロードする」操作3
ただし、保存先はメロディの「データ交換」フォルダになります。
- 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。

✔お知らせ
- カメラ起動中や、バーコードリーダーに対応しているｉアプリ起動中、バーコードリーダーを起動できます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子はJANコードの場合「jan」、QRコードの場合「qr」、NW7コードの場合「nw7」、CODE39コードの場合「c39」になります。既に同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。

ｉモード／ｉモーション

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お買い上げ時、本機能は制限されています。ご利用の際には制限を解除してください。→P105

ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

◆アクセス制限サービスとは

ｉモードからサイトへのアクセスを制限する3つのサービスメニューがあり、お子さまに応じたｉモードアクセス制限が可能です。

- アクセス制限サービスは、お申し込みが必要な無料サービスです。

❖キッズｉモードフィルタ

ｉモードメニューサイトのみアクセスできます。

- マイボックス上のサイトにはアクセスできません（ドコモプレミアクラブ・サイトを除く）。

❖ｉモードフィルタ

出会い系サイトやアダルトサイトなどの特定のカテゴリに該当する一般サイトへアクセスできません。

❖時間制限

夜間から早朝（22時〜翌朝6時）の間、ｉモードを利用したすべてのサイトへのアクセスを制限することができます。

◆キッズｉメニューとは

※ 画面はイメージです。

お子さま向けのコンテンツを集めたサイトをご用意いたしました。お子さまがご利用しやすいように、分かりやすい表現、読みやすい文字（ひらがな）で表示します。

キッズｉメニューをご利用いただくには、アクセス制限サービスのご契約が必要です。

サイトを表示する

MENU21

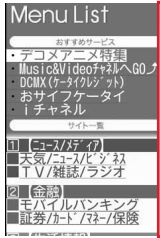
ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1 ⓘ▶1

ｉモード中は点滅

- 接続中画面で● ：接続を中止
- 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応するダイヤルキーを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

2 「メニューリスト」

スクロールバー
・ページ読み込み中や画面スクロール時などに、すべての行が表示されていない場合は全体に対する現在の位置が一時的に表示されます。

- スクロールバーを表示するかどうかを設定できます。→P145
- ページ読み込み中に(㊞)：ページの読み込みを中止

3 表示する項目を選択

サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら(☎)▶「はい」

✔お知らせ

- サイト表示中にｉMenuに戻る場合は、(MENU)を押し「ｉMenu」を選択します。
- サイトから、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を要求されたときは、送信するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために使われます。
  送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  (画像): 表示・効果設定で画像が「表示しない」のとき
  (画像): 画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  (画像): 画像のURLの誤りなどで表示できないとき

◆SSLページに接続する

SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。

- 日付・時刻が設定されていない場合、SSLページによっては接続できないことがあります。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P157
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

1 SSL通信を開始する旨のメッセージが表示

ディスプレイ上部に(SSL)が表示されます。

SSLページ表示中に証明書を表示する：
(MENU)▶(9)(2)

- SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の(SSL)が消えます。

❖FirstPass対応ページに接続する

1 送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

✔お知らせ

- SSLページに接続したときに、証明書を選択する画面が表示される場合があります。そのときは、送信する証明書を選択します。
- FirstPass対応ページに接続した際のパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象となります。

◆以前表示したページに再接続する〈ラストURL〉

MENU24

以前表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、以前表示したページに簡単に再接続できます。

- 最大10件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 ▶4

2 表示するURLを選択

1件削除する：URLにカーソルを合わせて ▶41▶「はい」

複数削除する：▶42▶URLを選択▶▶「はい」

全件削除する：▶43▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、を押し「Internet」→「ラストURL」を選択します。
- URLによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

◆Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。

- 表示・効果設定の画像が「表示しない」の場合は、Flash画像は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- ガイド表示領域にが表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なることがあります。
- Flash画像が表示されていても正しく動作しない場合や、再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できない場合があります。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は音量設定のメロディ音量に従います。効果音を鳴らさない場合は93を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。なお、待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
- バイブレータ設定が「メロディ連動」の場合でもFlash画像の効果音には連動しません。また、「OFF」の場合でもFOMA端末を振動させることがありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには、、、CLR、、以外のキーを押してください。
- もう一度Flash画像を動作させるときは、97を押してください。
- Flash画像が画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するかどうかは、表示・効果設定の端末情報データ利用設定で設定できます。

◆リンク先や項目を選択する

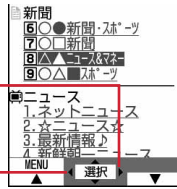
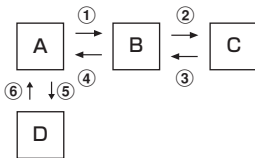
iモード中、サイトによっては次のような操作ができます。

✔お知らせ

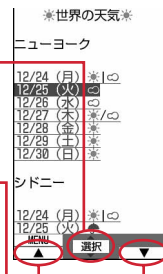
- プルダウンメニューによっては選択画面でを押して項目を選択する操作を繰り返すと、複数の項目が選択できます。選択後にを押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。
- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄のそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

◆前のページに戻る／進む

FOMA端末は、ページの表示履歴を最大20件記録しています。ページの表示履歴を一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といい、Ⓢを押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。

- 端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- FirstPassセンター接続中（→P158）は本機能を利用できません。

✔お知らせ

- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。
- 入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュに記録された表示履歴はすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なる場合があります。

◆画面をスクロールする

- Ⓢを押して画面を上下にスクロールできます。押し続けると連続スクロールできます。

◆情報を再読み込みする

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中にⓂ▶5

◆URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

1 サイト表示中にⓂ▶91

✔お知らせ

- ラストURL一覧、URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合はⓘを押します。

◆スクロールバーの表示を切り替える

1 サイト表示中にⓂ▶98

- Ⓜ98を押すたびに、スクロールバーの表示／非表示が切り替わります。

✔お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、Ⓜを押し「表示」→「スクロールバー表示」または「スクロールバー非表示」を選択します。
- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、Ⓜを押し「スクロールバー表示」または「スクロールバー非表示」を選択します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- マイメニューには最大45件登録できます。登録にはｉモードパスワードが必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、マイメニューに登録できないサイトもあります。登録できないサイトやホームページはブックマークに登録してください。

◆マイメニューに登録する

1 マイメニューに登録するサイトを表示▶「マイメニュー登録」

- 各サイトによりページ構成が異なります。項目に対応するダイヤルキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

- ご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されています。

◆マイメニューからサイトを表示する

1 Ⓘ▶1▶「マイページ」▶マイメニュー内から表示するサイトを選択

ｉモードパスワード変更

ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録または削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込みまたは解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 Ⓘ▶1▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」▶現在のパスワードの入力欄を選択▶現在のｉモードパスワードを入力

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※iﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

2 新パスワードの入力欄を選択▶新しいｉモードパスワードを入力

3 新パスワード確認の入力欄を選択▶操作2で入力したｉモードパスワードを入力▶「決定」

インターネット接続

ホームページを表示する

MENU231

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、ホームページのアドレス（URL）で指定します。

1 Ⓘ▶3 1

- 2回目からは前回入力して接続したURLが表示されます。

2 URLを入力▶Ⓜ

- 半角256文字以内で入力します。
- 半角英字入力モード時に1を繰り返し押すと「．」「／」「-」などを、＊を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」「http://www.」「.html」などを入力できます。

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、MENUを押し「Internet」→「URL入力」を選択します。
- ホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトと同じです。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときは、メッセージが表示されます。◉を押すとメッセージが消え、受信できた分のデータが表示されます。

◆URL履歴を使って表示する〈URL履歴〉

MENU232

URLを入力して接続したホームページのURLは、FOMA端末に記録されています。この履歴からホームページに接続できます。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 ▶ 3 2

2 表示するホームページのURLを選択

1件削除する：URLにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 1 ▶「はい」

複数削除する：MENU ▶ 4 2 ▶ URLを選択 ▶ ▶「はい」

全件削除する：MENU ▶ 4 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、MENUを押し「Internet」→「URL履歴」を選択します。

◆文字を正しく表示する〈文字コード〉

サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用できるようにするために作られた文字の番号体系のことです。

1 サイトやホームページ表示中に MENU ▶ 9 6 1
- MENU 9 6 1 を押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。MENU 9 6 2 を押すと、「自動選択」に切り替わります。
- サイトやホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけですばやく表示できます。
- 最大登録件数→P334
- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角256文字以内です。ただし、ホームページやサイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

◆ブックマークに登録する

1 ブックマークに登録するサイトやホームページを表示 ▶ MENU ▶ 2 1 ▶ 登録先フォルダを選択

2 タイトル名を入力 ▶
- 全角12（半角24）文字以内で入力します。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。

✔お知らせ
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、ラストURL一覧、URL履歴一覧から操作する場合は、MENUを押し「Bookmark登録」を選択します。
- 最大登録件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って上書きするブックマークを選択してください。

◆ブックマークからサイトやホームページを表示する

MENU22

1 ▶ 2 ▶ フォルダを選択
- マークの意味は次のとおりです。
  : ブックマークなし
  : ブックマークあり

2 表示するブックマークを選択

マークの意味→P148「ツータッチサイトにブックマークを登録する」操作3

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、MENUを押し「Bookmark」→「表示」を選択します。

◆フォルダを作成／削除する

- 最大20個作成できます。
- フォルダが1個のときは削除できません。

〈例〉作成する

1 ▶2

2 MENU▶1

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶3

並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶6または7

削除する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶2▶認証操作▶「はい」

3 フォルダ名を入力▶

- 全角8（半角16）文字以内で入力します。

◆ブックマークのタイトルを変更する

1 ▶2▶フォルダを選択▶タイトルを変更するブックマークにカーソルを合わせて

以降の操作→P147「ブックマークに登録する」操作2

◆少ないキー操作でサイトやホームページに接続する〈ツータッチサイト〉

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面からサイトやホームページをすばやく表示できます。

❖ツータッチサイトにブックマークを登録する

- 1つのダイヤルキーにつき1件、合計10件登録できます。

1 ▶2▶フォルダを選択

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて

解除する：ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶2

3 登録先を選択

マークの番号（～）は、ツータッチサイト表示に使用するダイヤルキー（0～9）に対応しています。

- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークがから～に変わります。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

❖ツータッチでサイトやホームページを表示する

1 0～9▶

ダイヤルキーに対応するサイトやホームページが表示されます。

❖ツータッチサイト一覧から操作する

MENU281

〈例〉ツータッチサイト登録する

1 ▶81

2 未登録にカーソルを合わせてMENU▶1

サイトを表示する：ブックマークを選択

解除する：ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」

3 フォルダを選択▶登録するブックマークを選択

◆ブックマークを削除する

1 ▶2

2 フォルダを選択

全件削除する：MENU▶4▶認証操作▶操作4に進む

3 削除するブックマークにカーソルを合わせてMENU▶31

複数削除する：MENU▶32▶ブックマークを選択▶

フォルダ内を全件削除する：MENU▶33▶認証操作

4 「はい」

✔お知らせ

- ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

◆ブックマークを移動する

保存されているブックマークを別のフォルダに移動できます。

1 ▶2▶フォルダを選択

2 移動するブックマークにカーソルを合わせてMENU▶51

複数移動する：MENU▶52▶ブックマークを選択▶

3 移動先のフォルダを選択

◆ブックマークを並べ替える〈ソート〉

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。

1 ▶ 2 ▶フォルダを選択 ▶ MENU ▶ 6 ▶ 1 〜 4

✔お知らせ
- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル名順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

◆ｉモードメールにブックマークデータを添付する

1 ▶ 2 ▶フォルダを選択▶添付するブックマークにカーソルを合わせて MENU ▶ 9

以降の操作→P164

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。
- 最大保存件数→P334

◆画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。

1 画面メモとして保存するサイトを表示 ▶ MENU ▶ 4 1

2 タイトル名を入力 ▶

- 全角12（半角24）文字以内で入力します。
- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧には「無題」と表示されます。

✔お知らせ
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って上書きする画面メモを選択してください。保護されている画面メモは上書きできません。

◆画面メモを表示する

MENU25

1 ▶ 5 ▶表示する画面メモを選択

- 画面メモ一覧のマークの意味は次のとおりです。
  - ：通常の画面メモ
  - ：保護されている画面メモ
- 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。

✔お知らせ
- サイト表示中に操作する場合は、MENU を押し「画面メモ」→「表示」を選択します。このとき、文字コードを変更していた場合、サイト表示に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。
- 画面メモ表示画面でもう一度Flash画像を動作させるときは、MENU を押し「表示」→「リトライ」を選択します。
- Flash画像が画面メモ表示画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

◆画面メモのタイトルを変更する

1 ▶ 5 ▶タイトルを変更する画面メモにカーソルを合わせて

以降の操作→P149「画面メモを保存する」操作2

✔お知らせ
- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENU を押し「タイトル変更」を選択します。

◆画面メモを保護する

保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 最大保護件数→P334

〈例〉1件保護する

1 ▶ 5

2 保護する画面メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 1

- 保護された画面メモのマークがからに変わります。

複数保護する： MENU ▶ 1 2 ▶画面メモを選択 ▶

保護を1件解除する： 画面メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 3

保護を複数解除する： MENU ▶ 1 4 ▶画面メモを選択 ▶

保護を全件解除する： MENU ▶ 1 5

✔お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「保護」または「保護解除」を選択します。

◆画面メモを削除する

〈例〉1件削除する

1 ◎▶5

2 削除する画面メモにカーソルを合わせて MENU▶2 1

複数削除する：MENU▶2 2▶画面メモを選択▶◎

全件削除する：MENU▶2 3▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「削除」を選択します。

◆画面メモを並べ替える〈ソート〉

画面メモ一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

1 ◎▶5▶MENU▶8▶1または2

✔お知らせ

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

サイトから各種データ（ファイル）をダウンロードする

サイトからデータ（ファイル）をダウンロードして、FOMA端末に保存します。

- 保存可能なデータ（ファイル）と1件あたりの保存可能な最大サイズは次のとおりです。
  - 画像：100Kバイト
  - メロディ：100Kバイト
  - 辞書：32Kバイト
  - キャラ電：100Kバイト
  - きせかえツール：2Mバイト
  - フォント：100Kバイト
- ダウンロード中に◎を押すと、ダウンロードを中止します。
- ダウンロードしたデータ（ファイル）によっては、正しく表示や再生、設定ができない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、データ（ファイル）を保存できません。保存する場合は、画面の指示に従ってFOMA端末内のデータ（ファイル）を削除してください。
- 最大保存件数→P334

◆画像をダウンロードする〈画像保存〉

保存した画像はマイピクチャのフォルダなどから表示したり、待受画面などに設定したりできます。また、デコメ®絵文字はメール作成時や署名編集時に使用できます。

JPEG形式、GIF形式の画像、GIFアニメーション、SWF（Flash画像）を保存できます。

1 画像のあるサイトを表示▶MENU▶6 1▶保存する画像を選択

- 保存する画像にカーソルを合わせると、画像が枠で囲まれ、ファイル名とファイルサイズが表示されます。

サイトの背景画像を保存する：背景画像のあるサイトを表示▶MENU▶6 2

2 各項目を設定

- 画像によっては選択できない項目があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）は、表示名以外は変更できません。

表示名：36文字以内で入力します。

ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

コメント：100文字以内で入力します。

フレーム候補：画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（縦横）のサイズが352×288または240×432より大きい画像はフレーム候補にできません。

スタンプ候補：画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（縦横）のサイズが240×432以上の画像はスタンプ候補にできません。

ファイル制限：メール添付によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかどうかを設定します。
- サイトからダウンロードした画像は、ファイル制限を変更できません。

3 ⓜ▶保存先を選択

- 次の条件をすべて満たす画像は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
  - サイズが20×20で90Kバイト以内
  - メール添付やFOMA端末外への出力可
  - JPEG形式またはGIF形式
- MENUを押すと画像の利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P225

✔**お知らせ**

- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（縦横）のサイズが、GIF形式で480×640、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。

◆メロディをダウンロードする〈ｉメロディ〉

保存したメロディはメロディのフォルダなどから再生したり、着信音に設定したりできます。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。

1 メロディのあるサイトを表示▶ダウンロードするメロディを選択

2 「保存」

再生する：「再生」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力▶ⓜ

ダウンロードしたメロディは、メロディの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 全角25（半角50）文字以内で入力します。

◆辞書をダウンロードする

保存した辞書はFOMA端末で文字を入力するときに利用できます。
- 辞書の設定→P274

1 辞書のあるサイトを表示▶ダウンロードする辞書を選択

2 「保存」▶◉

ダウンロードした辞書は、文字入力設定の「ダウンロード辞書」に保存されます。

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

◆キャラ電をダウンロードする

保存したキャラ電はテレビ電話で自分の映像の代わりに送信したり、待受画面に設定したりできます。

1 キャラ電のあるサイトを表示▶ダウンロードするキャラ電を選択

2 「保存」

表示する：「表示」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 各項目を設定▶ⓜ

ダウンロードしたキャラ電は、キャラ電の「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 表示名は36文字以内、コメントは100文字以内で入力します。

◆きせかえツールをダウンロードする

保存したきせかえツールは待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などに設定できます。
- きせかえツールの設定→P89

1 きせかえツールがあるサイトを表示▶ダウンロードするきせかえツールを選択

2 「保存」

表示する：「プレビュー」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力▶ⓜ

ダウンロードしたきせかえツールは、きせかえツールの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 36文字以内で入力します。
- MENUを押すと、きせかえツールを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- ダウンロードを中止したり通信が中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが再開されます。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存できない場合はそれまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したきせかえツールの残りはダウンロードできます。→P90「きせかえツールを変更する」操作3

◆フォントをダウンロードする

保存したフォントは、メニュー画面やｉモードサイト、文字入力画面などに表示される文字に利用できます。

- フォントの設定→P93

1 フォントのあるサイトを表示▶ダウンロードするフォントを選択

2 「保存」▶◉

保存したフォントは文字表示設定の「フォント選択」に保存されます。

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

ｉモードの便利な機能

表示中の画面の電話番号、メールアドレス、URLを利用して音声電話やテレビ電話の発信（Phone To／AV Phone To）、ｉモードメールの作成（Mail To）、サイトやホームページへ接続（Web To）ができます。

- サイトやインターネットホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 サイトやホームページを表示▶電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

2 ◉

Phone To（AV Phone To）：発信条件を設定▶MENU▶「はい」

条件を設定して電話をかける→P52

Mail To：ｉモードメールを作成して送信

選択したメールアドレスを宛先としてｉモードメールを作成し、送信できます。

ｉモードメールの作成・送信方法→P164

Web To：

サイトやホームページに接続されます。

- メール本文中などのURLを選択した場合はサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

◆URLをコピーする

表示中のサイトやホームページ、画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

1 サイトのURLを表示▶MENU▶1

URLを表示する→P145

2 コピーする範囲を選択

コピー／貼り付け方法→P273

✔お知らせ

- ラストURL一覧、URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し「URLコピー」を選択します。ブックマーク一覧から操作する場合は、MENUを押し「URL表示／入力／コピー」→「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

◆ｉモードメールにURLを貼り付ける

表示中のサイトやホームページのURLをｉモードメールに貼り付けて送信できます。

1 サイトを表示▶MENU▶7

以降の操作→P164

◆電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する〈電話帳登録〉

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の、カーソルを合わせられる電話番号やメールアドレスを登録できます。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号を新規登録する

1 電話番号のあるサイトを表示

2 登録する電話番号にカーソルを合わせて MENU▶8 1▶1 または 2

登録済みの電話帳データに追加する：
① 電話番号にカーソルを合わせて MENU▶8 2▶1 または 2
② 更新する電話帳データを選択

3 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P67、68

✔お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を、メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」を選択します。

◆URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧などからURLを登録できます。

〈例〉ブックマーク一覧から新規登録する

1 i▶2▶フォルダを選択

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて MENU▶7 1

登録済みの電話帳データに追加する：ブックマークにカーソルを合わせて MENU▶7 2▶更新する電話帳データを選択

3 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P67

✔お知らせ

- ラストURLのURL表示画面から操作する場合は、MENUを押し、「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」を選択します。
- 画面メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を選択します。

◆位置情報を利用する

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の位置情報のリンク項目を選択して、地図の表示やGPS対応ｉアプリの起動、位置情報をURLに変換してメールに貼り付けができます。

- 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。→P213「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

〈例〉サイト画面の位置情報のリンク項目から地図を表示する

1 位置情報のリンク項目があるサイトを表示▶位置情報を選択

2 「地図を見る」▶「OK」

GPS対応ｉアプリを起動する：「対応ｉアプリを利用」▶「OK」▶ｉアプリを選択

位置情報をメールに貼り付ける：「メール貼り付け」▶「OK」
以降の操作→P164

ｉモード設定

ｉモードの設定を行う

ｉモード接続に関する各種機能を設定します。

◆接続待ち時間を設定する〈接続待ち時間設定〉

MENU282

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続が中断されます。

1 i▶8 2▶1～3

✔お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断される場合があります。

◆ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先設定〉

MENU287

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは
ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について
- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。

1 ▶ 8 7
- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

2 編集するユーザ設定にカーソルを合わせて MENU

ｉモードを利用する設定に戻す：「ｉモード（FOMAカード）」▶

以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶

3 認証操作▶各項目を設定▶
- MENUを押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

接続先名称：全角8（半角16）文字以内で入力します。
接続先番号：半角英数字99文字以内で入力します。
接続先アドレス：半角英数字30文字以内で入力します。

4 編集した接続先を選択▶

✔お知らせ
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

◆照明を設定する

MENU283

サイトや画面メモ、メッセージR/Fの内容を表示したときの照明を設定します。

1 ▶ 8 3 ▶ 1 または 2
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ
- サイトやホームページ、画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「照明設定」を選択します。
- 本設定はディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

◆画像表示／効果音を設定する〈表示・効果設定〉

MENU285

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像やFlash画像の効果音を設定します。

1 ▶ 8 5 ▶各項目を設定▶

画像：画像を表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、画像やFlash画像、GIFアニメーションの代わりにが表示されます。
- 「表示する」に設定すると、アニメーション、端末情報データ利用設定を設定できます。

アニメーション：GIFアニメーションを表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、GIFアニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。
効果音設定：Flash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

✔お知らせ
- サイトや画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- 画像の設定は、添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像には反映されません。

- 効果音設定は、メッセージR/Fには反映されません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、音量設定のメロディ音量、バイリンガル、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

メッセージR/F受信

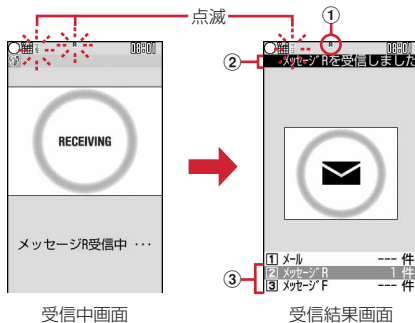
メッセージR/Fを受信したときは

- 最大保存件数→P334

1 メッセージR/Fを受信

と（青）または（緑）が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。
メッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したメッセージRは「メッセージR」フォルダ、メッセージFは「メッセージF」フォルダに保存されます。

- メッセージR/F受信中に◉：受信を中止
受信時の状況によって受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① マーク
（青）：未読のメッセージRあり
（緑）：未読のメッセージFあり
② 受信結果テロップ
③ 受信したメッセージR/Fの件数

- 受信結果画面が表示されてから未読メッセージR/Fの内容が表示され約15秒間何も操作しないと、受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき
受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- メッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - 防犯ブザー動作中（位置提供中、音声発信中）
  - ちょこっと通知起動中（位置提供中）
  - はなれたよアラーム動作中（位置提供中）
  - 電源OFF通知中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には（赤）や（赤）が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（→P156）、不要メッセージR/Fの削除（→P157）、保護解除（→P157）などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはやが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。

◆新着メッセージR/Fを表示する

1 受信結果画面で 2 または 3

- 1 を押すとｉモードメールが表示されます。

2 メッセージR/Fを選択

- メロディが添付されている場合の再生について→P189
メッセージR/Fの見かた→P156

◆メッセージR/Fを自動的に表示する〈メッセージ自動表示〉

MENU2731

メッセージR/Fを受信し、受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、内容を自動的に表示（約15秒間）するかどうかを設定します。

1 ▶ 7 3 1 ▶ 1 〜 5

✔お知らせ

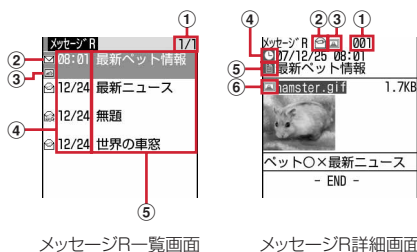
- 自動表示中にキー操作をしなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 待受画面表示中に自動受信した場合のみ自動表示できます。

メッセージR／メッセージF

保存されているメッセージR/Fを表示する

MENU271
MENU272

1 ▶ 7 ▶ 1 または 2 ▶ 表示するメッセージR/Fを選択

◆メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージR一覧画面　　メッセージR詳細画面

①ページ番号／総ページ数（一覧画面）、メッセージR/F番号（詳細画面）

②状態マーク

：未読　：既読　：保護

③添付ファイルマーク

一覧画面

：画像　：メロディ

：複数添付ファイルあり

詳細画面

：画像　：メロディ

：複数添付ファイルあり

④受信日時

- 一覧画面の場合は、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

⑤タイトル

⑥添付ファイルマーク（詳細）

：画像

：画像（メール添付やFOMA端末外への出力不可）

：画像（データ異常）

：メロディ

：メロディ（メール添付やFOMA端末外への出力不可）

：メロディ（データ異常）

◆添付されているファイルを表示・保存する

1 メッセージR/F一覧を表示

マークの意味→P156「メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた」

2 ファイルが添付されているメッセージR/Fを選択

3 保存する添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせて ▶ 5 2

画像の場合の以降の操作→P150「画像をダウンロードする」操作2以降

メロディの場合の以降の操作→P151「メロディをダウンロードする」操作3

表示・再生する：ファイル名を選択

- 添付ファイルが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。

タイトルを表示する：ファイルにカーソルを合わせて ▶ 5 3

- 画像の添付ファイルは操作できません。

✔お知らせ

- 本文中の画像または背景画像を保存する場合は、を押し「画像保存」→「画像選択」または「背景画像保存」を選択し、保存する画像を選択します。

◆ メッセージR/Fを保護する〈メッセージ保護〉

保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P334
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

〈例〉1件保護する

1 メッセージR/F一覧を表示

2 保護するメッセージR/Fにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 1

メッセージR/Fが保護され、状態マークが📩から🔒に変わります。

複数保護する：MENU ▶ 2 2 ▶ メッセージR/Fを選択 ▶ 📖

1件解除する：メッセージR/Fにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 3

複数解除する：MENU ▶ 2 4 ▶ メッセージR/Fを選択 ▶ 📖

全件解除する：MENU ▶ 2 5

✔お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「保護」または「保護解除」を選択します。

◆ メッセージR/Fを削除する〈メッセージ削除〉

〈例〉1件削除する

1 メッセージR/F一覧を表示

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 1

既読のみを削除する：MENU ▶ 1 2

複数削除する：MENU ▶ 1 3 ▶ メッセージR/Fを選択 ▶ 📖

全件削除する：MENU ▶ 1 4 ▶ 認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」を選択します。

◆ 表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ〈表示種別〉

メッセージR/F一覧に、指定した種別のメッセージR/Fだけを一時的に表示します。表示を終了すると、「すべて表示」に戻ります。

1 メッセージR/F一覧を表示 ▶ MENU ▶ 3 ▶ 1 〜 4

- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

◆ メッセージR/Fを並べ替える〈ソート〉

メッセージR/F一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

1 メッセージR/F一覧を表示 ▶ MENU ▶ 4 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

◆ 証明書を表示して有効／無効を設定する〈証明書管理〉

MENU2841

- SSLページに接続するには、次の証明書が必要です。

  CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。

  ドコモ証明書：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。

  ユーザ証明書：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。

  オリジナル証明書：各企業・自治体等から発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、CA証明書以外は表示されません。

〈例〉有効／無効を設定する

1 Ⓜ▶8 4 1

- マークの意味は次のとおりです。
  - CA：CA証明書
  - ：ドコモ証明書／ユーザ証明書
  - ：オリジナル証明書
  - ：有効に設定されている証明書

2 Ⓜ▶設定する証明書を選択▶Ⓜ

- ドコモ証明書2は設定できません。

表示する：証明書を選択

✔お知らせ

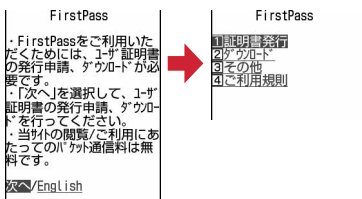
- 証明書の表示内容
  所有者
  CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O=：（Organization）会社名など
  C=：（Country）国名
  発行者
  CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU=：（Organization Unit）会社の部署など
  O=：（Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

◆FirstPassを設定する〈ユーザ証明書操作〉

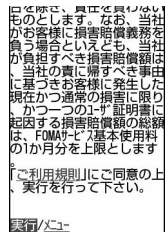
MENU2842

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をしてダウンロードを行います。

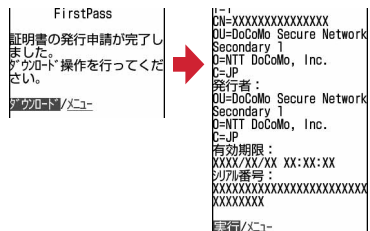
- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は、変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

1 Ⓜ▶8 4 2▶「次へ」▶「証明書発行」

発行されたユーザ証明書を失効させる：
①「その他」▶「証明書失効」▶送信するユーザ証明書を選択
②PIN2コードを入力▶「実行」▶「次へ」▶「実行」

2 「実行」▶PIN2コードを入力

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

3 「ダウンロード」▶「実行」

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードしたユーザ証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P157

✔お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。詳細はCD-ROM内の「簡易操作マニュアル」をご覧ください。「簡易操作マニュアル」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

◆オリジナル証明書をダウンロードする

- オリジナル証明書は最大5件、ルート証明書と中間証明書は合わせて最大10件、合計35Kバイトまで保存できます。

1 証明書のあるサイトを表示▶ダウンロードする証明書を選択

- ダウンロード中に(📖):ダウンロードを中止

2 「保存」

- ダウンロードした証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P157
- パスワードの入力を要求されたときは、証明書のパスワードをパスワード入力欄に入力し、「OK」を選択します。

✔お知らせ

- オリジナル証明書は各企業・自治体等から発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- オリジナル証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できません。画面の指示に従って保存されている証明書を削除してください。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合、オリジナル証明書はダウンロードできません。

❖証明書の管理名を変更する

ダウンロードしたオリジナル証明書の管理名称を変更します。

1 (i)▶(8)(4)(1)▶管理名を変更する証明書にカーソルを合わせて(メニュー)

2 名称を入力▶(📖)

- 全角9(半角18)文字以内で入力します。

ダウンロードしたときの管理名称に戻す:(✉)

❖証明書を削除する

ダウンロードしたオリジナル証明書を削除します。

1 (i)▶(8)(4)(1)▶削除する証明書にカーソルを合わせて(✉)▶「はい」▶認証操作

◆証明書発行接続先を変更する〈証明書発行接続先設定〉

MENU2843

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行の接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 ▶8 4 3

2 **接続先欄を選択▶2**

- FirstPassに接続する設定に戻すときは1を押し、操作5に進みます。

3 **ユーザ設定接続先欄に接続先を入力**

- 半角英数字99文字以内で入力します。

4 **ユーザ設定初期画面URL欄にURLを入力**

- 半角英数字100文字以内で入力します。

5

◆端末暗証番号を省略するかどうかを設定する〈暗証番号入力省略設定〉

MENU2844

オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかどうかを設定します。

1 ▶8 4 4▶1または2

iモーション

サイトやホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます(一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません)。

- iモーションには大きく分けて次の2種類があります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

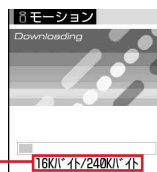
種類	再生動作
標準タイプ(保存可※)	iモーションのデータを取得しながら再生(最大10Mバイト)。取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作可能。
	iモーションのデータをすべて取得後に再生(最大10Mバイト)。
ストリーミングタイプ(保存不可)	iモーションのデータを取得しながら再生(最大10Mバイト)。再生終了後、iモーションのデータは消去。

※ 保存できないiモーションもあります。

サイトからiモーションを取得する

- 最大保存件数→P334

1 **iモーションのあるサイトを表示▶iモーションを選択**

受信済みのデータ量／全体のデータ量

iモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

- 取得中にを押して「はい」を選択すると、取得を中止します。
  ファイルサイズが500Kより大きく10Mバイトまでの部分保存できるiモーションの場合は、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると取得が再開され、「いいえ」を選択すると部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存したiモーションの残りは取得できます。→P231「動画／iモーションを再生する」お知らせ
- ストリーミングタイプのiモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

- データを取得しながら再生するｉモーションの再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  ◉：標準タイプは一時停止／再生
  ◎：音量調整
  📖：ストリーミングタイプは確認画面で「はい」を選択すると中断、標準タイプは停止（停止中に◉を押すと先頭から再生）
  MENU：詳細情報の表示
  ※ 再生を一時停止または停止しても、データの取得は継続します。
- データ取得後に再生するｉモーションを再生したときのキー操作（CLRを除く）→P231「動画／ｉモーションを再生する」操作3

2 「保存」

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

もう一度再生する：「再生」

詳細情報を表示する：「情報表示」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

- ストリーミングタイプのｉモーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

3 表示名を入力▶📖

取得したｉモーションは、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 36文字以内で入力します。
- MENUを押すとｉモーションの利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P233

✔お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていてもテロップ（テキスト）は再生できません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていると取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を閉じたり、電話がかかってきたり、はなれたよアラームが動作したり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になった場合などは、取得が中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を閉じると、取得は継続されたまま再生が停止します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な動画を削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。

ｉモーション設定

ｉモーションの自動再生を設定する

MENU286

標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定します。

1 ◎▶8 6▶自動再生設定欄を選択▶1または2▶📖

✔お知らせ

- サイト画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。
- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは本設定に関わらず、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

メール

ｉモードメール

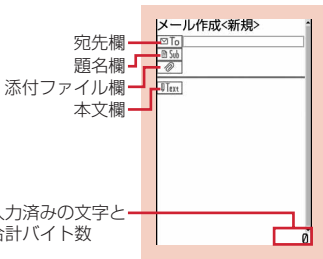
ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（画像や動画ファイルなど）を添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字®もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- ｉモードメールの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お買い上げ時、本機能は制限されています。ご利用の際には制限を解除してください。→P105

新規メール

ｉモードメールを作成して送信する

✉2
MENU12

1 ✉（1秒以上）

メール作成画面

2 宛先欄を選択

3 入力方法を選択▶宛先を入力

メール送受信履歴から入力する：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶メールを送信するメール送受信履歴を選択

電話帳から入力する：「電話帳参照」▶電話帳検索▶メールを送信する電話帳データを選択

メールグループから入力する：「メールグループ」▶メールグループを選択

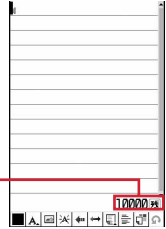
- 既に入力されている宛先との合計が5件を超える場合は、メールグループは追加できません。

直接入力する：「直接入力」▶宛先を入力

- 半角50文字以内で入力します。
- ｉモード端末にメールを送信する場合は、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。

4 題名欄を選択▶題名を入力

- 全角15（半角30）文字以内で入力します。

5 本文欄を選択▶本文を入力

- 全角5000（半角10000）文字以内で入力します。

位置情報のURLを貼り付ける：MENU▶5 5
以降の操作→P213「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

- 位置情報を貼り付けると、本文に位置情報URLが入力され、URLの前に が付加されます。なお、入力されたURLやマークは本文の文字数に含まれます。
- 位置情報は受信側がｉモード端末の場合のみ利用できます。

署名を挿入する：MENU▶5 6

6 📖

- 接続中画面で●、送信中画面で📖を押すと送信を中止します。ただし、操作のタイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたメールは、未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 圏外で圏内自動送信メールが5件未満の場合、圏内自動送信に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了すると、ｉモードメールは送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから上書きされます。
- デコメ絵文字®（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。

- 送信に失敗したときは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成または送信できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 他の機能が起動するなどして、10000バイトを超える作成中のｉモードメールが自動保存された場合、一部が保存されないことがあります。

◆宛先を追加する〈宛先追加〉

ｉモードメールは同じ内容を一度に最大5件の相手に送信（同報送信）できます。

- 宛先種別には次の3種類があります。
  To：直接の送信相手の宛先
  Cc：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手の宛先
  Bcc：他の送信相手にメールアドレスを表示させずにメール内容を知らせる相手の宛先
- Toの宛先が1件も入力されていないときは、メールを送信できません。

1 **メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせて✉▶入力方法を選択**

- 「メールグループ」を選択した場合は、操作3に進みます。

宛先種別を変更する：メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせてMENU▶9▶宛先種別を選択

追加した宛先を削除する：メール作成画面で宛先にカーソルを合わせてMENU▶8▶「はい」

2 **宛先種別を選択**

3 **宛先を入力**

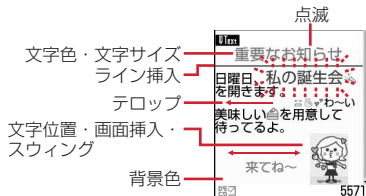
✔お知らせ

- 「TO」と「CC」の宛先欄に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

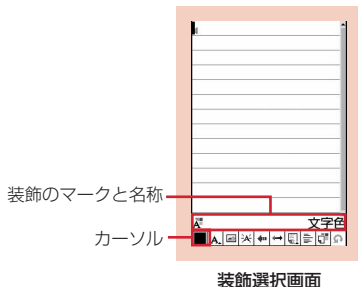
デコメール®

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメール本文に文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入などの装飾（デコレーション）をして、デコメール®を作成できます。

■ 装飾例

- デコメール®の作成方法は、装飾方法を選択してから文字を入力する方法（→P166）と文字を入力した後に装飾方法を選択する方法（→P166）があります。
- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に貼付できる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。
- デコメール®を非対応端末が受信すると、相手の端末によって閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

◆装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で本文欄を選択▶[メールキー]

装飾選択画面

2 装飾を選択▶文字を入力

装飾選択画面で装飾のマークを選択すると、その装飾が選択状態になります。
装飾の操作方法→P166「デコメール®装飾選択画面の操作手順」

複数の装飾を設定する：装飾にカーソルを合わせて[MENU]▶文字を入力

- テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。

選択状態の装飾を解除して文字を入力する：入力位置にカーソルを合わせて[メールキー]▶[i]▶文字を入力

- 解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置です。

装飾を変更する：[MENU]▶[1][8]▶開始位置を選択

以降の操作→P166「文字を入力してから装飾を指定する」操作2以降

装飾をすべて解除する：[MENU]▶[1][9]

3 [MENU]▶[0]▶装飾を確認

設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

4 [●]▶[●]▶[本]

✔お知らせ

- メール本文の入力画面で[MENU]を押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

❖デコメール®装飾選択画面の操作手順

機　能	操作方法・補足
文字色	**文字色を選択▶文字を入力** • 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。 • 絵文字（デコメ絵文字®（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。 • 範囲を指定して元の色に戻せます。→P166
文字サイズ	**文字サイズを選択▶文字を入力** • デコメ絵文字®（絵文字D）は変更できません。
画像挿入	**①挿入元を選択** •「静止画を撮影」を選択すると、横長／縦長VGA（640×480、480×640）以下のサイズで静止画を撮影して挿入できます。 • [画像挿入]の代わりに[メールキー]を押すと、デコメ®ピクチャ一覧を表示できます。 • デコメ絵文字®は絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P271 **②フォルダを選択▶画像を選択**
点滅	**文字を入力** • デコメ絵文字®（絵文字D）は設定できません。
テロップ	**文字を入力** • [テロップ開始]と[テロップ終了]の間に文字を入力します。
スウィング	**文字を入力** • [スウィング開始]と[スウィング終了]の間に文字を入力します。
文字位置	**文字の位置を選択▶文字を入力** • カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。
ライン挿入	[文字色]（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。
背景色	**背景色を選択** • 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
元に戻す	直前に設定した装飾または文字入力が取り消されます。

◆文字を入力してから装飾を指定する

- 「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」は操作できません。装飾を指定してから操作してください。→P166

1 メール作成画面で本文欄を選択▶装飾の開始位置にカーソルを合わせて[i]

2 終了位置を選択

開始位置から文頭までを選択する：[MENU]▶[●]

開始位置から文末までを選択する：[本]▶[●]

全文を選択する：[メールキー]

3 装飾を選択

文字色を変更する：1▶文字色を選択
- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

文字のサイズを変更する：2▶1～3

文字を点滅させる：3▶1
- 解除するときは2を押します。

文字をテロップ表示させる：4▶1
- 解除するときは2を押します。

文字をスウィング表示させる：5▶1
- 解除するときは2を押します。

文字の表示位置を変更する：6▶1～3
- 画像の表示位置も変更されます。

選択範囲の装飾をすべて取り消す：7

コピーする：8

切り取る：9

1つ前の状態に戻す：0
- 直前に設定した装飾または文字入力が取り消されます。

続けて文字を装飾する：MENU▶操作3を繰り返す

装飾の確認や解除方法→P166「装飾を指定してから文字を入力する」操作2～3

4 ●▶●▶📖

✔お知らせ

- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押すと、装飾データも含めてカーソル位置以降の文字を削除できます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にｉモードメールが作成できます。
お買い上げ時に登録されているテンプレートのほか、自分で作成したメールテンプレートやサイトからダウンロードしたテンプレートを利用できます。

◆メール作成時にテンプレートを使う〈テンプレート読込〉

1 メール作成画面でMENU▶61▶読み込むテンプレートを選択

マークの意味→P177「受信メール一覧画面」

2 メールを編集▶📖

✔お知らせ

- 既に入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、入力済みの内容を削除して読み込むかどうかの確認画面が表示されます。

◆テンプレートを表示してメールを作成する

MENU18

1 ✉▶8▶テンプレートを選択

2 📖▶メールを編集▶📖

◆テンプレートを作成して登録する〈テンプレート登録〉

作成または送受信したｉモードメールをテンプレートとして登録できます。

- 次の場合は、テンプレートに登録できません。
  - 本文と装飾データで10000バイトを超えている場合
  - 本文と装飾、添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
- 送受信したｉモードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。
- 最大保存件数→P334

1 メール作成画面でMENU▶6 2▶「はい」

送受信したｉモードメールを登録する：メール詳細画面でMENU▶4 5

2 各項目を設定

表示名：全角10（半角20）文字以内で入力します。

ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

3 (m)

保存したテンプレートは、テンプレート読込み内に保存されます。

- 登録済みのテンプレートに上書きするときは(メール)を押し、上書きするテンプレートを選択し、「はい」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書き保存できません。

✔お知らせ

- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

◆テンプレートをダウンロードする

- 保存できるメールテンプレートのサイズは1件あたり最大200Kバイトです。
- 最大保存件数→P334

1 サイトを表示▶ダウンロードするメールテンプレートを選択

- ダウンロード中に(m)：ダウンロードを中止

2 「保存」

以降の操作→P168「テンプレートを作成して登録する」操作2以降

表示する：「プレビュー」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

✔お知らせ

- 利用できないファイルが添付されている場合は、添付ファイルを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

◆テンプレートの詳細情報を変更する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは変更できません。

1 (メール)▶8

2 テンプレートにカーソルを合わせてMENU▶4 2

以降の操作→P168「テンプレートを作成して登録する」操作2以降

- 詳細情報の表示中に(m)を押しても、詳細情報を変更できます。

◆テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

〈例〉1件削除する

1 (メール)▶8

2 削除するテンプレートにカーソルを合わせてMENU▶2 1

複数削除する：MENU▶2 2▶テンプレートを選択▶(m)

全件削除する：MENU▶2 3▶認証操作

3 「はい」

添付ファイル（送信）

ファイルを添付する

iモードメールにファイルを添付して送信できます。

- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定したファイルを除く）、FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可のファイルは添付できません。
- 添付できるファイルの種類は次のとおりです。

ファイルの種類	添付の条件
画像※1	• JPEG形式、GIF形式の画像、GIFアニメーションは添付可（パラパラマンガは添付不可）
動画／iモーション、音声※2	• MP4形式の動画／iモーションのみ添付可（ASF形式や部分的に取得した動画／iモーションは添付不可） • 再生制限が設定されている動画／iモーションは添付不可※3
メロディ	• SMF形式、MFi形式のメロディのみ添付可
スケジュールデータ	―
ブックマークデータ	―
電話帳データ	―

※1 2Mバイト対応機種以外のiモード端末に10000バイトより大きいJPEG形式の画像を送信した場合は、iショットセンターで受信する端末に適したサイズに変換されます。movaサービスのiモード端末へはJPEG形式の画像を1枚のみ送信できます。なお、受信側の端末には画像閲覧用URLが付与され、そのURLを選択することで画像を取得できます。

※2 映像のある動画／iモーションは、受信側の端末や機器によっては連続静止画に変換されて表示される場合があります。2Mバイト対応機種以外のiモード端末に送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。→P133
受信側が2Mバイト対応機種以外のiモード端末の場合、動画／iモーションはiモーションメールセンターに保存され、iモーション閲覧用URLが記載されたiモードメールを受信します。
サウンドレコーダーやボイス録音で録音した音声は、音声のみの動画／iモーションとして添付されます。なお、movaサービスのiモード端末では受信できません。

※3 再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルを選択

メール作成画面の添付ファイル欄に選択したファイルが表示されます。

画像（「1イメージ」）を選択したとき

- 画像サイズがQVGA（240×320、320×240）より大きいJPEG形式の画像の場合は、QVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。
- 位置情報付きの画像の場合は、位置情報URLを本文に貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、画像のみが添付されます。
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、静止画を撮影して添付できます。

動画／iモーション（「2iモーション」）を選択したとき

- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、動画を撮影して添付できます。

「3メロディ」を選択したとき

- お買い上げ時は、「メール添付メロディ」フォルダにメロディが保存されています。→P300

音声（「7ボイス録音」）を選択したとき

- 音声を録音して添付できます。
音声の録音方法→P244「音声を録音する」操作2～5

2 メールの編集▶(m)

✔お知らせ

- 受信側の端末が対応していない添付ファイルは、iモードセンターで削除されたり、正しく表示や再生がされなかったりします。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。

◆添付ファイルを変更／解除する

〈例〉添付ファイルを解除する

1 メール作成画面で解除する添付ファイル欄にカーソルを合わせる

2 (✉)▶「はい」

変更する：(i)▶ファイルの添付をやり直す→P169

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

◆ｉモードメールを保存する

作成中のｉモードメールを、送信せずに保存します。
- 最大保存件数→P334

1 メール作成画面でMENU▶3

ｉモードメールが未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

✔お知らせ
- 保存領域の空きが足りないときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、未送信メールから不要なメールを削除してから保存してください。

◆電波の届く所になったらメールを自動送信する〈圏内自動送信〉

圏外で作成したｉモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定できます。
- 最大5件設定できます。

1 メール作成画面でMENU▶2
- ディスプレイ上部にが表示されます。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

❖電波の届く所になると

自動送信されます。自動送信中はが点滅します。送信が正常に終了すると、ｉモードメールは送信メールのフォルダに保存され、が消えます。
- 自動送信を中断したときや失敗したときはがに変わって点滅します。ｉモードメールは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに残ります。未送信メール一覧で自動送信に失敗したｉモードメールにカーソルを合わせてMENU 5 2を押すと、未送信理由が表示されます。
- 「未送信BOX」フォルダに保存されたすべての圏内自動送信失敗メールが編集、解除、削除、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動、FOMAカードの差し替えなどによってなくなると、は消えます。

✔お知らせ
- 圏外のため失敗した場合は最大2回再送されます。
- メール作成中や署名編集中は自動送信されません。

❖圏内自動送信の設定を解除する

1 ✉▶4▶フォルダを選択▶解除するｉモードメールにカーソルを合わせて📖▶「はい」

✔お知らせ
- 次の場合も圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 「未送信BOX」フォルダに保存された圏内自動送信メールを選択して、メール作成画面になった場合
  - 「未送信BOX」フォルダに保存された圏内自動送信メールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で接続先番号または接続先アドレスを変更した場合

◆送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

送信したｉモードメールやSMS、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールやSMSを編集、送信できます。

1 ✉▶4または5▶フォルダを選択
- SMSはが表示されます。

2 編集するメールを選択

送信メールを再編集する：メールにカーソルを合わせて📖

3 メールを編集▶📖

クイックメール

すばやくメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを送信できます。
- 電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、ｉモードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信する

1 メモリ番号（2 3）▶✉

入力したメモリ番号の電話帳データに登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。
ｉモードメールの作成・送信方法→P164

SMSを作成する：メモリ番号▶✉（1秒以上）
入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。
SMSの作成・送信方法→P193

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

- 最大保存件数→P334

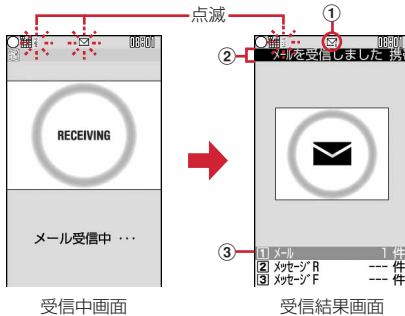
1 ｉモードメールを受信

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。

メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

受信したｉモードメールは受信メールのフォルダに保存されます。

- メール受信中に◉：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　　受信結果画面

① **マーク**
　：未読のｉモードメールあり
　：未読のｉモードメールとSMSあり

② **受信結果テロップ**

③ **受信したｉモードメールの件数**

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

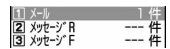
受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P174
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに発信元に返信される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから上書きされます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - 防犯ブザー動作中（位置提供中、音声発信中）
  - ちょこっと通知起動中（位置提供中）
  - はなれたよアラーム動作中（位置提供中）
  - 電源OFF通知中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき
  - 赤外線通信中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P181）、未読メールの内容表示（→P177）、不要メールの削除（→P182）、保護解除（→P182）などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。
- ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。

◆新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面で 1

- 2 や 3 を押すとメッセージR/Fを表示できます。

2 フォルダを選択▶メールを選択

- メロディが添付されている場合の再生について→P189

受信メール詳細画面の見かた→P178

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。

❖ ｉモードセンターにメールが届いたときは

ディスプレイに「センターに✉あり」と表示されます。

- ｉモードメールがｉモードセンターに保管されても着信音やバイブレータなどは動作しません。
- (MULTI)や□以外のキーを押すと「センターに✉あり」が消えます。

✔お知らせ

- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、開閉ロック中、はなれたよロック中、メールロック中はメッセージが表示されません。
- ｉモード問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、ｉモード問合せ設定で問合せ項目から「メール」を外してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

◆ メールを選択受信する

MENU163

1 ✉▶6 3

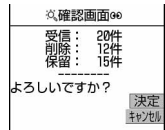
ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

✉ﾒｰﾙ選択受信✉
(1/5ﾍﾟｰｼﾞ)
選択受信説明
[1]保留
07/12/25 08:01
今日の宿題
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
ｻｲｽﾞ:11.5Kﾊﾞｲﾄ
[2]保留
07/12/24 20:04
ごあいさつ
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp

- メール末尾のマークの意味は次のとおりです。
  - 📷：画像の添付あり
  - ♪：メロディ添付あり
  - 🎥：ｉモーション添付あり
  - ▬：トルカ添付あり※1
  - 📄：上記以外のファイル添付あり※2
  - ※1 本FOMA端末で対応していないため、受信した際にｉモードセンターで削除されます。
  - ※2 本FOMA端末で対応していないファイルは、表示・保存できません。

2 メールごとに「保留」▶「受信」「削除」「保留」から選択

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは、「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合は、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」▶「決定」

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

MENU161
MENU26

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 ✉▶6 1

- ｉモード問合せ中はランプがレインボーで点灯します。ｉモード問合せ後、新着のｉモードメールがないときは、ランプが赤色で点滅します。ｉモード問合せに失敗したときは、ランプが黄色で点滅します。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P171

✔お知らせ

- ひかりキー長押し設定で「ｉモード問合せ」を設定した場合は、FOMA端末を閉じた状態で□を1秒以上押しても、ｉモード問合せができます。

iモードメール返信

iモードメールに返信する

受信したiモードメールやSMSに返信します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」の受信SMSには返信できません。

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶返信するメールにカーソルを合わせて📖

クイック返信本文選択画面が表示されます。

- 複数の宛先に送られたメールの場合は、宛先の選択画面が表示されます。「差出人」または「全員」を選択します。
- 次の場合は、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作3に進みます。
  - クイック返信設定が「OFF」の場合
  - クイック返信本文が1件も登録されていない場合
  - SMSに返信する場合

2 1

引用文字（>）と受信メール本文が入力されます。

クイック返信を使用する：2〜6
選択したクイック返信本文が引用した本文の前に挿入されます。

3 メールを編集▶📖

宛先欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、題名欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（iモードメールのみ）、本文欄には引用文字（>）と受信メール本文が入力されます。

- 受信メールの状態マークが✉から↩、または✉から↩に変わります。

✔お知らせ

- 返信する際にクイック返信を利用するかどうかと、クイック返信の本文を登録できます。→P188
- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P188
- メール返信引用設定の設定に関わらず、受信メールの一覧画面および詳細画面でMENUを押し「返信／転送」を選択すると、「返信」（受信メール本文の引用なし）または「引用返信」（受信メール本文の引用あり）を選択できます。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、iアプリが起動できるリンク項目は返信メールには貼付されず、文字としても引用されません。
- 本文中に貼付された画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。また、引用したときに本文中の画像が最大20種類で合計90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除した旨のメッセージが表示されます。●を押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールやSMSを他の宛先に転送します。iモードメールはiモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶転送するメールにカーソルを合わせて✉

題名欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（iモードメールのみ）、本文欄には受信メールの本文が入力されます。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。ただし、未取得、取得途中の選択受信添付ファイルは設定されません。

2 メールを編集▶📖

- 受信メールの状態マークが✉から➡、または✉から➡に変わります。

✔お知らせ

- 受信メール詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「返信／転送」→「転送」を選択します。
- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、iアプリが起動できるリンク項目があるときは転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信メールの添付ファイル（画像、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- 本文中に画像が貼付された受信メールを転送するときに、本文中の画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除した旨のメッセージが表示されます。●を押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。

選択受信添付ファイルを取得する

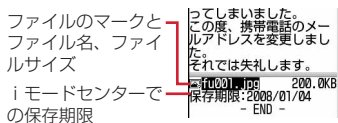
受信したｉモードメールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードします。

- メール本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- 未取得または取得途中の添付ファイルがあると、受信メール詳細画面にｉモードセンターでの保存期限が表示されます。

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶未取得のファイルが添付されたｉモードメールを選択

ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ

ｉモードセンターでの保存期限

ってしまいました。
この度、携帯電話のメールアドレスを変更しました。
それでは失礼します。
fu001.jpg　200.0KB
保存期限:2008/01/04
－ END －

マークの意味→P178「受信メール詳細画面」

2 ファイル名を選択

- ダウンロード中に ⓜ を押し「いいえ」を選択すると、ダウンロードを中止し、中止した部分まで保存されます。
- ダウンロード後の操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。→P174

✔お知らせ

- 選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのｉモードメールの添付ファイル削除（→P176）、未読メールの内容表示（→P177）、未読メールの既読への変更（→P181）、保護解除（→P182）、不要メールの削除（→P182）などを行ってからダウンロードし直してください。
- ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再開するかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると中断した部分まで自動で保存され、添付ファイルマークに✚が表示されます。

添付ファイルを操作する

ｉモードメールに添付されているファイルを表示・保存します。

- 次のファイルは本FOMA端末では表示・再生・保存できません。なお、転送のみ可能です。
  - 100Kバイトを超えるメロディ
  - 複数件の電話帳データ
  - 複数件のスケジュールデータ
  - 複数件のブックマークデータ
  - 本FOMA端末で対応していないファイル
- 最大保存件数→P334
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、データ（ファイル）を保存できません。保存する場合は、FOMA端末内のデータ（ファイル）を削除してください。

〈例〉画像が添付されているｉモードメール

ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P178「受信メール詳細画面」

◆画像を表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶画像が添付されているｉモードメールを選択

2 保存する画像のファイル名にカーソルを合わせて MENU▶6 3

以降の操作→P150「画像をダウンロードする」操作2以降

デコメール®の画像を保存する： MENU▶4 4▶画像を選択

以降の操作→P150「画像をダウンロードする」操作2以降

画像の表示／非表示を切り替える： ファイル名を選択

タイトルを表示する： 画像のファイル名にカーソルを合わせて MENU▶6 2

✔お知らせ

- デコメール®に添付された画像を表示するときは、画像のファイル名を選択します。
- 横幅が画面サイズより大きい画像は、縮小して表示されます。
- 保存した画像によっては、本FOMA端末で表示できない場合があります。
- 横縦（縦横）のサイズがGIF形式で480×640、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない画像もあります。
- 送信メールに添付した画像も同様に操作できます。

◆ i モーションを再生・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ i モーションが添付されている i モードメールを選択

2 保存する i モーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 3

以降の操作→P161「サイトから i モーションを取得する」操作3

再生する： i モーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 1

タイトルを確認する： i モーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 2

✔お知らせ

- 保存した i モーションによっては、本FOMA端末で再生できない場合があります。
- 送信メールに添付した動画／ i モーションも同様に操作できます。
- メールに添付された i モーションをパソコンで再生するには、対応ソフトが必要です。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ メロディを再生・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶メロディが添付されている i モードメールを選択

- 受信したメロディは、本文の後に添付されている場合と、本文中に貼付されている場合があります。

2 保存するメロディにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 2

以降の操作→P151「メロディをダウンロードする」操作3以降

再生する：メロディにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 1

タイトルを確認する：メロディにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 5

- 本文中に貼付されているメロディのときは、メロディにカーソルを合わせて MENU 6 4 を押します。

✔お知らせ

- 送信側の端末や受信したメロディによっては、正しく再生できない場合があります。
- 本文の文字が誤ってメロディのデータとして認識された場合は、メロディにカーソルを合わせて MENU →「添付ファイル」→「データ表示」を選択すると文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭行で ● を押すと、メロディの表示に戻ります。
- 送信メールに添付したメロディも同様に操作できます。

◆ 電話帳データを表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶電話帳データが添付されている i モードメールを選択

2 保存する電話帳データを選択

表示する：電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 1

ファイル名を確認する：電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 2

3 📖

保存した電話帳データは、FOMA端末電話帳に保存されます。

✔お知らせ

- 送信メールに添付した電話帳データも同様に操作できます。

◆スケジュールデータを表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶スケジュールデータが添付されているｉモードメールを選択

2 保存するスケジュールデータを選択

表示する：スケジュールデータにカーソルを合わせてMENU▶61

ファイル名を確認する：スケジュールデータにカーソルを合わせてMENU▶62

3 📖

保存したスケジュールデータは、スケジュール帳に保存されます。

✔お知らせ

- 送信メールに添付したスケジュールデータも同様に操作できます。

◆ブックマークデータを表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ブックマークデータが添付されているｉモードメールを選択

2 保存するブックマークデータを選択

表示する：ブックマークデータにカーソルを合わせてMENU▶61

ファイル名を確認する：ブックマークデータにカーソルを合わせてMENU▶62

3 タイトル名を入力▶📖

保存したブックマークデータは、Bookmarkの先頭行のフォルダに保存されます。

- 全角12（半角24）文字以内で入力します。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。

✔お知らせ

- 送信メールに添付したブックマークデータも同様に操作できます。

添付ファイル削除

添付ファイルを削除する

受信メールに添付されているファイルを削除します。

- 本文中に貼付される画像やメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ファイルが添付されているｉモードメールを選択

2 削除するファイルのファイル名にカーソルを合わせてMENU▶64

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、ファイル名にカーソルを合わせてMENU65を押します。

メロディまたは選択受信添付ファイルを削除する：メロディまたは選択受信添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせてMENU▶63

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、メロディまたは選択受信添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせてMENU64を押します。

3 「はい」

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

✔お知らせ

- 送信メールに添付したファイルも同様に操作できます。

受信／送信メールBOXのメールを表示する

MENU11
MENU14
MENU15

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- お買い上げ時には、「はじめまして」のメールが「受信BOX」フォルダに保存されています。このメールの受信に通信料はかかっていません。また、返信することはできません。
- 最大保存件数→P334

〈例〉受信メールを表示する

1 ▶1

送信メールフォルダ一覧を表示する：
▶5

未送信メールフォルダ一覧を表示する：
▶4

2 フォルダを選択

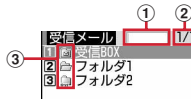
受信メールの一覧が表示されます。

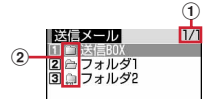
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、それに対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメールを表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて1を押します。

3 表示するメールを選択

- メールの便利な機能→P184

◆フォルダ一覧画面の見かた

❖受信メールフォルダ一覧画面

①保存領域の使用率
②ページ番号／総ページ数
③フォルダ
：メールなし
：未読メールなし
：未読メールなし、メールなし（シークレット属性ON）
：未読メールなし、メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
：未読メールあり
：未読メールあり（シークレット属性ON）
：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

❖送信／未送信メールフォルダ一覧画面

①ページ数／総ページ数
②フォルダ
：メールなし
：メールあり
：シークレット属性ON
：メール連動型ｉアプリ

◆メール一覧画面／詳細画面の見かた

❖受信メール一覧画面

①ページ番号／総ページ数
②状態マーク
：未読　：未読（返信不可）
：既読　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　：既読（転送済み）
：保護　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　：保護（転送済み）
※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。
③添付ファイル／SMS／通知／メール連動型ｉアプリ
：画像　：ｉモーション
：メロディ
：電話帳データ
：スケジュールデータ
：ブックマークデータ
：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数添付あり
：SMS
：送達通知、着信通知、伝言通知
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
：ｉアプリToあり
※ メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあるとが表示されます。
④発信元
電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

⑤受信日時
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

⑥題名
ｉモードメールによっては、表示されない場合があります。また、SMSの場合は本文の先頭が表示されます。

- 海外から送られてきたSMSは発信元の先頭に「＋」が表示されます。

❖送信／未送信メール一覧画面

①ページ番号／総ページ数

②状態マーク
表示なし：未保護
：保護
：圏内自動送信設定中
：圏内自動送信失敗
：保護＋圏内自動送信設定中
：保護＋圏内自動送信失敗

③添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク
→P177「受信メール一覧画面」
※ 送信メール一覧の場合、メール一覧表示設定が「1行表示」のときは、添付ファイルがあると日時の後ろにが表示されます。

④宛先
宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

⑤送信／保存日時
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

⑥題名
SMSの場合は本文の先頭が表示されます。

❖受信メール詳細画面

①宛先種別マーク
：宛先（、はｉモードメールのみ）
ｉモードメールでは発信元からどの宛先種別で送られてきたのかを確認できます。

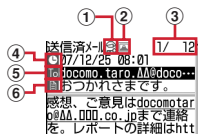
②状態／通知マーク
→P177「受信メール一覧画面」

③添付ファイルの種類／SMSマーク
添付ファイルの種類
：画像　：ｉモーション
：メロディ
：電話帳データ
：スケジュールデータ
：ブックマークデータ
：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数の添付ファイルあり
：ｉアプリ（ｉアプリTo）
：貼り付けデータ不正
※ 添付ファイルの状態によって、上記マークとともに次のマークが表示されます。
：著作権あり（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
／：データ異常／データ超過
：選択受信添付ファイル未取得
：選択受信添付ファイル取得途中
：選択受信添付ファイル取得不可
SMSマーク
：SMS

④メール番号／件数

⑤受信日時

⑥発信元／同報アドレスの宛先種別
：発信元　：発信元（返信不可）
：宛先（ｉモードメールのみ）
：宛先（返信不可）（ｉモードメールのみ）

⑦題名

❖送信メール詳細画面

①状態マーク
→P178「送信／未送信メール一覧画面」
②添付ファイル／SMSマーク
→P178「受信メール詳細画面」
③メール番号／件数
④送信日時
⑤宛先種別マーク
To Cc Bcc：宛先（Cc、Bccはｉモードメールのみ）
⑥題名

✔お知らせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- パソコンで装飾されたメールを受信した場合は、パソコン上と同じ動作にならないことがあります。
- 受信メールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P169）より大きい場合やファイルによっては、ｉモードセンターで削除され、受信できません。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが表示されます。
- メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。複数貼付されていると、貼付データは無効になります。このとき貼付マークには?が表示されます。
- 受信したSMSおよび送達通知、着信通知、伝言通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	題　名	発信元
SMS	受信SMS	電話番号
送達通知	SMS送達通知	SMS Center
着信通知	留守番　着信通知	NTT DOCOMO
伝言通知	留守番　テレビ電話	NTT DOCOMO

なお、送信したSMSの題名には「送信SMS」と表示されます。
※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、名前が発信元に表示されます。
※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

- 赤外線通信でコピーしたメールで、海外滞在時（GMT+09：00を除く）に送受信したｉモードメール、SMSは日時の後ろに🌐が表示される場合があります。

◆メールをお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）〉

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用して、ｉモードメールやSMSをネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）について→P121
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 1回の操作で最大10件保存できます。
- ｉモードメールにファイルが添付されている場合は、保存するときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く）は削除されません。
- 送達通知は保存できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。復元したメールは、次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターに保存されている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - 保護されているメールが最大保護件数に達している場合
- お預かりセンターに保存した履歴を確認できます。→P76

1 ✉▶1または4〜5▶フォルダを選択

2 MENU▶4 4▶保存するメールを選択
未送信メールを保存する：MENU▶4 2▶メールを選択

3 📖▶「はい」▶認証操作
- ◉：保存を中止

4 通信結果を確認する
- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆フォルダを作成／削除する

❖フォルダを作成する

- 受信メール内には「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メール内には「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大20個作成できます。
- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。

1 ✉▶1または4～5

2 MENU▶1

フォルダ設定を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶3

並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶7または8

3 各項目を設定▶📖

フォルダ名：全角8（半角16）文字以内で入力します。

シークレット属性：プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかどうかを設定します。

❖フォルダを削除する

- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- フォルダ内に保護されているメールがあるときは削除できません。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

1 ✉▶1または4～5▶削除するフォルダにカーソルを合わせてMENU▶2▶認証操作▶「はい」

◆メールの件数を確認する〈フォルダ内メール件数〉

受信メール、送信メール、未送信メールの未読、既読、保護の保存件数をフォルダごとに確認します。

1 ✉▶1または4～5▶件数を確認するフォルダにカーソルを合わせてMENU▶5

✔お知らせ

- メール一覧から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「メール件数確認」を選択します。

◆メールアドレスを表示する〈アドレス表示〉

- 未送信メール詳細画面からは確認できません。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択▶確認するメールを選択

2 MENU▶3 2

✔お知らせ

- メール詳細画面で確認する発信元または宛先を選択しても確認できます。
- 受信メール、送信メール、未送信メール一覧から操作する場合は、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせてMENUを押し「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールの場合、宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスが、受信メールの場合は自分以外の宛先（「TO：」「CC：」）が表示されます。
- メールテンプレート詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「アドレス表示」を選択します。

◆受信／送信／未送信メールをフォルダに移動する〈メール移動〉

〈例〉1件移動する

1 ✉▶1または4～5▶フォルダを選択

2 移動するメールにカーソルを合わせてMENU▶4 1 1

複数移動する：MENU▶4 1 2▶メールを選択▶📖

フォルダ内を全件移動する：MENU▶4 1 3

3 ●▶移動先フォルダを選択▶「はい」

◆メールを検索する

電話帳に登録している受信メールの発信元や送信メールの宛先、送受信した日でメールを検索できます。

〈例〉電話帳で検索する

1 ✉▶1または5

2 MENU▶9 1▶電話帳検索

- 電話帳データや日付にカーソルを合わせると、該当するメールが表示されます。
- 送信メールを電話帳で検索する場合、同報メールも検索の対象となります（画面には1件目の宛先が表示されます）。

送受信日で検索する：MENU▶9 2▶日付を検索

3 メール検索する電話帳データを選択

全メールから検索されたメールが一覧で表示されます。

- 検索結果画面からはメール一覧と同様の操作ができます。
- 検索を解除するには、MENU 0を押します。

送受信日で検索する：メール検索する日付を選択

- 📖を押して日付を入力しても検索できます。

✔お知らせ

- 受信メール、送信メールの一覧から操作する場合は、MENUを押し「メール検索」→「電話帳でメール検索」または「カレンダーでメール検索」を選択します。この場合は、フォルダ内のメールだけが検索されます。

◆受信／送信メールを並べ替える〈ソート〉

受信メールと送信メールのメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択

2 MENU▶7 4

送信メールを並べ替える：MENU▶5

3 1〜4

メールが一時的に並び替わります。

✔お知らせ

- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- SMSが含まれていると、一覧画面ではSMSはメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

◆受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

〈例〉1件未読から既読にする

1 ✉▶1▶フォルダを選択

2 変更する受信メールにカーソルを合わせてMENU▶5 1

1件既読から未読にする：メールにカーソルを合わせてMENU▶5 2

複数未読から既読にする：MENU▶5 3▶メールを選択▶📖▶「はい」

複数既読から未読にする：MENU▶5 4▶メールを選択▶📖▶「はい」

フォルダ内を全件既読にする：MENU▶5 5▶「はい」

フォルダ内を全件未読にする：MENU▶5 6▶「はい」

◆受信／送信メールを保護する〈メール保護〉

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P334
- 未読メールは保護できません。

〈例〉1件保護する

1 ✉▶1または4〜5▶フォルダを選択

2 保護するメールにカーソルを合わせて MENU▶31

- 状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
  送信メール：
  未送信メール：

複数保護する：
① MENU▶32
② メールを選択▶📖
- MENUを押すたびに全選択／全解除を一括で設定できます。

フォルダ内を全件保護する：MENU▶33

1件解除する：メールにカーソルを合わせて MENU▶34

複数解除する：MENU▶35▶メールを選択▶📖

フォルダ内を全件解除する：MENU▶36

✔お知らせ

- メール詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「保護」または「保護解除」を選択します。
- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

◆メールを削除する〈メール削除〉

❖受信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	○	×	×
	• 全メール（未読を含む）を削除		
フォルダ内-既読	○	○	×
	• フォルダ内の既読メールを削除		
フォルダ内-全件	○	○	×
	• フォルダ内の全メール（未読を含む）を削除		
フォルダ内-7日経過-14日経過-30日経過	○	○	×
	• フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読を含む）を削除		
1件削除	×	○	○
	• 選択したメール1件を削除		
複数削除	×	○	×
	• 選択した複数メールを削除		

1 ✉▶1

- メール全件を削除するときは、MENU46を押し、認証操作を行い、操作4に進みます。

2 フォルダを選択▶MENU▶2

- 受信メールを1件だけ削除するときは、削除する受信メールにカーソルを合わせて MENU2を押します。

3 1〜7

複数削除する：2▶メールを選択▶📖

フォルダ内を全件削除する：4▶認証操作

4 「はい」

❖送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	○	×	×
	• 全メールを削除		
フォルダ内-全件／全件削除	○	○	×
	• フォルダ内の全メールを削除		
1件削除	×	○	○※
	• 選択したメール1件を削除		
複数削除	×	○	×
	• 選択した複数メールを削除		

※ 送信メールのみ削除できます。

〈例〉1件削除する

1 ✉▶4または5

2 フォルダを選択▶削除するメールにカーソルを合わせてMENU▶2 1

複数削除する：フォルダを選択▶MENU▶2 2▶メールを選択▶📖

フォルダ内を全件削除する：フォルダを選択▶MENU▶2 3▶認証操作

全件削除する：MENU▶4 2▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

• フォルダ一覧から操作する場合は、MENUを押し「メール削除」を選択します。
• メール詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「削除」を選択します。

メール送受信履歴

メールの履歴を利用する

送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。これらのメールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

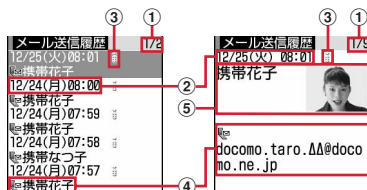
• 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
• 同じ宛先にメールを送信した場合は、メール送信履歴には最新の1件のみが記録されます。
• 返信不可のｉモードメールやSMSの受信履歴は記録されません。

◆メール送受信履歴を表示する

MENU471
MENU472

〈例〉メール送信履歴を表示する

1 ◉▶📖

• 表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。

メール送信履歴一覧　　メール送信履歴詳細

①ページ番号／総ページ数（一覧画面）、履歴番号／件数（詳細画面）
②送受信日時
③履歴の種別
　ｉ：ｉモードメール
　SMS：SMS
④電話帳のメールアドレスアイコン（ｉモードメール）／電話番号アイコン（SMS）（電話帳に登録している場合）、メールアドレス（ｉモードメール）／電話番号（SMS）
　• メール送受信履歴一覧の場合は、メールアドレスや電話番号を電話帳に登録していると、電話帳に登録している名前が表示されます。
⑤名前、画像
　• メールアドレスや電話番号を電話帳に登録していると、電話帳に登録している名前や画像が表示されます。

メール受信履歴を表示する：◉▶📖

❖メール送受信履歴を利用する

iモードメールを作成する：宛先にする履歴にカーソルを合わせて✉▶メールを編集▶📖

- SMSの履歴の場合は、電話帳にメールアドレスが登録されていないと電話番号を宛先にしたメール作成画面が、登録されているとメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

SMSを作成する：履歴にカーソルを合わせて✉（1秒以上）▶SMSを編集▶📖

- iモードメールの履歴の場合は、電話帳に電話番号が登録されていないとSMSは作成できません。

電話帳に登録する：

①電話帳に登録する履歴にカーソルを合わせて MENU▶4または5▶1または2

- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

②名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P67、68

電話をかける：📞または📺

リダイヤル／着信履歴を表示する：📖

❖メール送受信履歴詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

1 メール送受信履歴詳細画面で MENU▶9▶1〜3

各設定項目→P71「詳細画面の表示を切り替える」

◆メール送受信履歴を削除する

〈例〉1件削除する

1 メール送受信履歴一覧で削除する履歴にカーソルを合わせて MENU▶6 1

複数削除する：メール送受信履歴一覧で MENU▶6 2▶メール送受信履歴を選択▶📖

全件削除する：メール送受信履歴一覧で MENU▶6 3▶認証操作

2「はい」

メールの便利な機能

◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 メール詳細画面で電話番号、メールアドレス、URL情報にカーソルを合わせる

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

以降の操作→P152「Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う」操作2

✔お知らせ

- パソコンなどから受信したメールは、本機能を利用できない場合があります。
- お預かりセンターに保存しているメールは、本機能を利用できません。

◆本文などをコピーする

iモードメール、SMS中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択▶コピーするメールを選択▶MENU▶2

- 選択項目コピーをする場合は、コピーする項目にカーソルを合わせて MENU 2 を押します。

2 コピー方法を選択

本文コピー：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。

コピー方法→P273「文字をコピー／切り取りする」操作2以降

題名コピー：題名をコピーします。

選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選択してコピーします。

貼り付け方法→P273

✔お知らせ

- メールテンプレート詳細画面やFOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「コピー」または「移動／コピー」を選択します。
- FOMAカード内のSMSの場合は、本文、宛先、発信元をコピーできます。
- デコメール®の場合は、装飾はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- Date To形式の本文は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。→P262

◆メールから電話をかける〈電話発信〉

受信メールの発信元や送信／未送信メールの宛先のメールアドレスを電話番号とともに電話帳に登録してあれば（SMSやメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、登録なしで）電話をかけられます。

〈例〉電話をかける

1 **✉▶1または4～5▶フォルダを選択▶電話をかけるメールにカーソルを合わせてMENU▶6**

- 宛先が複数ある場合は、電話をかける相手のメールアドレスを選択します。
- 受信／送信メールの詳細画面から操作する場合は発信元または宛先にカーソルを合わせてMENU 7を押します。

2 **発信条件を設定▶MENU**

条件を設定して電話をかける→P52

◆電話番号やメールアドレス、URLを電話帳に登録する

ｉモードメール、SMSの本文中の電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。

〈例〉電話番号を新規登録する

1 **✉▶1または5▶フォルダを選択▶登録するメールを選択**

2 **登録する電話番号にカーソルを合わせてMENU▶41▶1または2**

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ登録できます。

登録済みの電話帳データに追加する：**登録する電話番号にカーソルを合わせてMENU▶42▶1または2▶更新登録する電話帳データを選択**

3 **名前やメールアドレスなどを登録**

電話帳登録→P67、68

✔お知らせ

- FOMAカードのSMS詳細画面からも同様に操作できます。
- デコメール®からは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

◆URLをブックマークに登録する

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

1 **✉▶1または5▶フォルダを選択▶登録するメールを選択▶URLにカーソルを合わせてMENU▶43▶登録先フォルダを選択**

以降の操作→P147「ブックマークに登録する」操作2

✔お知らせ

- FOMAカードのSMS詳細画面からも同様に操作できます。
- デコメール®からは登録できない場合があります。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

◆メールを自動的にフォルダに振り分ける〈メール振り分け設定〉

MENU193

振り分け条件を設定し、受信または送信したｉモードメールやSMSを自動的にフォルダに振り分けます。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール連動型ｉアプリの振り分け条件が優先されます。

❖振り分け条件を設定する

- 振り分け条件を設定したり実行したりするには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。→P187
- 送受信済みのメールは振り分けられません。

1 **✉▶93▶1または2**

受信振り分け一覧 1/1
振り分け：ON
01 電話帳登録なし
02 docomo.taro.ΔΔ@do…
03 連絡

自動振り分け設定の「ON／OFF」
登録済みの振り分け条件（優先順位順）

- マークの意味は次のとおりです。
  - To：送信メールアドレス
  - From：受信メールアドレス
  - No.：メモリ番号　電話帳登録なし
  - 題名　Gr.：グループ
  - ：条件なし

2 MENU ▶ 1 ▶ 振り分け条件を設定

メールアドレスを指定する：
指定したメールアドレスのメールを振り分けます。
@以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。半角50文字を超えるアドレスは指定できません。

- FOMA端末とFOMAカードの電話帳に同じメールアドレスを登録して、指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 指定するメールアドレスがｉモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- メール送受信履歴から選択する場合
  ① 1 1 または 1 2 ▶ **指定するメール送受信履歴を選択**
- 電話帳から選択する場合
  ① 1 3 ▶ **指定する電話帳データを選択**
- 直接入力する場合
  ① 1 4 ▶ **メールアドレスを入力** ▶ (田)

題名を指定する：
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角15（半角30）文字以内）。
SMSは題名では振り分けられません。
① 2 ▶ **題名を入力** ▶ (田)

メモリ番号を指定する：
指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
① 3 ▶ **メモリ番号を入力** ▶ (田) ▶ (●)

グループを指定する：
指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
① 4 ▶ 1 または 2 ▶ **グループを選択**

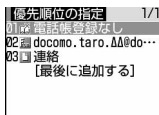
電話帳登録なしを指定する：
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
① 5

条件なしを指定する：
条件を設定せずにすべてのメールを操作3で指定するフォルダに振り分けます。
① 6

3 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

4 優先順位を選択

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「最後に追加する」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「最後に追加する」は、「最後に移動する」と表示されます。

✔お知らせ

- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。

❖振り分け条件を確認・変更・削除する

〈例〉振り分け条件を確認する

1 ✉▶9 3▶1または2

2 確認する振り分け条件を選択

振り分け条件を変更する：
①振り分け条件にカーソルを合わせて MENU▶2
振り分け条件の指定の操作→P186「振り分け条件を設定する」操作2～4
②「変更する」

優先順位を変更する：振り分け条件にカーソルを合わせてMENU▶5▶移動する位置を選択
- 一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

削除する：
①振り分け条件にカーソルを合わせて MENU▶3または4
- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

②「はい」

❖自動的に振り分けるかどうかを設定する

- 振り分けを開始するには、「ON」に設定する他に、振り分け条件を設定する必要があります。

1 ✉▶9 3▶1または2

2 MENU▶6▶1または2

◆メールの署名を設定する〈署名設定〉

MENU194

❖署名を自動挿入するかどうかを設定する

新規、返信、転送メール作成時に署名を自動挿入するかどうかを設定します。

1 ✉▶9 4 1▶1または2

❖署名を登録する

1 ✉▶9 4 2▶●▶署名を入力▶📖

- 全角5000（半角10000）文字以内で入力します。

✔お知らせ

- 既にメール本文に装飾や文字などが入力されている場合やｉモードメールに受信メール本文を引用して返信、転送する場合、署名に設定した背景色は反映されません。
- 署名もメール本文の文字数に含まれます。
- デコメ絵文字®（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 次の場合は、SMSに署名を挿入できません。
  - SMS設定で送信文字種が「英語」の場合
  - 送信文字種が「英語」の受信SMSに返信、転送する場合
  - 装飾（デコレーション）した署名の場合
  - 署名を挿入すると本文の文字数が70文字を超える場合

◆ｉモード問合せの内容を設定する〈ｉモード問合せ設定〉

MENU164
MENU2732

ｉモード問合せをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

1 ✉▶6 4▶問合せ項目を選択▶📖

- いずれかを選択しないと登録できません。

◆メールを選択して受信できるようにする〈メール選択受信設定〉

MENU1972

1 ✉▶9 7 2▶1または2

- 「ON」にすると、メールを自動的に受信できない旨のメッセージが表示されます。●を押してください。

✔お知らせ

- メール選択受信設定が「ON」の場合、チャットメールは利用できません。

◆メールグループに登録する〈メールグループ〉

MENU196

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 ✉▶9 6

2 📖

メールを作成する：✉
以降の操作→P164

メールグループ名を編集する：メールグループにカーソルを合わせてMENU▶2

メールグループをコピーする：メールグループにカーソルを合わせてMENU▶3

メールグループを削除する：メールグループにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

メールグループ内の登録済みのメールアドレスを操作する：メールグループを選択▶操作5に進む

3 メールグループ名を入力▶📖

- 全角8（半角16）文字以内で入力します。
- 続けて別のメールグループを登録する場合は、📖を押します。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択

5 ✉▶各項目を設定

宛先種別：「TO」「CC」「BCC」を設定します。
アドレス：登録するメールアドレスを入力します。

- 半角50文字以内で入力します。
- メール送受信履歴、電話帳から入力するときはMENUを押して1～3を押し、宛先を選択します。

登録済みのメールアドレスを編集する：メールアドレス（または名前）にカーソルを合わせてMENU▶1▶編集

登録済みのメールアドレスを1件削除する：メールアドレス（または名前）にカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」▶操作7に進む

登録済みのメールアドレスの詳細を表示する：MENU▶3▶確認が終わったら⦿

6 📖

- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作5から繰り返します。

7 📖

✔お知らせ

- 宛先種別がTOのメールアドレスがないと、メールを送信できません。

◆返信時に本文を引用するかどうかを設定する〈メール返信引用設定〉

MENU1951

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 ✉▶9 5 1▶各項目を設定▶📖

引用：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
引用文字：全角1（半角2）文字以内で入力します。

- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆クイック返信を設定する〈クイック返信設定〉

MENU1952

ｉモードメールに返信する際にクイック返信を使用するかどうかを設定します。

1 ✉▶9 5 2▶1または2

◆クイック返信の本文を登録する〈クイック返信本文登録〉

MENU1953

- 最大5件登録できます。

1 ✉▶9 5 3

2 本文を選択▶本文を入力▶📖▶「はい」

- 全角20（半角40）文字以内で入力します。

本文を参照する：本文にカーソルを合わせて📖

本文を削除する：本文にカーソルを合わせてMENU▶1▶「はい」

本文を全件リセットする：MENU▶2▶認証操作▶「はい」

新たに本文を登録する：「〈新しい返信本文〉」▶本文を入力▶📖

◆メール一覧の表示形式を設定する〈メール一覧表示設定〉

MENU1975

受信メール、送信メールのメール一覧の表示形式を1行表示または2行表示に設定します。

1行表示

2行表示

- 1行表示に設定すると、受信メールの場合はカーソル位置のメールの発信元が、送信メールの場合はカーソル位置のメールの宛先（1件目）が、画面下部に表示されます。
- 未送信メール、FOMAカード内のSMS一覧の表示形式は、本設定に関わらず2行表示です。

1 ✉▶9 7 5▶1または2

◆添付ファイルを自動受信するかどうかを設定する〈メール受信添付ファイル設定〉

MENU1973

ｉモードメールに添付されたファイルを同時に受信するかどうかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定します。

- 自動受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P174

1 ✉▶9 7 3▶受信するファイルの項目を選択▶📖

- 「ツールデータ」とは、電話帳、ブックマーク、スケジュールのデータです。
- 「その他」とは、本FOMA端末で表示できないファイルです。

✔お知らせ

- 本文中に貼付された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

◆メロディを自動再生するかどうかを設定する〈添付ファイル自動再生設定〉

MENU1974
MENU2733

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 ✉▶9 7 4▶1または2

✔お知らせ

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、音量設定のメロディ音量で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。再生を途中で止めるときはCLRを押します。
- 「自動再生する」に設定しても、メッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

◆表示するメールの種別を選ぶ〈表示種別〉

受信／送信メール一覧で指定した種別のメールだけを一時的に表示します。表示を終了すると、「すべて表示」に戻ります。

- 未送信メール、FOMAカードのSMSの表示種別は選択できません。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択▶MENU▶7 2▶1または2

選択した表示種別のメールが表示されます。

- 受信メールの場合は「既読のみ表示」「保護のみ表示」も選択できます。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

◆メールの文字の大きさを変更する〈文字サイズ〉

メールを表示するときの文字サイズを「大」（24ドット）、「中（標準）」（20ドット）、「小」（16ドット）の3種類から変更します。

- お買い上げ時は「中（標準）」に設定されています。
- メール作成時や編集時、デコメ絵文字®（絵文字D）の文字サイズは変更されません。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択▶メールを選択▶MENU▶3 1▶1～3

✔お知らせ

- メールテンプレート詳細画面やFOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「文字サイズ」を選択します。
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。
- 本機能の設定は文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。

◆操作中のメール受信通知を設定する〈受信・自動送信表示設定〉

MENU1971

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面や圏内自動送信中の画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 ✉▶9 7 1▶1～3

操作優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示しません。
通知優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示します。
開：操作/閉：通知 優先：FOMA端末を開いているときは操作優先、閉じているときは通知優先になります。

✔お知らせ

- 「操作優先」に設定していても、メニューを表示しているときは、受信中画面や受信結果画面が表示され、着信音とランプも動作します。また、圏内自動送信中画面も表示されます。
- 「通知優先」に設定して、音声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中などにｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信しても、受信中画面および受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。また、圏内自動送信中画面も表示されません。

チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

MENU13

1つの画面で複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。

- メール選択受信設定が「ON」の場合、またはメールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、受信側の端末は題名に「チャットメール」と記載されたメールを受信します。
- 題名に「チャットメール」が含まれたメールは、チャットメールとして受信できます。

❖チャットメール画面の見かた

チャットメール画面

①送受信履歴
最新の履歴から最大100件表示されます。
- ガイド表示領域に▲や▼が表示されているときは、Ⓒを押すとスクロールできます。📖や✉を押すと、画面単位でスクロールできます。また、MENU 5 1を押すと先頭行に移動し、MENU 5 2を押すと最終行に移動して表示されます。
- 左側に発信者のニックネームが表示されます。

②詳細表示欄
最新のチャットメールの詳細を表示します。Ⓒを押すと、送受信履歴のチャットメールの詳細を表示できます。チャットメールの表示可能文字数は全角250（半角500）文字以内です。
- 詳細表示欄に表示しきれない場合は、欄下の左右に◀▶が表示されます。Ⓒを押すと、欄内のページを切り替えられます。
- 左側に発信者のニックネームと送受信日時（当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付）が表示されます。チャットメンバーに未登録の同報アドレスが含まれるメールの場合は、[アイコン]が表示されます。赤外線通信でコピーしたメールで、海外滞在時（GMT+09：00を除く）に送受信した場合は[アイコン]が表示される場合があります。

③本文欄

◆チャットメンバーを登録・編集する〈チャットメンバー設定〉

- 最大5件登録できます。

1 ✉▶3▶「はい」

- メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、MENU 7を押します。

2 ✉

1件削除する：メンバーにカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」▶操作4に進む

詳細を表示する：MENU▶3▶確認▶●

メンバー全件をメールグループと入れ替える：MENU▶5▶メールグループを選択▶「はい」▶操作4に進む

3 各項目を設定▶📖

アドレス：半角50文字以内で入力します。
- 登録するメンバーがシークレットコードを登録している場合は、シークレットコードを登録してある電話帳からの検索、または相手の携帯電話番号のみを直接入力してメンバーに登録します。
- メール送受信履歴、電話帳から入力するときはMENUを押して1～3を押し、宛先を選択します。

ニックネーム：全角4（半角8）文字以内で入力します。
- アドレス欄のメールアドレスと電話帳に登録したメールアドレスが一致すると、電話帳に登録した名前（先頭から全角4（半角8）文字まで）が表示されます。
- 入力しなかった場合、チャットメール画面では、メールアドレスの@マークより前の部分の先頭から8文字が表示されます。

文字色：ニックネームの色を選択します。

4 📖

- メンバーを追加登録する場合は✉を押し、操作3を繰り返します。

◆個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 チャットメール画面でMENU▶8▶各項目を設定▶📖

ニックネーム：全角4（半角8）文字以内で入力します。
- 入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

文字色：ニックネームの色を選択します。

◆チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、メンバー全員が選択された状態になります。
- 送信したチャットメールは、送信メールのフォルダに保存されます。

1 ✉▶3

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文欄を選択▶本文を入力

- 全角250（半角500）文字以内で入力します。

チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付ける：コピーするチャットメールにカーソルを合わせてMENU▶6

文字のコピー／貼り付け方法→P273

送信するメンバーを選択する：MENU▶3▶メンバーを選択▶📖

3 📖

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールがチャットメール画面に表示されます。

受信したメールの同報アドレス全員に返信する：MENU▶2 2

✔お知らせ

- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文欄に表示されます。再送信するときは、チャットメール画面から送信してください。

◆チャットメールを受信する〈チャットメール受信〉

❖チャットメールを起動していないとき

チャットメールまたは題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、受信メールのフォルダに保存されます。

- チャットメンバーに登録している相手から受信した場合は、チャットメールを起動すると自動的にチャットメール画面に読み込まれます。
- チャットメンバーに登録していない相手から受信した場合は、次の操作に従ってチャットメンバーに登録し、チャットメール画面に読み込んでください。

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶読み込む受信メールにカーソルを合わせてMENU▶7 5▶「はい」▶登録するメンバーを選択▶編集

チャットメンバー設定方法→P191「チャットメンバーを登録・編集する」操作3以降

2 「はい」

✔お知らせ

- 受信メール詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「チャットメール表示」を選択します。また、題名に「チャットメール」が含まれた送信メールも同様に操作できます。
- デコメール®やパソコンなどから受信したHTMLメールは、チャットメール画面に読み込めません。

❖チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手からチャットメール、または題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に読み込まれます。

- FOMA端末を開いているときは、チャットメールやメール、メッセージR/Fを受信しても、着信音やバイブレータなどは動作しません。
- チャットメンバーに登録していない相手から受信した場合は、受信メールのフォルダに保存されます。
  「チャットメールを起動していないとき」の操作に従って、チャットメール画面に読み込んでください。→P192

❖ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

圏外にいた間や電源を切っていた間などにチャットメールが届いていないかを問い合わせます。このとき、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていると同時に受信します。

1 チャットメール画面でMENU▶1

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

❖同報アドレスを表示する

受信したチャットメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で、同報アドレスを確認するチャットメールにカーソルを合わせてMENU▶4

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。◉を押すとメールアドレスを表示できます。

未登録の同報者をチャットメンバーとして登録する：同報アドレス一覧画面で登録する同報アドレスにカーソルを合わせて📖
以降の操作→P191「チャットメンバーを登録・編集する」操作3〜4

同報アドレスをコピーする：同報アドレス一覧画面でコピーする同報アドレスにカーソルを合わせてMENU▶2

❖チャットメールの履歴をすべて削除する

- 受信メール、送信メールのフォルダ内の保護されていないチャットメールが削除されます。

1 チャットメール画面でMENU▶9▶「はい」

✔お知らせ

- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。
- チャットメール画面では、本文中に情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）が含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、ｉアプリToは使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メールのフォルダからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 受信メールのフォルダからチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。

・チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信メールのフォルダでは既読になります。

◆チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で（☎）または（CLR）▶「はい」または「いいえ」

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。その場合は、受信メール、送信メールのフォルダ内の保護されていないチャットメールが削除されます。
- 「いいえ」を選択すると、次回のチャットメール起動時に前回のチャットメールが表示されます。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

MENU171

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 最大保存件数→P334
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P177

〈例〉宛先を直接入力して作成・送信する

1 （✉）▶（7）（1）▶宛先欄を選択

2 「直接入力」▶宛先を入力

半角数字で20文字以内で入力します。

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（（0）を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

メール送受信履歴から入力する：**「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶SMSを送信するメール送受信履歴を選択**

電話帳から入力する：**「電話帳参照」▶電話帳検索▶SMSを送信する電話帳データを選択**

3 本文欄を選択▶本文を入力

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、70文字以内で入力します。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号で160文字以内で入力します（｀。「」、・゛゜を除く）。
- （#）を押すと改行できます（全角／半角数字入力モード時を除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末によっては空白に置き換わります。

署名を挿入する：（MENU）▶（4）（5）

4 （📖）

- 送信せずに保存する場合は、（MENU）（2）を押すと未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了すると、SMSが送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから上書きされます。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと❤は♥に、☎以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（|＾{}[]～￥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（｀）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 送信に失敗したときは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知設定が「通知しない」の場合でも、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

❖送信・保存したSMSを編集・送信する

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集、送信できます。→P170

SMS受信

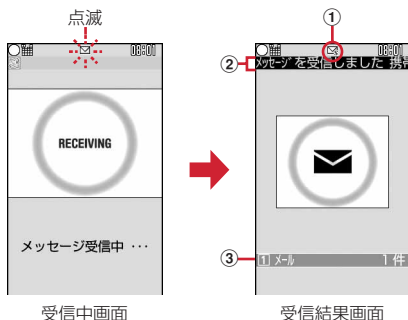
SMSを受信したときは

- 最大保存件数→P334

1 SMSを受信

✉が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したSMSは受信メールのフォルダに保存されます。

- SMS受信中に[終話]：受信を中止
受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① マーク
✉: 未読のSMSあり
✉: 未読のｉモードメールとSMSあり
② 受信結果テロップ
③ 受信したSMSの件数

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

受信したSMSをすぐに読む：受信結果画面で[1]▶フォルダを選択▶表示するSMSを選択

- 受信したSMSに返信したり、転送したりできます。→P173

受信に失敗したとき：
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから上書きされます。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のときに、電話番号やURLが記載されているSMSを受信し、表示しようとすると、注意する旨のメッセージが表示されます。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には✉や✉が表示されます。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P181）、未読メールの内容表示（→P177）、不要メールの削除（→P182）、保護解除（→P182）などを行う必要があります。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信メールのフォルダに空きがあっても、SMSを受信できない場合があります。このとき、画面には✉や✉が表示されます。FOMA端末に移動するか（→P197）、FOMAカードのSMSを削除してください。→P197
- FOMAカードへの保存を指定されているSMSを受信すると、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内に保存されているSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから、SMS問合せを行ってください。

SMS問合せ

SMSがあるかどうかを問い合わせる

MENU162

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1

✔お知らせ

- 受信するまでに時間がかかる場合があります。
- 「＊143＃」をダイヤルしてもSMS問合せができます。

SMS設定

SMSの設定を行う

MENU174

SMSC、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。

1 ✉▶7 4▶各項目を設定▶📖

送信文字種：送信するメッセージを日本語にするか、英語にするかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。
送達通知：SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
有効期間：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。
- 「0日」を設定すると一定時間再送が行われた後、SMSセンターから削除されます。

SMSC：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
アドレス：SMSC欄を「その他」に設定したときは、半角20文字以内でメールアドレスを入力します。
Type of Number：「international」「unknown」から選択します。
- SMSC欄で「その他」を選択し、かつアドレス欄に番号を設定した場合は、「unknown」に設定する必要があります。

✔お知らせ
- SMSの作成画面から操作する場合は、MENUを押し「SMS設定」を選択します。その場合は、送達通知、有効期間のみ設定できます。また、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

FOMAカード保存SMS

SMSをFOMAカードに保存する

◆SMSをFOMAカードに移動／コピーする

- 未送信SMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信SMSを移動またはコピーする場合は、対応する送達通知があると同時に移動またはコピーされます。どちらか一方だけの移動またはコピーはできません。
- 最大保存件数→P334

〈例〉1件移動する

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択

2 移動するSMSにカーソルを合わせてMENU▶4 2 1

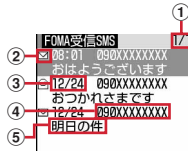
複数移動する：MENU▶4 2 2▶SMSを選択▶📖
1件コピーする：SMSにカーソルを合わせてMENU▶4 3 1
複数コピーする：MENU▶4 3 2▶SMSを選択▶📖

3 「はい」

✔お知らせ
- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。
- 保護したSMSをFOMAカード内に移動／コピーすると、移動／コピー先で保護は解除されます。

◆FOMAカードのSMSを表示する

MENU172
MENU173

1 ✉▶7▶2または3

①**ページ番号／総ページ数**

②**状態マーク**

✉：未読（返信可）　✉：未読（返信不可）
✉：既読（返信可）　✉：既読（返信不可）
✉：送達通知、着信通知、伝言通知
✉：SMS違反

③**送受信日時**

当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
送信SMSの場合は、送達通知のある送信SMSを除き、送信日時のデータが消去されます。

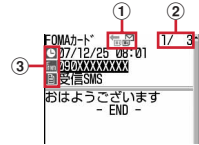
④**発信元／宛先**

電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
送達通知は「SMS Center」、着信通知と伝言通知は「NTT DOCOMO」と表示されます。

⑤**本文の先頭**

送達通知は「SMS送達通知」、着信通知は「留守番　着信通知」、伝言通知は「留守番　テレビ電話」と表示されます。

- 一覧の既読、未読のマークは、FOMAカードのSMSを表示したかどうかを示します。移動またはコピー前の未読、既読の状態も引き継がれます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- データ異常のSMSには✉や✉が表示されます。✉が表示されたSMSは、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になり、発信元や本文の先頭は表示されません。✉が表示されたSMSは、詳細表示が不可能なSMSです。

2 表示するSMSを選択

①**マーク**

：受信（返信可）　：受信（返信不可）
：送信　：送達通知、着信通知、伝言通知
：FOMAカードのSMS

②**メール番号／件数**

③**マーク**

：日時　：宛先
：発信元　：発信元（返信不可）
送達通知は「SMS Center」、着信通知と伝言通知は「NTT DOCOMO」と表示されます。
：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」「留守番　テレビ電話」

- 送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、送信日時が表示されます。
- データ異常のSMSにはの代わりにが表示され、以外は表示されません。

✔お知らせ

- FOMAカードのSMSからも、受信SMSの返信や転送、送信SMSの再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信SMS、送信SMSと同じです。
- FOMAカードのSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信SMSは、FOMA端末の送信メールのフォルダに保存されます。
- 赤外線通信でコピーしたメールで、海外滞在時（GMT+09：00を除く）に受信したSMSには、日時の後ろにが表示される場合があります。

◆FOMAカードのSMSをFOMA端末に移動／コピーする

- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メールのフォルダに移動またはコピーされます。どちらか一方だけの移動またはコピーはできません。

〈例〉FOMA端末に1件移動する

1 [メール]▶[7]▶[2]または[3]

2 移動するSMSにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

複数移動する：[MENU]▶[3][2]▶SMSを選択▶[i]

1件コピーする：SMSにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][3]

複数コピーする：[MENU]▶[3][4]▶SMSを選択▶[i]

3 [●]▶移動先フォルダを選択▶「はい」

✔お知らせ

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動またはコピーできません。保護されていないｉモードメールやSMSがあっても上書きされません。受信メール、送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

◆FOMAカードのSMSを削除する

- 送信SMSを削除した場合、対応するFOMAカード内の送達通知も同時に削除されます。

〈例〉1件削除する

1 [メール]▶[7]▶[2]または[3]

2 削除するSMSにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶SMSを選択▶[i]

全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作

送達通知を全件削除する：[MENU]▶[2][4]▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、さらにFOMA端末を便利にご利用いただけます。ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。
また、大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お買い上げ時、本機能は制限されています。ご利用の際には制限を解除してください。→P105

✔お知らせ

- ｉアプリまたはｉアプリDXにより画像、動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、追加したアルバム、またはｉアプリ内に保存されます。
- ｉアプリDXにより着信音が保存される場合はメロディの「ｉモード」フォルダまたはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合は保存されません。
- 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大1Mバイトです。
- 最大保存件数→P334

1 **ｉアプリのあるサイトを表示▶ｉアプリを選択**

選択したｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロード中に◉を押し、終了するかどうかの確認画面で「はい」を選択するとダウンロードを中止します。
- ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「はい」を選択すると、ダウンロードを再開し、「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存できない場合は、それまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したｉアプリの残りは、ダウンロードできます。→P201「ｉアプリを起動する」操作3

ソフト情報表示設定が「表示する」のとき

ｉアプリの情報とダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

- ⓜを押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を表示できます。

登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合にⓜを押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき

ダウンロード済みの旨のメッセージが表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。

選択したｉアプリが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **保存先を選択**

- ｉアプリによっては待受画面（ｉアプリ待受画面）、通信設定、位置情報（位置情報利用設定）の設定画面が表示されます。
  各設定項目→P202「ｉアプリの動作条件を設定する」操作1

3 **「はい」**

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

- 「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。
- 待受画面を「設定する」に設定した場合は待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って、保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリは元に戻りません。

◆メール連動型ｉアプリのダウンロード

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール、受信メール、未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

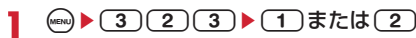
- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。

- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。

✔お知らせ
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが既にFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。

◆ダウンロード時にｉアプリの情報を見る〈ソフト情報表示設定〉

ｉアプリをダウンロードするときに、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶3 2 3▶1または2

ｉアプリを起動する

MENU31

1 （1秒以上）

GPS対応ｉアプリのみ表示する：→P214

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ｉアプリなし
  ：ｉアプリあり

3 起動するｉアプリを選択

〈ソフト一覧〉

リスト表示　サムネイル表示

- マークの意味は次のとおりです。
  ：メール連動型ｉアプリ
  ：ｉアプリDX
  （オレンジ）：ｉアプリ
  （背景色なし）：ｉアプリ待受画面に設定可
  （背景色緑）：ｉアプリ待受画面に設定中
  ：自動起動設定中
  （上半分グレー、下半分オレンジ）：部分保存したｉアプリ
  ：FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  ：IP（情報サービス提供者）によって停止状態
  SSL：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
  ：ワンタッチｉアプリ登録中
  〜：ツータッチｉアプリ登録中
  ：GPS対応ｉアプリ
- 起動するｉアプリの通信設定が「起動ごとに確認」の場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 部分保存したｉアプリを選択すると、残りをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。を押し「はい」を選択しても終了できます。

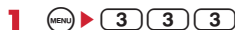
✔お知らせ
- ｉアプリによって表示領域は異なることがあります。
- 縦が432ドットで表示される全画面では、を押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→P79
- ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
- 部分保存したｉアプリは、ソフト詳細情報の表示、削除、フォルダ移動はできます。
- MENU 7 7を押して時間割を起動しようとしたときに時間割が削除されていると、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
- 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、MULTIを押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます（※の場合を除く）。ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 音声電話がかかってきたとき
  - テレビ電話がかかってきたとき※
  - はなれたよロックが起動したとき、開閉ロック※
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。

- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面でMENU 3 3 4を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
  トレース情報を削除するときは(m)を押して「はい」を選択します。

◆ 登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する〈セキュリティエラー履歴〉

ｉアプリが登録データを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU ▶ 3 3 3

- 履歴を削除するときは(m)を押して「はい」を選択します。

◆ ｉアプリの詳細情報を表示する〈ソフト詳細情報〉

1 **(1秒以上) ▶ フォルダを選択 ▶ 詳細情報を表示するｉアプリにカーソルを合わせて(m)**

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で(m)を押すと、サイトの証明書を確認できます。

◆ ｉアプリの動作条件を設定する〈ソフト動作設定〉

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。

1 **(1秒以上) ▶ フォルダを選択 ▶ 設定するｉアプリにカーソルを合わせてMENU ▶ 6 ▶ 各項目を設定 ▶ (m)**

ｉアプリ待受画面：待受画面に設定するかどうかを設定します。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ待受画面通信設定：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

通信設定：ｉアプリ動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

アイコン情報：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

メールからの起動：メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

住所リンク機能での起動：サイトやメッセージR/Fの位置情報のリンク項目からの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかどうかを設定します。

変更ごとに確認画面を※：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※：ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかどうかを設定します。

位置情報利用設定※：GPS対応ｉアプリが位置情報を自動的に利用するかどうかを設定します。

※ ｉアプリDXのみ設定できます。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、既にそのｉアプリを待受画面に設定している場合は、確認画面は表示されません。
- 通信設定を「通信しない」にすると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」にすると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」にすると、動作しないｉアプリがあります。

◆ｉアプリ動作中の各種動作を設定する

❖照明を設定する

1 MENU▶3 2 4▶1 または 2

端末設定に従う：ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従って照明が点灯します。

ソフトに従う：ｉアプリに従って照明が点灯します。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面の照明はディスプレイの照明設定に従います。
- 公共モード中は、「ソフトに従う」に設定してもディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）で設定した時間が経過すると照明は消灯します。
- 本設定はディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。

❖バイブレータを設定する

ｉアプリによるバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

1 MENU▶3 2 5▶1 または 2

✔お知らせ

- 本設定は音／バイブのバイブレータ設定（ｉアプリ利用時）にも反映されます。

◆ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しめます。

1 **ｉアプリを操作して他のｉアプリを起動**

✔お知らせ

- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択します。
- 起動するｉアプリが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

◆プリインストールｉアプリを使う

- お買い上げ時は、次のｉアプリが登録されています。
  - 旺文社ケータイでる順
  - ZOOKEEPER DX F
  - キッズセーフトレーニング
  - 時間割
  - MOJI待受クリエーター
  - ひかりクリエーター
  - 地図アプリ for Kids'
  - ゾウのおくりもの
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、サイトからダウンロードできます。→P300

❖旺文社ケータイでる順

さまざまな問題を解いて、学習していくゲームです。2人で対戦もできます。

■タイトル画面について

①さまざまな問題を解いたり、過去の記録を表示したりします。
②ゲームの設定や過去の記録を消します。
③操作方法を表示します。

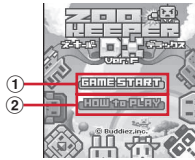
（2 8）：カーソルを上下に移動
（5）：項目の決定
：ｉアプリの終了

■遊びかた

「レッスンをはじめる」を選択して、さまざまな学習方法を選択して問題を解いていきます。
レッスンをする前に「遊び方を見る」を選択して、操作方法を確認してから、レッスンを始めてください。

❖ZOOKEEPER DX F

動物を入れ替えて、同じ動物をタテヨコ3匹以上並べて捕まえていきます。制限時間付きのハラハラ、ドキドキのアクションパズルゲームです。

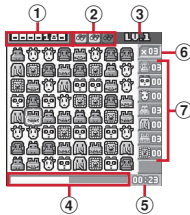
■タイトル画面について

①●を押すとゲームがスタートします。

②◎を押して「HOW to PLAY」「STORY」「HI SCORE」「CREDIT」「OPTION」を選択します。

- 「HOW to PLAY」を選択すると、基本ルールを確認できます。
- 「OPTION」で「Ultimate」に設定すると、動物が消えている間に他の動物を入れ替えられます。

MENU／＊：サウンドのON／OFF
📖／＃：ｉアプリの終了（ゲーム中はゲームの休止／戻る）

■遊びかた

交換したい動物を選んで●（または5）を押し、入れ替えたい動物の方向に合わせて◎（または2 4 6 8）を押すと、動物が入れ替わります。タテかヨコに同じ動物を3匹以上並べ、動物が消えると得点になります。ノルマをクリアしていくと、レベルが最大12までアップしていきます。

①得点を表示します。
②双眼鏡の残り使用回数を表示します。
③現在のゲームレベルを表示します。
④残りタイムを表示します。
⑤経過時間を表示します。
⑥捕まえなければならない各動物のノルマを表示します。
⑦捕まえた各動物の数を表示します。

◎：カーソルを上下左右に移動
●：動かす動物の決定／キャンセル
1：双眼鏡を選択
- 消せる動物が拡大表示されます。

©Buddiez, inc.

❖キッズセーフトレーニング

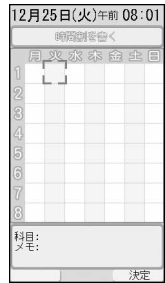
※ 画面はイメージです。実際の画面と異なることがあります。

危険を回避するために大切なことを、クイズ形式で学べるアプリです。5つのテーマから1問ずつ出題され、計5問のクイズに答えます。テーマは、「ケータイのマナー・モラル・ルール」、「ケータイの使い方の注意」、「メールや電話への対応」、「ケータイでのトラブル」、「生活上の防犯」の5つです。正解とあわせて解説文が表示されるので、お子さまが利用する上で大切なことを、自然に学ぶことができます。
©SUSPORT

❖時間割

学校の時間割を登録したり、宿題や持ち物などをメモしたりしていつでも確認できるようにします。

■時間割の登録

初回起動時は、アプリ設定についての説明が表示されます。●を押し進めていくと、アプリ設定画面が表示されますので登録してください。登録が終わると、時間割の記入についての説明が表示されます。●を押し進めていくと、時間割の記入画面が表示されますので登録してください。

◎：カーソルを上下左右に移動
📖：時間割を登録
●：科目を設定
＊：サウンドのON／OFF

■ 時間割の画面について

登録が完了すると、次回の起動から時間割の画面が表示され、時間割を確認できます。

◉：チェックのON／OFF

MENU：メニューの表示

📖：ｉアプリの終了

- メニューを表示して「ヘルプ」を選択すると、作りかたを確認できます。

❖MOJI待受クリエーター

待受画面用の画像を作成します。

■ タイトル画面について

①画像を作成します。

②作りかたの説明を表示します。

③音の設定をします。

◎（2 8）：カーソルを上下に移動

◉（5）：項目の決定

📖：ｉアプリの終了

■ 作成のしかた

「START」を選択し、画面の指示に従って文字を入力、ドット、文字色、背景を選択して保存します。保存後、待受画面に設定できます。

保存の操作→P150「画像をダウンロードする」操作2以降

❖ひかりクリエーター

FOMA端末のランプの点灯色や点灯パターン（ひかりデータ）を作成します。FOMA端末に保存すると、イルミパターン設定の開閉パターンや着信イルミネーション、目覚ましなどで設定できます。また、ひかりデータをダウンロードしたり、F-05Aどうしで赤外線通信を使ってひかりデータを送受信したりもできます。

- ｉアプリ内に最大20件、FOMA端末に最大10件保存できます。

■ タイトル画面について

①画面の指示に従って簡単に作成します。

②作成方法を選択して色の明るさや点灯時間など自由に作成します。

③保存したひかりデータを編集します。

④サイトからひかりデータをダウンロードします。

- パケット通信料がかかります。

⑤F-05Aどうしでひかりデータを送受信します。

⑥FOMA端末にひかりデータを保存します。

⑦ｉアプリを終了します。

◎：カーソルを上下に移動

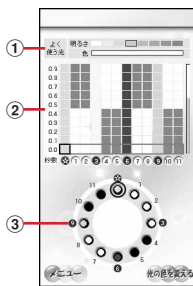
◉：項目の決定

■ かんたん作成で作成する

「かんたん作成」を選択し、色、デザイン、スピードを選択して作成し、保存します。

■マニュアル作成で作成する

「マニュアル作成」を選択します。

新しく作る：編集画面が表示されます。12個のランプそれぞれに点灯パターンを設定します。
作成したら、メニューの「ひかりデータを保存する」を選択して保存します。

①色の設定メニューで「この光をよく使う光にする」に設定した明るさと色を示します。
②ランプの点灯パターンを設定します。
③FOMA端末のランプを示します。カーソルがある行の点灯パターンで点灯します。

：カーソルを上下左右に移動
：ひかりの点灯／消灯

- 最上行のバーにカーソルを合わせてを押し、で設定したい秒数の位置にカーソルを合わせてを押すと、秒数を設定できます。

MENU：メニューの表示
：色の設定メニューの表示

お手本データから作る：お手本データを選択すると編集画面が表示されます。以降の操作は「新しく作る」と同様です。

カプセルのデータから作る：ひかりデータ一覧で保存したデータを選択すると編集画面が表示されます。以降の操作は「新しく作る」と同様です。

❖地図アプリ for Kids'

GPS機能を利用するｉアプリです。→P214

❖ゾウのおくりもの

※ 画面はイメージです。実際の画面と異なることがあります。

ゾウの親子をとおして、親から子どもへの思いを描いた物語のアプリです。原作は「ぞうの せなか」（文　秋元康／絵　網中いづる　講談社）で、絵本にはない「ことばのバトンモード」などの機能を搭載しています。また、待受画面としての設定も可能なので、かわいいゾウたちをいつでも見ることができます。

ｉアプリをすばやく起動する

待受画面から簡単な操作でｉアプリを起動できます。

◆ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリを登録する

- ワンタッチｉアプリは1件登録できます。
- ツータッチｉアプリは1つのダイヤルキーにつき1件、合計10件まで登録できます。

〈例〉ツータッチｉアプリを登録する

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 登録するｉアプリにカーソルを合わせて MENU▶8 2

ワンタッチｉアプリを登録する：ｉアプリにカーソルを合わせて MENU▶8 1

- 解除する場合もそれぞれ同様の操作です。

3 登録先を選択

- アイコンの番号（0～9）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー（0～9）に対応します。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- ソフト情報で、どのｉアプリがワンタッチｉアプリに登録されているかを確認できます。
- 待受画面で MENU 3 2 6 を押すと、ツータッチｉアプリ一覧を表示できます。一覧のサブメニューから、詳細情報の表示やツータッチｉアプリ解除ができます。

◆ワンタッチ・ツータッチで起動する

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動する

1 [0]～[9]▶[◎]（1秒以上）

ワンタッチでｉアプリを起動する：[●]（1秒以上）

ｉアプリを自動起動する

◆自動起動するかどうかを設定する〈自動起動設定〉

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリの自動起動を一括して設定します。

1 [MENU]▶[3][2][2]▶[1]または[2]

◆自動起動の日時を設定する〈自動起動情報登録〉

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「自動起動しない」のときは、自動起動情報を登録できません。

1 [◎]（1秒以上）▶フォルダを選択▶設定するｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[5]▶各項目を設定▶[◫]

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかどうかを選択します。
時刻：自動起動する時刻を入力します。
繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
毎週：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。
日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。
ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。
ｉアプリ設定1～4：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

✔お知らせ

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面に[アイコン]が表示され（ｉアプリロック中はロックを解除すると表示）、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可のとき（プリインストールｉアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - はなれたよロック中、あんしん電池機能ロック中、ｉアプリロック中、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 複数のｉアプリを「繰り返し」を変更して同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に[アイコン]は表示されません。

◆自動起動できなかったときの履歴を表示する〈自動起動失敗履歴〉

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面に[アイコン]が表示され、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の[アイコン]が消えます。

1 [MENU]▶[3][3][1]

- 履歴を削除するときは[◫]を押し、「はい」を選択します。

ｉアプリTo

サイトやメールからｉアプリを起動する

1 サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」

✔お知らせ

- ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- メールからｉアプリToで起動する場合、部分保存したｉアプリは起動できません。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToでｉアプリを起動しないように設定している場合は起動できません。→P202

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。

- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に（αがグレー）または（dxがグレー）が表示されます。
- ｉアプリ待受画面の設定→P85、202

◆ ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 **ｉアプリ待受画面でCLR▶ｉアプリを操作**

ディスプレイ上部の（αがオレンジ）または（dxがオレンジ）が点滅します。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」を選択するとｉアプリ待受画面を解除します。
  自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- あんしん電池機能ロック中、ｉアプリロック中、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）は、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると解除され、異常終了履歴に記録されます。

◆ ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 **ｉアプリ動作中に▶「終了する」**

ディスプレイ上部のマークがから、またはからに変わります。
ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。

- 「解除する」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。ディスプレイ上部のまたはが消えます。

✔お知らせ

- ソフト一覧から解除する場合は、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリにカーソルを合わせてMENUを押し「ｉアプリ待受画面」→「解除する」を選択します。

◆ ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する〈異常終了履歴〉

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 **MENU▶3 3 2**

- 履歴を削除するときはを押して「はい」を選択します。

ｉアプリを管理する

ｉアプリのバージョンアップやフォルダの作成、不要なｉアプリの削除など、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな機能があります。

◆ ｉアプリをバージョンアップする〈バージョンアップ〉

ｉアプリが更新されている場合はバージョンアップできます。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選択▶バージョンアップするｉアプリにカーソルを合わせてMENU▶4▶「はい」**

✔お知らせ

- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

◆ フォルダを作成／削除する

❖フォルダを作成する

- 最大20個作成できます。

1 **（1秒以上）**

2 **MENU▶4**

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶1

並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶5または6

3 **フォルダ名を入力▶**

- 全角8（半角16）文字以内で入力します。

❖フォルダを削除する

• フォルダが1個のときは削除できません。

1 Ⓘ（1秒以上）▶削除するフォルダにカーソルを合わせてMENU▶2 1

• フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、認証操作を行います。

2 「はい」

• フォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれる場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
- 「いいえ」：ｉアプリのみ削除
ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。

✔お知らせ

• ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P177
• 削除対象のメール連動型ｉアプリ用のフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

◆ｉアプリを他のフォルダに移動する

〈例〉1件移動する

1 Ⓘ（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソルを合わせてMENU▶3 1

複数移動する：MENU▶3 2▶ｉアプリを選択▶Ⓜ

フォルダ内を全件移動する：MENU▶3 3

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ｉアプリを削除する

〈例〉1件削除する

1 Ⓘ（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソルを合わせてMENU▶2 1

複数削除する：MENU▶2 2▶ｉアプリを選択▶Ⓜ

フォルダ内を全件削除する：MENU▶2 3▶認証操作

3 「はい」

• メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
- 「いいえ」：ｉアプリのみ削除
ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。

✔お知らせ

• ｉアプリフォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリをすべて削除する場合は、フォルダにカーソルを合わせてMENUを押し「削除」→「ソフト削除」を選択します。
• ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P177
• 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

◆ｉアプリを並べ替える〈ソフトの並べ替え〉

1 MENU▶3 2 1▶1～5

✔お知らせ

- ソフト一覧から操作する場合は、MENUを押し「ソート」を選択します。
- ダウンロード日時および使用日時は、日付時刻設定で設定されている日時で記録されます。
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 使用回数にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」を選択すると、ｉアプリのソフトサイズとデータ記録領域の合計が大きい順に並べ替えられます。

◆フォルダ内のｉアプリの件数を確認する〈フォルダ内ソフト件数〉

1 （1秒以上）▶件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて

マークの意味→P201「ｉアプリを起動する」操作3

◆ｉアプリの設定状況を確認する〈ソフト情報〉

ｉアプリの保存領域や保存件数、ｉアプリ待受画面などの設定状況を確認します。

1 （1秒以上）▶

ソフト保存領域：保存されているｉアプリの総容量がバーと数値で表示されます。

ソフト保存件数：保存されているｉアプリの総件数が表示されます。

ｉアプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリ名と保存先のフォルダ名が表示されます。

ワンタッチｉアプリ：ワンタッチｉアプリに登録しているｉアプリ名と保存先のフォルダ名が表示されます。

自動起動：次回の自動起動に設定しているｉアプリ名や保存先のフォルダ名、起動日時が表示されます。

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

◆ｉアプリから電話をかける

1 電話番号を選択▶発信条件を設定▶MENU▶「はい」

条件を設定して電話をかける→P52

◆ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

✔お知らせ

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した静止画または動画は、ｉアプリ内（ｉアプリによってはマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、または追加したアルバム）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。

◆ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存されます。

◆ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。

GPS機能

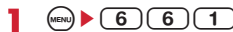
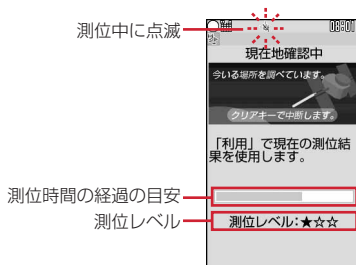
GPS機能のご利用について

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - 手などで覆っていたり、かばんなどに入れていたりする
  - FOMA端末を閉じている
  - 周囲に障害物（人や物）がある
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では、現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

現在地確認

自分のいる場所を確認する

- 現在地確認をした際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 位置提供または現在地通知での測位中は測位できません。
- 圏外でも、見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。

1 MENU ▶ 6 6 1

測位を開始します。測位中はランプが点灯します。

- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。
  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）
  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）
  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）
  ※ 測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 測位中にCLRまたは⌂を押すと、測位を中断します。
- タスク表示領域に「利用」が表示されているときに回を押すと、その時点での測位情報を利用できます。

2 **測位終了後の位置情報利用メニューから機能を選択**

位置情報利用メニューの操作→P213「■位置情報利用メニュー」

✔お知らせ

- 測位に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。「はい」を選択すると測位を続けますが、測位には時間がかかります。「リトライ」を選択すると、測位モードの設定に関わらず品質重視モードでもう一度測位します。

◆位置情報の利用について

■位置情報利用メニュー

現在地確認を行った後や位置履歴のサブメニューから「位置情報利用」を選択したとき、電話帳やプロフィール情報の詳細画面で位置情報を選択したときに表示されます。

現在地確認
今いる場所の確認が終了しました。
測位レベル:★☆☆
1 地図を見る
2 対応iアプリを利用
3 メール貼り付け
4 電話帳新規登録
5 電話帳更新登録
6 位置情報表示

1 メニュー画面で1～6

地図を見る：1▶「OK」
地図サイトに接続し、位置情報を利用して地図を表示します。地図を表示した後、iエリアを使って周辺情報を調べることができます。iエリアについての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

GPS対応iアプリを利用する：2▶iアプリを選択
iアプリが起動します。

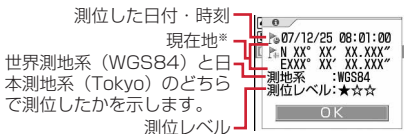
位置情報をメールに貼り付ける：3
メール本文にURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。
- 現在地確認や位置履歴からメニューを表示したときは、題名欄に「位置メール」と入力されます。
- メールに貼り付けた位置情報URLは、iモード対応端末でのみ表示できます。

電話帳に新規登録する：4
電話帳の新規登録画面が表示されます。

電話帳に更新登録する：5▶更新する電話帳データを選択
選択した電話帳データに位置情報が追加され、登録画面が表示されます。

位置情報を表示する：6
次の画面が表示されます。

測位した日付・時刻
現在地※
世界測地系（WGS84）と日本測地系（Tokyo）のどちらで測位したかを示します。
測位レベル

07/12/25 08:01:00
N XX° XX′ XX.XXX″
EXXX° XX′ XX.XXX″
測地系　:WGS84
測位レベル:★☆☆
OK

※ 度（°）、分（′）、秒（″）で表示されます。「N」は北緯、「S」は南緯、「E」は東経、「W」は西経を示します。

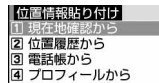
■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー

次の場合に表示され、各項目の位置情報を貼り付け／付加／送信します。

位置情報貼り付けメニュー：直デンで を選択したとき、メール本文や署名編集の入力中にMENUを押し「定型文・電話帳引用」→「位置情報貼り付け」を選択したとき

位置情報付加メニュー：FOMA端末電話帳の新規登録画面や編集画面、プロフィール編集画面で「位置情報」を選択したとき

位置情報送信メニュー：iモードなどで位置情報送信用のリンク項目を選択したとき

位置情報貼り付け
1 現在地確認から
2 位置履歴から
3 電話帳から
4 プロフィールから

1 位置情報貼り付け／付加／送信メニューで1～4

現在地確認の位置情報を利用する：1▶現在地確認を行った後の確認画面で「はい」

位置履歴の位置情報を利用する：2▶位置履歴を選択▶「はい」

電話帳の位置情報を利用する：3▶位置情報が登録されたFOMA端末電話帳一覧の電話帳データを選択▶「はい」

プロフィール情報の位置情報を利用する：4▶認証操作▶「はい」

◆現在地確認をした後に行う動作を設定する〈現在地確認後動作設定〉

セレクトメニューに現在地確認を登録した場合、待受画面でダイヤルキーを1秒以上押して現在地確認を行った後の動作を設定します。

1 MENU▶6641▶1～5

地図を見る：地図サイトに接続し、測位した位置情報を利用して地図を表示します。

対応iアプリを利用：GPS対応iアプリの一覧を表示します。

メール貼り付け：題名欄に「位置メール」、メール本文にURL化した位置情報が入力されたメール作成画面を表示します。

電話帳登録：「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」を選択する画面を表示します。位置情報が設定された電話帳の新規登録か、登録済みの電話帳への位置情報の追加ができます。

測位ごとに確認：測位レベルと位置情報利用メニューを表示します。→P213

GPS対応ｉアプリを利用する

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの「位置情報利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。
- お買い上げ時には、GPS対応ｉアプリとして「地図アプリ for Kids'」が登録されています。

1 MENU▶6 6 2▶**起動するGPS対応ｉアプリを選択**

- GPS対応ｉアプリを終了するには、それぞれのｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

◆地図アプリ for Kids'を利用する

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ for Kids'」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、目的地まで徒歩や乗り物向けのナビゲーションなどあらゆることができます。
自宅を事前に登録しておくと、迷っても簡単に自宅へナビゲーションすることができるので安心です。

- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめします。
- 本ソフトを削除した場合、「ｉエリア－周辺情報－」のサイトからダウンロードできます。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

❖基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。
基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

- はじめて本ソフトを起動した日から60日まではすべての付加サービスを無料でご利用いただけます。61日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン いつもNAVI」の会員登録（有料）が必要です。
本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内　容	60日まで	61日以降
今いる場所	• GPS機能を利用して、今いる場所の地図を見ます。	無料	無料
場所をさがす	• フリーワードやカテゴリなどを入力して場所を探します。 • 本ソフトに登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。	無料	無料
待合せ✉メール	• 登録している地点の地図をメールで送信します。 • 表示している地図をメールで送信します。	無料	無料
足あと	• 地図上に動いた軌跡を表示します。 • 過去にGPS測位した場所の市区町村や都道府県を地図上に色を塗って表示します。	無料	無料
地図であそぼ	• 都道府県や市区町村を一覧から選択すると、選択した場所を地図上に色を塗って表示します。	無料	無料
せってい	• 自宅登録地点の変更や、利用規約などの確認をします。	無料	無料
道案内	• 目的地まで徒歩や乗り物を含めたナビをします。	無料	有料
家に帰る	• 事前に登録した自宅まで簡単にナビをします。	無料	有料
電車の時間	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料

❖「地図アプリ for Kids'」TOPメニューの画面と操作

TOP画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると、前回検索した地図が表示されます。

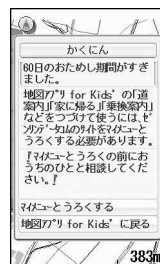
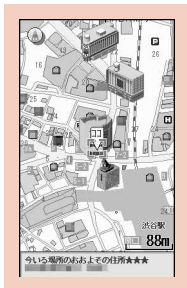
- 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

TOP画面

■ 会員登録をせずに60日を過ぎた場合

61日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

- 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン いつもNAVI」のサイトで会員登録します。

❖地図の画面と操作

©2009 ZENRIN DataCom CO.,LTD.

地図表示画面

- 地図表示画面では次の操作ができます。
  MENU：TOPメニューの表示
  📖：拡大／縮小バーの表示（⊙で広域表示、⊙で詳細地図を表示）
  ⦿：クイックアクセスメニューの表示
  ✥：地図を上下左右にスクロール
  CLR：メニューを閉じる　最初の検索結果の場所に戻る
  ＊：地図を左回転
  0：北を上にして地図を表示
  #：地図を右回転
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  ⊙：表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べる
  ⊙：出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索
  ⊙：表示している地図のURLをメールで送信
  ⊙：地図の中心の位置情報を本ソフトに登録
  ⦿：クイックアクセスメニューを閉じる

❖ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

スタート地点とゴール地点を設定してルートを検索します。徒歩や公共交通機関を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）します。

1 本ソフト起動中にMENU▶7

2 「スタート地点」を以下の操作から設定

今いる場所：現在地を測位して設定
🏠**家**：自宅の位置情報を設定
きろくした場所：本ソフトに保存している位置情報から設定
昔見た場所：過去に表示した地図から設定
地図でえらぶ：地図で出発地を設定
駅やお店：駅やお店を検索して設定
住所をえらぶ：住所を選択して設定
ジャンルから：ジャンルを選択して設定
スタート地点のかくにん：出発地の情報を確認

3 「ゴール地点」を設定

- 操作2と同様の操作で設定します。

4 「時間せってい」を以下の操作から設定

今出発する：現在の時間でルートを調べる
出発する時間を決める：出発時間を指定してルートを調べる
到着する時間を決める：到着時間を指定してルートを調べる
終電（さいしゅうでんしゃ）を使う：最終電車でのルートを調べる

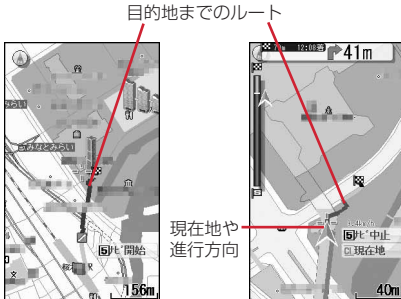
5 「道案内する」

ルート（最大4件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴をアイコンで表示します。
早：到着時間が早い
安：運賃が安い
楽：乗り換えが少ない
オススメ：早／安／楽のすべての条件を満たしている

6 ルートを選択▶「道案内・道じゅんかくにん」▶「道案内」▶「はい」

目的地までのナビゲーションを開始します。

ルートを確認する：ルートを選択▶「道案内・道じゅんかくにん」▶「道じゅんかくにん」▶「はい」

❖ルート／ナビゲーション表示の画面と操作

©2009 ZENRIN DataCom CO.,LTD.

ルート表示画面　ナビゲーション表示画面

- ルート画面とナビゲーション画面では、次の操作ができます。
  MENU：ナビゲーションを終了してTOPメニューを表示
  2：交差点モードへ切り替え
  5：ナビゲーションの中止／再開
  CLR：現在地に戻る
  ●／📖／✣／＊／0／#：地図表示画面と同様の操作
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  ◎：ルートの消去
  ◎：ルートの検索結果の表示やナビの設定
  ●：クイックアクセスメニューを閉じる

❖設定・ヘルプを利用する

1 本ソフト起動中にMENU▶6

- 次の機能を利用できます。
  会員情報かくにん：「ゼンリン🏠いつもNAVI」の会員登録の確認
  家の場所をへんこう：自宅登録の内容の確認・変更
  使い方の説明／よくある質問／やくそくごと：使い方の説明やよくある質問、利用規約の確認

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

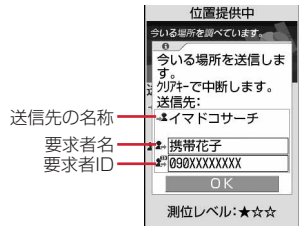
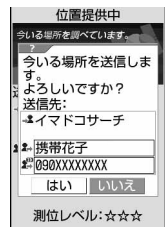
位置提供に対応したサービスで、設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置提供に対応したサービスを利用するには、位置提供可否設定を「位置提供ON」に設定する必要があります。また、ｉモードから、「お客様サポート」内の「各種設定（確認・変更・利用）」にて、位置情報利用設定が必要な場合があります。

◆位置提供の要求があると

〈例〉サービスごとの利用設定を「許可」に設定しているとき

測位を行い、位置情報を送信します。が点滅し、測位鳴動音が鳴り、ランプが点灯し、バイブレータが振動します。

- 位置提供を中止する場合はCLRまたは📞を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。

- 要求者名は、要求者IDが電話帳に登録した電話番号またはメールアドレスと一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。
- 要求者IDは表示されない場合があります。
- サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、次の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると測位を開始します。

✔お知らせ

- 位置情報の送信には利用料がかかりません。
- 現在地確認または現在地通知での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中、ｉアプリでｉモード中、赤外線通信中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。
- 位置提供を行っても、電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったときに、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、測位鳴動音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  - 要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。測位終了後には、精度の高い測位結果が相手に通知されます。
  - 位置提供の確認画面で「はい」を選択した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

◆位置提供の可否を設定する〈位置提供可否設定〉

相手から位置情報を提供するように要求があったときに、位置情報を提供するかどうかを設定します。

- 本設定の「位置提供ON」と「位置提供OFF」は、初期設定でも設定できます。→P42
- ちょこっと通知設定、電源OFF通知、はなれたよアラームのイマドコサーチのいずれかの設定が「ON」になっているときは「位置提供OFF」は設定できません。

1 MENU▶6 6 6 1▶認証操作▶1～3

- 「位置提供ON」に設定すると、操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 「位置提供ON」に設定するか、許可期間設定を行うと、待受画面にGPSが表示されます。

許可期間を設定する：3▶各項目を設定▶(皿)

開始時間：「位置提供ON」にする時間を設定します。

終了時間：「位置提供OFF」にする時間を設定します。

- 24時を超えて翌日に設定できます。

繰り返し：設定時間の繰り返しの動作を設定します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、位置提供を行う曜日を選択して(皿)を押します。

有効期間：位置提供を行う期間を設定します。「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定すると、次の項目を設定できます。

開始日：「位置提供ON」にする日を設定します。

終了日：「位置提供OFF」にする日を設定します。

❖許可期間設定を設定したときの位置提供の動作について

位置提供可否設定の許可期間設定を設定したときの、「位置提供ON」になる期間は次のようになります。

- 「位置提供ON」の期間欄には、2008年1月3日の9時00分に許可期間設定を行った場合に「位置提供ON」になる期間を、西暦を省略して記載しています。
- 繰り返しを「曜日指定」にした場合は、「位置提供ON」の期間欄に記載された期間のうち、指定した曜日のみ動作します。

■ 開始時間を現在時刻より後の時間に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「18：00」

繰り返し	有効期間	「位置提供ON」の期間
なし	―	01/03 10：00-18：00
毎日または曜日指定	なし	01/03以降 10：00-18：00
	開始日指定 開始日：2008/01/01	01/03以降 10：00-18：00
	開始日指定 開始日：2008/02/01	02/01以降 10：00-18：00
	開始／終了日指定 開始日：2008/01/01 終了日：2008/01/31	01/03-01/31 10：00-18：00
	開始／終了日指定 開始日：2008/02/01 終了日：2008/02/29	02/01-02/29 10：00-18：00

■ 開始時間を現在時刻より前の時間に設定したとき

〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「18：00」

繰り返し	有効期間	「位置提供ON」の期間
なし	―	01/03 09：00-18：00
毎日または曜日指定	なし	01/03 09：00-18：00 01/04以降 08：00-18：00
	開始日指定 開始日：2008/01/01	01/03 09：00-18：00 01/04以降 08：00-18：00
	開始日指定 開始日：2008/02/01	02/01以降 08：00-18：00
	開始／終了日指定 開始日：2008/01/01 終了日：2008/01/31	01/03 09：00-18：00 01/04-01/31 08：00-18：00
	開始／終了日指定 開始日：2008/02/01 終了日：2008/02/29	02/01-02/29 08：00-18：00

■ 開始時間を現在時刻より後、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「02：00」

繰り返し	有効期間	「位置提供ON」の期間
なし	―	01/03 10：00 -01/04 02：00
毎日または曜日指定	なし	01/03以降 10：00-翌日02：00
	開始日指定 開始日：2008/01/01	01/03以降 10：00-翌日02：00
	開始日指定 開始日：2008/02/01	02/01以降 10：00-翌日02：00
	開始／終了日指定 開始日：2008/01/01 終了日：2008/01/31	01/03-01/31 10：00-翌日02：00 (02/01 02：00まで)
	開始／終了日指定 開始日：2008/02/01 終了日：2008/02/29	02/01-02/29 10：00-翌日02：00 (03/01 02：00まで)

■ 開始時間を現在時刻より前、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「02：00」

繰り返し	有効期間	「位置提供ON」の期間
なし	―	01/03 09：00 -01/04 02：00
毎日または曜日指定	なし	01/03 09：00 -01/04 02：00 01/04以降 08：00-翌日02：00
	開始日指定 開始日：2008/01/01	01/03 09：00 -01/04 02：00 01/04以降 08：00-翌日02：00
	開始日指定 開始日：2008/02/01	02/01以降 08：00-翌日02：00
	開始／終了日指定 開始日：2008/01/01 終了日：2008/01/31	01/03 09：00 -01/04 02：00 01/04-01/31 08：00-翌日02：00 (02/01 02：00まで)
	開始／終了日指定 開始日：2008/02/01 終了日：2008/02/29	02/01-02/29 08：00-翌日02：00 (03/01 02：00まで)

◆ サービスを利用するための設定をする〈サービス利用設定〉

1 MENU ▶ 6 6 6 3

- 以降の操作については、各サービス提供者にお問い合せください。

◆ サービス利用設定サイトの接続先を変更する〈サービス利用／接続設定〉

通常は設定を変更する必要はありません。

1 MENU ▶ 6 6 6 4 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

接続先：接続先を選択します。
- 「ユーザ設定」を選択すると、次の項目を設定できます。

ユーザ設定接続先：接続先を入力します。
- 半角99文字以内で入力します。

ユーザ設定初期画面URL：表示するURLを入力します。
- 半角100文字以内で入力します。

現在の位置情報を通知する

現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知は利用料がかかります。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先を入力しての通知はできません。

〈例〉通知先を入力して通知する

1 MENU▶6 6 5 1

2 2▶通知先ID欄に通知先IDを入力▶●

半角12文字以内で入力します。
測位中は が点滅し、ランプが点灯します。測位が完了すると測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 場所と電話番号を送信する旨のメッセージ表示中に を押すか、測位中にCLRまたは を押すと通知を中断します。
- 測位を中断しても、タイミングによっては相手に位置情報が通知される場合があります。

登録した通知先に通知する：1▶1～5▶●

3 送信結果を確認▶●

❖現在地の通知先一覧に通知先を登録する

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択して通知できます。特定の相手に音声電話またはテレビ電話を発信すると、登録した通知先IDに現在地を通知するようにも設定できます。

- 通知先は最大5件登録できます。
- FOMAカードを差し込んでいない場合は、通知先の登録、編集、削除はできません。

1 MENU▶6 6 5 2 1▶「〈新しい通知先〉」

- 登録済みの通知先を確認するときは、確認する通知先を選択し、 を押すと編集できます。
- 登録済みの通知先を削除するときは、MENUを押し「削除」を選択します。同様に、サブメニューから電話帳登録や赤外線送信ができます。

2 各項目を設定▶

- サブメニューから「電話帳引用」を選択すると、電話帳から通知先名と電話番号を引用できます。

通知先名：相手の名前を入力します。
- 全角16（半角32）文字以内で入力します。

通知先ID：契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。
- 半角12文字以内で入力します。数字、「#」「*」を登録できます。

電話番号：相手の電話番号を入力します。入力すると、発信時通知設定が設定できます。
- 半角26文字以内で入力します。数字、「P」「T」「+」「#」「*」を登録できます。

発信時通知設定：登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかどうかを設定します。
- 「する」に設定すると、発信時に現在地を通知します。
- 「発信時確認」に設定すると、発信時に現在地を通知するかどうかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 現在地通知先一覧で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。
  - 発信者番号を通知しないで発信したとき
  - 相手が話し中や圏外などのため通話できないとき

位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

現在地確認、位置提供、現在地通知のいずれかの機能で測位した履歴を表示します。履歴の位置情報を利用して、位置情報を電話帳に登録したり、位置情報URLが入力されたメールを作成したりできます。

- 位置履歴は最大50件記録されます。超過すると、古いものから上書きされます。

1 MENU▶6 6 3

: 現在地確認
 / (グレー):位置提供/測位失敗
 / (グレー):現在地通知/測位失敗

2 表示する履歴を選択

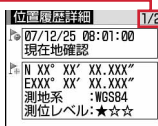
位置情報を利用する:利用する履歴にカーソルを合わせてMENU▶1
以降の操作→P213「■位置情報利用メニュー」

1件削除する:履歴にカーソルを合わせてMENU▶2 1▶「はい」

複数削除する:MENU▶2 2▶履歴を選択▶▶「はい」

全件削除する:MENU▶2 3▶認証操作▶「はい」

❖位置履歴詳細画面の見かた

ページ番号/総ページ数

現在地確認の位置履歴詳細画面

:測位した日時と機能
:位置提供の送信先の名称/現在地通知の通知先名
:現在地通知の通知先ID
:位置情報
:位置提供の要求者名
:位置提供の要求者ID

- サブメニューから、位置情報利用メニューを表示して位置情報を利用したり、履歴を削除したりできます。位置提供の履歴に要求者IDの電話番号またはメールアドレスの情報があるときは、電話帳登録ができます。

✔**お知らせ**

- 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴から、位置情報の利用はできません。
- iアプリなど他の機能から位置履歴の一覧を表示したときは、サブメニューからの位置情報の利用や削除はできません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴は表示されません。
- 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状況によりサービス提供者に送信されていない場合があります。
- 位置提供の要求者名は、要求者IDが電話帳データと一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。
- 位置履歴に記録された位置情報は、電波状況などにより位置提供先や現在地通知先に送信された位置情報とは異なる場合があります。

GPSの設定をする

◆測位モードを設定する

- 「標準モード」は短い時間で測位することを優先します。
- 「品質重視モード」は時間をかけて測位します。その結果、「標準モード」より精度が上がる場合があります。

〈例〉現在地確認の測位モードを設定する

1 MENU▶6 6 4 2

現在地通知の測位モードを設定する:
MENU▶6 6 5 2 2

位置提供の測位モードを設定する:
MENU▶6 6 6 2

2 1または2

◆測位中の動作を設定する〈測位動作設定〉

〈例〉現在地確認の動作を設定する

1 MENU▶6 6 4 3

現在地通知の動作を設定する：
MENU▶6 6 5 2 3

位置提供／許可の動作を設定する：
MENU▶6 6 6 5 1

位置提供／毎回確認の動作を設定する：
MENU▶6 6 6 5 2

2 各項目を設定▶📖

鳴動音選択：メロディを鳴らすかどうかを設定します。
- 「メロディ」に設定したときは、メロディを選択します。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）：0〜30秒の範囲で設定します。
- 位置提供／毎回確認の測位動作設定は0〜20秒の範囲で設定します。

イルミネーション設定：ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認で「OFF」を選択できません。

✔お知らせ
- 現在地確認で、電波の状態などにより測位し直したり、リトライしたりしたときには、ランプの点灯／点滅のみ動作します。

データ管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

画像を表示する

- FOMA端末では、静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）、パラパラマンガを表示できます。ただし、横縦（縦横）のサイズが480×640より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、1728×2304より大きいJPEG形式の画像は表示できません。

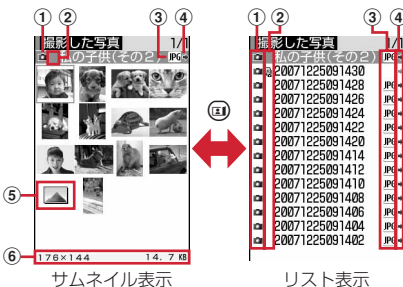
1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

- フォルダの内容は次のとおりです。
  撮影した写真：カメラで撮影した画像、動画／ｉモーションから切り出した画像
  ｉモード：サイトやメール、ｉアプリから取得した画像
  デコメピクチャ：お買い上げ時に登録されている画像、サイトやメールから取得した画像、バーコードリーダーで読み取った画像
  デコメ絵文字：お買い上げ時に登録されている画像、サイトなどから取得したデコメ絵文字®
  - デコメ絵文字®の規格（画像サイズが20×20、ファイルサイズが90Kバイト以内、メール添付やFOMA端末外への出力可、JPEGまたはGIF形式）に該当する画像を取得したときは、直接このフォルダに保存されます。規格に該当しない画像は保存できません。

  アイテム：お買い上げ時に登録されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレームやスタンプ用の画像
  プリインストール：お買い上げ時に登録されている画像
  データ交換：バーコードリーダーで読み取った画像や外部機器から取り込んだ画像
  マイアルバム：他のフォルダから移動した画像
  - アルバムを追加すると表示されます。→P237

2 画像にカーソルを合わせる

カーソル位置のファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　　リスト表示

①**取得元**
：プリインストール
：ｉモード、メール、ｉアプリ
：カメラ　：フレーム、スタンプ
：データ交換

②**画像の種類**
表示なし：静止画　：パラパラマンガ
：GIFアニメーション／Flash画像

③**ファイル形式**
表示なし：パラパラマンガ
GIF：GIF形式の画像／GIFアニメーション
JPG：JPEG形式の画像
：SWF（Flash画像）

④**ファイル制限**
（グレー）：ファイル制限あり
（青）：ファイル制限なし

⑤**サムネイル表示できない画像**
：プレビュー画像なし
：FOMAカードのセキュリティ機能が設定されている画像

⑥**画像サイズと実メモリサイズ**
カーソル位置の画像のサイズが表示されます。

3 ◉

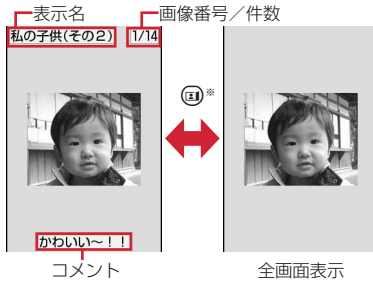
画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

表示名　画像番号／件数

私の子供(その2)　1/14

(i)※

かわいい～！！

コメント　全画面表示

※ 全画面表示のときは(MENU)、(📖)、CLR、(✉)のいずれかを押しても、元の表示に戻せます。

- (◎)を押すと、前後の画像に切り替えられます。
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の再生中は次の操作ができます（全画面表示中を除く）。
  ◉：一時停止／再生
  (📖)：スロー再生（パラパラマンガの一時停止中のみ）
  (MENU) 7：先頭から再生

メールに添付する：(✉)

添付できるファイルについて→P169

- ファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文への貼り付け確認画面が表示されます。
- 画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 画面サイズより大きな静止画は画面サイズに縮小表示され、全画面表示にすると自動でスクロールします。スクロール中は◉で一時停止／再開できます。
- 画面サイズより大きなJPEG形式の画像は、画像一覧でカーソルを合わせて(MENU) 0 を押すか、画像表示画面で◉を押すと、等倍表示されます。等倍表示中は、(◎)でスクロールできます。CLR、(MENU)、(i)、(📖)、(✉)のいずれかを押すと元の画面に戻ります。

◆スライドショーを表示する

フォルダ内の画像を順番に全画面で表示します。

- 動作設定で速度や表示順を変更できます。→P229

1 (MENU)▶ 5 1 ▶フォルダにカーソルを合わせて(MENU)▶ 5

- すべての画像の表示が終わるか、CLR、(MENU)、(i)、(📖)、(✉)のいずれかを押すとフォルダ一覧に戻ります。

◆画像を待受画面や電話帳などに設定する

〈例〉待受画面に設定する

1 (MENU)▶ 5 1 ▶フォルダを選択▶画像にカーソルを合わせて(MENU)▶ 2

2 1 ▶「はい」

- 画面サイズより小さい、拡大表示可能な画像の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、解除の確認画面が表示されます。

電話帳に新規登録する： 2

電話帳登録→P67

電話帳に更新登録する： 3 ▶電話帳データを選択

電話発着信画像に設定する： 4 ▶ 1 または 2

テレビ電話画像に設定する： 5 ▶ 1 ～ 7

- 画像サイズが176×144より大きい画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像のみ設定できます。

メール送受信画像に設定する： 6 ▶ 1 ～ 4

- メール送受信画像に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

メニューアイコンに設定する： 7 または 8 ▶ 1 ～ 0

選択した画像がアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンまたは背景に設定されます。

- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダの画像はメニューアイコンに設定できません。

◆パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を9枚まで選択して、パラパラマンガを作成できます。
- 640×480より大きい静止画は登録できません。
- 登録した静止画は個別に表示したり編集したりできなくなります。また、解除するまで外部機器に保存したり、iモードメールに添付して送信したりできません。

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

2 MENU ▶ 4 1

パラパラマンガを解除する：パラパラマンガにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 2

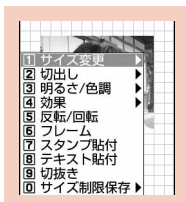
3 パラパラマンガに登録する画像を選択

選択順に画像に1～9の番号が表示されます。
MENU：すべての選択を解除

4 📖 ▶ 表示名を入力 ▶ 📖
- 36文字以内で入力します。
- 画像一覧では最初のコマが表示されます。

静止画を編集する

- 次の静止画は編集できません。
  - 「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の静止画
  - メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - 縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画
- 編集した静止画をパソコンなどで表示した場合、透過表示されていた部分は白く表示されます。
- 保存の際、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 静止画にカーソルを合わせて 📖 ▶ MENU ▶ 編集項目によりP226～P228の操作を行う

編集メニュー画面

2 編集が終わったら ● ▶「保存」

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
- 編集後の画像サイズが20×20でファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

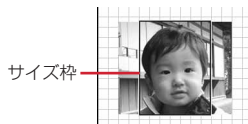
✔お知らせ
- 画像サイズが編集時の表示領域より大きい場合は縮小表示されます。ただしスタンプ貼付、テキスト貼付、拡大または縮小の場合は等倍で表示されます。
- 編集後、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

❖サイズを変更する

拡大／縮小したり、特定サイズに変更したりします。
- 画質が劣化する場合があります。
- 1728×2304（拡大／縮小は352×288または240×432）ドット以下の画像を編集できます。

〈例〉特定サイズに変更する

1 編集メニュー画面で 1

2 1 ～ 9
- 指定したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。●を押すとサイズ枠の部分が切り取られて指定サイズに変更されます。

✣：サイズ枠を上下左右に移動
MENU：縦横比を保持せず画像全体を指定サイズに変更
📖：縦横比を保持して画像全体を指定サイズに変更

拡大／縮小する：0 ▶ ✣ ▶ ●
- 縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大または縮小します。MENUで20%ずつ縮小、📖で20%ずつ拡大できます。
- 画面の右上に変更後のサイズと、拡大／縮小率が表示されます。
- 縦横のどちらかが、最大432ドットまで拡大、最小8ドットまで縮小できます。

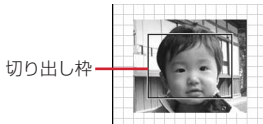
❖任意のサイズに切り出す

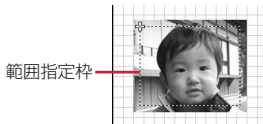
特定または任意のサイズに変更します。

- 16×16ドット以上、1728×2304（範囲指定は1224×1632）ドット以下の画像を編集できます。

〈例〉特定サイズに切り出す

1 **編集メニュー画面で[2]**

2 **[1]～[9]▶◎で切り出し枠の位置を調整**

MENU：切り出し範囲の指定
📖：切り出し枠の縦横の切り替え
📇：切り出しサイズの切り替え

範囲を指定して切り出す：
① [0]

② **◎で始点を決めて◉**
範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に✥が表示されます。
③ **◎で終点を決めて📖**
範囲指定枠が切り出し枠になります。

3 **◉**

❖明るさや色調を変更する

- 480×640ドット以下の画像を編集できます。

〈例〉明るさを調整する

1 **編集メニュー画面で[3]**

2 **[1]▶◎で明るさを調整**

一段階ずつ明るさが増減します。
MENU／📖：明るさを最小／最大に調整

モノトーンにする：[2]

セピアにする：[3]

3 **◉**

❖特殊な効果をかける

次のような特殊効果をかけます。
ぼかし：画像をぼかす
球面：中心から球面状に盛り上げる
エンボス：鉛色にして凸凹を強調する
うずまき：中心から渦状に回転させる
きらきら：光ったようなマークを入れる
モザイク：モザイクをかける
スケッチ（モノクロ）：えんぴつでスケッチしたような効果をかける
スケッチ（カラー）：えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけたような効果をかける

- 480×640ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で[4]▶[1]～[8]**

- 「スケッチ（モノクロ）」または「スケッチ（カラー）」を選択したときは次の操作ができます。◉を押すと効果が確定されます。
  ◎：効果の調節
  📖：線の太さの切り替え
  📇／✉：効果を最小／最大に切り替え

❖反転／回転させる

- 480×640ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で[5]▶◎で静止画を反転または回転させる**

MENU／📖：左／右に90度回転

2 **◉**

❖フレームを重ねる

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で[6]**

画像の詳細情報変更でフレーム候補に設定した画像と、編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

2 **フレームを選択**

◎：フレームの切り替え
MENU：フレームを180度回転

3 **◉**

❖スタンプを貼り付ける

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 編集メニュー画面で7▶スタンプを選択

画像の詳細情報変更でスタンプ候補に設定した画像と、編集中の静止画より小さいサイズのスタンプが表示されます。

2 で位置を調整して

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。
MENU：すべてのスタンプを消去
- 続けて別の位置に貼り付けられます。

3

❖テキストを貼り付ける

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 編集メニュー画面で8▶各項目を設定▶

- テキストは、全角20（半角40）文字以内で入力します。
- 貼り方を「一字ごと」にすると、を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字に戻ります。

2 で貼り付ける位置を調整して

効果音が鳴り、テキストが貼り付けられます。
MENU：すべてのテキストを消去
- 続けて別の位置にテキストを貼り付けられます。

3

❖任意の部分を切り抜く

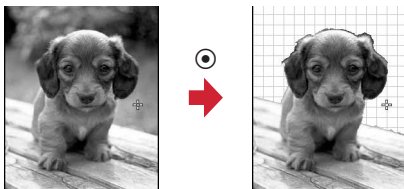
選択した色と近似している部分を切り抜きます。
- 240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 編集メニュー画面で9

画面の中央に切り抜く色を指定するが表示されます。

2 で切り抜く色にを合わせて

の位置の色と近似している部分が切り抜かれます。続けて別の部分の切り抜きができます。

3

❖ファイルサイズを制限して保存する

- 1728×2304（メール添付用（小）は480×640）ドット以下の画像を編集できます。ファイルサイズが2Mバイト以下の画像は「メール添付（大）」に設定できません。

1 編集メニュー画面で0▶1または2

メール添付用（小）は90Kバイト以内、メール添付用（大）は2Mバイト以内で保存されます。

◆明るさや色のバランスを補正する

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。
- 静止画によっては補正してもあまり変化しない場合があります。

1 MENU▶51▶フォルダを選択▶静止画にカーソルを合わせて▶

画面の右上に補正モードが表示されます。

2 MENU▶1～7

- を押しても補正モードを変更できます。

静物：静物や植物などに適した補正をする
背景：背景に適した補正をする
風景：風景画像に明るさや色のメリハリをつける
美肌：人物画像を白くなめらかにする
日焼け：人物画像を小麦色にする
青ざめ：人物画像を青ざめさせる
酔っ払い：人物画像を赤らめさせる
：補正効果の調整
／：補正効果を最小／最大に調整

3

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）

画像をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用して、データBOXのマイピクチャに保存してある画像をネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）について→P121
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像は保存／復元できません。
- 1回の操作で最大10件保存できます。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お預かりセンターに保存した履歴を確認できます。→P76

1 MENU▶5 1▶**フォルダを選択**

2 MENU▶5 4▶**画像を選択**▶📖▶**「はい」**▶**認証操作**

◉：保存を中止

3 **通信結果を確認する**

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

✔お知らせ

- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内のデータは選択できません。

動作設定

画像の動作条件を設定する

- お買い上げ時は小さい画像の拡大とスライドショーのランダム表示が「なし」、スライドショーの切替え速度が「普通」、それ以外の項目は「あり」に設定されています。

1 MENU▶5 1▶MENU▶4▶**各項目を設定**▶📖

一覧の画像表示：画像一覧でサムネイル表示にするかどうかを設定します。
タイトル表示：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。
番号表示：画像表示画面でフォルダやアルバム内での件数と総件数を表示するかどうかを設定します。
コメント表示：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。
小さい画像の拡大：画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。「あり」にしても、全画面表示では拡大表示されません。
大きい画像の縮小：画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。「なし」にしても、全画面時の自動スクロールを「なし」に設定中の全画面表示では縮小表示されます。
効果音再生：画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。「あり」にしても、スライドショーでは再生されません。
全画面時の自動スクロール：全画面表示で、静止画が画面に表示しきれない大きさの場合、自動的にスクロールするかどうかを設定します。
スライドショーの切替え速度：表示速度を設定します。
スライドショーのランダム表示：表示順をランダムにするかどうかを設定します。

✔お知らせ

- 画像一覧、画像表示画面から操作する場合は、MENUを押し「動作設定」を選択します。

動画／ｉモーションを再生する

- FOMA端末では、次の形式で、画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーションを再生できます。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263※、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4
	音声	G.726

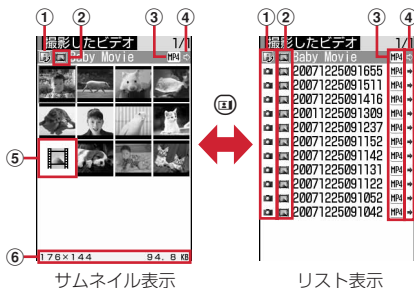
※ 画像サイズが128×96、176×144のみ対応しています。

1 MENU▶5 2▶**フォルダを選択**

- フォルダの内容は次のとおりです。
  プレイリスト：動画／ｉモーションのプレイリスト
  プレイリストの作成・再生→P232
  撮影したビデオ：カメラで撮影した動画、動画から切り出した動画、動画メモ、サウンドレコーダーで録音した音声
  ｉモード：サイトやメールから取得したｉモーション、ｉモーションから切り出したｉモーション
  プリインストール：お買い上げ時に登録されている動画
  データ交換：外部機器から取り込んだ動画／ｉモーション
  マイアルバム：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
  - アルバムを追加すると表示されます。→P237

2 **動画／ｉモーションにカーソルを合わせる**

カーソル位置のファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　リスト表示

①**取得元**
：プリインストール
：ｉモード、メール、ｉアプリ
：カメラ　：データ交換
：テレビ電話

②**再生制限**
：再生制限なし
／／：回数／期限／期間制限あり

③**ファイルの種類**
MP4（白）／MP4（青）：MP4／しおり付きMP4
：部分的に保存したMP4
ASF（白）／ASF（青）：ASF／しおり付きASF

④**ファイル制限**
（グレー）：ファイル制限あり
（青）：ファイル制限なし

⑤**サムネイル表示できない動画／ｉモーション**
：音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）や部分的に取得したｉモーション、再生制限により再生できないｉモーション、サウンドレコーダーで録音した音声
：サムネイル画像を取得できない動画／ｉモーション
：FOMAカードのセキュリティ機能が設定されている動画／ｉモーション

⑥**画像サイズと実メモリサイズ**
カーソル位置の動画／ｉモーションのサイズが表示されます。

メールに添付する：
添付できるファイルについて→P169

3

① **再生状態**

PLAY：再生中　STOP：停止中　PAUSE：一時停止中

② **再生時間／総再生時間**

数字とバーで示します。

③ **再生音量**

④ **ファイルの種類**

A：音声　V：映像

⑤ **拡大／縮小表示**

：拡大表示中　：縮小表示中

- 画面サイズより大きな動画／ｉモーションの場合は、縮小再生の確認画面が表示されます。
- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりからの再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、先頭または再生停止位置から再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ：音量調整
  - ：一時停止／再生／先頭から再生（停止中）
  - ：巻き戻し／早送り再生
  - 1：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
  - 3：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）
  - ：停止
  - CLR：一覧画面に戻る
- チャプター情報を持つ動画／ｉモーションの場合は、再生中に4を押すと前のチャプターから、6を押すと次のチャプターから再生されます。MENU→「チャプター一覧」→チャプターを選択すると、選択したチャプターから再生できます。
- 一時停止中にを押すと、再生位置インジケータ上に位置指定つまみが表示されます。再度を押して位置指定つまみを移動しを押すと、指定した位置から再生されます。位置指定つまみは、次のように操作します。
  - ：1分単位で移動
  - （2秒以上）：5分単位で移動（およそ20分以上の動画／ｉモーションのみ）
- CLRやを押したり、他の機能の影響によって再生が中断したときは、再生停止位置が保存され、次回再生時にその停止位置から再生されます。再生停止位置の情報は最大5つの動画／ｉモーションについて保存されます。新しい情報が登録されると古い情報は順に削除されます。データを取得しながら再生しているときやプレビュー再生では、再生停止位置は保存されません。

しおりを設定する：再生中に▶「はい」

- 停止中に：解除
- データBOX内のｉモーションや動画撮影画面でを押して表示した一覧から再生したときに設定できます。ただし、再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

表示の縦横を切り替える：＊

- ＊を押すたびに縦横が切り替わります。
- 画像サイズが320×240の動画／ｉモーションの場合は、縦→横→横（ワイド）の順に切り替わります。

✔お知らせ

- ｉモーションによっては、再生画面の総再生時間が「-：--：--」と表示される場合があります。このとき、次の操作は利用できません。
  - 早送り再生、30秒早送り、巻き戻し再生、10秒巻き戻し
  - しおりや再生停止位置からの再生
  - 位置指定つまみを使った再生
  - 次のチャプターの先頭からの再生、前のチャプターの先頭からの再生、チャプター選択による再生
- 再生制限が設定されたｉモーションを選択すると、再生制限の状態が表示されます。再生制限により再生できない場合は、削除の確認画面が表示されます（再生期間前の場合を除く）。なお、再生期間や期限が制限されている場合に、FOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得したｉモーションを選択すると、残りデータのダウンロード確認画面が表示されます。ダウンロードしても再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
  また、部分的に取得したｉモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合は再取得ができません。このとき、削除の確認画面が表示され、部分的に保存したｉモーションを削除できます。

◆プレイリストを作成／再生する

プレイリストとは、動画／ｉモーションのタイトルをひとまとめにして再生順などを管理するものです。

- 最大登録件数→P334
- 1つのプレイリストに最大100件のタイトルを登録できます。ただし、FOMAカードのセキュリティ機能や再生制限（期限内および期間内の場合を除く）が設定されていたり、部分的に保存した動画／ｉモーションのタイトルは登録できません。
- 作成の際、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションのタイトルを削除してください。

❖プレイリストを作成する

1 MENU▶5 2▶「プレイリスト」フォルダを選択

2 MENU▶1

1件もプレイリストが作成されていないとき：「はい」

名前を変更する：プレイリストにカーソルを合わせてMENU▶2▶名前を入力▶📖

- 全角10（半角20）文字以内で変更できます。

1件削除する：プレイリストにカーソルを合わせてMENU▶3 1▶「はい」

複数削除する：MENU▶3 2▶プレイリストを選択して📖▶「はい」

全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作▶「はい」

3 プレイリストの名前を入力▶📖

- 「プレイリストYYYYMMDD（作成年月日）」が入力されています。全角10（半角20）文字以内で変更できます。

4 フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶📖▶「はい」

❖プレイリストに動画／ｉモーションのタイトルを追加する

1 MENU▶5 2▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択

2 MENU▶3 1

1件解除する：タイトルにカーソルを合わせてMENU▶3 2 1▶「はい」

複数解除する：MENU▶3 2 2▶タイトルを選択して📖▶「はい」

全件解除する：MENU▶3 2 3▶認証操作▶「はい」

3 1～3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶📖

- 「1件登録」を選択したときは、📖を押さずに操作4に進みます。
- 「全件登録」を選択して動画／ｉモーションのデータがあるフォルダを選択すると、フォルダ内で登録可能な動画／ｉモーションのタイトルが選択されます。

4 「はい」

✔お知らせ

- プレイリストから動画／ｉモーションのタイトルを解除しても、データ自体は削除されません。データ自体を削除した場合は、プレイリストから解除されます。

❖プレイリストを再生する

プレイリストを使うと、選択したタイトル以降の動画／ｉモーションを連続で再生できます。

- 再生中は、しおりの位置や再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、早送り／巻き戻しや位置指定つまみの操作はできません。

1 MENU▶5 2▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択▶最初に再生したい動画／ｉモーションを選択

- 再生中の画面には通常表示されるアイコンのほかに、次のアイコンが表示されます。
  ON／OFF：リピート再生あり／なし
- 再生中は次の操作ができます。
  ●：一時停止／再生
  ◎：音量調整
  i：データの先頭から再生（再生から3秒以内に押すと前のデータを再生）
  📖：停止
  ✉：次のデータを再生
  CLR：一覧画面に戻る

❖プレイリスト内の再生順を並べ替える

1 MENU▶5 2▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択▶MENU▶3 3▶タイトルにカーソルを合わせて(i)または✉▶📖

◆動画／iモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 電話帳、着信音、着信画像に、画像サイズが128×96、176×144、320×240以外、ASF形式、テロップ（テキスト）ありの動画／iモーションは利用できません。
- 音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）、再生制限が設定されているiモーションは待受画面に設定できません。
- 着信画像と電話帳に設定できるのは映像のみの動画／iモーションです。
- 着信音および着信画像に設定できるのは、詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／iモーションのみです。ただし、外部機器や他のFOMA端末に転送し、FOMA端末本体に戻した動画／iモーションは設定できません。

〈例〉待受画面に設定する

1 MENU▶5 2▶フォルダを選択▶動画／iモーションにカーソルを合わせてMENU▶2

2 1▶「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」

待受画面に設定したときの動作→P84

電話帳に新規登録する：2
電話帳登録→P67

電話帳に更新登録する：3▶電話帳データを選択

着信音に設定する：4▶1～8
- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳一覧で電話帳データを選択→📖を押します。

着信画像（音声電話、テレビ電話）／メール着信結果画像に設定する：5▶1～3

✔お知らせ
- プレイリストのタイトル一覧から操作する場合は、MENUを押し「動画の利用」を選択します。

動画／iモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、iモーションに保存されている動画／iモーションを編集します。

- 編集できる動画／iモーションは次のとおりです。
  - 自端末で撮影した動画
  - 自端末で撮影した動画以外の動画／iモーションで、ファイル制限がないもの
- 再生制限付きのiモーション、お買い上げ時に登録されている動画／iモーション、ASF形式の動画は編集できません。また、ダウンロードしたiモーションの符号化形式によっては編集できないことがあります。
- 編集した動画／iモーションは元のデータが保存されていたフォルダに新しいデータとして保存されます。ただし、静止画として切り出したデータはマイピクチャの「撮影した写真」フォルダに保存されます。編集後にメールに添付した場合も同様です。

◆静止画を切り出す（キャプチャ）

位置を指定し、静止画として切り出します。
- 切り出した静止画の画像サイズは、再生時の表示サイズになります。

1 MENU▶5 2▶フォルダを選択▶動画／iモーションを選択

2 切り出す位置でMENU▶4

3 📖

- 続けてキャプチャするには、●を押して再生を再開してから、操作2～3を繰り返します。

メールに添付する：✉
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文への貼り付け確認画面が表示されます。

◆動画／ｉモーションを切り出す（選択切り出し）

先頭から指定した位置まで切り出します。
- ファイルサイズが11K〜2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。

1 MENU▶5 2▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶4 1

再生時間の下に[アイコン]が表示されます。
- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 ◉▶切り出す位置で◉

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

CLR：やり直す
- 500Kバイトより大きいファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（小）」を選択すると500Kバイトで、「設定なし」を選択すると最大サイズより約1000バイト小さいファイルで切り出せます。2048Kバイトのファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（大）」を選択すると2047Kバイトで切り出せます。
- ◉を押さずに最後まで切り出したときは、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

3 表示名を入力▶📖
- 36文字以内で入力します。

再生する：[再生]

メールに添付する：✉

◆ファイルサイズを指定して切り出す（サイズ切り出し）

先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。
- ファイルサイズが11K〜2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。
- 指定できるファイルサイズは10K〜2047Kバイトです。上限は切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 MENU▶5 2▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶4 2
- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 切り出すサイズを入力
- 500Kバイトより大きいファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（小）」を選択すると500が、2048Kバイトのファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（大）」を選択すると2047が入力できます。

3 表示名を入力▶📖
- 36文字以内で入力します。

再生する：[再生]

メールに添付する：✉

動作設定

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

- お買い上げ時は一覧の画像表示が「あり」、表示画像の拡縮が「なし」、リピート再生が「ON」、照明設定が「常灯」、音量が「レベル20」に設定されています。

1 MENU▶5 2▶MENU▶4▶各項目を設定▶📖

一覧の画像表示：画像一覧でサムネイル表示にするかどうかを設定します。

表示画像の拡縮：画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大または縮小表示するかどうかを設定します。

リピート再生：プレイリスト再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。
- ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモーション）にも反映されます。

音量：再生時の音量を設定します。

✔お知らせ

- 動画／iモーション一覧から操作する場合は、MENUを押し「動作設定」を選択します。

キャラ電を表示する

キャラ電とは、テレビ電話利用時に自分の映像の代わりに画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中はダイヤルキーを押してキャラクタを動かせます。また、待受画面に設定して不在着信があるときなどにアクションさせるように設定できます。

- テレビ電話中にキャラ電を利用する→P61

1 MENU▶5 4▶フォルダを選択

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **iモード**：サイトからダウンロードしたキャラ電
  - **プリインストール**：お買い上げ時に登録されているキャラ電
  - **マイフォルダ**：他のフォルダから移動したキャラ電
  - フォルダを追加すると表示されます。→P237

2 キャラ電にカーソルを合わせる

キャラ電の表示名とキャラ電の詳細を示すマークが表示されます。

①**取得元**
：プリインストール　：iモード

②**ファイル制限**
(グレー)：ファイル制限あり

テレビ電話をかける：▶**電話番号を入力するかを押して電話帳から選択**▶

- 電話番号を入力してMENUを押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

テレビ電話代替画像に設定する：

待受画面に設定する：

①MENU▶3▶各項目を設定▶

- 「全体アクション」「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションが選択できます。ただし、キャラ電によっては選択できません。
- 「直接入力」を選択した場合は、入力欄に数字を入力してアクションを指定します。
- 不在着信や未読メールにアクションを設定した場合に、不在着信や未読メールがないときは、通常に設定したアクションが動作します。両方を設定していて不在着信と未読メールがあるときは、両方のアクションを交互に繰り返しますが、アクション間隔を「OFF」にしている場合は、不在着信のアクションが1回だけ動作します。
- アクション間隔を「OFF」にすると、1回だけアクションが動作します。

②**「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」**

- 既にiアプリ待受画面が設定されている場合は、iアプリ待受画面の解除確認画面が表示されます。

3 ●

：拡大／等倍表示
1～9：対応するアクションの実行
0：アクションの中止
：アクション一覧の表示
（1秒以上）：全体アクションとパーツアクションの切り替え

- 現在のアクション種別は、画面の左下に次のアイコンで表示されます。
  - Action：全体アクション
  - Parts：パーツアクション

動作設定

キャラ電の動作条件を設定する

- お買い上げ時は表示サイズが「拡大」、照明設定が「端末設定に従う」に設定されています。

1 MENU▶5 4▶MENU▶4▶**各項目を設定**▶

表示サイズ：拡大表示するか、等倍表示するかを設定します。

照明設定：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

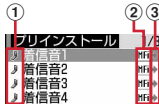
メロディを再生する

- FOMA端末では、SMF形式やMFi形式のメロディを再生できます。

1 MENU▶5 3▶**フォルダを選択**

- フォルダの内容は次のとおりです。
  iモード：サイトやメールから取得したメロディ
  プリインストール：お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P300
  メール添付メロディ：お買い上げ時に登録されているメール添付用メロディ→P300
  データ交換：バーコードリーダーで読み取ったメロディ、外部機器から取り込んだメロディ
  マイアルバム：他のフォルダから移動したメロディ
  - アルバムを追加すると表示されます。→P237

2 **メロディにカーソルを合わせる**

メロディの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

①取得元
：プリインストール、メール添付メロディ
：iモード、メール　：データ交換
②ファイルの種類
MFi：MFi　SMF：SMF
③ファイル制限
(グレー)：ファイル制限あり
(青)：ファイル制限なし

メールに添付する：✉

3 ●

メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名や再生位置、音量を示すマークが表示されます。

①メロディ番号／件数
②現在の再生位置
③再生音量

- 再生中は次の操作ができます。
  ：音量調整
  ：前後のメロディ再生
  ●、CLR：停止

◆メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 MENU▶5 3▶**フォルダを選択**▶**設定するメロディにカーソルを合わせて** MENU▶2▶1～8

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳一覧で電話帳データを選択→📖を押します。

動作設定

メロディの動作条件を設定する

- お買い上げ時は音量が「レベル4」、イルミネーションパターンが「イルミパターン1」、イルミネーションカラーが「ライム」、バイブレータが「OFF」、再生位置が「フルコーラス再生」、再生画面背景が「標準」に設定されています。

1 MENU▶5 3▶MENU▶5▶**各項目を設定**▶📖

- イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションカラーは「レインボー」で動作します。また、「メロディ連動」に対応していないメロディがあります。
- 再生位置を「ポイント再生」にすると、メロディの一部分が再生されます。ただし、「ポイント再生」に対応していないメロディがあります。
- 再生画面背景を「選択」にすると、画像フォルダに保存されている画像を選択できます。

✔お知らせ

- メロディ一覧およびメロディ再生画面から操作する場合は、MENUを押し「動作設定」を選択します。

アルバムを利用する

データBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電、きせかえツールの各フォルダ一覧にアルバムを追加し、データの整理などに利用します。

- キャラ電、きせかえツールでは「フォルダ」と表示されます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

◆アルバムを追加する

- データBOXのマイピクチャは最大100個、それ以外はデータの種類ごとに最大10個ずつ追加できます。

〈例〉マイピクチャのアルバムを追加する

1 MENU▶5 1

2 MENU▶1

- メロディの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「アルバム追加」を選択してください。

アルバムを削除する：アルバムにカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」

- データが保存されているときは認証操作を行います。
- メロディの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「アルバム削除」を選択してください。

アルバム名を変更する：アルバムにカーソルを合わせてMENU▶3

- メロディの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「アルバム名変更」を選択してください。

3 アルバム名を入力▶□

- 全角10（半角20）文字以内で入力します。

◆データをアルバムに移動／コピーする

❖データを移動する

- 「プリインストール」「デコメ絵文字」「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動する

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択

2 データにカーソルを合わせてMENU▶5 1

- メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。メロディの場合は「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を、きせかえツールの場合は「移動」→「フォルダへ移動」を選択してください。
- キャラ電のデータを移動する場合は「移動」を選択してください。

3 1～3

複数移動する：2▶データを選択▶□

4 移動先のアルバムを選択▶「はい」

❖データを固定フォルダに戻す

- キャラ電のデータは、固定フォルダに戻す操作はできません。

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻す

1 MENU▶5 1▶アルバムを選択

2 データにカーソルを合わせてMENU▶5 2

- メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「移動」→「フォルダへ戻す」を選択してください。

3 1～3

データを複数戻す：2▶データを選択▶□

4 「はい」

✔お知らせ

- 「デコメピクチャ」フォルダで固定フォルダに戻す操作をすると、バーコードリーダーで読み取った画像は「データ交換」フォルダに、それ以外は「iモード」フォルダに移動します。

❖データをコピーする

マイピクチャとｉモーションでは、データを同じアルバムまたはフォルダにコピーできます。
- 次のデータはコピーできません。
  - 「プリインストール」フォルダのデータ
  - マイピクチャのパラパラマンガや「アイテム」フォルダの画像
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ファイル制限が「あり」に設定されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータを除く）

〈例〉マイピクチャのデータをコピーする

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択

2 データにカーソルを合わせて MENU▶5 3

コピー元のデータと同じアルバムまたはフォルダに保存されます。

✔お知らせ

- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

◆アルバム再生する

アルバム内のメロディをまとめて再生できます。

1 MENU▶5 3▶アルバムにカーソルを合わせて MENU▶1

- アルバム再生時は次の操作ができます。
  - ：前後のデータ再生
  - ：音量調整
  - 、CLR：停止

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を表示／変更する

表示名やファイルサイズなど、データの詳細情報を確認します。また、一部の情報は変更できます。

◆詳細情報を表示する〈詳細情報参照〉

〈例〉画像の詳細情報を表示する

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択

2 画像にカーソルを合わせて MENU▶3 1

- キャラ電、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「詳細情報」→「参照」を選択してください。

◆詳細情報を変更する〈詳細情報変更〉

〈例〉画像の詳細情報を変更する

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択

2 画像にカーソルを合わせて MENU▶3 2▶項目を設定▶

- キャラ電、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「詳細情報」→「変更」を選択してください。

◆表示項目と変更可否一覧

詳細情報で表示される項目は次のとおりです。

表示名：FOMA端末で表示するタイトル
- メロディは全角25（半角50）文字以内で、それ以外は36文字以内で変更できます。

タイトル：データのオリジナルタイトル
- 設定されていない場合は「---」と表示されます。
- 画像では表示されません。

ファイル名：メール添付時に表示されるファイル名
- 画像、動画／ｉモーション、メロディのみ、半角英数字と「.」「-」「_」で、36文字以内で変更できます。ただし「.」は先頭に入力できません。

ファイル制限：メールに添付して送信した場合の、受信した相手の携帯電話から他の携帯電話への転送の制限
- 画像、動画／ｉモーション、メロディのみ変更できます。ただし、サイトなどからダウンロードしたデータやASF形式の動画などデータによっては変更できません。

ファイル種別：ファイルの種別
- キャラ電やきせかえツールでは表示されません。また、Flash画像では「---」と表示されます。

表示サイズ：データの表示サイズ
- Flash画像やメロディ、きせかえツールでは表示されません。

実メモリサイズ（バイト）：データの実ファイルサイズ

消費メモリサイズ（バイト）：データの保存に利用するメモリサイズ
保存日時：データを保存した日時
取得元：データの取得元

■ **画像とキャラ電で表示される項目**

コメント：データの説明など
- 100文字以内で変更できます。

■ **画像で表示される項目**

種類：画像の種類
メール添付サイズ（バイト）：メール添付可能なデータの添付時のサイズ
フレーム候補：フレームとして貼り付け可能かどうか
- JPEG画像またはGIF画像のみ変更できます。
- 画像サイズが352×288または240×432より大きい画像、および「アイテム」フォルダの画像と合成した画像は「する」に変更できません。
- 「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

スタンプ候補：スタンプ画像として貼り付け可能にするかどうか
- JPEG画像またはGIF画像のみ変更できます。
- 画像サイズが240×432以上の画像、および「アイテム」フォルダの画像と合成した画像は「する」に変更できません。
- 「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

■ **動画／iモーションで表示される項目**

作成者：作成者情報
- 自端末で撮影した動画の場合、プロフィール情報の名前が表示されます。名前の登録がない場合は「---」と表示されます。
- 256文字以内で変更できます。ただし、ASF形式の動画などデータによっては変更できません。

コピーライト：著作者名／公表年月日など
- 256文字以内で変更できます。ただし、ASF形式の動画などデータによっては変更できません。

説明：データの説明
- 256文字以内で変更できます。ただし、ASF形式の動画などデータによっては変更できません。

音：音声データの種別
着信音設定：着信音に設定可能かどうか
- 自端末で、品質（動画撮影）を「XQ（最高品質）」以外、撮影種別を「画像+音声」または「音声のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は「可」になります。

着信画面設定：着信画面に設定可能かどうか
- 自端末で撮影種別を「画像のみ」で撮影した画像サイズが320×240以下の動画や、その動画から切り出した動画は「可」になります。

再生制限：再生の制限

■ **メロディで表示される項目**

再生時間：データの再生時間

データを削除する

- 「プリインストール」（キャラ電を除く）や「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを1件削除する

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

2 データにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 1

複数削除する：MENU ▶ 6 2 ▶ データを選択 ▶ 📖

全件削除する：MENU ▶ 6 3 ▶ 認証操作
- メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「削除」を選択して操作してください。

3 「はい」

✔お知らせ

- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時または標準の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- 既に設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、サイトからダウンロードできます。→P300

ソート

データを並べ替える

一覧画面のデータの並び順を変更します。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替える

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択

2 MENU▶7▶各項目を設定▶📖

- メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「ソート」を選択してください。
- 「昇順」に設定した場合の、項目ごとの並び順は次のとおりです。選択できる項目はデータにより異なります。

  表示名：半角数字→半角大文字英字→半角小文字英字→かな→全角カナ→漢字→絵文字→全角数字→全角大文字英字→全角小文字英字→半角カナ

  保存日時：日付・時刻の古い順

  実メモリサイズ：サイズの小さい順

  格納順：アルバムに移動した順

  取得元：プリインストール→ｉモード→フレーム・スタンプ→カメラ→データ交換

✔お知らせ

- 表示名はUnicode順でソートされます。半角記号、全角記号は種類によって並び順が異なります。また、表示名に全角と半角が混在していると50音順と一致しない場合があります。
- 動画／ｉモーションやメロディのアルバムに初めてデータを移動したときは、格納順に並びます。

メモリ確認

FOMA端末の保存容量を確認する

データの種類ごとに、FOMA端末の保存容量や空き容量などを表示します。空き容量を確認してから、データのダウンロードを行ってください。

1 MENU▶8 7 6 3▶データの種類にカーソルを合わせる

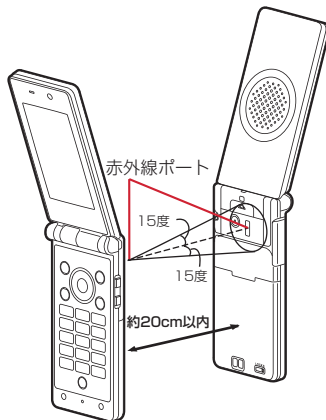
赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することもできます。

❖利用するときの留意事項

- パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送は同時に使用できません。
- 赤外線通信中やINBOX操作中は、ディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

◆赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。

✔お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常にできない場合があります。

赤外線送信

赤外線通信を使ってデータを送信する

データを1件ずつ送信する方法と、データの種別ごとにまとめて送信する方法があります。

・送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳／プロフィール	・相手の端末によっては、画像が送信されない場合があります。 ・全件送信では、プロフィール情報（自局電話番号を除く）も送信されます。また、電話帳グループのシークレット属性は解除され、各電話帳データにシークレット属性が設定されて送信されます。 ・データ送受信設定の電話帳の画像送信が「あり」のときは、電話帳の画像も送信されます。
スケジュール	―
受信／送信／未送信メール	・メール本文中の貼付データ（iアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。
メモ	―
ブックマーク	・相手の端末によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
現在地通知先	―
画像	・表示名は全角9（半角18）文字以内で送信され、超過した文字は削除されます。 ・ファイルサイズが500Kバイトより大きいデータは送信できません。
動画／iモーション	
メロディ	―

・FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダのデータを除く）。
・F-05A以外のiモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、受信側で登録できない項目は破棄されます。
・絵文字を入力したデータをiモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がiモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2が正しく表示されないことがあります。

◆データを1件送信する

・相手の機器を受信待機状態にする必要があります。

〈例〉電話帳データを1件送信する

1 電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせてMENU▶81▶「はい」

・一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「赤外線送信」を選択して操作してください。

✔お知らせ

・プロフィール情報の画面で赤外線送信するときはMENUを押します。また、詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「赤外線送信」を選択します。

◆データを全件送信する

選択した機能のすべてのデータを送信します。

・送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
・相手の機器を受信待機状態にする必要があります。
・画像や動画／iモーション、メロディは全件送信できません。

1 MENU▶62▶2▶1～8▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」

✔お知らせ

・フォルダやデータの一覧画面、スケジュールのカレンダーやデイリービュー画面から操作する場合は、MENUを押し「赤外線全件送信」または「赤外線送信」→「赤外線全件送信」を選択します。
・全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線受信

赤外線通信を使ってデータを受信する

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法があります。

- 受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所
電話帳／プロフィール	電話帳 • 1件受信の場合は、最も小さい空きメモリ番号に保存されます。 • 全件受信で上書き保存をした場合は、プロフィール情報（自局電話番号を除く）も上書きされます。
スケジュール	スケジュール帳
受信／送信／未送信メール	受信／送信／未送信メール • F2102V、F2051のメールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
メモ	メモ帳
ブックマーク	Bookmark • 全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
現在地通知先	現在地通知先一覧
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ デコメ絵文字®はマイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダ
動画／iモーション	iモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ

- FOMA Fシリーズ以外の端末から画像、動画／iモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。

◆データを1件受信する

- 512Kバイトより大きいデータは受信できません。

1 MENU▶6 2 1 1▶1または2▶「はい」▶送信側でデータを1件送信

保存確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXが表示されます。
以降の操作→P243「受信したデータを保存する」
保存確認なし：受信したデータはデータの種類により決められた保存場所に保存されます。

◆データを全件受信する

データの種類ごとにまとめて受信します。

- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- 画像や動画／iモーション、メロディは全件受信できません。

1 MENU▶6 2 1 2▶1または2

上書き確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。
上書き確認なし：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。選択するとデータ削除の確認画面が表示されます。「はい」を選択し、認証操作を行ってから操作2に進みます。
※ 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

2 4桁の認証パスワードを入力▶「はい」▶送信側でデータを全件送信

- 「上書き確認あり」を選択した場合は、受信完了後、INBOXが表示されます。
以降の操作→P243「受信したデータを保存する」操作2

✔お知らせ

- FOMA端末ではToDo（用件を管理するリスト機能）データを保存できません。ToDoデータとスケジュールデータの両方を全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを「上書き確認なし」で全件受信した場合、FOMA端末に登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- 相手の機種や状態によっては、相手端末で設定していたフォルダ分けが、本端末に反映されない場合があります。

◆受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されている受信データをFOMA端末に保存します。

1 MENU▶6 2 3

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：電話帳1件／複数件
  - ／：スケジュール1件／複数件
  - ／：メール1件／複数件
  - ／：メモ1件／複数件
  - ／：ブックマーク1件／複数件
  - ／：現在地通知先1件／複数件
  - ：画像データ
  - ：動画／ｉモーション
  - ♪：メロディ

削除する：データにカーソルを合わせてMENU▶2または3

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

2 データを選択▶「はい」

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

✔お知らせ

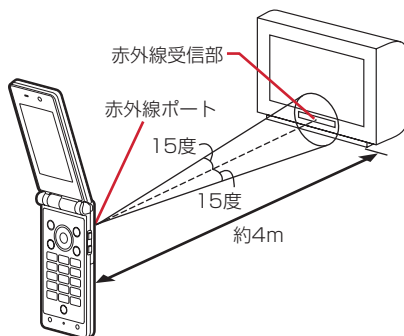
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせてMENU 1を押してください。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

❖リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

赤外線通信やパソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 MENU▶6 2 4▶各項目を設定▶📖

通信終了音：通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

自動認証：パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。

- 「あり」に設定するときは、認証操作を行い、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、📖を押してください。

電話帳の画像送信：電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

録音した音声はFOMA端末だけでなく外部機器に保存したり、iモードメールに添付して送信したりできます。

- 次の形式やタイトルで保存されます。
  ファイル形式：MP4（MobileMP4）
  符号化方式：AMR　拡張子：3gp
  タイトル：録音した日時が自動的に付けられます。
  ファイル名は変更できます。→P238
- 録音時間の目安は次のとおりです。時間は品質やサイズ制限などによって変わります。

項　目	品質	サイズ制限		
		メール添付用（小）（500Kバイト）	メール添付用（大）（2Mバイト）	制限なし
1回あたりの録音時間	STD	約485秒	約33分	約331分
	HQ	約319秒	約21分	約217分
最大録音時間	STD	約331分	約331分	約331分
	HQ	約217分	約217分	約217分

◆音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
- 各種の音量設定が「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中でも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 MENU▶6 4

📷／✉：静止画／動画撮影画面に切り替え

音声録音画面（待機中）

① **録音時設定操作ガイド**
⊕を押して録音時の設定ができることを示します。

② **撮影種別**
音声のみ（サウンドレコーダー）であることを示しています。

③ **品質とサイズ制限**→P245

④ **カウンタ**
録音できる最大時間（目安）を示します。録音時は経過時間と残り時間（目安）を示します。

⑤ **インジケータ**
保存領域の使用率を示します。録音時／一時停止中はサイズ制限で設定しているファイルサイズに対する、録音したサイズの割合を示します。

2 ⊙

録音確認音（シャッター音）が鳴り、ディスプレイに●が表示され、録音が始まります。録音中はランプが赤色で点滅します。

- 録音を一時停止するときは⊙を押します。
  ❚❚が表示され、ランプが緑色で点灯します。
  もう一度⊙を押すと、録音を開始します。
  一時停止するときと再開するときは、録音確認音（シャッター音）が鳴ります。

3 ⓜ

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が終了します。

- ファイルサイズが制限値に達すると録音が終了し、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 一時停止中にⓜを押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 動画／録音詳細設定の自動保存が「する」の場合は、操作4以降の操作はできません。

4 **ⓜを押して録音した音声を確認**

すぐに保存する：操作5に進む

保存しないで録音し直す：CLR

メールに添付する：✉▶「はい」

- 添付した音声がｉモーションの「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。

タイトルを編集する：MENU▶3

- 31文字以内で変更できます。

5 ◉

録音した音声がｉモーションの「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 録音した音声のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合は、メールに添付できません。
- 撮影画面でMENUを押し「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択するか、または動画／録音詳細設定の撮影種別を「音声のみ」に設定した場合でも、サウンドレコーダーを起動できます。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項→P131「カメラで動画を撮影する」のお知らせ

録音時の設定を変更する

品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。

- 動画／録音詳細設定でも設定できます。→P131

◆音声の品質を設定する

1 **音声録音画面で⊙▶品質のマーク（HQ STD）にカーソルを合わせる**

- 8を押してもマークを選択できます。

2 **⊙で品質にカーソルを合わせて◉**

設定した品質がマークで表示されます。

HQ高品質：音質はよくなりますが、録音できる時間が短くなります。

STD標準：標準的な品質です。

◆ファイルサイズを制限する

1 **音声録音画面で⊙▶サイズ制限のマーク（∞ ✉H ✉）にカーソルを合わせる**

- 9を押してもマークを選択できます。

2 **⊙でサイズ制限にカーソルを合わせて◉**

設定したサイズ制限がマークで表示されます。

→P135「ファイルサイズを制限する」の「動画撮影のとき」

便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスク表示領域には、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - 音声電話：1通信
  - iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンとつないだパケット通信：いずれか1通信
  - SMS：1通信
- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
- マルチアクセスの組み合わせ→P315

◆マルチアクセスでできる主な操作

❖通信中に音声電話を受ける

〈例〉iモード中に音声電話を受ける

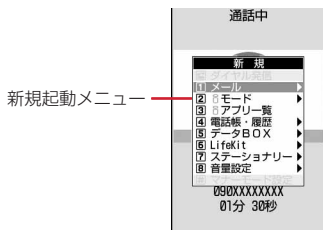
1 iモード中に電話がかかってくる▶[通話]

電話がつながります。

- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

❖通信中に他の通信を行う

〈例〉音声電話中にiモードに接続する

1 音声電話中に[MULTI]▶[2][1]

- サイト画面を表示したまま通話できます。
- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

〈例〉音声電話中にiモードメールを送信する

1 音声電話中に[MULTI]▶[1][2]▶iモードメールを送信

- メール作成画面を表示したまま通話できます。
- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスク表示領域には、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、ダイヤル発信、プロフィール情報、マナーモード設定／解除は、他の機能が2つ実行されていても起動できる場合があります。
- マルチタスクの組み合わせ→P316

◆新しい機能を実行する

通話中や通信中などの機能を実行中に別の機能を実行できます。

〈例〉通話中にスケジュールを登録する

1 通話中に[MULTI]▶[7][1]▶スケジュールを登録

- スケジュール画面を表示したまま通話できます。
- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

✔お知らせ

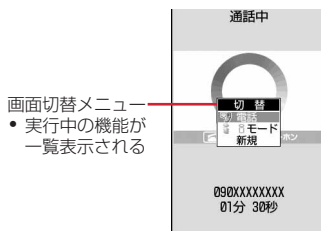
- 動画の再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

◆操作する機能を切り替える

画面切替メニューを表示すると、画面を切り替えながら操作できます。

- 画面切替メニューは、メニュー項目に表示される名称と異なる場合があります。

〈例〉音声電話中画面からサイト画面へ切り替える

1 音声電話中に[MULTI]▶「iモード」

- 通話中画面に戻すには、[MULTI]を押し「電話」を選択します。
- 画面切替メニュー表示中に[MENU]を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。もう一度[MENU]を押すと画面切替メニューに戻ります。

◆実行中のすべての機能を終了する

1 マルチタスク中に(MULTI)▶(📖)▶「はい」

自動電源ON／OFF設定

自動的に電源を入れる／切る

指定した時刻に電源を自動的に入れたり、切ったりします。

〈例〉自動的に電源を入れる

1 (MENU)▶(8)(7)(1)(2)

自動的に電源を切る：
(MENU)▶(8)(7)(1)(3)▶認証操作

2 各項目を設定▶(📖)

自動電源ON：自動的に電源を入れるかどうかを設定します。
時刻：電源を入れる時刻を入力します。
繰り返し：繰り返しの動作を設定します。

✔お知らせ

- 自動電源OFF設定が「ON」でも、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中の機能を終了すると電源が切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ON設定を「OFF」にしてください。

お知らせタイマー

簡単な操作でタイマーを設定する

MENU76

タイマーでお知らせするまでの時間（分）を待受画面で入力して設定します。

1 時間（分）を入力▶(●)

カウントダウンが始まります。
- 時間は1～60分の範囲で入力します。
- FOMA端末を閉じてもカウントダウンは継続します。
- カウントダウン中に(CLR)または(✆)を押すと、終了の確認画面が表示されます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに次の画面が表示され、音量設定の目覚まし音量でタイマーが鳴り、背面表示部とランプが点滅します。また、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時に従って動作します。

- (✆)を押すと、タイマーが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、(✆)や(･)以外のキーを押すと、タイマーが停止します。

✔お知らせ

- 通話中に指定した時間になると、警告音が鳴りタイマーが停止した画面が表示されます。
- 次の場合に指定した時間になると、操作や動作が終了した後、タイマーが鳴動します。
  - 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中

目覚まし

指定した時刻に目覚ましを鳴らす

- 最大9件登録できます。

1 (MENU)▶(7)(3)▶(1)～(9)

設定／解除する：タイトルにカーソルを合わせて(MENU)
- 設定中の目覚ましは、タイトルの左に🕒が表示されます。

2 各項目を設定

時刻：目覚ましを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し：繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して(📖)を押します。

タイトル：目覚ましのタイトルを入力します。
- 全角7（半角14）文字以内で入力します。

スヌーズ：スヌーズ動作（約1分間鳴った後に4分間停止する動作）を約30分間繰り返すかどうかを設定します。

3 ◎で音設定画面に切り替え▶各項目を設定

目覚まし音（アラーム）：音を設定します。
- 「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択した場合は、目覚まし音を選択します。
- 「端末設定に従う」にすると、音設定の目覚まし音に従います。

音量：音量を設定します。
- 「端末設定に従う」にすると、音量設定の目覚まし音量に従います。

4 ◎でその他設定画面に切り替え▶各項目を設定

バイブレータ：振動を設定します。
- 「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時に従います。

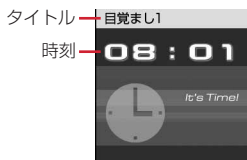
イルミネーションパターン：ランプの点灯パターンを設定します。
- 「メロディ連動」にすると、イルミネーションカラーは「レインボー」で動作します。

イルミネーションカラー：ランプの点灯色を設定します。

5 ⓜ

- 目覚ましを設定すると、待受画面に🕒または🕒（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

❖指定した時刻になると

ディスプレイに次の画面が表示され、設定に従って動作します。
- FOMA端末を閉じているとき→P31

- ⓟを押すと目覚ましが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、ⓟや⊡以外のキーを押すと、目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。
- スヌーズ動作で停止しているときは、ディスプレイに「スヌーズ中 Snooze」と表示されます。
- 目覚まし停止中にCLRまたはⓟを押すと、目覚ましは終了します。スヌーズ動作で停止しているときはⓟを押すと終了します。

✔お知らせ

- 目覚まし音に動画／iモーションを設定すると、目覚ましが動作するとき画面に動画／iモーションが表示されます。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。ⓟを押すとスケジュールアラームは終了しますが、目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。
- 通話中に指定した時刻になると、警告音が鳴り目覚ましの画面が表示されます。
- 次の場合に指定した時刻になると、操作や動作が終了した後、目覚ましが動作します。
  - 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - ちょこっと通知起動中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
  - 防犯ブザー動作中

アラーム自動電源ON設定

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

目覚ましやスケジュールの指定日時に電源が入っていなかったとき、アラームが鳴るように電源を自動的に入れるかどうかを設定します。

1 MENU▶8 7 1 5▶1または2

✔お知らせ

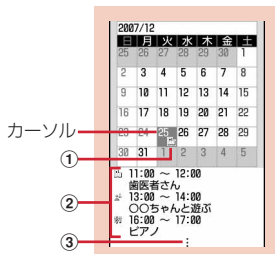
- 電池パックを外した場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、本機能を「OFF」にしてください。

スケジュールを管理する

仕事の予定などを登録します。指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。

◆カレンダーを表示する

MENU71

1 (1秒以上)

カレンダー画面

当日は黄色やピンク、土曜日は青や水色、休日・祝日は赤などで表示されます。

- カレンダー画面表示中は次の操作ができます。
  ：日付移動
  ：デイリービュー画面表示
  ／：前月／翌月の切り替え
- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **用件アイコン**
  - 複数のスケジュールを登録した日付は、最も早い時刻に登録したスケジュールの用件アイコンが表示されます。

  ② **カーソル位置の日付に登録したスケジュール一覧**
  - 一覧の見かたはデイリービュー画面（→P253）と同じです。

  ③ **スケジュールを4件以上登録している場合**

特定の日を指定して表示する（日付移動）：
▶4 2▶年月日を入力

- 当日に戻すときは 4 1 を押します。
- デイリービュー画面から操作する場合は、5 2 を押します。当日に戻すときは、5 1 を押します。

✔お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- コーディネイト／きせかえの設定やスクリーン設定により、表示される色は異なる場合があります。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2010年7月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。

◆カレンダーの表示形式を設定する〈カレンダーモード設定〉

- お買い上げ時は、動作モードが「マンスリーモード」、表示モードが「最初が日曜」に設定されています。

1 (1秒以上)▶▶6 1▶各項目を設定▶

動作モード： を押して日付を移動したときのカレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」にすると、1か月ごとに画面が切り替わり、「スライドモード」にすると、1週間ごとに画面がスクロールします。

表示モード： 1週間の始まり（左側に表示）の曜日を設定します。

◆休日を設定する〈休日設定〉

- 最大30件設定できます。

〈例〉日付を指定して設定する

1 (1秒以上)

2 日付にカーソルを合わせて ▶6 2 1

カレンダー画面の日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にするときは 6 2 2 を押します。

解除する： 日付にカーソルを合わせて ▶6 2▶3 または 4

曜日を指定して設定する：
① ▶6 3▶曜日を選択
- 日曜日以外の曜日を選択したときは、 を押すとお買い上げ時の状態に戻ります。

②

◆祝日を設定する〈祝日設定〉

- 最大5件新規登録できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

1 ⓜ（1秒以上）▶MENU▶6 4

2 ⓜ

変更する：祝日を選択▶操作3に進む

削除する：祝日にカーソルを合わせてMENU▶「はい」

3 各項目を設定▶ⓜ

祝日名：祝日名を入力します。
- 全角11（半角22）文字以内で入力します。
- お買い上げ時に設定されている祝日名は変更できません。

表示：祝日を表示するかどうかを選択します。
- 「ON」にすると、カレンダー画面では祝日に設定した日付の色が変わり、カーソルを合わせるとカレンダー画面上部に祝日名が表示されます。デイリービュー画面では祝と祝日名が表示されます。

日付：祝日にする日付を入力します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択し、日付を入力します。

◆スケジュールを登録する

- 同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
- 最大登録件数→P334

1 ⓜ（1秒以上）▶日付にカーソルを合わせてⓜ

- デイリービュー画面から操作する場合はⓜを押します。

2 各項目を設定

(用件アイコン)：用件アイコンを選択します。

予定（内容入力欄）：選択した用件アイコンに対応した予定の内容が表示されます。
- 全角100（半角200）文字以内で入力します。

終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは「ON」を選択します。

開始日時：開始日時を入力します。

終了日時：終了日時を入力します。
- 開始日時よりも後の日付に設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上にが表示されます。また、カレンダー画面のスケジュール一覧、デイリービュー画面、スケジュール詳細画面の用件アイコンの下にが表示されます（長期間スケジュール）。

要約・メモ：詳細などを入力します。
- 全角300（半角600）文字以内で入力します。

3 でメンバーリスト選択画面に切り替え▶「〈メンバーリスト選択〉」▶電話帳からメンバーを選択

- 最大5名登録できます。
- メンバーを削除するときは、メンバーにカーソルを合わせてMENUを押します。

4 でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム（スケジュールアラーム）：アラームを設定するときは「あり」を選択し、アラーム音を選択します。
- 「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択した場合は、アラーム音を選択します。
- 「端末設定に従う」にすると、音設定のスケジュール音に従います。

予告アラーム：開始日時より前に予告アラームを鳴らすときは「あり」を選択します。
- 選択方法はアラームと同じです。

予告アラーム時間（分前）：開始日時の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定します。

5 でその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：繰り返しの動作を設定します。
- 開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返しを「毎月」または「毎年」にした場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択してⓜを押します。
- 繰り返しを設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上にが表示されます。また、カレンダー画面のスケジュール一覧、デイリービュー画面、スケジュール詳細画面の用件アイコンの下にが表示されます（繰り返しスケジュール）。

イメージ：スケジュールアラーム画面を変更するときは、「あり」を選択して「画像選択」を選択し、画像を選択します。
- Flash画像は設定できません。

6 ⓜ

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは(目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

❖待受画面からスケジュールを登録する〈クイックスケジュール〉

カレンダー画面を表示せず、待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録できます。

1 日時を8桁の数字で入力▶(Ⓜ)

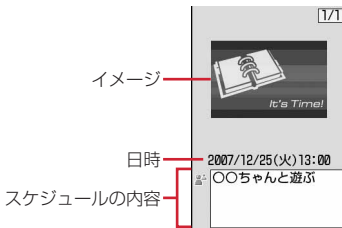
スケジュールの新規作成画面が表示されます。

- 12月25日8時1分の場合、1 2 2 5 0 8 0 1と入力します。
- 時間2桁、分2桁の4桁を入力すると、当日（現在の時刻より前の時刻を入力した場合は翌日）の新規作成画面が表示されます。

以降の操作→P252「スケジュールを登録する」操作2以降

❖指定した日時になると

ディスプレイに次の画面が表示され、音量設定のスケジュール音量でアラームが鳴ります。また、バイブレータ設定のスケジュール鳴動時や着信イルミネーションの電話着信に従って動作します。

- FOMA端末を閉じているとき→P31

- ⌂を押すとアラームが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、⌂や⋅以外のキーを押すと、アラームが停止します。
- アラームが停止しているときに◉を押すと、スケジュール詳細画面が表示されます。

✔お知らせ

- 終日が「ON」のスケジュールは、指定した日の0時にスケジュールアラームが動作します。
- スケジュールアラームに動画／ｉモーションを設定すると、スケジュールアラームが動作するとき画面に動画／ｉモーションが表示されます。
- 同じ日時に複数のスケジュールアラームを設定している場合、アラームを停止した後◈を押して他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームと目覚ましを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中に指定した日時になると、警告音が鳴りスケジュールアラーム画面が表示されます。
- 次の場合に指定した日時になると、操作や動作が終了した後、アラームが動作します。
  - 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - ちょこっと通知起動中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
  - 防犯ブザー動作中

◆スケジュールアラームの初期値を設定する〈アラーム初期値設定〉

新規登録するスケジュールのスケジュールアラームの初期値を変更できます。

- お買い上げ時は、通常登録時、待受画面から登録時が「アラームあり」に設定されています。
- 登録済みのスケジュールの設定は変更されません。

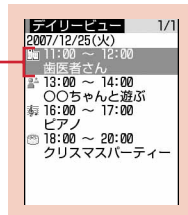
1 (Ⓜ)（1秒以上）▶MENU▶6 5▶各項目を設定▶(Ⓜ)

通常登録時：カレンダー画面からスケジュールを登録するときの初期値を設定します。

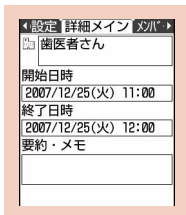
待受画面から登録時：待受画面からスケジュールを登録するときの初期値を設定します。

◆登録したスケジュールを確認・変更する

〈例〉スケジュールを確認する

1 (Ⓜ)（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

デイリービュー画面

- ◈を押すと、日付が切り替わります。

2 スケジュールを選択

スケジュール詳細画面

変更する：スケジュールにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

- スケジュール詳細画面から操作する場合は 📖 を押します。

以降の操作→P252「スケジュールを登録する」操作2以降

用件を指定して表示する（用件別表示モード）：

① MENU ▶ 4 2

- 元の表示に戻す場合は MENU 4 1 を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は MENU 3 2 を押します。元の表示に戻す場合は MENU 3 1 を押します。

② **用件アイコンを選択**

カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。

✔お知らせ

- 表示中のスケジュールの内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

❖スケジュールをコピーして貼り付ける

- コピーしたスケジュールは最新の1件だけがスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けられます。

1 📖（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 1

2 CLR ▶貼り付ける日付にカーソルを合わせて MENU ▶ 5

- デイリービュー画面から操作する場合は、MENU 6 2 を押します。

◆スケジュールからｉモードメールの操作を行う

❖メールを作成する

メール本文に自動的にスケジュールを入力したり、1件のスケジュールデータとして添付したりできます。

- スケジュールはメール本文にDate To形式で入力されます。→P262

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールを入力する

1 📖（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールにカーソルを合わせて ✉

- 選択した日付に登録されているすべてのスケジュールを入力するときは MENU 7 1 2 を押します。
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめて入力するときは MENU 7 1 3 を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は、MENU 8 1 を押し 1 または 2 を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、✉ を押します。

添付する：スケジュールにカーソルを合わせて MENU ▶ 7 1 4

- スケジュール詳細画面から操作する場合は、MENU 4 2 を押します。

❖メールを検索する

〈例〉カレンダー画面から検索する

1 📖（1秒以上）▶日付にカーソルを合わせて MENU ▶ 8 2 ▶ 1 または 2

- デイリービュー画面から操作する場合は、MENU 7 2 を押し 1 または 2 を押します。

✔お知らせ

- メールを作成するとき、入力されるスケジュールがメール本文の最大文字数を超えた場合は、超過分が削除されます。
- 用件別表示モードに切り替え中は、表示されている用件だけがメール本文入力の対象になります。

◆スケジュールを削除する

〈例〉デイリービュー画面から削除する

1 **(1秒以上)▶スケジュールの登録日を選択▶MENU▶3▶1〜4▶「はい」**

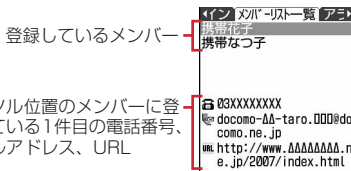
- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。
- カレンダー画面から操作する場合は、MENU2を押し1〜3を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、MENU3を押します。

✔お知らせ

- 選択した日付を含む長期間スケジュールを登録している場合は、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると、長期間スケジュール削除の確認画面が表示されます。
- 用件別表示モードに切り替え中は、表示されている用件だけが削除の対象となります。

◆メンバーリストを利用する

メンバーリストを選択して、電話をかけたり、メールを作成したりできます。

1 **(1秒以上)▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールを選択▶でメンバーリスト一覧画面を表示**

2 **メンバーにカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う**

電話をかける: または

- MENU4を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

iモードメールを作成する:

メールアドレスが宛先に設定され、スケジュールがDate To形式で本文に入力されます。

- メンバー全員にiモードメールを送信するときはMENU52を押します。

サイトを表示する: MENU▶6

✔お知らせ

- 電話帳データに登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して、電話帳の詳細画面から利用する電話番号またはメールアドレスを表示します。ただし、電話帳の詳細画面からiモードメールを作成するとスケジュールは本文に入力されません。

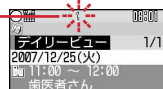
◆他人に見られたくないスケジュールを守る〈シークレット属性〉

スケジュールにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中(スケジュールが「指定スケジュール非表示」のとき)は、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されません。

- プライバシーモードの設定→P112

1 **(1秒以上)▶スケジュールの登録日を選択**

2 **スケジュールにカーソルを合わせてMENU▶9**

カーソル位置のスケジュールにシークレット属性を設定していると が点滅

- 解除するときは、スケジュールにカーソルを合わせてMENU9を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、MENU6を押します。

◆スケジュールの登録件数を確認する〈登録件数確認〉

スケジュールデータと休日設定の件数を確認できます。

1 **(1秒以上)▶MENU▶7**

セレクトメニュー

よく使う機能を登録する

MENU8232

よく使う機能を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます。

- セレクトメニューの1階層目に登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1～9）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、下の階層がある機能、人物、グループを登録した場合は起動できません。

❖テンプレートを読み込む

4種類のテンプレートのいずれかを読み込んで、セレクトメニューを設定します。

1 MENU▶(本)▶MENU▶7 1▶1～4

マイメニュー：開閉パターン、待受画面選択、新着アニメ、コーディネイト／きせかえ、時間割、辞典、電卓、現在地確認

あんしんメニュー：あんしんセット、暗証番号変更、パスワード変更、位置提供可否設定、ダイヤル発信制限、メモリ登録外着信拒否

カスタマイズ：コーディネイト／きせかえ、待受画面選択、新着アニメ、開閉パターン、着信イルミネーション、キー／開閉操作音、文字サイズ設定、フォント選択、ダウンロード辞書

ユーザデータ：Bookmark、画面メモ、スケジュール帳、メモ帳、目覚まし、単語登録、定型文、伝言メモ／音声メモ

2 **認証操作▶「はい」**

- セレクトメニューのメニュー項目をすべて削除している場合は、認証操作の後テンプレートが読み込まれます。

◆セレクトメニューを作成する

- セレクトメニューの1つの階層には最大9個のメニュー項目が登録できます。

1 MENU▶(本)

2 **メニュー項目を登録**

人物を追加登録する：MENU▶1 1▶電話帳から人物を選択

- 電話帳に登録した画像（Flash画像、動画／ｉモーションを除く）または人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

機能を追加登録する：

① MENU▶1 2

機能選択画面

- 機能選択画面は、メニュー設定のノーマルに従って表示されます。ただし、ノーマルの設定が「アニメーション」「シンプル」「きせかえツールに従う」の場合は、機能選択画面が「タイルアイコン」で表示されます。

② **メニュー項目にカーソルを合わせて(本)**

- 下の階層がないメニュー項目を登録するときは、メニュー項目を選択しても登録できます。

グループを追加登録する：

① MENU▶1 3▶**グループ名を入力**

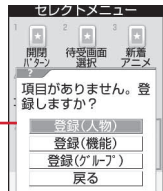
- 全角9（半角18）文字以内で入力します。

② (本)

グループ内に追加登録する：

セレクトメニューは3階層までです。3階層目は、グループを登録できません。

① **グループを選択**

- グループ内にメニュー項目を登録していないときは項目選択画面が表示されます。

項目選択画面

② MENU▶1▶1～3▶**登録の操作を行う**

上書き登録する：上書きするメニュー項目にカーソルを合わせてMENU▶2▶1～3▶登録の操作を行う

- グループに上書きするときは上書きの確認画面が表示されます。

◆セレクトメニューを利用する

機能を実行したり人物に電話をかけたりします。
- セレクトメニュー使用中もショートカット操作ができます。セレクトメニュー使用時のショートカット操作は、メニュー設定のセレクトメニューショートカットに従います。→P88

1 MENU▶(本)▶メニュー項目を選択
- 機能を選択すると、機能が起動または下の階層のメニュー項目が表示されます。
- 人物を選択すると、電話帳の登録内容を利用できます。→P257「人物を利用する」操作2
- グループを選択すると、グループ内に登録したメニュー項目が表示されます。

❖人物を利用する

1 MENU▶(本)

2 人物にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

電話をかける： (発信)または(テレビ電話)
- 人物を選択して 1 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52
- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号を選択します。

iモードメールを作成する： (メール)
- メールアドレスを2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用するメールアドレスを選択します。

SMSを作成する： (メール)（1秒以上）
- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号を選択します。

サイトを表示する： 人物を選択▶ 4

詳細情報を表示する： 人物を選択▶ 5

◆セレクトメニューを編集する

セレクトメニューに表示されるメニュー項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更やメニュー項目の削除を行います。

1 MENU▶(本)

2 メニュー項目にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

メニュー項目を入れ替える： MENU▶ 4 ▶入れ替え先のメニュー項目を選択▶「はい」

アイコンを変更する： MENU▶ 5 ▶アイコンを選択
- 元のアイコンに戻すにはMENU 5 (本)を押します。

グループ名を変更する： MENU▶ 6 ▶グループ名を変更▶(本)

メニュー項目を削除する： MENU▶ 3 ▶「はい」

◆セレクトメニューをリセットする

1 MENU▶(本)▶MENU▶ 7 2 ▶認証操作▶「はい」
- 登録内容がすべて削除された後に(●)を押すと、項目選択画面が表示されます。

プロフィール情報

自分の名前などを登録する

MENU48

お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。

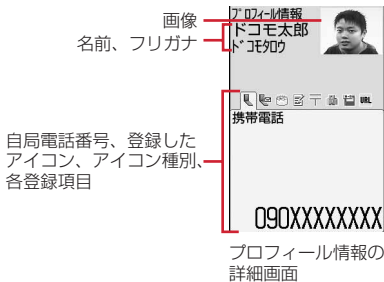
1 MENU▶ 0
- 自局電話番号にはご契約の電話番号が表示されます。

2 (本)▶認証操作▶各項目を設定▶(本)
- 各設定項目→P67「FOMA端末電話帳に登録する」操作2以降（メモリ番号とグループは設定できません）
- 1件目の電話番号には、自局電話番号が表示されます。変更できません。

✔お知らせ
- 自局電話番号はFOMAカードに、それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレスは変更されません。

◆プロフィール情報の詳細を確認する

1 MENU▶0▶●▶認証操作

- ◎を押すたびに詳細画面が切り替わります。
- 登録した電話番号に発番号設定を設定している場合は、詳細画面上部に ! が表示されます。

プロフィール情報の詳細画面

基本情報を表示する： MENU▶8 1
1件目の電話番号やメールアドレスなどが表示されます。

詳細画面の表示を切り替える： MENU▶8 2▶1〜3
各設定項目→P71「詳細画面の表示を切り替える」

登録内容を編集する： MENU▶2▶編集して(📖)

登録内容をリセットする： MENU▶3▶「はい」

◆プロフィール情報の詳細を利用する

プロフィール情報の詳細画面から、電話をかけたりメールを作成したりできます。

1 MENU▶0▶●▶認証操作

2 目的に応じた操作を行う

電話をかける：電話番号の詳細画面を表示▶(発信)または(i)

- ●を押しても音声電話をかけられます。
- 自局電話番号には発信できません。
- MENU 4を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

発番号設定を設定する：電話番号の詳細画面を表示▶MENU▶7 1▶1〜3

iモードメールを作成する：メールアドレスの詳細画面を表示▶(✉)または●

- メールアドレスを入れ替えるときは、MENU 7 2を押し、1件目にするメールアドレスを選択します。
- SMSを作成するときは、電話番号の詳細画面を表示して(✉)を押します。

サイトを表示する：URLの詳細画面を表示▶●

登録内容をコピーする：MENU▶5▶1〜8

- 電話番号とメールアドレスは1件目に登録している内容がコピーされます。2件目以降の登録内容をコピーするときは、2件目以降の詳細画面を表示してMENU 5を押し2または3を押します。

位置情報を利用する：位置情報の詳細画面を表示▶●
以降の操作→P213「■位置情報利用メニュー」

声や画像を録音／録画する

通話中や待受中に声や画像を録音／録画できます。

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
- 圏外通知や番号変更案内などガイダンスによっては録音できない場合があります。
- 電波の状態により、通話中音声メモや動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れる場合があります。

◆通話中に相手の声や画像を録音／録画する

1 通話中に□（1秒以上）

録音または録画が開始されます。

録音／録画時間の経過

音声電話中音声メモ　　テレビ電話中動画メモ

- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に◉を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音または録画を途中で停止するときは□を1秒以上押します。
- 動画メモはｉモーションの「撮影したビデオ」フォルダに保存されます。

◆待受中に自分の声を録音する

MENU463

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 □（1秒以上）▶3

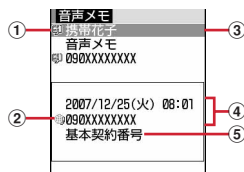
約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音中は画面の下に録音時間の経過が表示されます。
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは◉、CLR、[終話]のいずれかを押します。

◆音声メモを再生する

MENU464

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 □（1秒以上）▶4

①状態マーク
[通話中音声メモマーク]：通話中音声メモ
表示なし：待受中音声メモ

②国際電話の通話中音声メモマーク

③電話番号※／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）

④カーソル位置の録音日時、電話番号※／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）

⑤発着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）

※ 国際電話の場合は、電話番号の前に「＋」が表示されます。

2 音声メモを選択

- 再生中は画面の下に再生時間の経過が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  [上下キー]：音量調整
  ◉：停止
  [通話キー]：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え

削除する：音声メモにカーソルを合わせて MENU▶2▶1または2▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

電話をかける：通話中音声メモにカーソルを合わせて[通話キー]または[テレビ電話キー]

- MENU 3を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P52

電話番号を電話帳に登録する：

①通話中音声メモにカーソルを合わせて MENU▶4または5▶1または2

- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

②名前や電話番号などを登録

電話帳登録→P67、68

3 音声メモを削除するかどうかを選択

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間、テレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間に分けて表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

◆通話時間を確認する

1 MENU▶8 7 6 1

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算時間が表示されます。

直前通話時間：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話時間または通信時間

積算通話時間（音声）：音声電話で通話した積算時間

積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間

積算通話時間（データ）：データ通信を行った積算時間

前回リセット日時（音声）：音声電話の積算時間を前回リセットした日時

前回リセット日時（テレビ電話）：テレビ電話の積算時間を前回リセットした日時

前回リセット日時（データ）：データ通信の積算時間を前回リセットした日時

積算通話時間をリセットする：通話時間確認画面で ▶認証操作▶1〜4▶「はい」

- 通話時間確認画面に戻るときは を押します。

◆通話料金を確認する

1 MENU▶8 7 6 2 1

- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。
- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算料金が表示されます。

直前通話料金（音声）：直前に通話した音声電話の料金

直前通話料金（テレビ電話）：直前に通話したテレビ電話の料金

直前通話料金（データ）：直前に行ったデータ通信の料金

積算通話料金：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金

前回リセット日時：積算通話料金を前回リセットした日時

積算通話料金をリセットする：通話料金確認画面で ▶PIN2コードを入力▶「はい」

❖積算通話料金を自動的にリセットする〈通話料金自動リセット設定〉

積算通話料金を毎月1日0時に自動的にリセットするかどうかを設定します。

1 MENU▶8 7 6 2 4▶**認証操作**▶1**または**2▶**PIN2コードを入力**

✔お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話、テレビ電話それぞれの合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」にしても、1日0時に電源が切れているときや通話中は、電源が入った後や通話終了後にリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定が「ON」の場合は、日付時刻設定で翌月以降の日時を設定すると、その時点でリセットされます。

・通話料金自動リセット設定が「ON」の場合は、電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。
・通話料金自動リセット設定が「ON」のとき、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。

◆通話料金の上限を通知する〈通話料金上限通知〉

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アラームやアイコン表示などでお知らせします。

1 MENU▶8 7 6 2 2▶認証操作▶各項目を設定▶📖

通話料金上限通知：上限金額を超えたとき通知するかどうかを設定します。
料金上限（円）：上限金額を10～100000円の範囲で、1円の位は省略して入力します。
通知方法：アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。
アラーム音：通知する音を選択します。
アラーム時間（秒）：アラームが鳴る時間を1～60秒の範囲で設定します。

❖通話料金が上限を超えると

・通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に¥が表示されます。
・通知方法が「アラーム+アイコン表示」の場合は、設定した料金の上限を超えた通話や通信を終了して待受画面に戻ると、アラームが鳴りディスプレイに「通話料金が上限を超えました」と表示されます。ただし、FOMA端末を閉じて通話や通信を行っている場合や、FOMA端末を閉じて通話を終了した場合は、アラームは鳴りません。
・アラームは、音量設定の電話着信音量に従います。

❖上限通知アイコンを消去する〈上限通知アイコン消去〉

1 MENU▶8 7 6 2 3▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

・通知方法が「アラーム+アイコン表示」でも、通話料金自動リセット設定が「ON」のときに通話料金の上限を超える通話を1日0時に行うと、アラームは鳴らずメッセージも表示されません。

電卓

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（+、−、×、÷）ができます。
・8桁以内で入力します。
・スケジュール帳やメモ帳の入力欄から電卓を利用し、計算結果を引用できます。→P272

1 MENU▶7 4▶計算する

電卓画面には、FOMA端末のキーに割り当てられている操作が表示されます。
0～9：数字の入力
◐◑◓◒：+、−、×、÷の入力
◉：=の入力（計算の実行）
＊：小数点の入力
#：入力した数字の+、−の切り替え
✉：入力した数字の1桁削除
CLR：入力した数字、計算結果の削除

計算結果をコピーする：MENU▶1
・コピーした数値を貼り付ける場合はMENU 2を押します。
・コピーした数値は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

✔お知らせ

・計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

メモ帳

メモを作成する

大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。
・最大登録件数→P334

1 MENU▶7 2▶📖

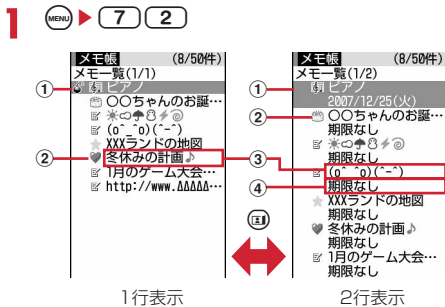
・メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 1を押します。

2 各項目を設定▶📖

種別アイコン：種別アイコンを選択します。
メモ内容：メモを入力します。
・全角1000（半角2000）文字以内で入力します。
期限：期限を設定するときは「あり」を選択し、日付を入力します。

◆メモを確認する

1 MENU▶7 2

1行表示　2行表示

①状態マーク
メモの期限の状態（完了／未完了）を表示
：未完了（期限の2日以上前）
：未完了（期限の1日前または当日）
：未完了（期限超過）
：完了
表示なし：期限なし
②種別アイコン
③メモ内容
④期限

2 メモを選択

メモ帳参照画面が表示されます。
- メモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

種別アイコンを指定して表示する（アイコン別表示モード）：MENU▶4 2▶種別アイコンを選択
メモ一覧の右上に選択した種別アイコンが表示され、種別アイコンのメモのみ表示されます。
- 元の表示に戻す場合は、MENU 4 1を押します。

完了／未完了を指定して表示する（完了状態別表示）：MENU▶5▶2または3
完了メモ一覧または未完了メモ一覧が表示されます。
- 元の表示に戻す場合は、MENU 5 1を押します。

完了／未完了を変更する：期限を設定しているメモにカーソルを合わせて✉
- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 4を押します。

メモを並べ替える：MENU▶6▶各項目を設定▶📖
対象：並べ替えの方法を選択します。
順序：並び順を選択します。

iモードメールを作成する：メモにカーソルを合わせてMENU▶7
- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 5を押します。

メモを変更する：メモにカーソルを合わせてMENU▶2
- メモ帳参照画面から操作する場合は、📖を押します。

以降の操作→P261「メモを作成する」操作2

◆メモからスケジュールを登録する

- 全角300（半角600）文字以内のメモ内容がスケジュール帳に反映されます。

❖サブメニューからスケジュールに登録する

1 MENU▶7 2▶メモにカーソルを合わせてMENU▶8

スケジュール帳の要約・メモ欄にメモ内容が入力された画面が表示されます。開始日時と終了日時の日付は、メモの期限の設定によって異なります。
- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 6を押します。

以降の操作→P252「スケジュールを登録する」操作2以降

❖Date To形式からスケジュールを登録する

Date To形式とは、次の文字列で構成されます。

〈例〉2007/12/25□16:00□～□2007/12/25□
開始年月日　開始時刻　終了年月日

17:00□ ピアノ ↵
終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

※「～」以外はすべて半角です。□は半角空白を示します。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前に0を付ける必要はありません。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文を入力できます。→P271

1 MENU▶7 2▶メモを選択▶Date To形式の記述を選択

スケジュールの新規作成画面が表示されます。
以降の操作→P252「スケジュールを登録する」操作2以降

◆メモを削除する

〈例〉1件削除する

1 MENU ▶ 7 2

2 メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 3 を押します。

複数削除する：MENU ▶ 3 2 ▶ メモを選択 ▶ 📖

全件削除する：MENU ▶ 3 3 ▶ 認証操作

完了したメモのみを削除する：MENU ▶ 3 4

3 「はい」

✔お知らせ

- アイコン別表示モードや完了状態別表示に切り替え中は、表示されているメモだけが削除の対象となります。

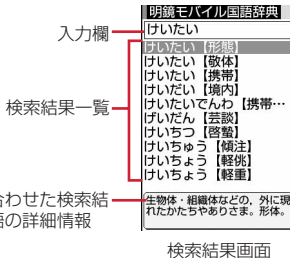
辞典

辞典を利用する

FOMA端末内の国語辞典、和英辞典、英和辞典を利用します。

〈例〉国語辞典で検索する

1 MENU ▶ 7 5 ▶「明鏡モバイル国語辞典」▶ 入力欄に単語を入力

◉を押して文字入力画面から切り替わった時点で検索結果画面が表示されます。

検索結果画面

- 全角20（半角40）文字以内で入力します。
- 検索結果一覧にカーソルがあるとき、単語を入力するには📖を押します。

2 検索結果一覧から調べたい単語を選択

詳細画面（単語の意味）が表示されます。

- 詳細画面で MENU 1 を押すと、内容をコピーできます。
- 検索結果画面または詳細画面で MENU 2 を押すと、検索した単語を別の辞典で検索できます。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

◆検索履歴を利用・削除する

〈例〉国語辞典から検索履歴を利用する

1 MENU ▶ 7 5 ▶「明鏡モバイル国語辞典」▶ MENU ▶ 1

検索履歴が表示されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

2 単語を選択

検索結果画面が表示されます。

1件削除する：単語にカーソルを合わせて MENU ▶ 1 ▶「はい」

複数削除する：MENU ▶ 2 ▶ 単語を選択 ▶ 📖 ▶「はい」

全件削除する：MENU ▶ 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」

演奏機能

キーを押して演奏する

- 約1分間何も操作しないと、自動的に終了します。

1 MENU ▶ ✉ ▶ 演奏する

1 〜 7：ド〜シ
8 〜 #：1オクターブ上のド〜ソ
◎：音量調整
✉：終了

スイッチ付イヤホンマイク

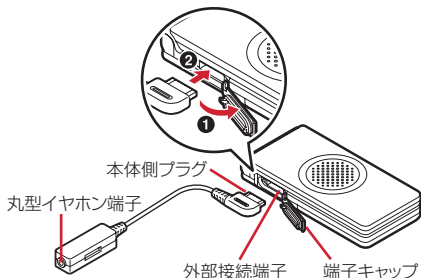
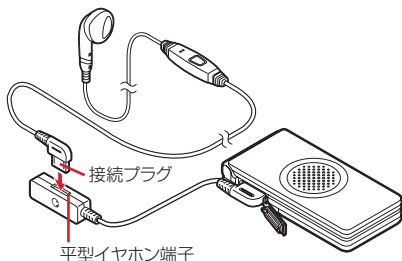
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

外部接続端子に別売りの外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01を接続すると、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクを接続できます。スイッチを押して電話をかけたり受けたりできます。

◆スイッチ付イヤホンマイクを接続する

- マナーモード中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホン切替設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります。このとき、途中でイヤホンを抜くと、メロディは停止します。ｉアプリ、動画／ｉモーションなどは、消音で動作や再生を続けます。

■接続する

①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01の本体側プラグを差し込む（❷）

②平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを平型イヤホン端子に差し込む
- 丸型イヤホン端子には直径3.5mmのイヤホンプラグを接続できます。
- イヤホン端子にマイク機能のないイヤホンを接続すると、送話することができません。

■取り外す

①外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01から平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを引き抜く
②FOMA端末から外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01の本体側プラグを引き抜く

◆イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する〈イヤホンスイッチ設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで、音声電話を発信できるように設定します。
- イヤホンスイッチ発信→P264

1 MENU▶8 5 4 3▶各項目を設定▶📖

イヤホンスイッチ設定：スイッチを音声電話の発信に使用するかどうかを設定します。
電話帳メモリ番号：イヤホンスイッチ発信で電話をかける相手をFOMA端末電話帳から検索して設定します。

◆スイッチを押して音声電話をかける〈イヤホンスイッチ発信〉

イヤホンスイッチ設定で設定した相手には、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して音声電話をかけられます。

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す▶通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ

- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、イヤホンスイッチ設定は解除されます。

◆スイッチを押して電話を受ける〈イヤホンスイッチ応答〉

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す▶通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ

- テレビ電話を受けたとき、FOMA端末を開いている場合はカメラ映像を送信し、FOMA端末を閉じている場合は代替画像を送信します。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作は、次のとおりです。
  - 通話中クローズ設定に関わらず通話を継続
  - テレビ電話中の場合は、相手には代替画像を表示
  - カメラ映像にフレームを重ねて送信中の場合は、フレームは解除され、相手には代替画像を表示
- キャッチホンが開始の場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。キャッチホン中は、スイッチを1秒以上押すたびに通話相手を切り替えられます。

◆イヤホンをつないで自動で電話を受ける〈オート着信機能設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに音声電話やテレビ電話の着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。
- 通話中の着信に対しては動作しません。
- 公共モード中は動作しません。

1 MENU ▶ 8 5 4 2 ▶ 各項目を設定 ▶ ㊀

自動着信機能：平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときに自動的に応答するかどうかを設定します。
自動着信機能時間（秒）：自動的に応答するまでの時間を0～120秒の範囲で設定します。

✔**お知らせ**
- テレビ電話をオート着信で受けた場合は代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間にできません。
- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内にすると、電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、オート着信機能は動作しません。

◆イヤホンからのみ着信音を鳴らす〈イヤホン切替設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。
- アラーム音などの通知音も本設定に従って動作します。

1 MENU ▶ 8 5 4 1 ▶ 1～3
- 「イヤホン（20秒後通知有）」にすると、イヤホンからのみ着信音が鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

クイック起動設定

電源を入れたときの起動時間を短縮する

FOMA端末の電源を入れたときの起動時間を短くするかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 8 7 5 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**
- 次の場合は通常起動となります。
  - 電池残量が2以下のとき
  - 電池パックを取り付け直したとき
  - 電源を切ってから24時間経過したとき
  - 電源を切ってから30秒以内のとき

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

FOMA端末の各種設定状況を確認します。

1 MENU ▶ 8 7 6 4 ▶ ◎で設定状況を確認

✔**お知らせ**
- パーソナルデータロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。
- プライバシーモード中（マイピクチャまたはｉモーションが「認証後に表示」のとき）は、認証操作が必要です。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- お買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P290
- 「メニュー一覧」にお買い上げ時の状態が記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。
  - 基本設定：マナーモード、公共モード（ドライブモード）、きせかえツールの動作設定、上限通知アイコン、絵文字・記号・顔文字の入力履歴
  - 変換学習データ：入力予測機能で登録されたデータ
  - あんしんセット：公共モード（ドライブモード）、プライバシーモード

1 MENU ▶ 8 7 6 6 ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ ㊀ ▶ 「はい」

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - ｉアプリ
  - キャラ電
  - マイピクチャの「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」フォルダの画像
- 各種設定リセットの対象となる機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 保存、登録、設定した次のデータや機能は、削除されたりお買い上げ時の状態に戻ります。
  - 日付時刻設定
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 着もじ（送信メッセージ履歴含む）
  - 録音した応答保留ガイダンス
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - テレビ電話使用機器設定
  - 電話帳データ（直デン含む）
  - 電話帳から行う設定
  - メニュー設定
  - ひかりクリエーターで作成、取得したひかりデータ
  - 新着アニメに追加した設定
  - フォント
  - バイリンガル
  - パスワード
  - おまもりモコン登録
  - 端末暗証番号
  - プライバシーモード設定
  - 着信／受信時動作設定
  - HOLD
  - セキュリティランプ設定
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の電話帳通信履歴
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の送信設定
  - 静止画撮影
  - 動画撮影
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - URL入力
  - URL履歴
  - ラストURL
  - オリジナル証明書
  - ブックマーク
  - ブックマークのツータッチサイト登録
  - 画面メモ
  - メッセージR/F
  - ｉモードメール
  - メールテンプレート
  - メール送受信履歴
  - メール振り分け設定
  - メールグループ
  - チャットメール
  - チャットメール画面から行う設定
  - SMS
  - ｉアプリ
  - ｉアプリ一覧から行う設定
  - ｉアプリの履歴表示
  - GPSの現在地通知先一覧
  - GPSの位置履歴
  - マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、きせかえツールに保存したデータ
  - マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、きせかえツールから行う設定
  - 作成したフォルダ、アルバム
  - 変更したフォルダ名
  - 赤外線通信のINBOXのデータ
  - データ送受信設定
  - サウンドレコーダー
  - 目覚まし
  - スケジュール
  - スケジュール帳から行う設定
  - セレクトメニュー
  - 通話料金自動リセット設定
  - プロフィール情報（自局電話番号以外）
  - 音声メモ
  - 通話時間
  - メモ帳
  - 辞典の検索履歴
  - USSD登録
  - 追加サービスの応答メッセージ登録
  - 定型文
  - ダウンロード辞書
  - ソフトウェア更新（予約更新）

1 MENU ▶ 8 7 6 7 ▶ **認証操作** ▶ **「はい」**

再起動中にデータ一括削除されます。

✔お知らせ

- 本機能を実行して再起動すると、初めて電源を入れたときと同様の画面が表示されます。→P42
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - 「受信BOX」フォルダに保存されている「はじめまして」（削除した場合は再び保存）
  - 更新お知らせアイコン（消去した場合は再び表示）
  - FOMAカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、サイトからダウンロードできます。→P300

文字入力

区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

文字を入力する方法を説明します。

- 文字の入力方式には、かな入力方式とスロット入力方式があります。→P269、274
- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号／絵文字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では文字入力の最後に◉を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

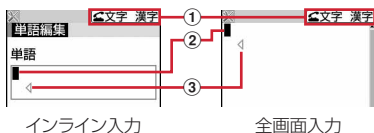
◆文字入力画面の見かた

文字の入力画面には、インライン入力と全画面入力の2種類があります。

インライン入力：画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。

全画面入力：入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。

- 貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

インライン入力　　全画面入力

①入力モード

②カーソル（点滅）

文字が入力または挿入される位置を示します。⊙で移動できます。

③入力可能な範囲

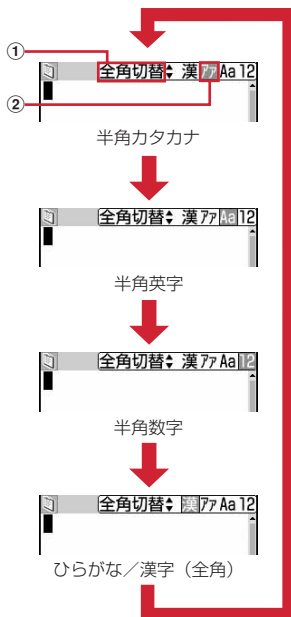
これ以上入力できないことを示すマークです。

- 日付・時刻の入力欄など、⊙を押しても数字が入力できる場合があります。

◆入力モードを切り替える

〈例〉かな入力方式のとき

1 文字入力画面で（✉）

- 押すたびに入力モードは次のように切り替わります。

①切り替え表示

かな入力方式のとき、⊙で全角／半角の切り替えができることを示します。

②切り替え項目

カーソル位置の色が変わります。

- ⊙を押しても、入力モードを切り替えられます。
- スロット入力方式では半角数字は表示されません。また、全角と半角の切り替えはできません。

2 利用する切り替え項目にカーソルを合わせて◉

❖切り替え項目と入力モード

切り替え項目	入力モード	
漢	ひらがな／漢字	漢字
ｱｧ	半角カタカナ	半ｶﾅ
Aa	半角英字	半英
12※	半角数字	半数
ア※	全角カタカナ	全ｶﾅ
Ａ※	全角英字	全英
１※	全角数字	全数

※ スロット入力方式では表示されません。

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。
- 単語登録の読みを入力するときは全かなが表示されます。

かな入力方式

かな入力方式で文字を入力する

かな入力方式では、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。

文字の割り当て一覧→P301

- 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルは右に移動します。移動するまでの秒数は入力設定で変更できます。→P275

◆文字を入力する〈かな漢字変換〉

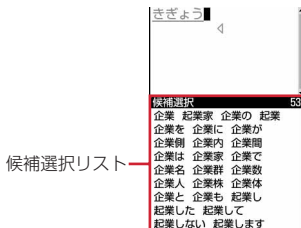
〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力する

1 MENU▶4 2▶●▶「きぎょう」と入力

「き」：2を2回

「ぎ」：カーソルが右に移動したら2を2回▶＊

「ょ」：8を3回▶(i)

「う」：1を3回

候補選択リスト

- 入力中は次の操作ができます。
  (i)：大文字と小文字の切り替え
  (✉)：1つ前の文字に戻す（濁点、半濁点入力時を除く）
  （例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
  CLR：文字の取り消し
  ＊：濁点、半濁点の付加
  （例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

2 (📖)

- 候補選択リストが表示されていないときは、(↕)を押しても変換できます。
- CLRを押すと、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、(📖)を押さずに操作3に進みます。

変換候補一覧を表示する：
(📖)を押しても目的の文字が表示されないときは、(↕)を押すか、もう一度(📖)を押すと変換候補一覧が表示されます。

カナ英数候補一覧を表示する：
ひらがなを入力中にMENUを押すと、カタカナ、英字、数字、日付、時刻などが一覧で表示されます。

- 複数ページあるときは、(i)または(✉)を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか、(↕)で各候補を選択します。

3 ●▶「閉じる」

文字を挿入する：
(✣)を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除する：

- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ太郎）
  - CLRを押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - CLRを1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎█）
  - CLRを押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - CLRを1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

改行する：
改行する位置にカーソルを移動し、#を押します。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、(↓)を押しても改行できます。

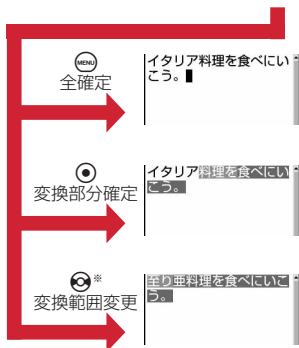
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

✔お知らせ

- 入力中にⓇを押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  ⓘ：大文字と小文字の切り替え
  ✉：1つ前の文字に戻す
- ひらがなで読みを入力して、全角英字、ギリシャ文字などに変換できます。→P309

❖複数の文節を一括変換する

- 全角24文字以内で変換します。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

※ 画面はⓇの場合の例です。

◆入力予測機能を使って文字を入力する

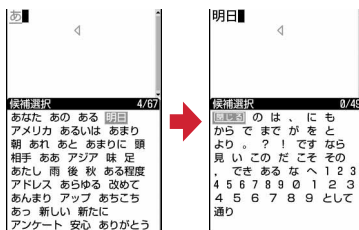
入力予測機能は、ひらがな／漢字モードで文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 変換学習データの他に、次の単語が表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - 単語登録した単語
  - ダウンロード辞書から選択した単語
- 入力予測機能は、全画面入力のひらがな／漢字モードでのみ利用できます。

〈例〉「明日」を選択して入力する

1 文字入力画面で「あ」を入力

- 候補選択リストが表示されます。入力文字が増えるたびに候補が変わります。

2 Ⓞ▶候補を選択

- 複数ページあるときは、ⓘまたは✉を押すとページが切り替わります。

3 「閉じる」

❖変換学習リセットをする

候補選択リストに変換学習データとして登録されたデータを、リセットしてお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU▶8 7 2 3▶認証操作▶「はい」

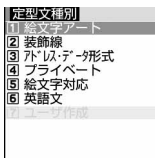
便利な入力機能を使って文字を入力する

文字入力画面のサブメニューから絵文字や記号、定型文などを入力したり、データを引用したりできます。

- 文字を確定する前やデコメール®の装飾選択画面、インライン入力画面では、サブメニューは表示されません。

◆定型文を入力する

- 定型文一覧→P303

1 文字入力画面でMENU▶4 1▶1～6

- 定型文を登録すると、7が選択できます。
- メール本文の入力画面ではMENU 5 1を押します。

2 定型文を選択

◆絵文字・記号を入力する

- 記号一覧→P304
- 絵文字一覧→P305

〈例〉絵文字を入力する

1 文字入力画面で📖

① **入力履歴欄**
絵文字一覧の絵文字1、絵文字2、絵文字D、記号一覧の全角記号と半角記号の最初のページに表示されます。

② **絵文字・記号一覧**
記号は入力可能なもののみ表示されます。

- 📖を押すたびに、絵文字1と絵文字2が切り替わります。
- MENUを押すと、記号が入力できます。押すたびに、全角記号と半角記号が切り替わります。
- 複数ページあるときは、📇または✉を押すとページが切り替わります。

デコメ絵文字®（絵文字D）を入力する：
メール本文の入力画面または署名編集の入力画面では、📖を押すたびに絵文字一覧が絵文字1→絵文字2→絵文字Dに切り替わります。絵文字Dの絵文字一覧には「デコメ絵文字」フォルダに保存されている画像が表示されます。選択するとデコメ絵文字®が入力されます。
デコメ絵文字®のダウンロード方法→P150

2 入力する絵文字を選択

CLRを押して、絵文字一覧を閉じます。

- 入力履歴欄には、最近入力したものから順に、絵文字または記号が最大10文字表示され、文字を選択できます。

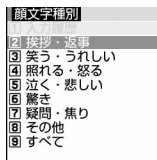
✔お知らせ

- 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→P305、309
- 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 文字入力画面のサブメニューから「絵文字・記号・顔文字」→「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。このとき、📖を押すと入力履歴欄の上に連続入力欄が表示され、絵文字は10文字、記号は全角10（半角20）文字連続して選択できます。ただし、絵文字Dは連続入力欄の表示はされません。
- 「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されていない場合、メール本文の入力画面または署名編集の入力画面で絵文字Dを表示したときは、絵文字一覧が空白で表示されます。
- メール本文の入力画面または署名編集の入力画面でMENUを押し、「デコレーション」→「画像挿入」→「本体」を選択しても、デコメ絵文字®が挿入できます。
- 文字入力画面のサブメニューから「絵文字・記号・顔文字」→「記号」を選択したときは、左側のカッコ（例：{）を選択すると、右側のカッコ（例：}）も自動的に入力されます。

◆顔文字を入力する

- 顔文字一覧→P311

1 文字入力画面でMENU▶53▶2～9

顔文字種別
1 入力履歴
2 挨拶・返事
3 笑う・うれしい
4 照れる・怒る
5 泣く・悲しい
6 驚き
7 疑問・焦り
8 その他
9 すべて

- メール本文の入力画面ではMENU63を押します。
- 顔文字種別一覧から入力した顔文字は、1を押すと最近入力したものから順に最大18件まで入力履歴一覧で表示されます。

2 顔文字を選択

◆データを引用して文字を入力する

電話帳データ、プロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力できます。

- 文字入力画面と引用データが同じ機能のとき（電話帳の文字入力画面における電話帳データなど）には引用できません。

❖電話帳データの内容を引用する

1 文字入力画面でMENU▶43▶引用する電話帳データを選択

- メール本文の入力画面ではMENU53を押します。

2 引用する内容を選択

❖プロフィール情報の内容を引用する

1 文字入力画面でMENU▶44▶認証操作

- メール本文の入力画面ではMENU54を押します。

2 引用する内容を選択

❖電卓の計算結果を引用する

1 メモ帳またはスケジュール帳の文字入力画面でMENU▶45▶計算する▶●

❖バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

1 URL入力画面でMENU▶45

- ｉモード中の文字入力画面でも引用できます。
- 読み取るコードとカメラの距離が近いときは、接写切り替えスイッチを🌷側に切り替えて接写モードにしてください。

2 コードを読み取る▶●

定型文登録

定型文を登録する

- 最大50件登録できます。

1 MENU▶87247▶「〈新しい定型文〉」

登録した定型文を削除する：定型文にカーソルを合わせてMENU▶「はい」

- 登録済みの定型文を確認するときは、確認する定型文にカーソルを合わせて📖を押します。●を押すと編集できます。

2 定型文を入力

- 全角64（半角128）文字以内で入力します。

3 📖

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

❖文字入力中に登録する

1 文字入力画面でMENU▶62

- メール本文の入力画面ではMENU72を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：MENU▶●▶操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、✉を押します。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：MENU▶●

開始位置から文末までを選択する：📖▶●

4 📖

✔お知らせ

- 選択した範囲の文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ：定型文として登録不可
  文字列の前後に空白：文字列のみ有効
  文字と文字の間に空白：空白も有効
- 定型文が既に50件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から登録データを削除するか登録済みの定型文を編集してください。

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

- コピーまたは切り取った文字は、最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

◆文字をコピー／切り取りする

1 文字入力画面でMENU▶1または2

- メール本文の入力画面ではMENU2を押すとコピーし、MENU3を押すと切り取ります。

2 開始位置を選択

全文を選択する：MENU▶●
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、✉を押します。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取られます。

開始位置から文頭までを選択する：MENU▶●

開始位置から文末までを選択する：📖▶●

◆文字を貼り付ける

- 入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができないことを示す画面が表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを合わせてMENU▶3

文字がカーソル位置に挿入されます。
- メール本文の入力画面ではMENU4を押します。

✔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行は空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 文字入力画面でMENU▶42▶4桁の区点コード（2340）を入力▶●

- メール本文の入力画面ではMENU52を押します。

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。また、同じ読みの単語は最大5件登録できます。

1 MENU▶8721▶「〈新しい単語〉」

①単語を登録するときに選択
②行の先頭を示すマーク
③登録済みの単語
　読みの50音順に並びます。

- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて📖を押します。●を押すと編集できます。
- 単語を削除するときは、単語にカーソルを合わせてMENUを押し、「削除」を選択します。登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

2 単語欄に登録する単語を入力

- 全角12（半角24）文字以内で入力します。

3 読み欄に読みを入力

- 8文字以内のひらがなで入力します。
- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛（濁点）、゜（半濁点）、ー（長音）
- 空白を入力すると、登録後に削除されます。

4 [本]

- 登録済みの単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

❖文字入力中に登録する

1 **文字入力画面で[MENU]▶[6][1]**

- メール本文の入力画面では[MENU][7][1]を押します。

2 **開始位置を選択**

全文を選択する：[MENU]▶[●]▶操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[✉]を押します。操作4に進みます。

3 **終了位置を選択**

選択した範囲の文字が単語入力欄に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：[MENU]▶[●]

開始位置から文末までを選択する：[本]▶[●]

4 **読みを入力▶[本]**

✔お知らせ

- 単語が既に200件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から単語を削除するか登録済みの単語を編集してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロードした日本語変換用の辞書に登録されている単語を、変換候補として表示されるように設定します。

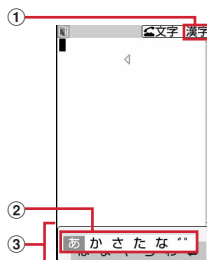
- 最大5件の辞書を同時に使用できます。
- 辞書のダウンロード方法→P151

1 **[MENU]▶[8][7][2][2]▶使用する辞書を選択▶[本]**

スロット入力方式

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力ボード（上下2段の入力バー）に表示された文字から、[✥]を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P275
- 入力方式をスロット入力方式に設定していても、インライン入力ではかな入力方式になります。
- スロット入力方式では、全角文字のカタカナ、英字、数字の入力と、入力予測機能を利用しての入力はできません。
- 文字の割り当て一覧→P302

①入力モード
②入力バー
③スロット入力ボード

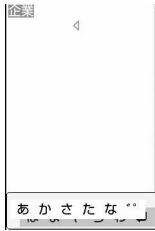
- 上段と下段の入力バーを切り替えるときは、[⊡]を押します。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアを操作（文字のコピーやカーソル移動など）するときは、[✉]を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときはもう一度[✉]を押します。

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 **[MENU]▶[4][2]▶[●]▶「きぎょう」と入力**

「き」：[◐]を1回▶[◒]を1回▶[●]
「ぎ」：[●]▶[◐]を4回▶[●]
「ょ」：[⊡]▶[◐]を2回▶[◒]を5回▶[●]
「う」：[⊡]▶[◑]を5回▶[◒]を2回▶[●]

メール本文の入力画面では、[0]～[9]、[＊]を押すと、スロット入力ボードが表示されます。

2

（辞書キー）を押しても目的の文字が表示されないときは、（方向キー）を押すか、もう一度（辞書キー）を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、（メールキー）または（電話帳キー）を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか、（方向キー）を押して変換候補を選択します。ただし、MENUを押しても、カナ英数候補一覧は表示されません。

- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるにはCLRを押します。
- 変換しないで確定するときはMENUを押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

3 ●

4 MENU▶8

- （メールキー）●を押しても同様に操作できます。

入力設定

入力方式を設定する

1 MENU▶8 7 2 5▶各項目を設定▶（辞書キー）

入力方式：「かな入力」または「スロット入力」にするかを設定します。

入力予測：候補選択リストを表示するかどうかを設定します。

自動カーソル：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。

- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約1.5秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約1秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約0.5秒経過するとカーソルが移動します。

❖文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前やデコメール®の装飾選択画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面でMENU▶7▶1～3

- メール本文の入力画面ではMENU 8を押します。
- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは1を押します。
- 入力予測のON／OFFを切り替えるときは2を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは3を押し、1～4を押して設定します。

✔お知らせ

- 自動カーソルが「OFF」の場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後（右方向キー）を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、1（右方向キー）1 1の順に押します。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料			
転送でんわサービス	必要	無料	英語ガイダンス	不要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	マルチナンバー	必要	有料
			公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料			
			公共モード（電源OFF）※	不要	無料

※ 公共モード→P58、59

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、音声電話／テレビ電話それぞれ20件まで録音／録画でき、最大72時間保存されます。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数）が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送出に切り替えて操作してください。→P51

❖留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
急いでいる時など早く伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れている間に # を押すと、応答メッセージを省略してすぐに録音できるようになります。
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 MENU▶ 8 8 1 ▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目		機能と操作
1留守番サービス		
	1留守番サービス開始	▶**「はい」**▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。
	2留守番呼出時間設定	▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。
	3留守番サービス停止	▶**「はい」**
	4留守番設定確認	▶**「はい」** • 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
	5留守番メッセージ再生	▶**「はい」**▶**音声ガイダンスの指示に従って操作** • 1で表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
	6留守番サービス設定	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 ▶**「はい」**▶**音声ガイダンスの指示に従って操作**
	7メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。 ▶**「はい」**
2件数増加鳴動設定		新しい伝言メッセージが増えたときやメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、通知音が鳴るように設定します。バイブレータ設定の音声電話着信時の設定に従って振動します。 ▶**各項目を設定**▶(皿) **件数通知音**： 「ON」にすると、通知メロディを設定できます。 **通知メロディ**： 件数通知音を設定します。
3着信通知		
	1着信通知開始	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSで通知します。 ▶**「はい」**▶**「はい」または「いいえ」** •「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。 •「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。
	2着信通知停止	▶**「はい」**
	3着信通知開始設定確認	▶**「はい」**
4表示消去		伝言メッセージのマークを消します。 ▶**「はい」**

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- テレビ電話中や音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、不在着信として記録されます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 音声電話中にかかってきた別の音声電話に出るときは、次の操作を行います。
  - [通話]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する
  - [終話]：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示される。[通話]を押し電話に応答する
- キャッチホン中は、[着信履歴]を押すたびに通話相手を切り替えられます。
- 音声電話中に別の相手に音声電話をかける場合は、[MENU]を押し「ダイヤル入力」を選択します。

1 **[MENU]▶[8][8][2][1]▶メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1キャッチホン開始	▶**「はい」**
2キャッチホン停止	▶**「はい」**
3キャッチホン設定確認	▶**「はい」**

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に[不在着信 2]（数字は件数）が表示されます。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

❖転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 **[MENU]▶[8][8][2][2]▶メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1転送サービス開始	▶**「はい」**▶**「はい」** ▶**転送先番号を入力**▶[電話帳]▶**「はい」** ▶**呼出時間を入力** • 転送先番号入力画面で[MENU]を押すと電話帳から、[着信履歴]を押すと着信履歴から、[メール]を押すとリダイヤルから、電話番号を選択できます。 • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。
2転送サービス停止	▶**「はい」**
3転送先変更	転送先を変更したり、転送先を変更して転送サービスを開始にしたりします。 ▶**転送先番号を入力**▶[電話帳]▶[1]**または**[2]▶**「はい」** • 電話番号入力画面で[MENU]を押すと電話帳から、[着信履歴]を押すと着信履歴から、[メール]を押すとリダイヤルから、電話番号を選択できます。
4転送先通話中時設定	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。 ▶**「はい」**
5転送サービス設定確認	▶**「はい」**

◆転送ガイダンスの有／無を設定する

1 1 4 2 9 ▶ ☎ ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 MENU ▶ 8 8 5 3 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「はい」 • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「はい」▶**電話番号を入力**▶ 📖 ▶「はい」 • 電話番号入力画面でMENUを押すと電話帳から、📋を押すと着信履歴から、✉を押すとリダイヤルから、電話番号を入力できます。
3迷惑電話全登録削除	▶「はい」
4迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「はい」
5拒否登録件数確認	▶「はい」

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に 2（数字は件数）は表示されません。

1 MENU ▶ 8 8 4 2 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1番号通知開始	▶「はい」
2番号通知停止	▶「はい」
3番号通知設定確認	▶「はい」

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 MENU ▶ 8 8 5 5 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1デュアルネットワーク切替	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶「はい」▶**ネットワーク暗証番号を入力**
2デュアルネットワーク状態確認	▶「はい」

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 MENU ▶ 8 8 5 4 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 ガイダンス設定	発信時と着信時のガイダンスの言語を英語または日本語に切り替えます。 ▶「はい」▶ 1 または 2 **日本語：** 発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。 **英語：** 発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。 ▶「はい」▶ 1 ～ 3 **日本語：** 着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。 **日本語＋英語：** 着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。 **英語＋日本語：** 着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
2 ガイダンス設定確認	▶「はい」

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P37

1 MENU ▶ 8 8 5 6 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 ドコモ故障問合せ	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「はい」
2 ドコモ総合案内・受付	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶「はい」

通話中着信設定

通話中着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 MENU ▶ 8 8 5 8 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 通話中着信設定開始	▶「はい」
2 通話中着信設定停止	▶「はい」
3 通話中着信設定確認	▶「はい」

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。なお、キャッチホン開始中は通話中着信設定を開始にする必要はありません。

1 MENU ▶ 8 8 5 9 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 通常着信	キャッチホンが開始のときは、キャッチホンが動作します。停止のときは、音声電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話に応答できます。また、音声電話中にかかってきた音声電話の対応をサブメニューから選択できます。→P55
2 留守番電話	通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話を、留守番電話サービスに接続します。
3 転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
4 着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信の着信を拒否します。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 MENU▶8 8 5 2▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1遠隔操作開始	▶「はい」
2遠隔操作停止	▶「はい」
3遠隔操作設定確認	▶「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発着信中の画面に基本契約番号の名称または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤルまたは着信履歴から発信する場合は、以前発着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 MENU▶8 8 5 7▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目		機能と操作
1 通常発信番号設定		
	1基本契約番号	基本契約番号で電話をかけます。 ▶「はい」
	2付加番号1	付加番号1で電話をかけます。 ▶「はい」
	3付加番号2	付加番号2で電話をかけます。 ▶「はい」
2通常発信番号設定確認		▶「はい」

メニュー項目	機能と操作
3電話番号設定	基本契約番号の名称は、プロフィール情報の設定内容が表示されます。 ▶**各項目を設定**▶📖 **付加番号1または2名称：** 付加番号の名称を入力します。この名称は、電話の着信画面やリダイヤル、着信履歴などに表示されます。 ・全角10（半角20）文字以内で入力します。 **付加番号1または2電話番号：** 付加番号に登録する電話番号を入力します。 ・26桁以内で入力します。 **マルチナンバー発信：** 「有効」にすると、電話をかけるときにサブメニューからマルチナンバーの発信番号を選択できます。
4着信設定	▶**1または2**▶**各項目を設定**▶📖 **個別設定：** 付加番号ごとの着信時の動作を使用するかどうかを設定します。 「着信音」「イメージ表示」の設定操作→P78「電話着信時の動作を変更する」

◆電話番号を選択して電話をかける

- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」にすると、マルチナンバーを選択できません。

1 電話番号を入力▶MENU▶4▶1～3▶MENU

✔お知らせ

- リダイヤルまたは着信履歴から操作する場合は、MENUを押し「マルチナンバー」を選択します。
- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション」を選択します。
- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択し、電話番号の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「着もじ／マルチナンバー」→「マルチナンバー」を選択します。
- 発信オプションから操作する場合、「指定なし」にすると通常発信番号設定に従います。

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 MENU▶8 8 5 1▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 USSD登録	登録・変更する ▶番号にカーソルを合わせて📖▶各項目を設定▶📖 **USSDコード：** ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 • サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 **名称：** 名称（サービス名）を入力します。 • 全角10（半角20）文字以内で入力します。 登録したサービスを利用する ▶サービスを選択 登録したサービスを削除する ▶サービスにカーソルを合わせてMENU▶1または2▶「はい」
2 応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 登録・変更する ▶番号を選択▶各項目を設定▶📖 **USSDコード：** ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 **応答メッセージ：** 応答メッセージを入力します。 • 全角10（半角20）文字以内で入力します。 登録した応答メッセージを削除する ▶応答メッセージにカーソルを合わせてMENU▶1または2▶「はい」

パソコン接続

データ通信の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- IP接続には対応しておりません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。

❖データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

❖パケット通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルで接続し、各種設定を行うことで利用できます。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ 受信最大384kbps、送信最大64kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

❖64Kデータ通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルで接続し、各種設定を行うことで利用できます。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）※を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量 • ドコモ コネクションマネージャは15MB以上の空き容量

※ 本FOMA端末は「USB2.0 High-Speed」には対応しておりません。

- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-05A用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.htm

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

①FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

②パソコンとFOMA端末を接続する

▼

③FOMA通信設定ファイルを確認する

↓

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

↓

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする

↓

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

↓

通信を実行する

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「パソコン接続マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、Internet Explorerのセキュリティの設定による警告画面が表示される場合がありますが、使用には問題ありません。[はい] をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

赤文字：各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニュー
キッズモード中　A：操作・設定可　B：端末暗証番号またはパスワードの入力が必要　C：端末暗証番号の入力が必要　D：操作・設定不可

1メール

メニュー			キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1受信メール			A	―	P177
2新規メール			A	―	P164
3チャットメール			A	―	P190
4未送信メール			A	―	P177
5送信メール			A	―	P177
6問合せ	1ｉモード問合せ		A	―	P172
	2SMS問合せ		A	―	P194
	3メール選択受信		A	―	P172
	4ｉモード問合せ設定		A	すべて選択	P187
7SMS	1SMS作成		A	―	P193
	2FOMAカード（UIM）受信SMS		A	―	P196
	3FOMAカード（UIM）送信SMS		A	―	P196
	4SMS設定		A※1	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	P195
8テンプレート読込み			A	―	P167
9メール設定	1メール着信設定		A	着信音選択：メロディ／サウンド着信音2 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P78
	2チャットメール着信設定		A	着信動作設定：メール着信動作に従う	P78
	3メール振り分け設定		A	［受信振り分け設定、送信振り分け設定］ 振り分け：ON	P185
	4署名設定		A	［自動挿入］する ［署名編集］―	P187
	5メール返信設定	1メール返信引用設定	A	引用：する 引用文字：>	P188
		2クイック返信設定	A	ON	P188
		3クイック返信本文登録	A	了解です 後で連絡します ごめんなさいm(_ _)m ありがとう(^-^) OK	P188
	6メールグループ		A	―	P188
	7受信・表示設定	1受信・自動送信表示	A	通知優先	P190
		2メール選択受信設定	A	OFF	P187
		3メール受信添付ファイル設定	A	すべて選択	P189
		4添付ファイル自動再生設定	A	自動再生する	P189
		5メール一覧表示設定	A	2行表示	P189

2ｉモード

メニュー		キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1ｉMenu		A	―	P142
2Bookmark		A	―	P147
3Internet	1URL入力	A	―	P146
	2URL履歴	A	―	P147
4ラストURL		A	―	P144
5画面メモ		A	―	P149
6ｉモード問合せ		A	―	P172
7メッセージR/F	1メッセージR	A	―	P156
	2メッセージF	A	―	P156

メニュー			キッズモード中	お買い上げ時	参照先
	3メッセージ設定	1メッセージ自動表示	A	メッセージR優先	P156
		2 i モード問合せ設定	A	すべて選択	P187
		3添付ファイル自動再生設定	A	自動再生する	P189
		4メッセージR着信設定	A	着信音選択：メロディ／サウンド着信音2 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P78
		5メッセージF着信設定	A	着信音選択：メロディ／サウンド着信音2 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P78
8 i モード設定	1ツータッチサイト表示		A	―	P148
	2接続待ち時間設定		A	60秒間	P153
	3照明設定		A	常灯	P154
	4証明書設定	1証明書管理※2	C	CA証明書1～13、ドコモ証明書1：有効	P157
		2ユーザ証明書操作	C	―	P158
		3証明書発行接続先設定	D	接続先：ドコモ	P160
		4暗証番号入力省略設定	C	省略する	P160
	5表示・効果設定		A	画像、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	P154
	6 i モーション設定		A	自動再生設定：自動再生する	P161
	7接続先設定		D	i モード（FOMAカード）	P154

3 i アプリ

メニュー		キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1ソフト一覧		A	―	P201
2 i アプリ設定	1ソフトの並べ替え	A	使用日時順	P210
	2自動起動設定	A	自動起動する	P207
	3ソフト情報表示設定	A	表示しない	P201
	4照明設定	A	端末設定に従う	P203
	5バイブレータ設定	A	使用する	P203
	6ツータッチ i アプリ表示	A	―	P206
3履歴表示		A	［自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴］―	P202 P207 P208

4電話帳／履歴

メニュー		キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1電話帳検索		A	全件表示（50音）	P69
2電話帳登録		A	―	P67
3FOMAカード（UIM）登録		A	―	P68
4着信履歴		A	―	P48
5リダイヤル		A	―	P48
6伝言メモ／音声メモ	1伝言メモ設定	A	停止する	P60
	2伝言メモ一覧	A	―	P61
	3音声メモ録音	A	―	P259
	4音声メモ一覧	A	―	P259
7メール送受信履歴	1メール送信履歴	A	―	P183
	2メール受信履歴	A	―	P183
8プロフィール情報		A	あなたの名前、メールアドレス：― 自局電話番号：ご契約電話番号	P44 P257

5データBOX

メニュー	キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1マイピクチャ	A	—	P224
2ｉモーション	A	—	P230
3メロディ	A	—	P236
4キャラ電	A	—	P235
5きせかえツール	A	—	P89

6LifeKit

メニュー				キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1バーコードリーダー				A	—	P137
2赤外線・PC連携	1赤外線受信			A	—	P242
	2赤外線全件送信			A	—	P241
	3受信済みデータ保存			A	—	P243
	4データ送受信設定			A	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P244
3カメラ	1静止画撮影			A	—	P127
	2動画撮影			A	—	P130
4サウンドレコーダー				A	—	P244
5電話帳お預かりサービス	1お預かりセンターに接続			A	—	P76
	2電話帳通信履歴表示			A	—	P76
	3送信設定			A	電話帳内画像送信：なし	P76
6GPS	1現在地確認			A	—	P212
	2対応ｉアプリ			A	—	P214
	3位置履歴			A	—	P221
	4現在地確認設定	1現在地確認後動作設定		A	地図を見る	P213
		2測位モード設定		A	標準モード	P221
		3測位動作設定		A	鳴動音選択、バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／ライム	P222
	5現在地通知	1現在地通知		A	—	P220
		2現在地通知設定	1現在地通知先一覧	C	—	P220
			2測位モード設定	A	標準モード	P221
			3測位動作設定	A	鳴動音選択：メロディ／サウンド着信音4 バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／アメジスト	P222
	6位置提供設定	1位置提供可否設定		C	位置提供ON	P217
		2測位モード設定		A	標準モード	P221
		3サービス利用設定		C	—	P219
		4サービス利用／接続設定		C	接続先：ドコモ	P219
		5測位動作設定	1位置提供／許可	A	鳴動音選択：メロディ／サウンド着信音3 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／グレープ	P222
			2位置提供／毎回確認	A	鳴動音選択：メロディ／サウンド着信音3 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／グレープ	P222

7ステーショナリー

メニュー	キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1スケジュール帳	A	—	P251
2メモ帳	A	—	P261
3目覚まし	A	—	P249
4電卓	A	—	P261
5辞典	A	—	P263
6お知らせタイマー	A	03分	P249
7時間割	A	—	P204

8設定/NWサービス※3

メニュー				キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1音/バイブ	1音設定	1電話着信音	1電話着信音	A	電話：メロディ／サウンド着信音1	P79
			2テレビ電話着信音	A	テレビ電話：メロディ／ハープ	P79
			3発番号なし動作設定	C	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	P119
		2メール・メッセージ着信音	1メール着信音	A	メール：メロディ／サウンド着信音2	P79
			2チャットメール着信音	A	チャットメール：メール連動	P79
			3メッセージR着信音	A	メッセージR：メロディ／サウンド着信音2	P79
			4メッセージF着信音	A	メッセージF：メロディ／サウンド着信音2	P79
		3GPS測位鳴動音	1現在地確認	A	鳴動音選択：OFF	P80
			2現在地通知	A	鳴動音選択：メロディ／サウンド着信音4	P80
			3位置提供／許可	A	鳴動音選択：メロディ／サウンド着信音3	P80
			4位置提供／毎回確認	A	鳴動音選択：メロディ／サウンド着信音3	P80
		4アラーム音	1目覚まし音	A	目覚まし音：メロディ／目覚まし時計	P79
			2スケジュール音	A	アラーム：メロディ／時間になりました 予告アラーム：メロディ／もうすぐ予定の時間です	P79
		5操作確認音	1キー／開閉操作音	A	ドレミ	P80
			2静止画撮影シャッター音	A	標準	P81
			3動画撮影シャッター音	A	標準	P81
		6充電確認音		A	ON	P81
		7通話保留・警告音	1応答保留ガイダンス設定	A	保留音：内蔵音	P57
			2通話保留音	A	ENTERTAINER	P81
			3通話品質アラーム音	A	アラーム高音	P81
			4再接続アラーム音	A	アラーム高音	P81
			5電池アラーム音	A	ON	P81
	2音量設定	1電話着信音量		A	Level4	P79
		2メール・メッセージ着信音量		A	Level4	P79
		3GPS測位鳴動音量		A	Level4	P79
		4受話音量		A	Level4	P79
		5アラーム音量	1目覚まし音量	A	Level4	P79
			2スケジュール音量	A	Level4	P79
		6ｉアプリ音量		A	Level4	P79
		7キー／開閉操作音量		A	Level4	P79
		8メロディ音量		A	Level4	P79
	3バイブレータ設定	1電話着信時	1電話着信時	A	OFF	P80
			2テレビ電話着信時	A	OFF	P80
		2メール・メッセージ着信時	1メール着信時	A	OFF	P80
			2チャットメール着信時	A	—	P80
			3メッセージR着信時	A	OFF	P80
			4メッセージF着信時	A	OFF	P80
		3GPS測位時	1現在地確認時	A	OFF	P80
			2現在地通知時	A	パターンB	P80
			3位置提供／許可時	A	パターンC	P80
			4位置提供／毎回確認時	A	パターンC	P80

メニュー				キッズモード中	お買い上げ時	参照先
		4アラーム鳴動時	1目覚まし鳴動時	A	OFF	P80
			2スケジュール鳴動時	A	OFF	P80
		5ｉアプリ利用時		A	ON	P80
	4マナーモード選択			A	通常マナーモード	P83
	5呼出動作開始時間設定			A	着信呼出動作：OFF	P120
2ディスプレイ	1待受画面設定	1待受画面選択		A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P84 P299
		2時計表示設定		A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P94 P299
		3電池アイコン設定		A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P91 P299
		4アンテナアイコン設定		A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P91 P299
		5カレンダー／待受カスタマイズ		A	―	P85
	2新着アニメ※4			A	名前：すべての着信 新着時のアクション：ワンポイントアニメーション、コーディネイト／きせかえの設定に従う	P92 P299
	3メニュー設定	1メニュー設定※5		A	ノーマル：アニメーション セレクト：タイルアイコン アニメーションデザイン：コーディネイト／きせかえの設定に従う アイコン拡大表示：OFF 起動メニュー：ノーマル セレクトメニューショートカット：セレクト	P88 P299
		2セレクトメニュー登録		A	開閉パターン、待受画面選択、新着アニメ、コーディネイト／きせかえ、時間割、辞典、電卓、現在地確認	P256
	4各種画面設定	1スクリーン設定		A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P88 P299
		2電話発着信画像設定	1電話発信設定	A	イメージ表示：標準画像	P86
			2電話着信設定	A	イメージ表示：標準画像	P86
			3テレビ電話発信設定	A	イメージ表示：標準画像	P86
			4テレビ電話着信設定	A	イメージ表示：標準画像	P86
			5人物画像表示設定	A	ON	P87
			6発番号なし動作設定	C	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	P119
		3メール送受信画像設定	1メール送信画像設定	A	イメージ表示：標準画像	P87
			2メール受信画像設定	A	イメージ表示：標準画像	P87
			3メール着信結果画像設定	A	イメージ表示：標準画像	P87
			4問合せ画像設定	A	イメージ表示：標準画像	P87
		4テレビ電話画像選択		A	［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	P63
	5照明設定			A	［点灯時間設定］ 通常時：10秒 ACアダプタ接続時、ｉアプリ：端末設定に従う ｉモード中、静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション：常灯 ［照明設定範囲］ ディスプレイ＋キー ［明るさ調整］ 明るさ3	P88

メニュー			キッズモード中	お買い上げ時	参照先
	6イルミパターン設定	1開閉パターン	A	時計＋ランダムパターン	P92
		2着信イルミネーション	A	電話、テレビ電話着信のイルミネーションパターン：イルミパターン2 メール、メッセージR/F着信のイルミネーションパターン：ゆっくり点滅 電話、テレビ電話着信のイルミネーションカラー：ライム メール、メッセージR/F着信のイルミネーションカラー：アクア チャットメール着信イルミネーションパターン、イルミネーションカラー：メール連動	P91
		3通話中イルミネーション	A	通話中イルミネーション：ON イルミネーションカラー：レインボー	P92
		4時報イルミネーション	A	設定：常時 時報イルミネーション音：スタンダード 音量：レベル1	P92
		5GPS測位イルミネーション	A	すべてのイルミネーションパターン：点灯 現在地確認イルミネーションカラー：ライム 現在地通知イルミネーションカラー：アメジスト 位置提供／許可、位置提供／毎回確認のイルミネーションカラー：グレープ	P92
	7不在着信お知らせ		A	ON	P91
	8文字表示設定	1文字サイズ設定	A	中（標準）	P93
		2フォント選択	A	漢字／英数字：丸ゴシック ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ	P93
		3バイリンガル	A	Japanese	P94
3コーディネイト／きせかえ			A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P83 P299
4セキュリティ／ロック	1ロック	1開閉ロック	B	開閉ロック：OFF	P117
		2オールロック	D	－	P108
		3パーソナルデータロック	C	OFF	P110
		4ダイヤル発信制限	C	OFF	P111
	2プライバシーモード	1プライバシーモード設定	D	電話帳・履歴：指定電話帳非表示 メール・履歴、マイピクチャ、iモーション、iアプリ、位置履歴（GPS）：表示する スケジュール：指定スケジュール非表示 プライバシー新着通知、自動起動：OFF	P112
		2シークレット反映	D	－	P115
	3セキュリティランプ設定		B	ON	P118
	4着信／受信時動作設定		D	電話着信時動作、メール受信時動作：プライバシーモードに従う	P115
	5FOMAカード（UIM）		D※6	［PIN1／PIN2コード変更］0000 ［PIN1コードON/OFF］OFF	P107
	6暗証番号変更	1暗証番号変更	C	0000	P107
		2パスワード変更	B	1111	P96
	7スキャン機能	1パターンデータ更新	A	－	P333
		2自動更新設定	A	－	P332
		3スキャン機能設定	C	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	P332
		4バージョン表示	A	－	P333
5発着信・通話機能	1電話発着信設定	1電話発信設定	A	イメージ表示：標準画像	P86
		2電話着信設定	A	着信音：メロディ／サウンド着信音1 イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：イルミパターン2／ライム	P78
	2発番号なし動作設定		C	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	P119
	3エニーキーアンサー設定		A	ON	P56
	4イヤホン機能設定	1イヤホン切替設定	C	イヤホン+スピーカー	P265
		2オート着信機能設定	C	自動着信機能：OFF	P265
		3イヤホンスイッチ設定	C	イヤホンスイッチ設定：OFF	P264
	5メモリ着信拒否／許可	1メモリ別着信拒否／許可	C	設定解除	P119
		2メモリ登録外着信拒否	C	OFF	P120

メニュー				キッズモード中	お買い上げ時	参照先
	6発着信詳細設定	1優先通信モード設定		C	設定なし	P57
		2プレフィックス設定		C	プレフィックス1：009130010	P54
		3サブアドレス設定		C	ON	P54
	7通話詳細設定	1ノイズキャンセラ設定		A	ON	P54
		2通話中クローズ設定		A	切断	P56
	8セルフモード設定			D	OFF	P110
6テレビ電話	1テレビ電話発信設定			A	イメージ表示：標準画像	P86
	2テレビ電話着信設定			A	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：イルミパターン2／ライム	P78
	3テレビ電話動作設定			A	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 照明設定：明るさ2 スピーカーホン設定：ON	P63
	4パケット通信中着信設定			A	テレビ電話優先	P64
	5テレビ電話画像選択			A	［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	P63
	6テレビ電話使用機器設定			A	本体	P64
	7テレビ電話切替機能通知	1切替機能通知開始		A	―	P64
		2切替機能通知停止		A	―	P64
		3切替機能通知設定確認		A	―	P64
7時計／入力／他	1時計	1日付時刻設定※7		A	自動時刻補正：ON オフセット時間：+／00時間00分	P43
		2自動電源ON設定		C	自動電源ON：OFF	P249
		3自動電源OFF設定		C	自動電源OFF：OFF	P249
		4時計表示設定		A	コーディネイト／きせかえの設定に従う	P94 P299
		5アラーム自動電源ON設定		D	OFF	P250
	2文字入力設定	1単語登録		A	―	P273
		2ダウンロード辞書		A	―	P274
		3変換学習リセット		B	―	P270
		4定型文		A	―	P272
		5入力設定		A	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P275
	3文字サイズ設定			A	中（標準）	P93
	4ソフトウェア更新			C	―	P328
	5クイック起動設定			A	ON	P265
	6情報表示／リセット	1通話時間		A	―	P260
		2通話料金	1通話料金表示	A	―	P260
			2通話料金上限通知	C	通話料金上限通知：OFF	P261
			3上限通知アイコン消去	C	―	P261
			4通話料金自動リセット設定	C	OFF	P260
		3メモリ確認		A	―	P240
		4設定状況確認		A	―	P265
		5電池レベル表示		A	―	P41
		6各種設定リセット		D	―	P265
		7データ一括削除		D	―	P266
		8初期設定		D	［日付時刻］自動時刻補正：ON ［暗証番号］0000 ［キー確認音］ドレミ ［位置提供可否］位置提供ON ［キッズモード］ON ［パスワード（子供用）］1111	P42
	7ひかりキー長押し設定			A	ぴかっとライト	P103

メニュー				キッズモード中	お買い上げ時	参照先
8 NWサービス	1 留守番電話	1 留守番サービス	1 留守番サービス開始	C	—	P278
			2 留守番呼出時間設定	C	—	
			3 留守番サービス停止	C	—	
			4 留守番設定確認	C	—	
			5 留守番メッセージ再生	A	—	
			6 留守番サービス設定	C	—	
			7 メッセージ問合せ	A	—	
		2 件数増加鳴動設定		A	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音1	
		3 着信通知	1 着信通知開始	C	—	
			2 着信通知停止	C	—	
			3 着信通知開始設定確認	C	—	
		4 表示消去		A	—	
	2 キャッチホン／転送でんわ	1 キャッチホン	1 キャッチホン開始	C	—	P279
			2 キャッチホン停止	C	—	
			3 キャッチホン設定確認	C	—	
		2 転送でんわ	1 転送サービス開始	C	—	P279
			2 転送サービス停止	C	—	
			3 転送先変更	C	—	
			4 転送先通話中時設定	C	—	
			5 転送サービス設定確認	C	—	
	3 着もじ	1 メッセージ作成		A	—	P50
		2 メッセージ表示設定		A	番号通知ありのみ	P50
	4 番号通知	1 発信者番号通知	1 発信者番号通知設定	C	—	P44
			2 発信者番号通知確認	C	—	
		2 番号通知お願いサービス	1 番号通知開始	C	—	P280
			2 番号通知停止	C	—	
			3 番号通知設定確認	C	—	
	5 その他のNWサービス	1 追加サービス	1 USSD登録	C	—	P283
			2 応答メッセージ登録	C	—	
		2 遠隔操作設定	1 遠隔操作開始	C	—	P282
			2 遠隔操作停止	C	—	
			3 遠隔操作設定確認	C	—	
		3 迷惑電話ストップ	1 迷惑電話着信拒否登録	C	—	P280
			2 電話番号指定拒否登録	C	—	
			3 迷惑電話全登録削除	C	—	
			4 迷惑電話1登録削除	C	—	
			5 拒否登録件数確認	C	—	
		4 英語ガイダンス	1 ガイダンス設定	A	—	P281
			2 ガイダンス設定確認	A	—	

メニュー				キッズモード中	お買い上げ時	参照先
		5デュアルネットワーク	1デュアルネットワーク切替	D	—	P280
			2デュアルネットワーク状態確認	D	—	
		6サービスダイヤル	1ドコモ故障問合せ	A	—	P281
			2ドコモ総合案内・受付	A	—	
		7マルチナンバー	1通常発信番号設定	C	—	P282
			2通常発信番号設定確認	C	—	
			3電話番号設定	C	基本契約番号　名称：基本契約番号 電話番号：ご契約電話番号 付加番号1　名称：付加番号1 付加番号2　名称：付加番号2 付加番号1、2　電話番号：未登録 マルチナンバー発信：無効	
			4着信設定	C	[付加番号1、付加番号2] 個別設定：OFF	
		8通話中着信設定	1通話中着信設定開始	C	—	P281
			2通話中着信設定停止	C	—	
			3通話中着信設定確認	C	—	
		9通話中着信動作選択		C	通常着信	P281
9国際ダイヤルアシスト設定	1自動変換機能設定			C	国際プレフィックス変換：ON（名称：World Call、国際アクセス番号：009130010）	P53
	2国番号設定			C	—	P53
	3国際プレフィックス設定			C	—	P53

9あんしんセット

メニュー		キッズモード中	お買い上げ時	参照先
1ページ目				
1キッズモード設定		C	ON	P96
2防犯ブザー設定		C	防犯ブザー：ブザー鳴動のみ	P97
3ちょこっと通知設定		C	ON	P99
4はなれたよアラーム	1おまもリモコン登録	C	—	P101
	2はなれたよアラーム設定	C	おまもリモコン：使わない	P101
2ページ目				
1電源OFF通知		C	電源OFF通知：ON 通知間隔：15分	P103
2ひかりキー長押し設定		C	ぴかっとライト	P103
3あんしん電池		C	あんしん電池：ON 機能ロック：OFF	P104
4発着信・送受信制限	1ダイヤル発信制限	C	OFF	P111
	2発番号なし動作設定	C	[非通知設定、公衆電話、通知不可能] 設定解除	P119
	3メモリ別着信拒否／許可	C	設定解除	P119
	4メモリ登録外着信拒否	C	OFF	P120
	5ネットワーク設定	C	—	P104
3ページ目				
1あんしんスケジュール		C	—	P104
2各種利用制限		C	メールロック、ｉモードロック、ｉアプリロック、カメラロック：ON	P105
3セキュリティ設定		C	0000	P107
4イマドコサーチ設定		C	—	P105

0 プロフィール情報

メニュー	キッズモード中	お買い上げ時	参照先
プロフィール情報	A	あなたの名前、メールアドレス：ー 自局電話番号：ご契約電話番号	P44 P257

※1 「SMSC」はDになります。
※2 各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※3 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※4 各種設定リセットを行うと、「すべての着信」のみお買い上げ時の設定に戻ります。
※5 各種設定リセットを行うと、ノーマル（アイコンデザイン、アニメーションデザイン含む）がお買い上げ時の設定に戻ります。
※6 「PIN2コード変更」はCになります。
※7 各種設定リセットを行うと、自動時刻補正とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。

メニュー設定のノーマルが「シンプル」の場合

1 でんわ	1 電話帳検索	3 カメラ	1 カメラ	5 iアプリ	1 ソフト一覧	7 設定／ステーショナリー	1 音／バイブ
	2 電話帳登録		2 マイピクチャ		2 待受画面設定		2 ディスプレイ
	3 リダイヤル		3 待受画面設定		3 iアプリ設定		3 目覚まし
	4 着信履歴	4 iモード	1 i Menu	6 データBOX	1 マイピクチャ		4 電卓
	5 伝言メモ一覧		2 Bookmark		2 iモーション		5 伝言メモ設定
	6 プロフィール情報		3 ラストURL		3 メロディ		6 情報表示／リセット
2 メール	1 受信メール		4 画面メモ		4 キャラ電		7 留守番電話
	2 送信メール					0 プロフィール情報	
	3 未送信メール						
	4 新規メール						
	5 iモード問合せ						

コーディネイトの設定項目

あらかじめ登録されている5種類のコーディネイトを選択すると、次の項目が一括で設定されます。

項 目		設定内容				
		カラーバー（Yellow）※1	ドット（Navy）※1	アニマル（Ice Blue）※1	チェリー（Pink）※1	フラワー
スクリーン設定		カラーバー	ドット	アニマル	チェリー	フラワー
待受画面設定※2		カラーバー	ドット	アニマル	チェリー	フラワー
時計表示設定	デザイン	デジタル1	アナログ1	アナログ2	デジタル2	デジタル4
	形式	24時間表示	24時間表示	24時間表示	12時間表示	24時間表示
	表示位置	上	中	中	上	中
	曜日	英語	英語	英語	日本語	英語
メニュー設定（アニメーションデザイン）		カラーバー	ドット	アニマル	チェリー	フラワー
電池アイコン設定／アンテナアイコン設定		／	／	／	／	／
新着アニメ		カラーバー	ドット	アニマル	チェリー	フラワー

※1 （）内はFOMA端末のカラー名です。
※2 数種類のパターンで表示され、受信レベルによって動きや色が変化します。

お買い上げ時に登録されているデータ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリ、キャラ電、フレーム、デコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®（絵文字D）を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

アクセス方法（2010年7月現在）

ｉMenu → メニューリスト → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

◆着信音用メロディ

固定着信音
着信音1～6、サウンド着信音1～6

メロディ（[　]内は作曲者名）		
凱旋行進曲[Giuseppe Verdi]	ニュルンベルクのマイスタージンガー [Wilhelm Richard Wagner]	ラプソディインブルー［George Gershwin]
ツィゴイネルワイゼン［Pablo de Sarasate]	新世界より～第四楽章［Antonín Leopold Dvořák]	ポップンゲーム

効果音／ボイス		
ゾウ	ライオン	イルカ
ヤギ	うぐいす	ドラ
トライアングル	ハープ	マリンバ
ピアノ	バイオリン～ピチカート	アゴゴベル
フルート	ギター	トランペット
アテンションプリーズ	メールだよ	電話だよ
ざんねん	打ち上げ	警告
ヒーリング	目覚まし時計	もうすぐ予定の時間です
時間になりました	無音	

◆メール添付用メロディ

メロディ（[　]内は作曲者名）	
誕生日	ウィリアムテル序曲[GIOACCHINO ANTONIO ROSSINI]
結婚行進曲[BARTHOLDY FELIX J L MENDELSSOHN]	祝婚歌[RICHARD WILHELM WAGNER]
運命[LUDWIG VAN BEETHOVEN]	ジングルベル[JAMES PIERPONT]
タフワフワイ[ハワイ民謡]	さくら[日本民謡]
紅葉[岡野　貞一]	雪[文部省唱歌]
おもちゃの兵隊のマーチ[LEON JESSEL]	登場
3･3･7拍子	Are you sleeping?[フランス民謡]
トッカータとフーガ[JOHANN SEBASTIAN BACH]	子守唄[FRANZ SCHUBERT]
蛍の光[スコットランド民謡]	ハッピー　お出掛け　スキップ　メリーゴーランド　安らぎ　頑張れ　ヤッター　ファイト　焦燥　16ビート　忙しい　エレクトロ　ハーモニカ　迷宮　タンゴ　エキゾチック　アジアン　中華　南国　琴
草津節[群馬地方民謡]	お祭り　悲哀　不安　がっくり　発見　チャイム　お知らせ

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角または半角）※1	英字モード（全角または半角）※1	数字モード（全角または半角）※2
1	あ　い　う　え　お　1	ア　イ　ウ　エ　オ　1	.　／　@　￣※3　－　:　＿　[　￥　]　^　`　{	}　1	1
2	か　き　く　け　こ　2	カ　キ　ク　ケ　コ　2	a　b　c　2	2
3	さ　し　す　せ　そ　3	サ　シ　ス　セ　ソ　3	d　e　f　3	3
4	た　ち　つ　て　と　4	タ　チ　ツ　テ　ト　4	g　h　i　4	4
5	な　に　ぬ　ね　の　5	ナ　ニ　ヌ　ネ　ノ　5	j　k　l　5	5
6	は　ひ　ふ　へ　ほ　6	ハ　ヒ　フ　ヘ　ホ　6	m　n　o　6	6
7	ま　み　む　め　も　7	マ　ミ　ム　メ　モ　7	p　q　r　s　7	7
8	や　ゆ　よ　8	ヤ　ユ　ヨ　8	t　u　v　8	8
9	ら　り　る　れ　ろ　9	ラ　リ　ル　レ　ロ　9	w　x　y　z　9	9
0	わ　を　ん　ー　、　。　・　？　！　「　」　■　0	ワ※4　ヲ　ン　ー　、　。　・　？　！　「　」　■　0	!　"　#　$　%　&　'　(　)　*　+　,　;　<　=　>　?　■　0	0　+※5
*	゛　゜	゛　゜	※半角の場合のみ入力できます。 @docomo.ne.jp .com　.or.jp　.go.jp .ne.jp　.co.jp　.ac.jp http://www.　www. .html　.htm	*　P※5
#	改行	改行	改行	#　T※5

■：空白　　　：入力後に［A/a］（A／a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※1　全角の場合でも、数字は半角で入力されます。
※2「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※3　半角の場合は「～」と入力されます。
※4　全角の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。
※5　該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

<table>
<tr><th colspan="2">入力バー</th><th>ひらがな／漢字モード（全角）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">上
段</td><td>あ</td><td>あいうえお ぁぃぅぇぉ １</td></tr>
<tr><td>か</td><td>かきくけこ ２</td></tr>
<tr><td>さ</td><td>さしすせそ ３</td></tr>
<tr><td>た</td><td>たちつてとっ ４</td></tr>
<tr><td>な</td><td>なにぬねの ５</td></tr>
<tr><td>゛゜※</td><td>゛゜</td></tr>
<tr><td rowspan="6">下
段</td><td>は</td><td>はひふへほ ６</td></tr>
<tr><td>ま</td><td>まみむめも ７</td></tr>
<tr><td>や</td><td>やゆよ ゃゅょ ８</td></tr>
<tr><td>ら</td><td>らりるれろ ９</td></tr>
<tr><td>わ</td><td>わをんー 、。？！「」
■ ０</td></tr>
<tr><td>↵</td><td>改行</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">入力バー</th><th>カナモード（半角）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">上
段</td><td>ｱ</td><td>ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1</td></tr>
<tr><td>ｶ</td><td>ｶｷｸｹｺ 2</td></tr>
<tr><td>ｻ</td><td>ｻｼｽｾｿ 3</td></tr>
<tr><td>ﾀ</td><td>ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4</td></tr>
<tr><td>ﾅ</td><td>ﾅﾆﾇﾈﾉ 5</td></tr>
<tr><td>ﾞ</td><td>ﾞﾟ</td></tr>
<tr><td rowspan="6">下
段</td><td>ﾊ</td><td>ﾊﾋﾌﾍﾎ 6</td></tr>
<tr><td>ﾏ</td><td>ﾏﾐﾑﾒﾓ 7</td></tr>
<tr><td>ﾔ</td><td>ﾔﾕﾖ ｬｭｮ8</td></tr>
<tr><td>ﾗ</td><td>ﾗﾘﾙﾚﾛ9</td></tr>
<tr><td>ﾜ</td><td>ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣
■ 0</td></tr>
<tr><td>↵</td><td>改行</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">入力バー</th><th>英字モード（半角）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">上
段</td><td>.</td><td>. / @ ~ - : _ [¥] ^ ` { | } 1</td></tr>
<tr><td>A</td><td>A B C a b c 2</td></tr>
<tr><td>D</td><td>D E F d e f 3</td></tr>
<tr><td>G</td><td>G H I g h i 4</td></tr>
<tr><td>J</td><td>J K L j k l 5</td></tr>
<tr><td>定</td><td>@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm</td></tr>
<tr><td rowspan="6">下
段</td><td>M</td><td>M N O m n o 6</td></tr>
<tr><td>P</td><td>P Q R S p q r s 7</td></tr>
<tr><td>T</td><td>T U V t u v 8</td></tr>
<tr><td>W</td><td>W X Y Z w x y z 9</td></tr>
<tr><td>!</td><td>! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? ■ 0</td></tr>
<tr><td>↵</td><td>改行</td></tr>
</table>

■：空白

※ ◉を押すたびに「゛」「゜」が切り替わります。

定型文一覧

・絵文字アート（14件）

❤♪♨☀❤	✂〰🎟💣	😖💦💦	👀💦💦
🎁♨🕯	♨👂✋	🆗✌✨✨	📯💣〰💢💦‼
📷✨〰♨	⚽〰👟=3	〰♨😸♨〰	💡👀💡✨‼
🏥😖⤵	✨🌓✨zzz		

・装飾線（10件）

+−−+−−+−−+−−+−−+−−+−−+	□■□■□■□■□■□	・:*:・゜’★,。・:*:・゜’☆・:
＜゜)彡><。。oO。oO	♪//♪//♪//♪//♪//♪	−=−=−=−=−=−=−=−=−=−=−=−=−
／￣|＿／￣|＿／￣|＿／￣|＿／￣|	*−*−*−*−*−*−*−*−*−*−*	／−＼|／−＼|／−＼
(^−^)(−^)(^)( )(^)(^−)(^−^)		

・アドレス・データ形式（11件）

http://www.	http://	@docomo.ne.jp	.net
.com	.ne.jp	.co.jp	.or.jp
.go.jp	.ac.jp	xxxx/xx/xx xx:xx 〜 xxxx/xx/xx xx:xx Schedule↵※	

※「xxxx/xx/xx xx:xx」には現在の日付・時刻が入力されます。

・プライベート（27件）

今日の宿題何だっけ？教えて！
宿題終わった〜？
○○の約束、絶対忘れないでね。
さっきの話、内緒だよ。誰にも言わないでね。
明日の○○、楽しみだね！
明日のテストいやだ〜〜。。勉強したぁ？
今日のご飯は何〜？
今日のおやつ何〜？
○○を出ました！もうすぐ○○に着きます。
○○を出ました。迎えにきて！
○○で電車に乗ったよ〜。
○○で電車を降りたよ〜。
○○のことについて、パソコンにメールしたので、かくにんしといてね。
○○のことで、すぐに知りたいことがあるから、電話ちょーだい
今日は一日おつかれ。明日もがんばろう〜。
今日は一日ありがとう。とても楽しかったよ。
○○で○○という、いいお店見つけたから、今度、いっしょにいかない？
今日○○という、えいがを見たよ。とても良かった。今度見てみるといいよ。
今日のデートはどこに行きたい？○○なんてどうかな？
○月○日にみんなで○○へ行く計画してるんだけど、いっしょにどう？
○○だけど、アドレスを変えたよ。新しいアドレスは@docomo.ne.jpだよ。電話帳の登録を変えておいてね。
○○で○○時に待ち合わせしましょう。よろしくね。
○月○日に○○へ遊びに行かない？
○月○日の予定はどう？いっしょに○○なんてどうかな？
明日はいよいよ、待ちに待った○○だから、今日はゆっくり休んで明日に備えましょうね。
体調はどう？無理しないでゆっくり休んでね。
今日、○○時から○○チャンネルのテレビ番組の録画をお願い。

・絵文字対応（22件）

おはよう☀今日も一日がんばろう‼	おやすみ✨また明日ね(−_−)zzz…
おやすみ✨いいユメ見てねzzz	ありがとう‼今日はとても楽しかったです✌またれんらくしてね📱
m(_ _)mごめんなさい。おくれます🚃💦	
□＼(_ _)深く反省してます⤵	もう少し待ってください♨
今、終わりました✌これから帰ります🏠	さようなら✋”また会える日を楽しみにしてます‼

(o^_^o)はじめましてちゃんとメールとどいてる?	お久しぶりです元気
最近の調子はどう	今日の都合はどう
おなかすいた。食事に行かない?	どこか旅行に連れてって?
今日何時に終わる?	あとでれんらくする
れんらくちょうだい	今日は外食します
りょうかいしましたじゃあね(^o^)/~~	おまかせします
すぐにもどります	

- **英語文（46件）**

Hello! How are you?	Hi! What's up?
Long time no talk. How are you doing?	Good morning. Have a nice day!
Good night.	Good-bye. Talk to you soon.
See you. Bye ;-)	I had fun today, thanks.
Thanks :-)	Thanks, but no thanks.
Please accept my apologies.	Get my message?
I'll contact you later.	I'll be late, but hope you'll wait for me. Thanks.
I'll be there soon, so please wait for me. Thanks.	Give me a call or send me a message. Thanks.
I'm free now. What about going out together?	I've got a lot of homework. Let's do it together!
I'll eat out.	Let's go get a drink!
Let's go eat!	Sorry, but I'm busy.
What about going to shopping this weekend?	What's on for today?
I'll leave it to you.	Good for you!
Hope you do your best.	Are you OK?
Cheer up! You can make it.	I have some good news.
I have some bad news.	Really? No kidding!
I can't believe it!	Keep in touch!
Have a nice weekend!	All right. Okay.
Wonderful! Super!	It's my favorite.
I love you. I miss you.	I'm very happy.
I'm sad….	I give up!
Welcome!	Happy birthday!
Happy New Year!	Happy holidays!

- **ユーザ作成（最大50件）**
  登録した定型文が表示されます。

記号一覧

<table>
<tr><td>半角</td><td>■ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>■、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“<br>”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪</td></tr>
</table>

■：空白
※ 実際の表示と異なるものがあります。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。→P269

絵文字	読　み
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	かお、かなしい、こまった、ごめん、がく
	かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ
	かお、だめ、ふら
	どうぶつ、いぬ
	どうぶつ、ねこ
	てんき、はれ、たいよう
	てんき、くもり、くも
	てんき、あめ、かさ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい
	てんき、きり、あめ
	てんき、こさめ、あめ、かさ
	おんぷ、おんがく、うた、るん
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	はな、かわいい
	きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	きらきら、ぴかぴか
	でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき
	いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか
	がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう
	ばくだん、ばくはつ
	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	しょっく、ぐらぐら、どん
	あせ、あせる、ひやあせ
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる
	のばす、ちょうおん、ちょーおん
	のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん
	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい
	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ
	やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした
	やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ
	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした
	やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと
	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと
	かお、め、からだ
	かお、みみ、からだ
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
	とらんぷ、はーと、あい、こころ
	とらんぷ、すぺーど
	とらんぷ、だいや
	とらんぷ、くらぶ
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき
	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ

絵文字	読　み
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい
	のりもの、こうつう、ばす
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと
	つりー、くりすます、き
	いえ、うち、おうち、じたく
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	びょういん、びょうき、けが
BK	ぎんこう、ばんく
ATM	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう
H	ほてる
CVS	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
GS	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど
P	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ
	しんごう、しんごうき
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ
	かくてる、おさけ、さけ、ばー
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど
	はいひーる、ひーる、くつ、あし
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや
	まいく、からおけ、うた、うたう
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん

絵文字	読　み
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし
	いべんと、はた
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごるふ
	すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ
	ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう
	ほん、のーと、しょしんしゃ
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	めーる、てがみ
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	てれび、がめん、ばんぐみ
	げーむ、こんとろーら
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし
	めがね
	くるまいす
	せいざ、おひつじざ、おひつじ
	せいざ、おうしざ、おうし

絵文字	読　み
♊	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい
♋	せいざ、かにざ、かに
♌	せいざ、ししざ、しし
♍	せいざ、おとめざ、おとめ
♎	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち
♏	せいざ、さそりざ、さそり
♐	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ
♑	せいざ、やぎざ、やぎ
♒	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
♓	せいざ、うおざ、うお、さかな
●	つき、しんげつ、まる
	つき
	つき、はんげつ
	つき、みかづき
○	つき、まんげつ、まる
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん
	めーる、てがみ、じゅしん
FAX	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	あいもーど、あい、どこも
	あいもーど、あい、どこも
	どこもていきょう、でい、でー、でぃー
	どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー
¥	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん
FREE	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー
ID	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき
CL	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち
NEW	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち
	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
#	しゃーぷ
	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
1	1、いち、すうじ、ばんごう
2	2、に、すうじ、ばんごう
3	3、さん、すうじ、ばんごう
4	4、よん、し、すうじ、ばんごう
5	5、ご、すうじ、ばんごう
6	6、ろく、すうじ、ばんごう
7	7、しち、なな、すうじ、ばんごう
8	8、はち、すうじ、ばんごう
9	9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう
0	0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ
	ふくろ、つぼ
	ぺんさき、ぺん
	はんこ、ひと、ひとかげ
	いす、ざせき、すわる
	よる、よなか、しんや、れいと
SOON	すぐ、もうすぐ、すーん
ON!	おん
end	おわり、えんど
	じかん、じこく、たいむ、とけい
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー
	えんぴつ、ぶんぼうぐ
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
↔	やじるし、さゆう
↕	やじるし、じょうげ
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる
NG	えぬじー、だめ
秘	ひみつ、まるひ
禁	きんし、げんきん、だめ
空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から
合	ごうかく
満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる
⚠	けいこく、きけん、びっくり
©	こぴーらいと、しー、まるしー
TM	とれーどまーく、てぃーえむ
®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	どるぶくろ、どる、かね、おかね
	うでどけい、とけい、うぉっち
	すなどけい、とけい

絵文字	読　み
	おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう
	けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし
	ぱん、ぶれっど
	どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば
	ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ
	とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ
	わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ
	ばなな、くだもの
	りんご、あっぷる、くだもの
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの
	くろーばー、よつば、はっぱ
	ちゅーりっぷ、はな
	わかば、ふたば、はっぱ
	もみじ、こうよう、はっぱ
	さくら、はな
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし
	ひよこ、とり、どうぶつ
	ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さかな、おさかな、どうぶつ
	うま、どうぶつ
	ぶた、どうぶつ、ぶー
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ
	おうかん、かんむり、おうさま
	べる、ちゃぺる、かね
	どあ、とびら、と
	がっこう、だいがく
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ
	ふじさん、やま
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる

絵文字	読　み
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、おこる、ぷー、ぶー
	かお、ぽけー、しらー、しらけ
	かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	かお、あっかんべー、べー、いたずら
	かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ
	かお、がまん
	かお、どうぶつ、ねこ
	かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお
	かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお
	かお、おいしい、うまい、まんぞく
	かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし
	かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく
	て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ
	がまぐち、さいふ、おかね、かね

特殊記号一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。→P269

読　み	入力文字
あーる	Ｒｒ㌃
あい	Ｉｉ
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Αα
あるふぁー	Αα
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ｅｅ
いーた	Ηη
いおた	Ιι
いこーる	＝
いち	①Ⅰ
いぷしろん	Εε
うぷしろん	Υυ
えい	Ａａ
えいち	Ｈｈ
えー	Ａａ
えす	Ｓｓ
えっくす	Ｘｘ
えっち	Ｈｈ
えぬ	Ｎｎ
えふ	Ｆｆ
えむ	Ｍｍ
える	Ｌｌ
えん	￥
おう	Ｏｏ
おー	Ｏｏ
おーむ	Ωω
おす	♂
おなじ	々〃
おみくろん	Οο
おめが	Ωω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	Χχ
かける	×
かっこ	「」『』【】‘’ “”（）〔〕［］ ｛｝〈〉《》
かっぱ	Κκ
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	Γγ
がんまー	Γγ
きー	Χχ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ 〝〟≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑｑ
きゅう	⑨Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨Ⅸ
くさい	Ξξ
ぐざい	Ξξ
くしー	Ξξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Κκ
けー	Κκ
ご	⑤Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④Ⅳ
しー	Ｃｃ
じー	Ｇｇ
しーしー	㏄
しーた	Θθ
じーた	Ζζ
じぇい	Ｊｊ
じぇー	Ｊｊ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σσ
しち	⑦Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうきゅう	⑲
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうなな	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚｚ
せみころん	；
せんち	㎝㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	￠㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Ττ
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡

読　み	入力文字
たんい	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％
てぃー	Ｔ ｔ
でぃー	Ｄ ｄ
てー	Ｔ ｔ
でー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
てん	、， ‥…・’ ” ‘ “ ＼ ／ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ 、 ` ' "
てんてん	‥ …
でんわ	℡
ど	℃ °
どう	々 〃 仝
どしー	℃
どる	＄ ㌦
とん	㌧
ないし	～
なぜならば	∵
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Ν ν
のま	々
ぱーせんと	％ ㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Π π
はいふん	‐
はち	⑧ Ⅷ
ばつ	×
はてな	？

読　み	入力文字
はんだくてん	゜
びー	Ｂ ｂ
ぴー	Ｐ ｐ Π π
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φ φ
ぶい	Ｖ ｖ
ふぃー	Φ φ
ぷさい	Ψ ψ
ぷしー	Ψ ψ
ふとうごう	＜ ＞ ≦ ≧ ≠ ≪ ≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Β β
べーたー	Β β
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	£
まいなす	－
まる	○ ● ◎ 。 ． ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨

読　み	入力文字
みゅー	Μ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀
やじるし	→←↑↓ ⇒ ⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕ ｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υ υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	Λ λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わい	Ｙ ｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 実際の表示と異なるものがあります。
※ 入力文字には全角文字のみ、半角文字のみ、全角と半角の両方が存在するものがあります。

顔文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。→P269

- （色付き欄）は、「かお」または「かおもじ」と入力しても変換できます。
- **挨拶・返事（19件）**

顔文字	読み
(^-^)/~~	あいさつ、ばい
(^ ^)ﾉｼ	あいさつ、ばいばい
(^_^)/~	あいさつ、ばいばい
ヾ (^_^) byebye!!	あいさつ、ばいばい
(^^)/	あいさつ、おーい、 じゃあ、どーも、よろしく
(^-^)/	あいさつ、おーい、 じゃあ、どーも、よろしく
(^^)/~~~	あいさつ、ばいばい
(^_^)/	あいさつ、おーい
(〃⌒ー⌒〃) ∫゛	あいさつ、にこっ
～('-'*)	あいさつ、やぁ
(*^-^)ノ	あいさつ、ちわっ
ヾ (´ ω ` ＝ ´ ω `)ノ	あいさつ、おはよう
(o^-')b	へんじ、ぐっ、ぐー
(≧ω≦) b	へんじ、ぐっ、ぐー
(・ ∀ ・ ∩)	へんじ、はい
('-^*)ok	へんじ、おっけー
(` _ ´) ゞ了解！	へんじ、りょうかい
(｡･_･｡)ノ	あいさつ、やあ
(=ﾟ ωﾟ)ノ	あいさつ、やあ

- **笑う・うれしい（34件）**

顔文字	読み
(^-^)	わらう、にこっ
(^-^)v	うれしい、にこっ
(^o^)	うれしい、うほほ、にこっ、 わーい
o(^o^)o	うれしい、うきうき
(o^_^o)	うれしい、にこっ
(*^_^*)	うれしい、にこっ
(･∀･)	わらう、きたー、にこっ
ヾ (^▽^)ノ	うれしい、わーい
ヽ (´ ー `) ノ	うれしい、わーい
(*⌒▽⌒*)	うれしい、にこっ
(☆▽☆)	うれしい、きらーん
(^^)v	うれしい、やったね、ぴー す、にこっ、ぶい
(=⌒ー⌒=)	うれしい、にこっ
(　´ ∀ `)	うれしい、にこっ
(≧∀≦)	うれしい
:)	わらう、にこっ、すまいる
V(^0^)	うれしい、ぴーす
(^ з ^)/ﾁｭｯ	わらう、ちゅっ、にこっ
((o(^-^)o))	うれしい、わくわく
(^^)	わらう、にこっ
v(^o^)	うれしい、いえい、ぶい、 ぴーす
(^_^)v	うれしい、やったね、ぴー す、にこっ、ぶい
(^･^)	わらう、にこっ
(^0^)	わらう、わーい
(^0^)/	わらう、おーい、はーい
(^0^)v	わらう、やったね、ぴーす、 にこっ、ぶい
)^o^(	わらう、ほっぺがおちる
＼(^o^)／	わらう、わーい
:-)	わらう、にこっ、すまいる
ヽ (≧▽≦)/	うれしい、きゃー
d=(^o^)=b	うれしい、ぐー
ε＝ヾ (*~▽~)ノ	うれしい、きゃー
(@^0^@)	うれしい
(´ 艸 `)	うれしい、むふふ

• 照れる・怒る（18件）

顔文字	読み
(^^ゞ	てれる、ぽりぽり
f(^_^)	てれる、てへ
(#^.^#)	てれる、にこっ、ぽっ
(*^.^*)	てれる、えへっ
(〃▽〃)	てれる、てれ
(*'-')	てれる、てへっ
(=゜ω゜=)	てれる、てへっ
(*´д`*)	てれる、こまる、てれ
:p	てれる、てへっ
('∇')	てれる、うふふ

顔文字	読み
ヽ(*`Д´)ノ	おこる、こら、ごるあ、ごるぁ
o-_-)=○☆	おこる、ぱんち
(ノ-"-)ノ~┻━┻	おこる、ちゃぶだい
(-_-#)	おこる、こらっ
:-(	おこる、ふまん
Ψ(`◇´)Ψ	おこる、こら
(ノ`△´)ノ	おこる、こらっ
(●`ε´●)	おこる、ぷんぷん、むかっ

• 泣く・悲しい（19件）

顔文字	読み
(>_<)	なく、あいた、いたい、いてー、ひぇー
(T^T)	なく、うるうる
(T_T)	なく、しくしく
(/_;)	なく、しくしく
(+_+)	かなしい、びくっ
(x_x;)	かなしい、がっくり
(/_・、)	なく、くすん
(つд`)	なく、ぐすん
○｜￣｜＿	かなしい、がっくし

顔文字	読み
(´・ω・`)	かなしい、しょぼん
(;O;)	なく、しくしく
(>_<。)	なく
(;_;)	なく、しくしく
(T-T)	なく、なき、うるうる
(TOT)	なく、なき、うるうる
(ノ_・。)	なく、いたい
:<	なく、かなしい
(;´д⊂)	なく、なき、ぐすん
゜・(ノД`)・゜・	なく、えーん

• 驚き（28件）

顔文字	読み
(*_*)	おどろき、びくっ
(・・?	おどろき、めがてん
(・・;)	おどろき、めがてん
(゜-゜)	おどろき、うーん
(@_@)	おどろき、びくっ
(--;)	おどろき、ぎくっ
(-_☆)	おどろき、きらーん
(￣□￣;)!!	おどろき、がーん
(゜o゜;)	おどろき、ぽかーん
Σ(￣□￣)!	おどろき、びっくり、がーん、ぎく
(￣◇￣;)	おどろき、えっ
ヽ(゜ロ゜;)ノ	おどろき、えっ
(;゜ロ゜)	おどろき、えっ
((((゜д゜;))))	おどろき、がくがく

顔文字	読み
(=_=;)	おどろき、ぎくっ、てつや
(・.・;)	おどろき、めがてん
(゜o゜)	おどろき、ぎくっ、ぎょ
(゜o゜;	おどろき、ぎくっ、ぎょ
(@_@。	おどろき、びくっ、ぎょっ
(゜Д゜)	おどろき、ぽかーん
(゜_゜)	おどろき、うーん
(・。・;	おどろき、めがてん
(・_・)	おどろき、めがてん
(・_・;	おどろき、めがてん
(・o・)	おどろき、めがてん
(゜o゜)/	おどろき、おおー、びっくり
(゜o゜;;	おどろき、ぎくっ
Σ(゜□゜;)	おどろき、がーん

- 疑問・焦り（21件）

顔文字	読み
(^^;)	あせり、ぎくっ、あせ
(?_?)	ぎもん、なぜ
(-_-;)	あせり、ぎくっ、あせ
w=(ﾟoﾟ)=w	ぎもん、ばたばた
σ(^_^;)?	ぎもん、えっ
(;¬_¬)ｼﾞｰ	ぎもん、じー
O(><;)(;><)O	あせり、あたふた
(ﾟДﾟ;≡;ﾟДﾟ)	あせり、あたふた
^^;	あせり、ぎくっ
(^^;;	あせり、ぎくっ、あせ
(^_^;)	あせり、ぎくっ、あせ
(^-^;	あせり、ぎくっ、あせ
(~_~;)	あせり、ぎくっ、あせ
(¥_¥;	ぎもん、ぎくっ、あせ
(*_*;	あせり、びくっ
^_^;	あせり、ぎくっ、あせ
(?_?;	ぎもん、ぎくっ、なぜ
ε=┌(・_・)┘	あせり、にげる
(ﾟ∇ﾟ;)	あせり、ぎくっ、あせ、えっ
((○(>_<)○))	あせり、じたばた
(;ﾟOﾟ)	あせり、ぎくっ、あせ

• その他（61件）

顔文字	読み
(˜▽˜@)♪♪♪	うたう
('◇')ゞ	りょうかい、おっけー、らじゃ
m(_ _)m	ぺこり
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ、にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
p(^-^)q	がんばれ、ふぁいと
;)	ういんく
(^_-)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ、ありがとう
!(^^)!	ぴんぽーん
ヽ(^^)	よしよし、おい
(*≧m≦*)	ぷっ
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦～	どうぞ、おちゃ
(屮゜□゜)屮	きて、かもん、おいで
♪～(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-～～	たばこ
(｀・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-.-;)y-˜˜˜	いっぷく
(-。-)y-゜゜゜	いっぷく
(￣～￣)	うまい、たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい、なかま、たっち
(i_i)＼(^_^)	よしよし

顔文字	読み
(^▽^)σ)˜O˜)	つんつん
～～(m´Д｀)m	たすけて
～～(m｀∀´)m	いひひ
φ(._.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも、かきかき
(゜∇^)]ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
(´ヘ`;)	はぁ、ためいき
(;-_-)=3	ためいき
(-"-;)	うーん
(´ー`)	ふふん、じまん
(´¬`)	よだれ
(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
(˜_˜)	ほへー
(˜o˜)	ほへー
(p_-)	むしめがね
(-_-)	じとっ
(-.-)	じとっ
(-.-")凸	ちちち
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ
(+。+)	いたい
(-_-)zzz	ねてる、ねる
(_ _).oO	ねむい
(´_ゝ`)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
U^I^U	いぬ
ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
ヽ(゜▽、゜)ノ	よだれ
>゜))))彡	さかな

※ 実際の表示と異なるものがあります。

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

- 外部機器と接続してテレビ電話を行う場合は、64Kデータ通信中の動作になります。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/Fの受信を含みます。

○：新たに通信を実行できる　△：条件により新たに通信を実行できる　×：新たに通信を実行できない

現在の状態			音声電話中	テレビ電話中	ｉモード中	パソコンとつないだパケット通信中	64Kデータ通信中
発生・実行する処理	音声電話	発信	△※1	×	○	○	×
		着信	△※1、2、3	△※2、3、4	○	○	△※2、3、5
	テレビ電話	発信	×	×	○※6	×	×
		着信	△※2、3、4	△※2、3、4	△※7	△※2、8	△※2、3、4
	ｉモード	接続	○	×	×	×	×
	ｉモードメール	送信	○	×	○	×	×
		受信	○※9	×	○	×	×
	SMS	送信	○	×	○	○	×
		受信	○※9	○※9	○	○	○※9
	パソコンとつないだパケット通信	発信	○	×	×	×	×
		着信	○	×	×	×	×
	64Kデータ通信	発信	×	×	×	×	×
		着信	△※3、8、10	△※3、8、10	△※8、10	△※8、10	△※8、10

※1　キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3　通話中着信設定が開始の場合、通話中着信動作選択に従います。
※4　キャッチホンが開始の場合、不在着信として記録されます。
※5　キャッチホンが開始の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。
※6　ｉモードが切断されます。
※7　パケット通信中着信設定に従います。
※8　不在着信として記録されます。
※9　着信音は鳴りません。
※10　転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、転送でんわサービスで対応できます。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中の機能・グループごとに、新規起動メニュー項目の起動可否を次に示します。

- 起動可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

○：起動可能　×：起動不可

実行中の機能・グループ ＼ メニュー項目	音声電話	テレビ電話	データ通信	ダイヤル発信	メール	iモード	iアプリ一覧	電話帳・履歴	データBOX	LifeKit	ステーショナリー	音量設定	マナーモード設定／解除
音声電話中	マルチアクセスの組み合わせ→P315			×	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	×
テレビ電話中				×	×※1	×※1	×	×※1	×	×※1	○※2	○※2	×
パケット通信中				○	×※1	×	○	○	○※2	○	○	○	○
64Kデータ通信中				×	○※2	×※1	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	×
ダイヤル発信	○	○	○	×	○	○	○	○	○※2	○	○	○	○
メール	○	○	○※2	○	○※2	○※2	○	○	○※2	○	○	○	○
ｉモード	○	○	○※2	○	○※2	×※1	×※1	○	○※2	○	○※2	○	○
ｉアプリ	○	○	○	○	○※2	×※1	×	○	×	○	○※2	○	○
電話帳／履歴	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
データBOX	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○
LifeKit（赤外線通信を除く）	○	○	○※2	○	○	○※2	○※2	○※2	×※1	○※2	○	○	○
ステーショナリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○	○※2	○	○
設定／NWサービス	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	×※1	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
あんしんセット	○	○	○※2	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	○	○※2	○	○

※1　動作中の機能によっては、起動できる機能があります。
※2　動作中の機能によっては、起動できない機能があります。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

✔お知らせ

- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2010年7月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2010年7月現在）。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA ACアダプタ 01
- FOMA ACアダプタ 02※1
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 電池パック F17
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F21
- リアカバー F37
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- FOMA USB接続ケーブル※2
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※2／02※2
- FOMA補助充電アダプタ 01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※3／P02※3
- 平型ステレオイヤホンセット P01※3
- おまもりリモコン F01
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）
- 骨伝導レシーバマイク 01※3

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 F-05Aと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4形式）をメール添付でデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P125

❖動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P328

■ 電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）
・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P37
・電池切れになっていませんか。→P40、41
・デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

●充電できない
・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P37
・充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
・ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P40

●充電中に背面表示部の照明が点滅する
・通話中、通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外し、正しい方法でもう一度充電してください。→P40
・以上の操作をしても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

●ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、アラームが鳴っている
電池が少なくなっています。充電してください。→P39、41

■ 電話関連

●ダイヤルキーを押しても発信できない
・はなれたよロックが起動していませんか。→P101
・オールロックを起動していませんか。→P108
・おまかせロックを起動していませんか。→P109
・セルフモードを起動していませんか。→P110
・ダイヤル発信制限を起動していませんか。→P111
・開閉ロックを設定していませんか。→P117

●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない
・市外局番を忘れていませんか。
・発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
・圏外と表示されていませんか。→P42

●着信音が鳴らない
・音量設定の電話着信音量を「Silent」にしていませんか。→P79
・次の機能を設定していませんか。
- メモリ別着信拒否／許可→P119
- 発番号なし動作設定→P119
- 呼出動作開始時間設定→P120
- メモリ登録外着信拒否→P120
・公共モードを起動していませんか。→P58
・マナーモードを起動していませんか。→P82
・セルフモードを起動していませんか。→P110
・留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」の場合、着信音は鳴りません。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
・伝言メモ応答時間設定を「0秒」にしていませんか。→P60
・オート着信機能設定の自動着信機能時間を「0秒」にしていませんか。→P265

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
音量設定の受話音量を変更していませんか。→P47、79

●電話がかかってきたとき、設定していない着信音、イメージ、イルミネーションで動作する
・複数の機能で電話着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。→P79
・複数の機能で着信画像を設定している場合は、優先順位に従って画像が表示されます。→P87
・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、優先順位に従ってランプが動作します。→P91
・オールロックを起動していませんか。→P108
・おまかせロックを起動していませんか。→P109
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P110
・プライバシーモードを起動していませんか。→P112
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P115

●電話がかかってきたとき、電話帳に登録している名前や着信音などが動作しない
・相手の電話番号が電話帳に登録している内容と一致していません。正しい電話番号を登録してください（名前の表示→P66）。
・オールロックを起動していませんか。→P108
・おまかせロックを起動していませんか。→P109
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P110
・プライバシーモードを起動していませんか。→P112
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P115

■設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない
各種ロック機能やFOMAカード未挿入などで機能が実行できない場合は、アイコンがで表示されます。→P35、108

●メニューが選択できない、メニューを選択すると認証画面が表示される
キッズモード中は、認証操作が必要な場合や操作できない機能があります。→P96、290

●キー操作音が鳴らない
・キー／開閉操作音を「OFF」にしていませんか。→P80
・マナーモードを起動していませんか。→P82

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」と表示される
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードを確認してください。→P35

●FOMA端末を開くたびに認証画面が表示される
開閉ロック中です。→P117

●ディスプレイに「オールロック中」と表示されている
オールロック中です。→P108

●ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示されている
おまかせロック中です。→P109

●電話帳やメールを表示しようとすると認証画面が表示される
プライバシーモード中です。認証操作を行うか、設定を解除してください。→P112

●待受画面にが表示されている
HOLD中です。→P117

●待受画面にが表示され、操作できない
開閉ロック中です。→P117

●FOMA端末を閉じているときにを押しても操作できない
HOLD中です。→P117

●日付・時刻が消去された
日付時刻設定の自動時刻補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P43

●ディスプレイが暗い
・省電力の状態になっていませんか。→P43
・照明設定の明るさ調整を変更していませんか。→P88

●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない
照明設定の点灯時間設定で通常時を「0秒」にしていませんか。→P88

●目覚ましやスケジュールアラームを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない
アラーム自動電源ON設定を「OFF」にしていませんか。→P250

●おまもリモコンの登録ができない
・おまもリモコンの電源が切れていませんか。→P100
・FOMA端末に近づけておまもリモコンの電源を入れていますか。→P101

●はなれたよロックが解除できない
・おまもリモコンの電源が切れていませんか。→P100
・FOMA端末とおまもリモコンの距離が有効範囲内ですか。→P100
・はなれたよロックの状態が長時間続いていませんか。おまもリモコンとFOMA端末が有効範囲内から数分間離れていると、通信できなくなります。その場合は、FOMA端末を開閉するか、おまもリモコンの電源を入れ直すか、おまもリモコンのサーチボタンを押してください。

●はなれたよアラームの動作が不安定である
・おまもリモコンとFOMA端末の間に障害物がありませんか。障害物のない状態で動作するか確認してください。
・近くに電波を発生する電子機器や無線局などがありませんか。おまもリモコンとFOMA端末を電子機器や無線局などから約5cm以上離してください。
・おまもリモコンの電池残量が少なくなっていませんか。→P102

■メール・ｉアプリ・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
・手ぶれ補正オートで撮影してください。→P135
・近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→P133

●メール受信時に、設定していない着信音、イメージ、イルミネーションで動作する
・複数の機能でメール着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。→P79
・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、優先順位に従ってランプが動作します。→P91
・メール着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定している場合は、イメージは設定したｉモーションになります。
・複数のメールを同時に受信すると、最後に受信したメールに設定されている条件に従って動作します。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P112
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P115

●メール受信時に、電話帳に登録している名前や着信音などが動作しない

・相手の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録している内容と一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを登録してください（名前の表示→P66）。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P112
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P115

●静止画や動画が や で表示される

データが壊れている場合は正しく表示されません。

●ｉアプリ／ｉアプリ待受画面が起動できない

・FOMAカードのセキュリティ機能により、起動できません。→P36
・ｉアプリがIP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
・ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P43
・ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。また、有効性の確認が完了するまでｉアプリを起動できない場合があります。
・はなれたよロック中、あんしん電池機能ロック中、ｉアプリロック中、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）はｉアプリ待受画面を起動できません。→P102、104、105、108、109、110、112

●ｉアプリ動作中にディスプレイの照明が点灯しない

・照明設定の点灯時間設定で通常時を「0秒」、ｉアプリを「端末設定に従う」にしている場合、点灯しません。→P88、203
・公共モード中は、ｉアプリを「ソフトに従う」にしても点灯しません。

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■その他

●操作中や充電中にFOMA端末や電池パックなどが温かくなる

操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがあります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイに残像が残る

・FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
・FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●取扱説明書に記載されていない電池アイコンやアンテナアイコンが表示されている／スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている／メニュー設定のアニメーションデザインが増えている

隠し機能が起動しています。隠し機能を起動または解除する場合は、セレクトメニューのグループ名に「ドクロ」と入力します。→P256

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●宛先をご確認ください
SMSの送信に失敗しました。宛先を確認してください。

●アドレスをご確認ください
メールグループのメールアドレスに不正がある、または入力されていません。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）Mails could not be sent to following address.(561)○○@△△△.ne.jp
以下の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。◉を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。
メッセージ内に表示されるメールアドレスは送信先により異なります。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）
サイトやホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●画像に誤りがあり正しく動作しません
画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。FOMAカードを確認してください。→P35

●この画像は保存できません
画像にエラーがあるため、保存できません。

●このサイトとのSSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです（→P157）。日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。→P43

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書が有効期限切れです（→P157）。日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。→P43

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。→P157

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

●サービス未契約です
- ｉモードが契約されていないため実行できません。利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●サービス未提供です
SMSが未提供です。

●再生可能日前です。再生できません
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。詳細情報を確認してください。→P238

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため取得できません。

●最大サイズを超えたので中断しました
- サイトやホームページのサイズが最大サイズを超えました。◉を押すと正常に取得した部分まで表示します。
- ダウンロードしようとしたデータが最大サイズを超えました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやホームページのサイズが最大サイズを超えています。

●サイトが移動しました（301）
サイトやホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

●**時刻がリセットされたため、このデータを取得／再生できません。日付時刻設定にて自動時刻補正をONに設定し電源を入れ直してください**
日付時刻設定の自動時刻補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P43

●**指定サイトがみつかりません（404）**
URLが正しいかどうか確認してください。

●**指定サイトに表示データがありません（204）**
指定のサイトにデータがありませんでした。

●**指定されたソフトがありません**
指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●**指定されたソフトが起動できませんでした**
ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。ｉアプリToで起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合は起動できません。

●**指定したサイトへは接続できませんでした（504）**
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

●**しばらくお待ちください**
・音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●**しばらくお待ちください（パケット）**
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります**
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問合せを行ってください。→P194

●**受信メールがいっぱいです**
受信メールの保存領域が不足しているため、受信できません。未読のｉモードメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P177、182

●**情報が正しくないため再生できませんでした**
添付されたデータが不正のため再生できませんでした。

●**既にメッセージをお預かりしています**
既にSMSは送信済みです。

●**正常に接続できませんでした（400）**
サイトやホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

●**赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**
赤外線通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、FOMAカードのセキュリティ機能により起動できません。→P36

●**赤外線　接続相手が見つかりません。続けますか？**
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。自分と相手の端末を正しく配置してください。→P240

●**赤外線　中断されました**
赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→P240

●**赤外線　認証接続できませんでした**
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。→P241

●**積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました／積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました／積算料金が既定の上限に達しているため発信できません**
積算通話料金をリセットしてください。→P260

●**セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました**
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

●**セキュリティエラーのため、終了しました**
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

●**接続が中断されました**
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**接続できません**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●**接続できませんでした（562）**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●**設定時間内に接続できませんでした**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**送信できません　宛先を確認してください（451）**
宛先が正しいかどうか確認してください。

●**送信できませんでした**
SMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。

●**送信できませんでした（552）**
ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●**そのソフトは最新です**
既に最新のｉアプリにバージョンアップされています。

●**ソフトに誤りがあります**
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●対応機種ではありません
ダウンロードしようとしたｉアプリが本FOMA端末に対応していません。

●対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないため、コンテンツ選択による操作は行えません。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P111

●ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

●注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました。
- moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません。

●通信エラーが発生しました
◉を押してGPS機能を終了してください。

●次の宛先にはメール送信できませんでした（561）
次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。◉を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

●データが不正です
データに不正があるためダウンロードできません。

●データ転送モードへ移行できません
FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

●電話帳のシークレット属性をメールに反映しますか？電話帳、メールの件数によっては、時間がかかる場合があります
シークレット属性が設定されている電話帳データを外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定したりした場合に表示されます。→P115

●問合せできませんでした
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。◉を押すと超過分は削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●入力データまたはURLが長すぎます
サイトやホームページの入力欄に入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●入力データをご確認ください（205）
サイトやホームページの入力データに誤りがあります。

●認証タイプに未対応です（401）
認証タイプに対応していないため、指定のサイトやホームページに接続できません。

●認証を中止しました
認証画面でCLRを押して認証を中止したときに表示されます。

●パスワードをご確認ください（401）
サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

●日付時刻が設定されていません。起動できません
日付・時刻を設定していない場合、起動できない機能があります。→P43

●不正なデータが含まれています
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときは起動できません。

●不正なデータのため保存できません
ダウンロードしたキャラ電に不正があります。

●他の機能が起動中のため起動できません
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

●保存できないデータです
赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存領域がいっぱいで保存できません
FOMA端末の保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、メールやSMSを削除してください。→P182、195

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください
赤外線通信のINBOXの保存件数がいっぱいです。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。→P243

●無効なデータを受信しました（XXX）
・指定のサイトやホームページに対応していません。
・URLを確認してください。
・受信データにエラーがあるため表示できません。
・圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●メールデータを参照できませんでした
・メールまたはフォルダを他の処理で使用しているため参照できません。
・チャットメールでメールデータを参照できません。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません
FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域が不足しているため、SMSを受信できません。未読のメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P177、182、197

●メッセージがいっぱいです
保存領域が不足しているため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P156、157

●メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します
メモリ不足が発生したため処理を中断して、アプリケーションを終了します。

●メモリ不足です
メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？
ユーザ証明書がダウンロードされていません。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？
ユーザ証明書の有効期限が切れています。→P157

●料金情報の読込／リセットができませんでした
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P35

●連続撮影はできません
マイピクチャ内の保存領域が不足しているため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

●FOMAカード（UIM）がいっぱいです
FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。→P197

●FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません
FOMAカードのセキュリティ機能により操作できません。データやファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入してください。→P36

●FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした
FOMAカードのセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリのダウンロード時と同じFOMAカードを挿入してください。→P36

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません
FOMAカードが挿入されていません。→P35

●FOMAカード（UIM）を挿入してください
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。→P35

●ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？
「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

●ｉモーション最大サイズを超えています
ｉモーションのデータ取得時にサイズが10Mバイトを超えたため、取得を中断しました。

●ｉモードセンターが混みあっています。しばらくお待ち下さい（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください
SMS設定（SMSC）が誤っています。→P195

●SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

●SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。設定を変更してください。→P157

●URLが長すぎて登録できません
URLが規定の長さを超えているためブックマークに登録できません。

●“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily. (555)
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

❖保証

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→P288）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

❖アフターサービス

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください（→P319）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

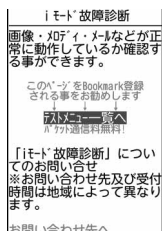
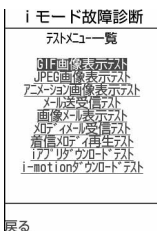
■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

▲メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて▼

- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  ｉMenu→お知らせ→サポート情報→お問い合わせ→故障・電波状況お問い合わせ先→ｉモード故障診断

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

- ｉモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」でご案内させていただきます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

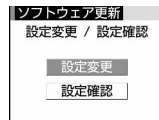
✔お知らせ

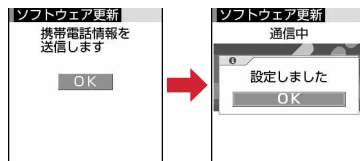
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗します。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定が「ｉモード（FOMAカード）」以外の場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→P41）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 通話中
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - パーソナルデータロック中
  - パソコンとつないだパケット通信中
  - 64Kデータ通信中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。

- PIN1コードON／OFFを「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書管理でSSL証明書を有効にしてください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P157
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（→P42）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定が「ON」の場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P172
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

◆ソフトウェア更新のお知らせを受信する〈更新お知らせ受信設定〉

あらかじめ本設定を「有効」にしておくことで、ソフトウェア更新が必要な場合、待受画面に（更新お知らせアイコン）を表示します。

1 MENU▶8 7 4▶認証操作▶「更新お知らせ受信設定」▶「設定変更」▶「有効」

- 「設定確認」を選択すると設定を確認できます。

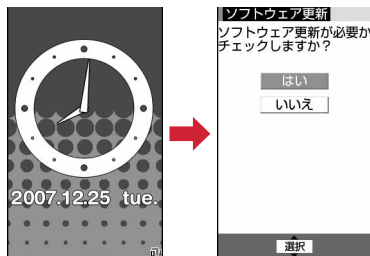
2 ●▶●

✔お知らせ

- （更新お知らせアイコン）は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - 予約更新に失敗した場合
  - 予約更新を取り消した場合
  - データ一括削除を実行した場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合
  - お買い上げ時（表示されていない場合もあります）

◆ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには待受画面で（更新お知らせアイコン）を選択する方法とメニューの項目番号を選択する方法があります。

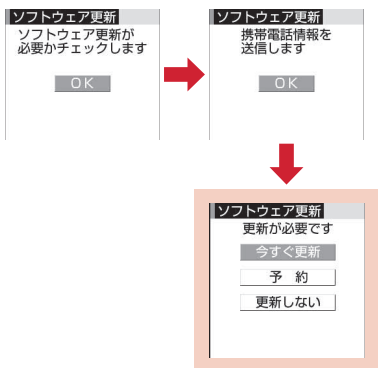
〈例〉更新お知らせアイコンを選択して起動する

1 ◉▶（更新お知らせアイコン）にカーソルを合わせて◉▶「はい」▶認証操作

- 「いいえ」を選択すると更新お知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。

メニューから起動する： MENU ▶ 8 7 4 ▶ 認証操作▶「更新実行」

2 注意事項を確認して◉

3 ◉▶◉

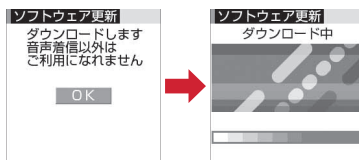
ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。

ソフトウェア更新画面

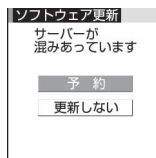
- 更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます。「今すぐ更新（→P330）」または「予約（→P331）」を選択します。
- 更新が必要ない場合は「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。◉を押してそのままご利用ください。
- 更新お知らせ受信設定が「無効」の場合は、有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

◆すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉

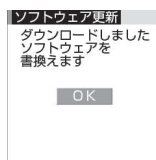
- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

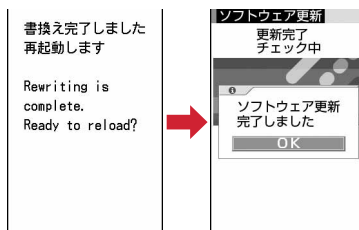
1 ソフトウェア更新画面で「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始

◉を押すと、すぐにダウンロードを開始します。ダウンロード中は、ランプが点滅します。

- ダウンロードを中止するときは◉を押します。

サーバが混み合っているとき：

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。→P331

2 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換え開始

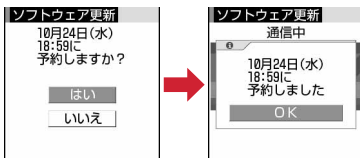
◉を押すと、すぐに書き換えを開始します。書き換え中はランプが点滅します。また、すべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

3 書き換え終了後、自動的に再起動▶◉

再起動すると再びサーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

◆日時を予約してソフトウェアを更新する〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 ソフトウェア更新画面で「予約」

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選択▶「はい」

表示されている候補以外から予約する：

①「その他の日時」

②希望日を選択

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。

○：空きあり　△：空きわずか

- ⓘを押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

③希望時間帯を選択

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

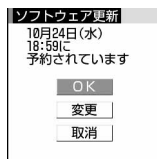
④希望日時を選択▶「はい」

3 ⦿

予約の設定が完了すると待受画面に⬜が表示されます。

❖予約を確認・変更・取り消しをする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認する

1 MENU▶8 7 4▶認証操作▶「更新実行」▶内容を確認

- 確認を終了するときは「OK」を選択します。

予約を変更する：「変更」▶⦿

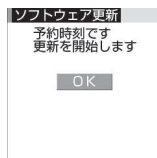
予約候補の選択画面が表示されます。

以降の操作→P331「表示されている候補以外から予約する」操作②以降

予約を取り消す：「取消」▶「はい」▶⦿▶⦿

予約が取り消されます。

❖予約の日時になると

予約日時になると次の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（⦿を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

- ソフトウェア更新を中止する場合は⬜を押し「はい」を選択します。

✔お知らせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外した場合
  - 電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき
- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、動作が終了した後、ソフトウェア更新を開始します。
- 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメール、SMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

本設定を「有効」にすると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 MENU▶8 4 7 3▶各項目を設定▶(文字)

スキャン機能：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

メッセージスキャン：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

2 「はい」

- 本設定を「有効」にすると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P333

◆自動でパターンデータを更新する〈自動更新設定〉

パターンデータの更新が自動的に行われるように設定します。

1 MENU▶8 4 7 2

2 「有効」▶「はい」▶「はい」▶●

- 自動更新を利用しないときは「無効」を選択します。
- パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面にアイコンが表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、●を押してください。

◆パターンデータを更新する

自動更新設定が「無効」のときや、待受画面に(パターンデータの自動更新失敗)が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 MENU▶8 4 7 1▶「はい」▶「はい」

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

2 ●

- パターンデータ更新が必要ない場合は「パターンデータは最新です」と表示されます。●を押してそのままご利用ください。

✔お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻を設定していない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中に目覚ましやスケジュールの指定日時になると、起動日時を知らせる画面が表示されてアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

◆スキャン結果の表示

■スキャンされた問題要素の表示

①警告レベル画面表示中に「詳細」

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
PadHtml030.H
PadHtml029.H
PadHtml028.H
PadHtml027.H
PadHtml026.H
以下省略、総数30
OK

■スキャン結果の表示

警告レベル	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する

✔お知らせ

- 待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては、「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

◆パターンデータのバージョンを確認する〈バージョン表示〉

1 MENU▶

主な仕様

本体

品名		F-05A
サイズ		高さ約105mm×幅約48mm×厚さ約17.8mm（最厚部：約19.1mm）
質量		約120g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2		静止時：約570時間 移動時：約400時間
連続通話時間※2、3		音声電話時：約185分 テレビ電話時：約110分
充電時間※4		ACアダプタ：約140分 DCアダプタ：約140分
液晶部	方式	ディスプレイ： カラー TFT262,144色
	サイズ	ディスプレイ：約2.7inch
	画素数	ディスプレイ：103,680画素（240×432）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/7.4inch アウトカメラ：1/5.0inch
	有効画素数	インカメラ：約32万画素 アウトカメラ：約130万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	インカメラ：約31万画素 アウトカメラ：約120万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大約2.0倍 アウトカメラ：最大約16.0倍
記録部	静止画記録枚数※5	最大約524枚（お買い上げ時） 最大約1000枚（削除可能なプリインストールデータ削除時）
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※6	最大約35分
	動画ファイル形式	MP4、ASF
音楽再生（リピート再生時間）		ｉモーション：約500分

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定などを行うと連続待受時間、連続通話時間は短くなります。

※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※4 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※5 静止画記録枚数とは、画像サイズが「128×96」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。

※6 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズ、品質、および撮影する映像によって異なります。

電池パック

品　名	電池パック F17
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	800mAh

F-05Aの保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	—
きせかえツール※1		最大36件	—
ブックマーク		最大100件	—
画面メモ※1		最大100件	最大50件
ダウンロード辞書		最大10件	—
ダウンロードしたフォント※2		最大5件	—
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
メール	受信メール※1、3、4	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、3	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、3	最大200件	最大100件
	メールテンプレート※1、5	最大100件	—
FOMAカードのSMS※6		最大20件	—
ｉアプリ※1、7		最大100件	—
画像※1、8		最大1000件	—
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	—
動画／ｉモーションのプレイリスト		最大100件	—
キャラ電※1、9		最大50件	—
メロディ※1		最大500件	—

種　別	保存・登録件数	保護件数
スケジュール帳	最大300件	―
メモ帳	最大50件	―

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズにより少なくなる場合があります。
※2 お買い上げ時に登録されているフォント（プリティー桃）の件数を含みます。
※3 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※4 「はじめまして」の件数を含みます。
※5 お買い上げ時に登録されているメールテンプレートの件数を含みます。
※6 送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知は保存件数に含まれません。
※7 お買い上げ時に登録されているｉアプリの件数を含みます。また、メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。
※8 お買い上げ時に登録されている「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」フォルダのデータの件数を含みます。
※9 お買い上げ時に登録されているキャラ電の件数を含みます。

✔お知らせ

- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

携帯電話機の比吸収率

この機種F-05Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機F-05AのSARの値は1.03W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉キャラ電をダウンロードしたいとき

キャラ電........................61，235
　移動.......................................237
　削除.......................................239
　詳細情報参照／変更...........238
　ソート....................................240
　ダウンロード.......................151

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

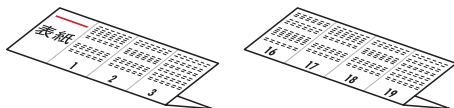
クイックマニュアル

◆クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされている「クイックマニュアル」は、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。キリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。また、外出時などには、2枚合わせて携帯してください。

1 キリトリ線から切り離す（2枚）

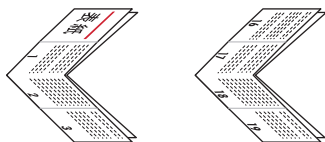
切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

2 それぞれを縦半分に折る

3 それぞれを横半分に折る

4 それぞれをさらに横半分に折る

docomo

F-05A

クイックマニュアル

❖総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

・番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

❖故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
受付時間　24時間（年中無休）

一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

❖FOMA端末電話帳の登録

1 [MENU]▶[4][2]▶名前を入力▶[帳]▶各項目を設定▶[帳]

新規登録 1/2
No.000
携帯花子
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ
<画像選択・撮影>
グループなし
[電話番号]
[メールアドレス]
[誕生日]
[テキストメモ]
[郵便番号/住所]
[位置情報]
[学校名]

❖FOMAカード電話帳の登録

1 [MENU]▶[4][3]▶名前を入力▶[帳]▶各項目を設定▶[帳]

❖リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [←→]
2 登録する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]
・登録済みの電話帳へ追加：[MENU]▶[4][2]
3 [1]（FOMA端末電話帳）または[2]（FOMAカード電話帳）
・登録済みの電話帳へ登録する場合は、相手を選択
4 各項目を設定▶[帳]

電話帳の検索

1 [MENU]▶[4][1]
・FOMAカード電話帳への切り替え：[MENU]▶[4][1]▶[8]
2 [1]～[7]
・FOMAカード電話帳の検索は[1]～[4]、FOMA端末電話帳への切り替えは[5]

電話帳の修正

1 [帳]▶電話帳検索
2 修正する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]
・FOMAカード電話帳は、修正する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]
3 修正▶[帳]
・FOMA端末電話帳で登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書き確認画面が表示される

文字の入力

❖文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「企業」と入力する

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：[2]を2回
「ぎ」：カーソルが右に移動したら[2]を2回▶[＊]
「ょ」：[8]を3回▶[大小]
「う」：[1]を3回
・入力した文字の変換前にできる操作
[MENU]：カナ英数に変換
[大小]：大文字／小文字の切り替え
[✉]：1つ前の文字に戻す
（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
[CLR]：文字の取り消し
[＊]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加
（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力

2 [帳]
・変換候補一覧の表示：[↕]／[帳]
・変換前の状態に戻す：[CLR]
3 [●]

❖入力モードの切り替え

文字入力画面で[あ/A]（複数回）▶[●]
・[↕]で全角／半角を切り替え

❖文字の削除

カーソルが文中にあるとき

[CLR]：カーソル位置の文字の削除
・1秒以上押すと、カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

カーソルが文末にあるとき

[CLR]：カーソル位置の左側にある文字の削除
・1秒以上押すと、すべての入力文字を削除

❖絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

文字入力画面で[帳]▶絵文字を選択

記号を入力する

文字入力画面で[帳]▶[MENU]▶記号を選択

定型文を入力する

文字入力画面で[MENU]▶[4][1]（メール本文の入力画面では[5][1]）▶定型文種別を選択▶定型文を選択

文字のコピーと貼り付け

文字をコピーする

文字入力画面で[MENU]▶[1]（メール本文の入力画面では[2]）▶開始位置を選択▶終了位置を選択

文字を貼り付ける

文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]（メール本文の入力画面では[4]）

カメラ機能

静止画を撮影する

[カメラ]▶被写体にカメラを向けて[●]▶[●]

動画を撮影する

[カメラ]（1秒以上）▶被写体にカメラを向けて[●]▶[帳]▶[●]

画像を表示する

[MENU]▶[5][1]▶「撮影した写真」フォルダを選択▶表示する画像を選択

動画を再生する

[MENU]▶[5][2]▶「撮影したビデオ」フォルダを選択▶再生する動画を選択
・動画再生中にできる操作
・[↕]：音量調整
・[←→]：巻き戻し再生／早送り再生
・[●]：一時停止／再生
・[帳]：停止

キリトリ線

テレビ電話

❖テレビ電話のかけかた

1 電話番号を入力▶[テレビ電話キー]
2 通話する
- 通話中保留：[センターキー]
- 受話口／スピーカーの切り替え：[キー]
- 送信する画像の切り替え：[キー]

3 通話が終了したら[終話キー]

❖テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる▶[テレビ電話キー]
- 応答保留：[キー]
- 通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作2と同様

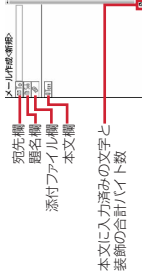
2 通話が終了したら[終話キー]

ｉモードメール

❖送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

❖ｉモードメールの作成・送信

1 [メールキー]（1秒以上）

2 [To]を選択▶入力方法を選択▶宛先を入力または選択
3 [Sub]を選択▶題名を入力

4 [Text]を選択▶本文を入力
- デコメール®の作成：[メールキー]▶装飾方法を選択▶文字を入力

5 [キー]
- メールの保存：[MENU]▶[3]
- 圏内自動送信：[MENU]▶[2]

❖ファイルの添付

1 メール作成画面で[添付]を選択
メール作成画面の表示方法→P9
- 添付ファイルの解除：[メールキー]▶「はい」

2 添付するファイルの種類を選択▶添付元を選択▶フォルダを選択▶ファイルを選択

❖送信・保存したｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集する

1 [メールキー]▶[4]
- 送信メールの編集：[メールキー]▶[5]

2 フォルダを選択
3 メールを選択
- 送信メールの編集：メールを選択▶[キー]

4 編集▶[キー]

❖ｉモード問合せ

1 [メールキー]▶[6][1]

ディスプレイの見かた

❖ディスプレイ上部

① [アイコン]：電池アイコン
② [アイコン]：アンテナアイコン
　圏外：圏外表示
　Self：セルフモード中
　[アイコン]：データ転送モード中
③ [アイコン]／[アイコン]：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）
④ [アイコン]：カメラロック中
⑤ [アイコン]：スピーカーホン機能利用中
⑥ [アイコン]：GPSで測位中
　[アイコン]：GPSで位置提供設定中

⑦ [アイコン]：電話帳データ、スケジュールデータがシークレット属性
　[アイコン]：赤外線通信中など
　¥：積算通話料金が上限を超過
⑧ [アイコン]：未読メール、メッセージR/F状態表示
⑨ [アイコン]：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑩ [アイコン]：SSLページ表示中など
　[アイコン]：圏内自動送信失敗メールあり
　[アイコン]：圏内自動送信メールあり
⑪ [アイコン]／[アイコン]：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中
　[アイコン]：ｉアプリ待受画面表示中など
　[アイコン]：ｉアプリDX待受画面表示中など
⑫ [アイコン]：キッズモード中
⑬ [アイコン]：おまもりリモコンが有効範囲内にあり
　[アイコン]：おまもりリモコンが有効範囲外にあり

❖ディスプレイ下部

① [アイコン] 2：不在着信
② [アイコン] 1：伝言メモ
③ [アイコン] 1：留守番電話サービスの伝言メッセージ
④ [アイコン] 1：未読メール
⑤ [アイコン]：マナーモード中
　[アイコン]：オリジナルマナーモード中
⑥ S：電話着信音量消音設定中
　V：音声電話着信のバイブレータ設定中
　SV：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータ同時設定中
⑦ [アイコン]：公共モード（ドライブモード）中
⑧ [アイコン]／[アイコン]：伝言メモ設定中／満杯

⑨ [アイコン]：ダイヤル発信制限中
　[アイコン]：HOLD中
⑩ [アイコン]：パーソナルデータロック中
⑪ [アイコン]：FOMAカード読み込み中
⑫ [アイコン]：有効マルチカーソルキー
　[アイコン]：開閉ロック中
⑬ [アイコン]：目覚まし設定中
　[アイコン]：スケジュールアラーム設定中
　[アイコン]：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
⑭ [アイコン]／[アイコン]／[アイコン]：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
⑮ [アイコン]：USBケーブルで外部機器と接続中
⑯ [アイコン]／[アイコン]：ソフトウェア更新予約中／更新お知らせアイコン
　[アイコン]／[アイコン]：最新パターンデータの自動更新失敗／成功

キリトリ線

メニュー一覧

〈例〉メモ帳を起動する
MENU ▶ 7 ▶ 2

1 メール

メニュー	設定項目
1 受信メール	
2 新規メール	
3 チャットメール	
4 未送信メール	
5 送信メール	
6 問合せ	
7 SMS	
8 テンプレート読込み	
9 メール設定	メール着信設定 チャットメール着信設定 メール振り分け設定 署名設定 メール返信設定 メールグループ

メニュー	設定項目
	受信・表示設定

2 i モード

メニュー	設定項目
1 i Menu	
2 Bookmark	
3 Internet	
4 ラストURL	
5 画面メモ	
6 i モード問合せ	
7 メッセージR/F	
8 i モード設定	ワンタッチサイト表示 接続待ち時間設定 照明設定 証明書設定 表示・効果設定 i モーション設定 接続先設定

3 i アプリ

1 ソフト一覧
2 i アプリ設定
3 履歴表示

4 電話帳／履歴

1 電話帳検索
2 電話帳登録
3 FOMAカード（UIM）登録
4 着信履歴
5 リダイヤル
6 伝言メモ／音声メモ
7 メール送受信履歴
8 プロフィール情報

5 データBOX

1 マイピクチャ
2 i モーション
3 メロディ

メニュー	設定項目
4 キャラ電	
5 きせかえツール	

6 LifeKit

メニュー	設定項目
1 バーコードリーダー	
2 赤外線・PC連携	赤外線受信 赤外線全件送信 受信済みデータ保存 データ送受信設定
3 カメラ	
4 サウンドレコーダー	
5 電話帳お預かりサービス	
6 GPS	現在地確認 対応 i アプリ 位置履歴 現在地確認設定 現在地通知 位置提供設定

7 ステーショナリー

1 スケジュール帳
2 メモ帳
3 目覚まし
4 電卓
5 辞典
6 お知らせタイマー
7 時間割

8 設定／NWサービス

メニュー	設定項目
1 音／バイブ	
2 ディスプレイ	
3 コーディネイト／きせかえ	
4 セキュリティ／ロック	ロック プライバシーモード セキュリティランプ設定 着信／受信時動作設定 FOMAカード（UIM） 暗証番号変更

メニュー	設定項目
	スキャン機能
5 発着信・通話機能	電話発着信設定 発番号なし動作設定 エニーキーアンサー設定 イヤホン機能設定 メモリ着信拒否／許可 発着信詳細設定 通話詳細設定 セルフモード設定
6 テレビ電話	
7 時計／入力／他	時計 文字入力設定 文字サイズ設定 ソフトウェア更新 クイック起動設定 情報表示／リセット ひかりキー長押し設定
8 NWサービス	留守番電話 キャッチホン／転送でんわ

メニュー	設定項目
	着もじ 番号通知 その他のNWサービス
9 国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定 国番号設定 国際プレフィックス設定

9 あんしんセット

メニュー	設定項目
1ページ目	
1 キッズモード設定	
2 防犯ブザー設定	
3 ちょこっと通知設定	
4 はなれたよアラーム	おまもりモコン登録 はなれたよアラーム設定
2ページ目	
1 電源OFF通知	
2 ひかりキー長押し設定	
3 あんしん電池	

メニュー	設定項目
4 発着信・送受信制限	ダイヤル発信制限 発番号なし動作設定 メモリ別着信拒否／許可 メモリ登録外着信拒否 ネットワーク設定
3ページ目	
1 あんしんスケジュール	
2 各種利用制限	
3 セキュリティ設定	
4 イマドコサーチ設定	

0 プロフィール情報

キリトリ線

あんしんセット

❖キッズモードを設定する

[MENU]▶[9]▶認証操作▶1ページ目で[1]▶[1]または[2]

❖パスワード（子供用）を変更する

[MENU]▶[8][4][6][2]▶認証操作▶新しいパスワードを入力▶新しいパスワード（確認）欄にもう一度新しいパスワードを入力▶[□]

❖現在地をワンタッチで知らせる

ちょこっと通知を設定する：[MENU]▶[9]▶認証操作▶1ページ目で[3]▶[1]または[2]
ちょこっと通知を起動する：[・]（1秒以上）
ちょこっと通知を中断する：測位中画面で[□]▶認証操作

❖はなれたよアラームを使う

はなれたよアラームの設定をする前に、おまもリモコンの登録が必要です。
おまもリモコンを登録する：[MENU]▶[9]▶認証操作▶1ページ目で[4][1]▶おまもリモコンをFOMA端末に近づけて電源を「ON」にする▶登録完了画面で[●]
はなれたよアラームを設定する：[MENU]▶[9]▶認証操作▶1ページ目で[4][2]▶各項目を設定▶[□]
FOMA端末を探す：おまもリモコンのサーチボタンを押す

❖ひかりキーを長押しして起動する機能を設定する

[MENU]▶[9]▶認証操作▶2ページ目で[2]▶[1]～[5]

その他の主な操作

機　能	操作方法
HOLDの起動／解除	[MENU]（1秒以上）
セルフモードの起動／解除	[CLR]（1秒以上）
公共モードの起動／解除	[*]（1秒以上）
ｉモードメニューの表示	[i]
ｉアプリフォルダー覧の表示	[i]（1秒以上）
着信履歴の表示	[○]
プライバシーモードの起動／解除	[○]（1秒以上）※
リダイヤルの表示	[○]
スケジュール帳の表示	[□]（1秒以上）
電源ON／OFF	[終話]（2秒以上）
マナーモードの起動／解除	[#]（1秒以上）
新規起動メニュー	[MULTI]
伝言メモ／音声メモメニューの表示	FOMA端末を開いて[□]（1秒以上）

※ 解除時は認証操作が必要です。

利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

ネットワークサービス

❖留守番電話サービス

申し込み：必要　月額使用料：有料

サービスを開始する

1 [MENU]▶[8][8][1][1][1]▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力

サービスを停止する

1 [MENU]▶[8][8][1][1][3]▶「はい」

伝言メッセージを再生する

1 [MENU]▶[8][8][1][1][5]▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作する

❖キャッチホン

申し込み：必要　月額使用料：有料

サービスを開始／停止する

1 [MENU]▶[8][8][2][1]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」

通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に[発信]
・通話相手の切り替え：[□]

通話中に電話をかける

通話中に[MENU]▶[7]▶電話番号を入力▶[発信]
・通話相手の切り替え：[□]

通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら[終話]
・保留中相手との通話再開：[発信]

❖転送でんわサービス

申し込み：必要　月額使用料：無料

サービスを開始する

1 [MENU]▶[8][8][2][2][1]▶「はい」▶「はい」
2 転送先電話番号を入力
・電話帳から転送先を入力：[MENU]
3 [□]▶「はい」▶呼出時間を入力

サービスを停止する

1 [MENU]▶[8][8][2][2][2]▶「はい」

❖番号通知お願いサービス

申し込み：不要　月額使用料：無料

サービスの開始／停止

1 [MENU]▶[8][8][4][2]▶[1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」

紛失時などの緊急連絡先

❖おまかせロック

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
受付時間　24時間（年中無休）

❖その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　i Menu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）→P58、59　●伝言メモ→P60
●バイブレータ→P80　●マナーモード／オリジナルマナーモード→P82、83

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉	故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話からの場合 (局番なしの) 151 (無料) ※一般電話などからはご利用になれません。 ■一般電話などからの場合 0120-800-000 ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 受付時間　午前9：00〜午後8：00　(年中無休)	■ドコモの携帯電話からの場合 (局番なしの) 113 (無料) ※一般電話などからはご利用になれません。 ■一般電話などからの場合 0120-800-000 ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
ｉモードサイト　ｉMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

2010.7（4版）
CA92002-5540

F-05A
パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、F-05Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

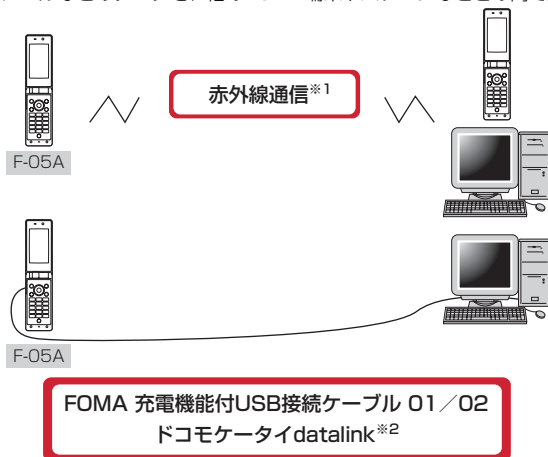
2008.12（1版）
CA92002-5544

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- IP接続には対応しておりません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのmuseaやsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaをご利用の場合はアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

※1 詳しくは、『F-05A取扱説明書』の「データ管理」章をご覧ください。
※2 詳しくは、『F-05A取扱説明書』の「パソコン接続」章をご覧ください。

パケット通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルで接続し、各種設定を行うことで利用できます。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
※ 受信最大384kbps、送信最大64kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

64Kデータ通信

FOMA端末とパソコンなどをUSBケーブルで接続し、各種設定を行うことで利用できます。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）※	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上　Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ ドコモ コネクションマネージャが動作する推奨環境は次のとおりです。
　OS：Windows 2000 SP4以上、Windows XP SP2以上（詳細については、ドコモのホームページをご覧ください）
　ハードディスク容量：15MB以上の空き容量

- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降（Windows XPの場合は、Microsoft Internet Explorer6.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  　Windows XP、Windows 2000のとき：「スタート」→「ファイルを指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して「OK」をクリック
  　<CD-ROMドライブ名>：index.html
  　※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
  ※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-05A用CD-ROM」
※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。

接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること
※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

ドコモ コネクションマネージャ

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

● 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。
※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。
● FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
● パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

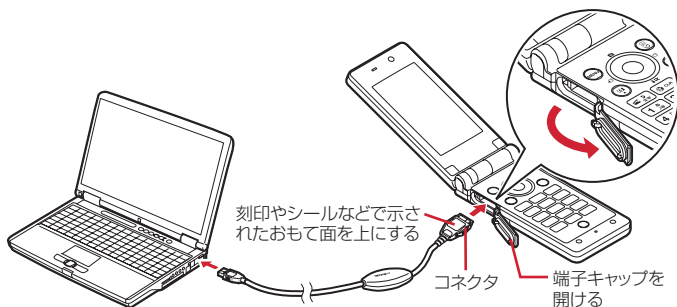
● パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
● 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。→P6

USBケーブルで接続する

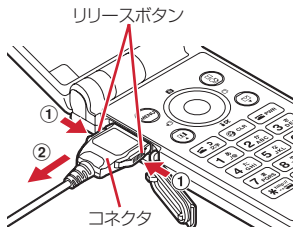
● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は別売りです。
● 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01での場合を例に説明しています。

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されます。この場合はFOMA端末を取り外して、表示された画面で「キャンセル」をクリックして終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面に が表示されます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

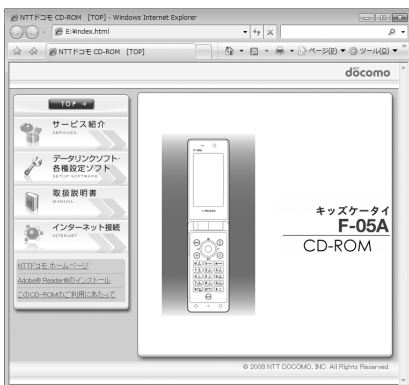
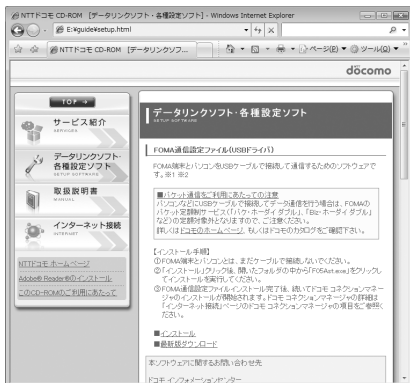
FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

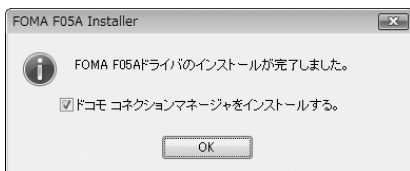
- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」→「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F05Ast.exe」アイコンをダブルクリック

3 「インストール開始」をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

5 インストール完了画面で「OK」をクリック

続いてドコモ コネクションマネージャをインストールし、データ通信の設定を行います。「ドコモ コネクションマネージャをインストールする」の操作3からインストールを続けてください。→P13

- ドコモ コネクションマネージャについては、「ドコモ コネクションマネージャを利用する」をご覧ください。→P10

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows Vistaで確認するとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

■ Windows XPのとき

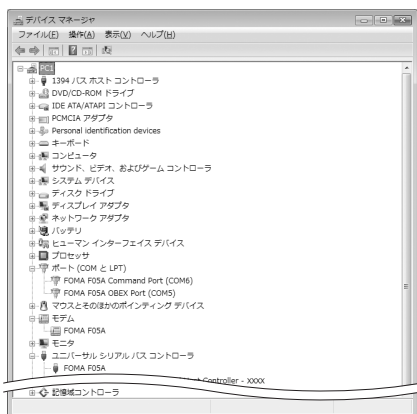
①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック

②「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

■ Windows 2000のとき

①「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「システム」アイコンをダブルクリック

②「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F05A Command Port（COMx）※
    FOMA F05A OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F05A
  - ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F05A

※ xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

■ Windows XPのとき
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

■ Windows 2000のとき
「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリック

2 「FOMA F05A USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XP、Windows 2000の場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F05A Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 アンインストール中画面の表示後に「OK」をクリック

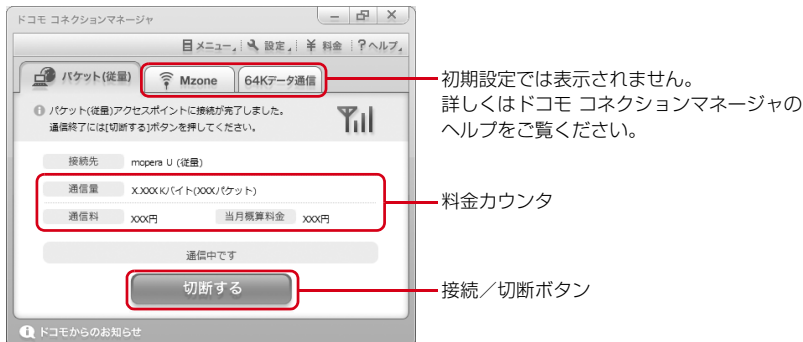
お知らせ

- 削除画面で「FOMA F05A USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ここでは、従量接続用ドコモ コネクションマネージャのインストール方法について説明します。

ドコモ コネクションマネージャ

ドコモ コネクションマネージャは、従量制プランでデータ通信を行うためのソフトウェアです。
ドコモ コネクションマネージャを利用すると、mopera Uへの申し込みや、FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うための設定が簡単に行えます。
料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

● FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
  パケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブル、Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブルでは、パソコンに接続した場合のデータ通信などは定額対象外となりますのでご注意ください。
- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 定額データプランを利用する場合は、「定額データプラン接続ソフト」を必ずご利用ください。「定額データプラン接続ソフト」は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

● FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください。
● サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
● ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P11「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

Internet Explorerの設定を変更する

● ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

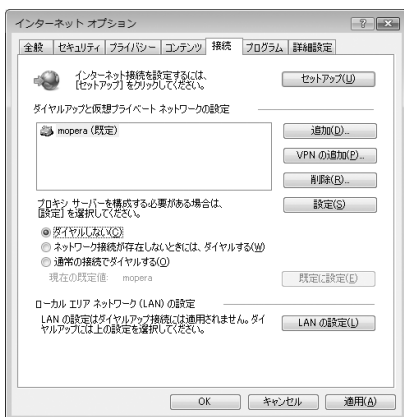
〈例〉Windows Vistaで変更するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows2000の場合は「プログラム」）を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック

3 「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択

4 「OK」をクリック

ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

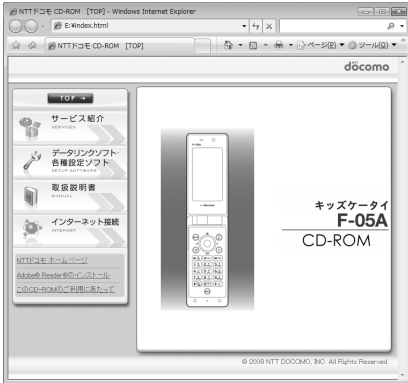
また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

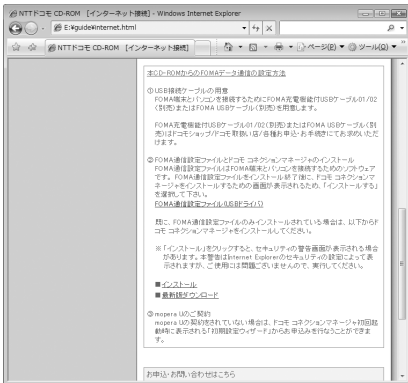
- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

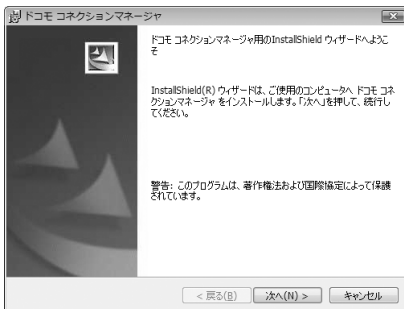
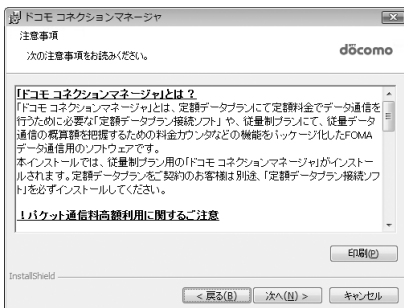
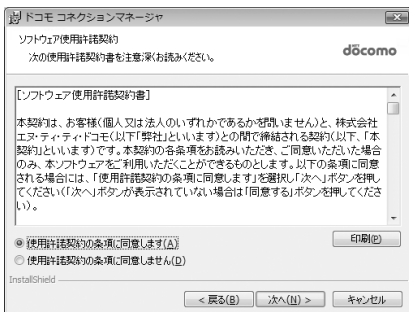
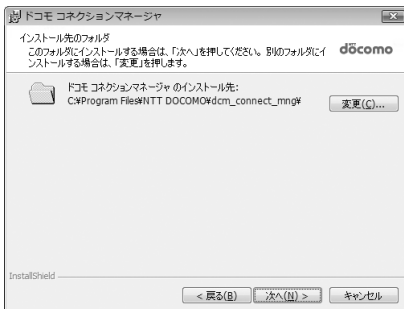
ドコモ コネクションマネージャをインストールする

- FOMA通信設定ファイルのインストール完了時に、ドコモ コネクションマネージャをインストールするための画面が表示された場合は、「インストール」をクリックして操作3から始めます。
- 既にFOMA通信設定ファイルがインストールされている場合は、操作1から始めます。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「インターネット接続」→「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作②にある「インストール」を順にクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

- Windows XPでMSXML6･Wireless LAN APIのインストールの確認画面が表示された場合は「Install」をクリックし、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールが始まります。

3 「次へ」をクリック

4 注意事項を確認して「次へ」をクリック

5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック

6 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

7 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

8 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

ドコモ コネクションマネージャで通信を設定する

● 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows Vistaで設定するとき

1 **(スタート)→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック**

■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して→「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。
初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

2 **設定ウィザードに従って通信の設定をする**

インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OS アップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

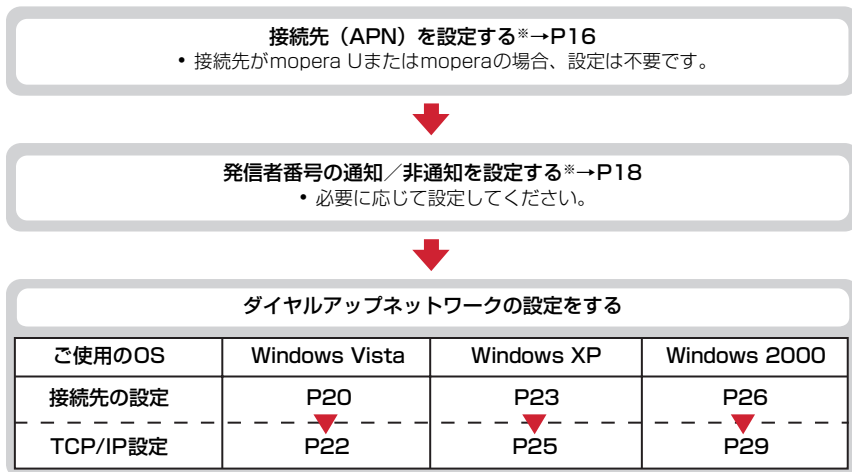
ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P4

接続先（APN）を設定する※→P16
• 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P18
• 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P20	P23	P26
TCP/IP設定	P22	P25	P29

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

● 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
● 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

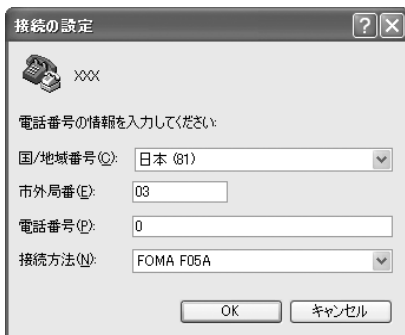
1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

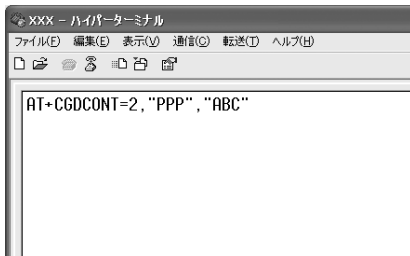
3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

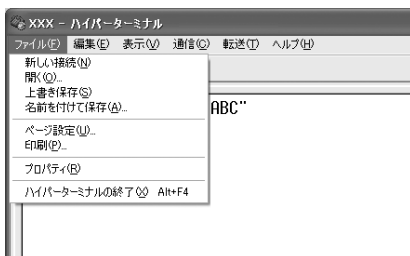
- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜"

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F05A」に設定されていることを確認→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"PPP","＜APN＞"」の形式で入力→↵

＜cid＞　：2または4～10の範囲で任意の番号
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P40「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

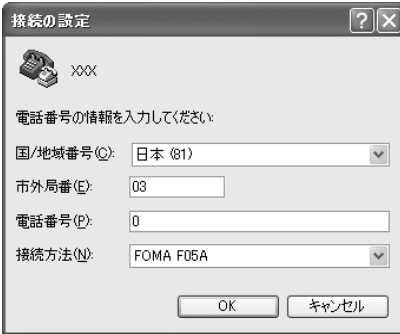
1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

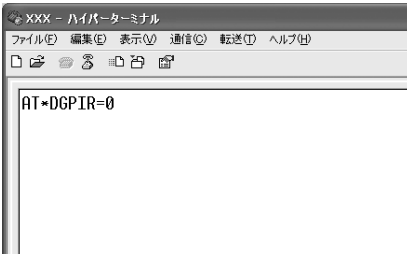
3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

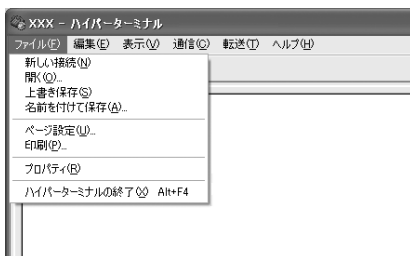
- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>｜”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F05A」に設定されていることを確認→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#		非通知	
186＊99＊＊＊3#		通知	

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

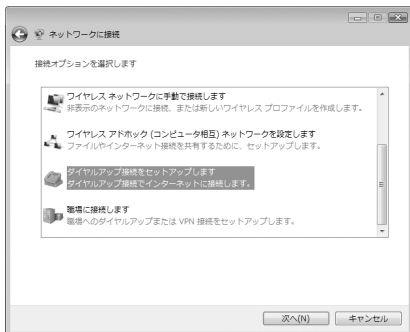
接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

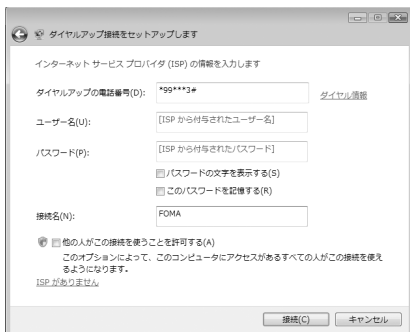
接続方法→P5

2 （スタート）→「接続先」を順にクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき
「FOMA F05A」をクリック

5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

<cid>：P17「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
¥/:＊?<>|

6 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

8 「閉じる」をクリック

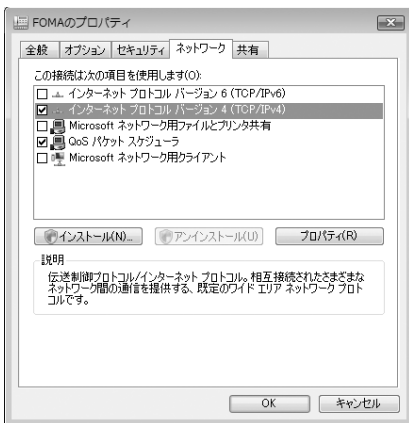
TCP/IPプロトコルを設定する

1 (スタート)→「接続先」を順にクリック

2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデム－FOMA F05A」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

4 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6)」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。

5 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

6 すべての項目を非選択（□）に設定→「OK」をクリック

7 「OK」をクリック

通信を実行する→P31

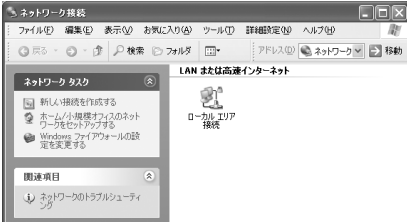
Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

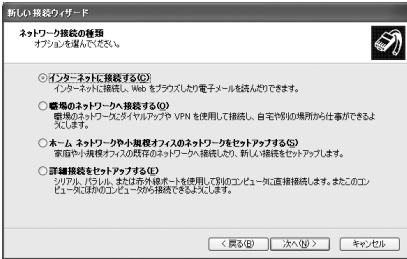
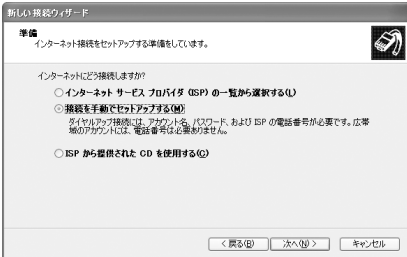
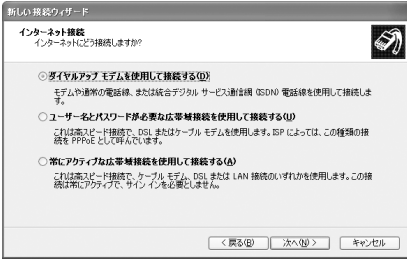
接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

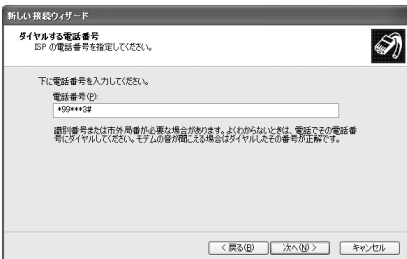
3 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

4 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

5 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

6 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき
「モデム－FOMA F05A」のみを選択して「次へ」をクリック

8 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”

9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

<cid>：P17「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

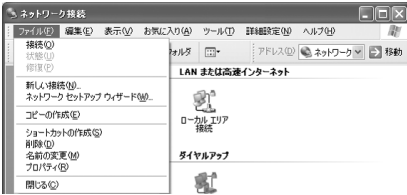
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

12 「(操作8で入力したISP名)へ接続」画面で設定内容を確認して「キャンセル」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続方法」で「モデム－FOMA F05A」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoS パケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。

4 「設定」をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→「OK」をクリック

6 「OK」をクリック

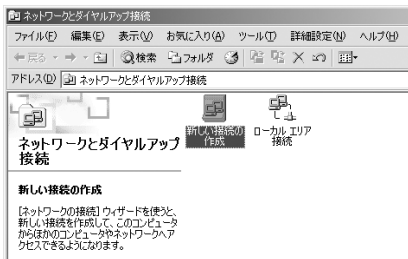
通信を実行する→P31

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

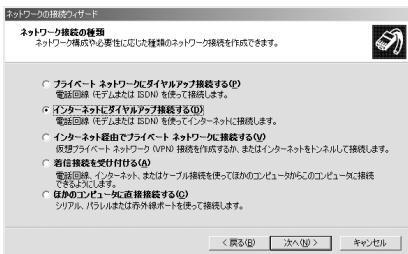
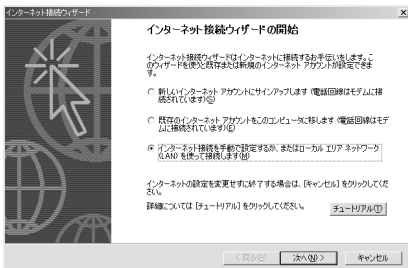
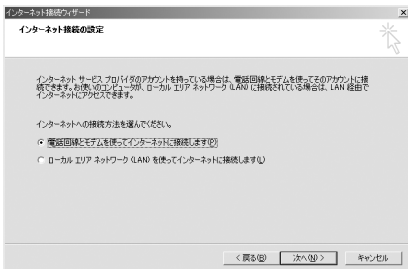
接続方法→P5

2 「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリック

■「所在地情報」画面が表示されたとき

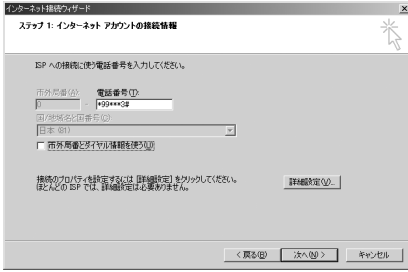
①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→「OK」をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で「OK」をクリック

3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して「次へ」をクリック

5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して「次へ」をクリック

6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して「次へ」をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき

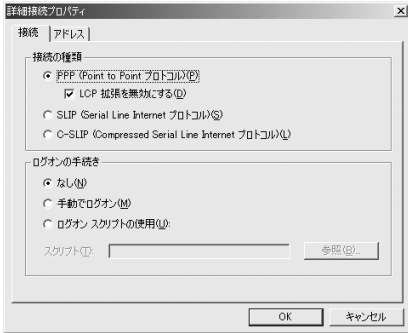
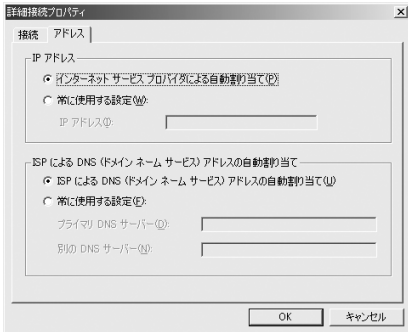
「FOMA F05A」を選択して「次へ」をクリック

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→「詳細設定」をクリック

＜cid＞：P17「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

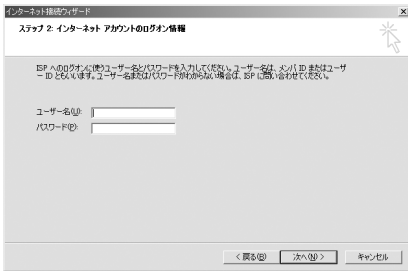
接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

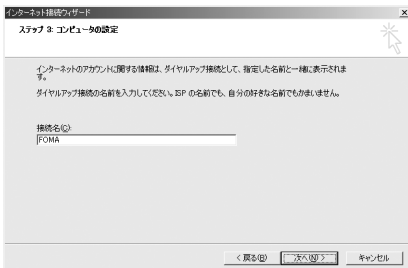
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

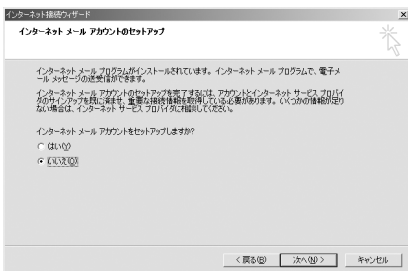
8 「接続」タブの各項目を画面例のように設定

9 「アドレス」タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

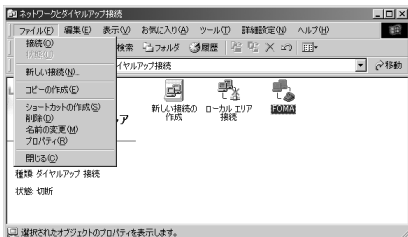
10 「OK」をクリック

11 「次へ」をクリック

12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。「次へ」をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

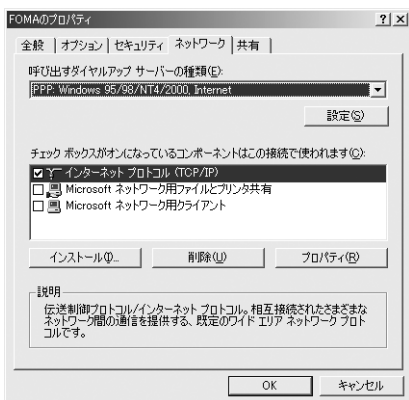
13 「接続名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。

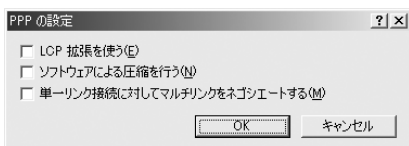
14 「いいえ」を選択して「次へ」をクリック

15 「完了」をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデム－FOMA F05A」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4 「設定」をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→「OK」をクリック

6 「OK」をクリック

通信を実行する→P31

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 **パソコンとFOMA端末を接続**

接続方法→P5

2 **「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック**

■ Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

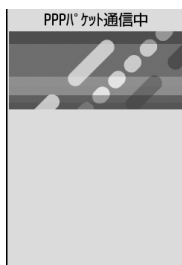
■ Windows Vistaのとき

(スタート)→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック

3 **「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック**

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 タスクトレイの をクリック→「切断」をクリック

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から ⏎ を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ **オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき**

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO ⏎」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA F05A（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ⏎ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ⏎ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ⏎ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ⏎ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すか設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ⏎ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P33
ATI<n> ATI0 ⏎ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ⏎ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ⏎ OK	リザルトコードを表示するか設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ⏎ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ⏎ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ⏎ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ⏎ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　n=1：/（お買い上げ時）　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　n=1：%（お買い上げ時）　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているか判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示仕様を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1 AT&S0 ↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W ↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n> ※2 AT＊DGANSM=0 ↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n> ※2 AT＊DGPIR=0 ↵ OK	パケット通信確立時に、発信者番号を通知するか設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P20 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0 ※1 AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	直前の通信の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P39
AT+CGDCONT ※2 →P40	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P40
AT+CGEQMIN ※2 →P40	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P40
AT+CGEQREQ ※2 →P41	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P41

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n> ※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態を通知するか設定します。通知される内容は圏内／圏外です。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　　stat=1：圏内　　stat=4：不明 AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n> ※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するか設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　　m=2：不明 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n> ※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n> ※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P39「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　　　n=1：マニュアル　　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態か「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CPIN="<pin>","<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するか設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するか設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するか設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※1 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F05A OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n> ※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=22：FOMAネットワーク（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n> ※1 AT¥V0 ↵ OK	接続時の応答コード仕様を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1　&Wコマンドで FOMA端末に記録されます。
※2　&FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3　&Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

● ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"]]］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ※＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGEQMIN=2 ↵
  OK
  (2) 上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,64,384 ↵
  OK
  (3) 上り64kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGEQMIN=5,,64 ↵
  OK
  (4) 上りすべての速度、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
  AT+CGEQMIN=6,,,384 ↵
  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64kbps、下り64～384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ⏎
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P35

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

• AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT￥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　CONNECT
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　1

ATX1が設定されているとき

• ATX1、AT￥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
接続完了時に、「CONNECT＜FOMA端末ーパソコン間の速度＞」の書式で表示します。
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　CONNECT 460800
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　1 21

• ATX1、AT￥V1が設定されている場合※1
接続完了時に、次の書式で表示します。
「CONNECT＜FOMA端末ーパソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
　　　　　　（mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　1 21 5

※1 ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。
※2 AT￥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					さ					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					し					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					す					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					せ					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
					そ					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					た					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					ち					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					つ					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					て					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					と					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					な					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					に					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					ぬ					
390									濡	
					ね					
390										禰

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
					の					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					は					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					ひ					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					ふ					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					へ					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
						や				
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る				
466	瑠	塁	涙	累	類					
						れ				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞥	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			